

令和4年度 施策・事務事業評価表

〔第七期帯広市総合計画〕

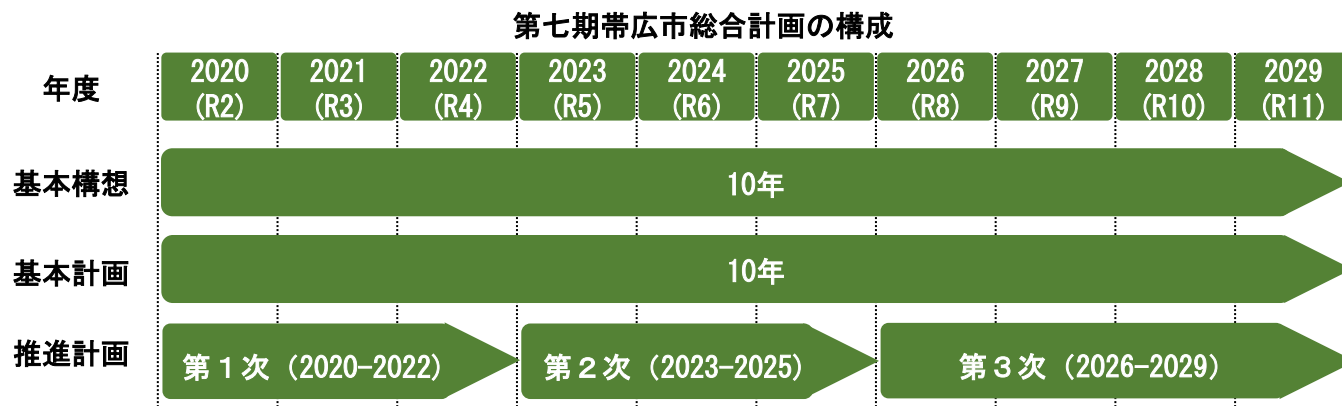
令和5年9月
帯 広 市

目次

1. 第七期帯広市総合計画について	1	施策11 つなげて広げるビジネスチャンス	49
2. 総合計画推進の考え方について	1	施策12 未来を拓く子どもをともに育む	53
(1) 第七期総合計画のPDCAサイクル	1	施策13 いつまでも学んで面白い	57
(2) 施策・事務事業評価	1	施策14 潤いのある暮らしと地域をつくる	61
3. 第七期帯広市総合計画の体系図	2	施策15 スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に	65
4. 評価年度	3	施策16 地球のために今、行動する	69
5. 評価表の見方	3	施策17 「まさか」に備え今、行動する	73
(1) 施策評価表	3	施策18 とかちで守るみんなの安心	77
(2) 事務事業評価表	6	施策19 みんなでつくる笑顔と安全	81
6. 施策評価結果の概要	7	施策20 未来につなぐ、おいしい水	85
		施策21 未来につなぐ、住みよいまち	89
		施策22 認め合い、つながり、暮らす	93
		施策23 未来に夢をつなぐ	97
■ 施策評価表			
施策1 健康なからだところをつくる	9		
施策2 笑顔でつなぐ、みんなの子育て	13		
施策3 たくさんの小さなおせっかいがある暮らし	17		
施策4 ずーっと生き活きと暮らす	21		
施策5 個性はみんなのたからもの	25		
施策6 医療を身近に安心な暮らしをつくる	29		
施策7 誰もが安心できる暮らしの支えになる	33		
施策8 世界に冠たる十勝農業を創る	37		
施策9 「とかちのかち」を創り続ける	41		
施策10 アウトドアの聖地にする	45		
		■ 事務事業評価表	
		施策1～施策23	101

1. 第七期帯広市総合計画について

第七期帯広市総合計画は、市民と市が共有するビジョンとして将来のまちの姿やまちづくりの目標などを示す「基本構想」、基本構想の実現に向けた市の施策を示す「基本計画」、施策の目指す姿の実現に向け市が実施する事務事業を示す「推進計画」により構成しており、期間は「基本構想」10年、「基本計画」10年、「推進計画」3年（第3次のみ4年）としています。



2. 総合計画推進の考え方について

(1) 第七期総合計画のPDCAサイクル

第七期帯広市総合計画は、施策や事務事業の進捗状況等を評価検証し、改善等につなげていくPDCAサイクルのもと推進します。

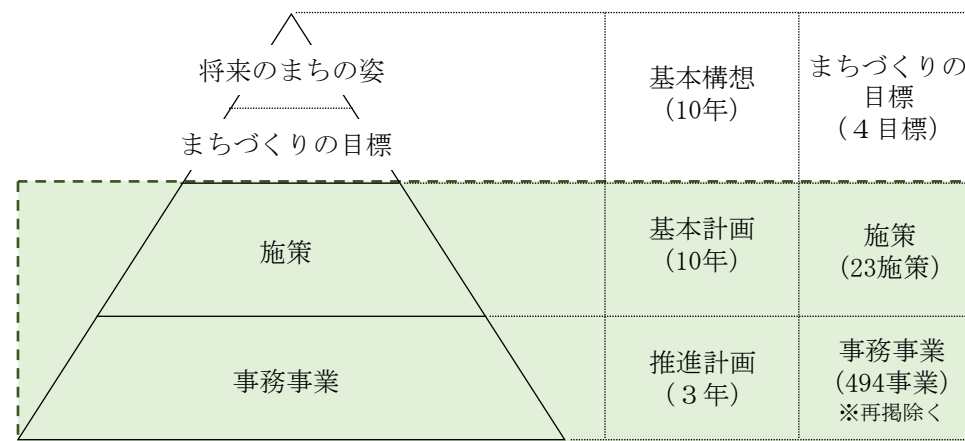
(2) 施策・事務事業評価

施策は、「事務事業の進捗状況」「市民と一緒に目指す取り組みの状況」「地域社会の状況」という3つの視点から、目指す姿の実現に向けた進捗状況の評価検証します。また、客観性を確保するため、それぞれの状況を点数化し合計点に応じて進捗状況の判定を行います。

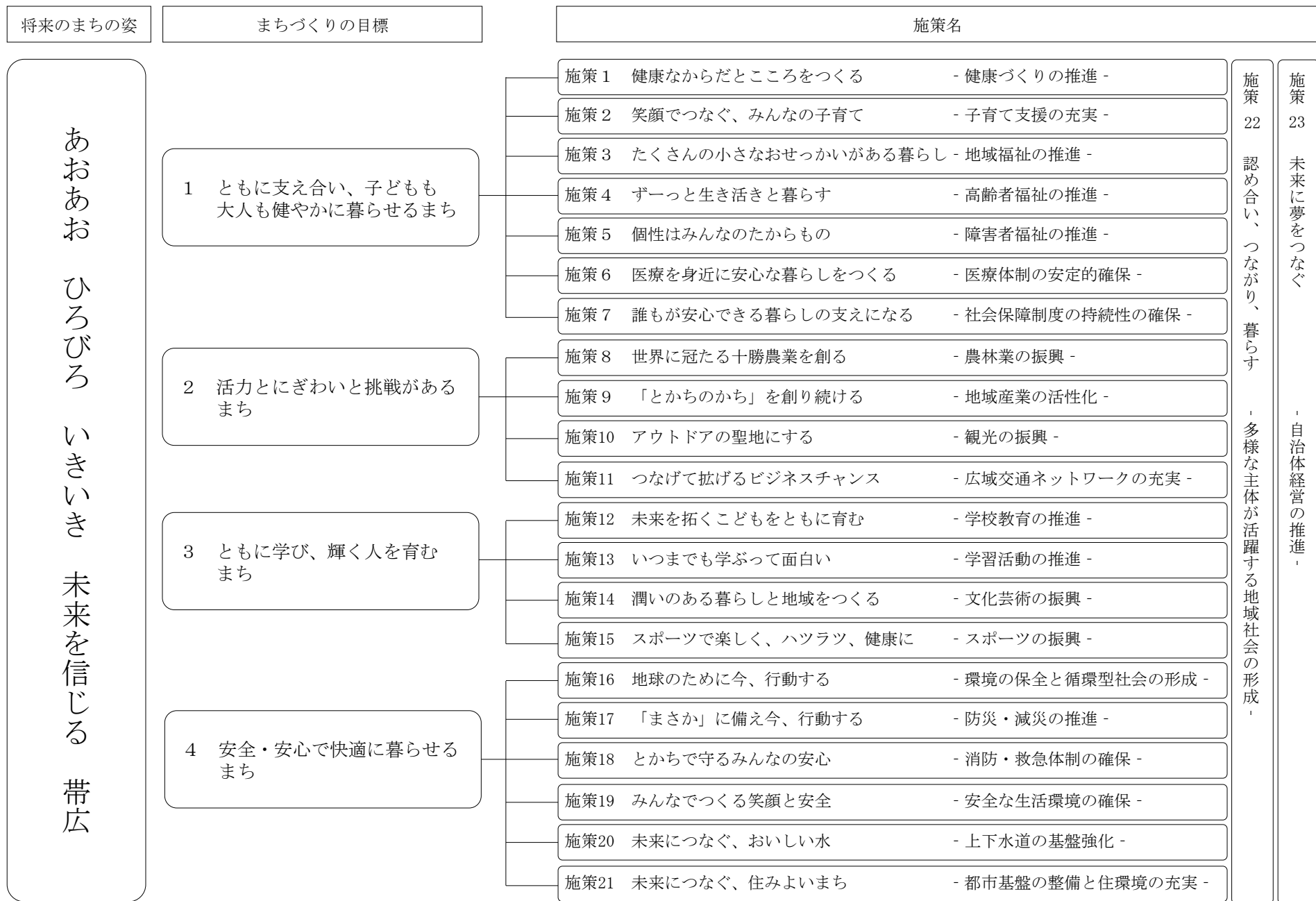
事務事業は、事業ごとに掲げる目標の達成に向け、毎年度取り組みを評価し、内容の妥当性や未達成の要因等を検証します。

施策・事務事業の評価結果は、予算編成や推進計画の改訂・次期推進計画の策定に活用するとともに、市民等へ公表します。

総合計画と施策・事務事業評価



3. 第七期帯広市総合計画の体系図



4. 評価年度

本評価表は、令和4年度の施策・事務事業に対する評価結果を取りまとめたものです。

5. 評価表の見方

(1) 施策評価表

施策評価表には、目指す姿、市が実施した事務事業の取り組みを示す「Ⅰ事務事業の進捗状況」、市民と市と一緒に目指す目指そう指標の実績と要因分析を示す「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」、地域社会の状況を示す「Ⅲ関連データの状況」と、これらに基づく施策評価の結果を記載しています。

施策評価は、「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の進捗率等を点数化し、その合計点に応じて、「順調」「概ね順調」「さらなる進捗が必要」の3区分で判定します。

①「Ⅰ事務事業の進捗状況」

事務事業の主な取り組み内容を記載しています。

○進捗率の算出・点数化の方法

施策の事務事業数(再掲除く)に占める、目標を達成した事務事業数と予定していた事業を実施することができた事務事業数(目標設定をしていない事務事業)の割合で進捗率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

A ≥ 80%	80% > A ≥ 60%	60% > A
40点	30点	25点

例)

$$\frac{[1(\text{目標を達成できた事務事業数})+3(\text{事業を実施した事務事業数})]}{[9(\text{施策の全事務事業数})]} \times 100 = 44.4\% = 25\text{点}$$

施策評価表 (Ⅰ事務事業の進捗状況)

The screenshot shows a digital interface for a policy evaluation table. At the top, it identifies 'Policy 1: Health Promotion' with a goal of 'Creating a healthy city'. Below this, a 'Target Image' section contains a message about health management. The main section, 'Progress Status of Policy 1', shows a progress rate of 44.4%, which corresponds to a score of 25 points out of a possible 40. A list of activities is provided, including promoting health activities, supporting digital health, and disaster preparedness. An image shows a group of people participating in a health activity.

②「II 目指そう指標の進捗状況」

第1次推進計画において示した目標値に対し、達成したかどうかを評価し、これまでの動向や結果に対する要因分析を記載しています。なお、進捗率の把握に用いる実績値は、評価年度において把握可能な最新年度のデータを使用します。

○進捗率の算出・点数化の方法

目標値に対する実績値の割合で進捗率を算出し、これに応じて評価年度毎に下表のとおり点数化を行います。

※1	A ≥ 50%	50% > A ≥ 45%	45% > A
※2	A ≥ 75%	75% > A ≥ 67.5%	67.5% > A
※3	A ≥ 100%	100% > A ≥ 90%	90% > A
	40点	30点	25点

※1 令和2年度評価の基準

※2 令和3年度評価の基準

※3 令和4年度評価の基準

(施策4「高齢者福祉の推進」は、推進計画最終年度まで同じ目標値のため、毎年度この基準を使用)

例) [82.3% (評価年度の実績値) - 81.7% (基準値)] /

[85.5% (目標値) - 81.7% (基準値)] × 100 = 15.8% = **25点**

施策評価表 (II 目指そう指標の進捗状況)



※ 各指標で定めた基準年から4年後の年を目指そう指標の目標年度としています。

※ 全国・全道等のデータは、要因分析を行う際の参考資料として掲載しています。なお、全国等の数値がなく比較ができない指標もあります。

※ グラフの基準値と目標値を結ぶ白線は各年度の目標水準を表しています。

③「Ⅲ関連データの状況」

施策に関する地域社会の状況を示すデータの推移を示しています。また、下表のとおり、データ毎に推移に応じた得点を付しています。

得点	増加が望ましいデータ	基準以上が望ましいデータ
5	策定時より増加・前年より増加	—
3	策定時(H30又はR1)より増加	基準以上
2	前年より増加	基準未満だが前年より改善
0	いずれも該当なし	基準未満で前年以下

○得点率の算出・点数化の方法

全データの最高得点に占める、合計得点の割合で得点率を算出し、これに応じて下表のとおり点数化を行います。

A ≥ 80%	80% > A ≥ 60%	60% > A
20点	15点	10点

例) $[2(2点 \times 1つ) + (0点 \times 2つ)] / 15$ (データ数3つ × 最高得点5点) $\times 100 = 13.3\% = 10点$

④「Ⅳ施策評価」

①から③を踏まえ、施策の目指す姿の実現に向けて実施した主な取り組みや課題などを記載しています。

○施策評価の判定

「Ⅰ事務事業の進捗状況」「Ⅱ目指そう指標の進捗状況」「Ⅲ関連データの状況」の点数の合計点に応じて下表のとおり判定します。

例) ①25点 + ②25点 + ③10点 = **60点**

施策評価の判定結果はさらなる進捗が必要

100点	95点	90点	85点	80点	75点	70点	65点	60点
順調に進んでいる			概ね順調に進んでいる			さらなる進捗が必要		

施策評価表 (Ⅲ関連データの状況)



※ 統計によって、公表時期が異なるため、基準となる策定時の年度に違いがあります。

※ 施策によって、データの設定数に違いがあります。

施策評価表 (Ⅳ施策評価)

Ⅳ 施策評価	さらなる進捗が必要 (Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ = 60点 / 100点)
<p>市民の主体的な健康づくりに向け、LINEによる健康体操動画を配信したほか、歩行計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進や、スマートライフプロジェクト登録企業・団体の加入促進などに取り組んだことにより、「健康と思っている市民の割合【図1-1】」は、目標に及ばなかったものの、前年より上昇しました。</p> <p>今後も医療機関や企業等と連携して、対面での健康講座を継続しながら、SNS上での動画配信など、運動に取り組みやすい環境の充実を図り、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。</p> <p>生活習慣の予防など健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活、運動習慣に関する周知啓発や保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組みましたが、「HbA1c有見者の割合【図1-3】」はほぼ横ばいで推移しています。健康講座の開催や対象者への個別面接の実施などを通して生活習慣の改善を図り、発症・重症化予防につなげていく必要があります。</p> <p>また、がん予防のパネル展示や医療機関でのポスター掲示、ピンクリボン運動、がんに対する正しい知識の周知啓発などに取り組み、「がん検診平均受診率【図1-2】」は上昇しています。今後も、がんに対する正しい知識の周知啓発や働き世代が受診しやすい環境づくり、アプリを介した効果的ながん検診の周知啓発など、受診率向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。</p> <p>相談窓口の周知啓発、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成など、生きることの包括的支援の推進に向けた取り組みを継続して実施していることにより、「10万人当たりの自殺者数【図1-4】」は単年ごとの増減はありますが、計画策定時からみると、やや増加しています。自殺は社会・経済情勢や、新型コロナウイルス感染症の流行による生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等と連携し、自殺予防につなげていくことが必要です。</p> <p>施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。</p>	

(2) 事務事業評価表

事務事業評価表には、事務事業の名称、目的、担当課のほか、当該年度の事業実施状況や決算額などを記載しています。

市に一定の裁量がある事務事業には、推進計画策定時から3年後に到達すべき目標を設定しています。評価検証欄には、評価年度の目標に対する達成状況のほか、取り組みの妥当性や未達成の要因等を記載しています。

事務事業評価表

施策	取組	番号	事務事業	健康づくり推進事業					
日	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通じ、市民の健康づくりを推進します。				担当課	健康推進課			
日	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について					目標 4,500人を目標とします。			
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進 健康マイレージの推進 スマートライフプロジェクトおびひろの推進 おびひろ健康まっりの実施 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	1,723	1,563	1,790				
		特定財源	200	200	200				
		一般財源	1,523	1,363	1,590				
		指標名	健康マイレージ事業参加者数			単位	人		
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		1,500	3,000	4,500					
		2,230	2,878	3,701					
評価検証	R4年度の健康マイレージ事業の参加者数は3,701名であり、目標の達成には至りませんでした。周知カードなどの媒体を用い、関係団体や保健事業内での周知を行いました。協賛企業の加入が少なく事業としての魅力が不足したことが要因であると考えます。今後、改めて協賛企業の募集や効果的な周知等が必要と考えます。								

- ※ 「目標」は推進計画最終年度(R4年度)の目標です。なお、法律で義務付けされている事業、国等の財源の影響を受けやすい整備事業、施設の維持管理事業、内部管理事業には、目標を設定していません。
- ※ 目標を設定している事務事業のうち、定量的な指標の設定が難しい事業については、事業の実施状況などに基づき定性的な評価を行っています(指標名“一”としています)。
- ※ 事業実施状況には主に事業量(人数・回数等)を示しています。
- ※ 事業費には会計年度任用職員費用を含めているため、決算書等の合計額と一致しない場合があります。

6. 施策評価結果の概要

まちづくりの 目標と施策番号		I 事務事業の進捗状況 採点結果			II 目指そう指標の進捗状況 採点結果			III 関連データの状況 採点結果			IV 施策評価の判定	
1 ともに支え合い、 健やかに暮らせるまち	施策1	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
	施策2	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策3	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
	施策4	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
	施策5	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
	施策6	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策7	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	90点	順調に進んでいる
2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	施策8	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策9	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策10	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	60点	さらなる進捗が必要
	施策11	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
3 ともに学び、輝く人 を育むまち	施策12	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
	施策13	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる
	施策14	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
	施策15	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる

まちづくりの目標と施策番号		Ⅰ 事務事業の進捗状況 採点結果			Ⅱ 目指そう指標の進捗状況 採点結果			Ⅲ 関連データの状況 採点結果			Ⅳ 施策評価の判定	
4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	施策16	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	75点	概ね順調に進んでいる
	施策17	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	70点	さらなる進捗が必要
	施策18	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	100点	順調に進んでいる
	施策19	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	85点	概ね順調に進んでいる
	施策20	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	100点	順調に進んでいる
	施策21	40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	95点	順調に進んでいる
施策22		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	65点	さらなる進捗が必要
施策23		40点	30点	25点	40点	30点	25点	20点	15点	10点	80点	概ね順調に進んでいる

施策の進捗状況

	1 ともに支え合い、 子どもも大人も 健やかに暮らせるまち	2 活力とにぎわいと 挑戦があるまち	3 ともに学び、 輝く人を育むまち	4 安全・安心で 快適に暮らせるまち	合計
順調に進んでいる	2 施策	0 施策	0 施策	3 施策	5 施策
概ね順調に進んでいる	3 施策	2 施策	3 施策	2 施策	11 施策
さらなる進捗が必要	2 施策	2 施策	1 施策	1 施策	7 施策

※施策22及び施策23は、各まちづくりの目標に含めていないため、合計と合いません。



施策1 健康なからだところをつくる –健康づくりの推進–



目指す姿

誰もが自分の健康は自分でつくるという意識を持ち、健康管理に取り組み、心身ともに健やかに暮らしています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 44.4% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民の主体的な健康づくりを進めるため、健康づくりに関するボランティアの育成及び活動の促進や、歩数計測機能付きのアプリを活用した自主的な運動を促進。
- 働き盛り世代の健康づくりを促進するため、「スマートライフプロジェクト」参画企業等の登録を促進。
- 健康に関する意識を高めるため、LINEによる健康体操動画を配信。
- 生活習慣病予防や重症化予防のため、各種がん検診の実施や検診費用の一部助成、健康相談・個別訪問や保健指導、健康教育などを実施。
- 自殺予防のため、ゲートキーパーの養成や多分野合同研修会の実施のほか、関係機関と連携した取り組みを推進。
- 感染症の発生や感染拡大防止のため、予防接種の啓発・実施や新型コロナウイルスなどの感染症の発生状況や予防に関する情報を発信。



市民への運動支援の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 60.5% :

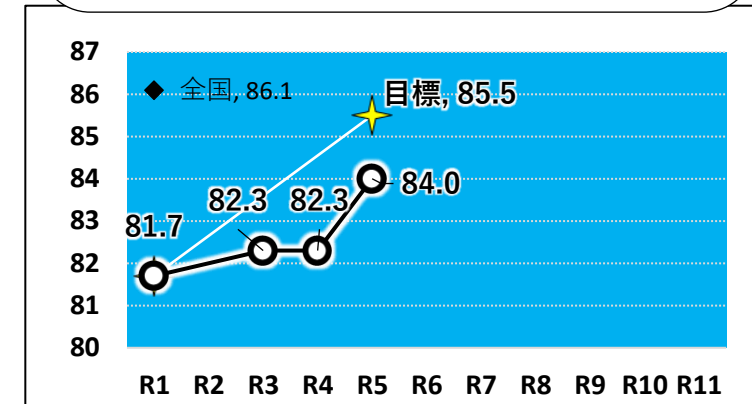
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
健康と思っている市民の割合		↗
指標の考え方	市民による生活習慣病の予防など健康に対する正しい知識の習得・実践や、市による健康教育や各種検診の実施などにより、上昇を目指します。	基準値 (R1)
		実績値 (R5)
		目標値 (R5)

【図1-1】健康と思っている市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「健康と思っている市民の割合」は84.0%であり、基準値や前年度を上回っていますが、目標を達成しませんでした。

新型コロナウイルス感染症の影響により、人が集まる活動を自粛する動きが見られ、健康づくりをテーマとした健康講座の依頼が少なかったほか、事業への登録企業の加入が進まず、目標には及ばなかったものの、アプリの活用などによる自主的な運動の促進やスマートライフプロジェクト登録企業・団体への働きかけなどを行ったことが、前年より上昇した要因であると考えます。

今後も対面での健康講座の継続はもとより、SNS上での動画配信など、運動に取り組みやすい環境の充実を図り、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

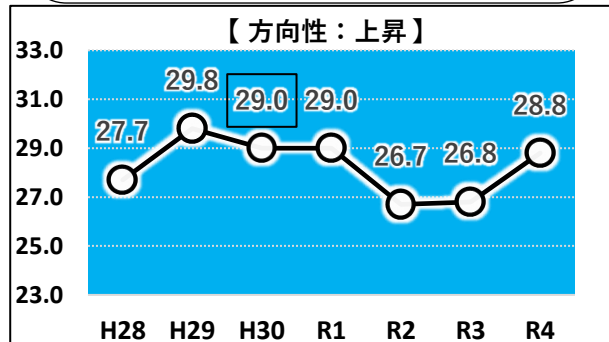
得点率 13.3% :

20点

15点

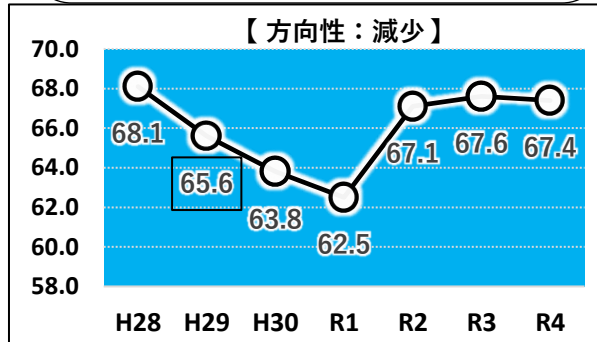
10点

【図1-2】 がん検診平均受診率 (%)



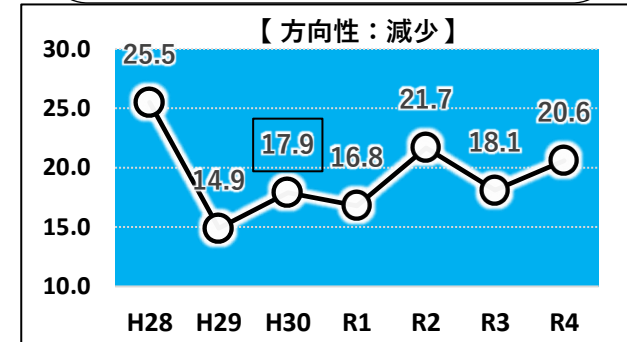
策定時以下・前年より増加：2点

【図1-3】 糖尿病リスクが高い (HbA1c有所見者) 人の割合 (%)



策定時以上・前年以上：0点

【図1-4】 10万人当たりの自殺死亡者数 (人/10万人)



策定時以上・前年以上：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ= 60点 /100点)

市民の主体的な健康づくりに向け、LINEによる健康体操動画を配信したほか、歩行計測機能付きアプリを活用した自主的な運動の促進や、スマートライフプロジェクト登録企業・団体の加入促進などに取り組んだことにより、「健康と思っている市民の割合【図1-1】」は、目標に及ばなかったものの、前年より上昇しました。

今後も医療機関や企業等と連携して、対面での健康講座を継続しながら、SNS上での動画配信など、運動に取り組みやすい環境の充実を図り、市民一人ひとりの健康増進につなげていく必要があります。

生活習慣の予防など健康に対する正しい知識の習得や実践に向け、健康的な食生活、運動習慣に関する周知啓発や保健指導、受診が必要な方への勧奨等に取り組みましたが、「HbA1c有所見者の割合【図1-3】」は令和2年度に上昇後、ほぼ横ばいで推移しており、新型コロナウイルス感染症の流行による行動制限や感染者増加に伴い自宅で過ごす時間が増えた等、活動量の低下などが影響しているものと捉えております。今後も有所見者の推移を見ていくとともに、健康講座の開催や対象者への個別面接の実施などを通して生活習慣の改善を図り、発症・重症化予防につなげていく必要があります。

また、がん予防のパネル展示や医療機関でのポスター掲示、ピンクリボン運動、がんに対する正しい知識の周知啓発などに取り組み、「がん検診平均受診率【図1-2】」は上昇しています。今後も、がんに対する正しい知識の周知啓発や働き世代が受診しやすい環境づくり、アプリを介した効果的ながん検診の周知啓発など、受診率向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。

相談窓口の周知啓発、相談機関同士の連携強化やゲートキーパー養成など、生きることの包括的支援の推進に向けた取り組みを継続して実施していることにより、「10万人当たりの自殺者数【図1-4】」は単年ごとの増減はありますが、計画策定時からみると、やや増加しています。自殺は社会・経済情勢や、新型コロナウイルス感染症の流行による生活環境の変化など、様々な要因が複雑に関係しているものと考えられることから、引き続き、関係機関等が連携し、自殺予防につなげていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策2 笑顔でつなぐ、みんなの子育て – 子育て支援の充実 –

目指す姿

地域全体で子育てを支え、安心して子どもを産み育て、子どもたちが健やかに成長しています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 80.5% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない支援のため、子育て世代包括支援センターにおける相談対応や、様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型の相談支援、経済的支援を一体的に実施。
- 地域で子育てを支えるため、ファミリーサポートセンター事業やすこやかネット事業、子育て応援事業所登録制度の周知などを実施。
- 妊娠や出産、育児に関する精神的・経済的不安の軽減を図るため、妊娠出産サポート事業を実施。
- 母子の健康増進と健康意識の向上を図るため、妊婦・乳幼児健康診査による異常の早期発見のほか、出産・育児に関する情報提供や助言などを実施。
- 発達の遅れや障害のある児童とその家庭を支援するため、発達支援センターやこども発達相談室の運営などを実施。
- 保護者の多様化する保育ニーズに対応するため、低年齢児の受入枠の拡大をはじめ、延長保育や休日保育、特別支援保育などを実施。
- 子どもたちの様々な体験活動や、地域ぐるみでの子育てを推進するため、帯広市青少年育成者連絡協議会への支援を実施。



赤ちゃん訪問の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲328.6% :

40点

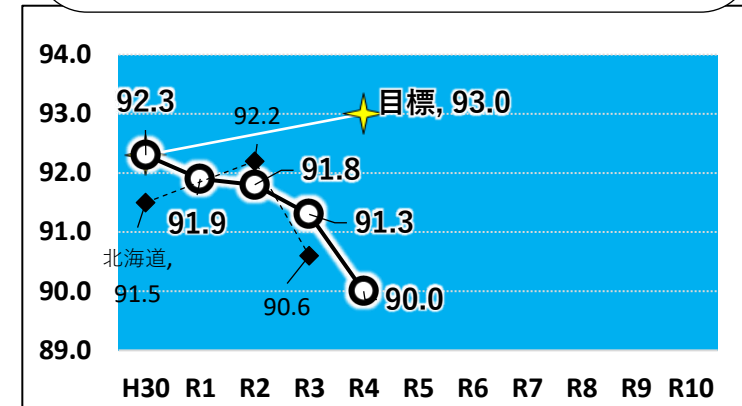
30点

25点

目指そう指標名		方向性
この地域で子育てをしたいと思う親の割合		↗
指標の考え方	基準値 (H30)	92.3%
	実績値 (R4)	90.0%
	目標値 (R4)	93.0%

市民による子育てボランティア活動や、企業等による子育てしやすい職場環境づくり、市による総合的な子育て支援などにより、上昇を目指します。

【図1-1】この地域で子育てをしたいと思う親の割合 (%)



【指標の動向・要因分析】

「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は90.0%であり、目標を達成しませんでした。

市では、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応を行っているほか、企業における育児休業の推進や、ファミリーサポートセンター事業など地域全体で子育てを支える取り組みを進めていますが、こどもの新型コロナウイルス感染症の拡大などに伴う各種講座や親子の交流事業の中止・縮小、子育てボランティアの利用自粛などにより、育児相談や就労時保育の利用機会が減少していることなどが影響していると考えます。

子育て世帯をとりまく環境の変化などを注視しながら、妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目のない相談対応や制度の見直しなどにより、子育てしやすい環境づくりに取り組む必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

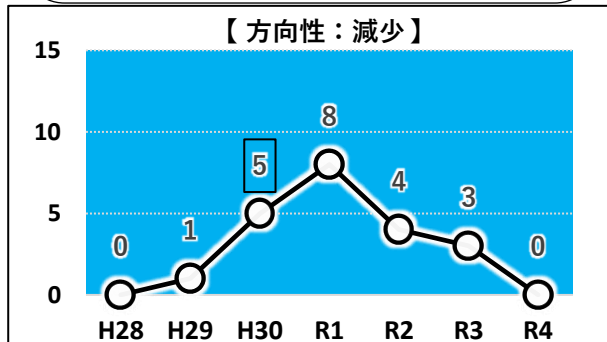
得点率 100.0% :

20点

15点

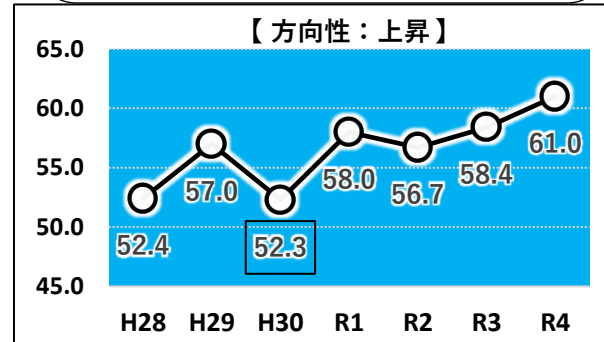
10点

【図1-2】 4月1日時点の保育所等の待機児童数（人）



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-3】 育児休業制を規定している事業所の割合（%）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ＝ 85点 /100点〕

市民や企業など地域全体で子育てを支える環境づくりに向け、妊娠や出産、子育てに対する悩みなどへの相談対応や必要な支援につなげる伴走型の支援の充実、地域の子育てに関する情報の発信、地域で子育て家庭を支えるファミリーサポートセンター事業などに取り組んでおり、同センターの会員数が増加するなど子育てを支える環境の裾野が広がっています。一方で、この地域で子育てをしたいと思う親の割合（図1-1）は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う各種講座や親子の交流事業の中止・縮小、子育てボランティアの利用自粛などにより、育児相談や就労時保育の利用機会が減少していることなどが影響したことで、低下しています。

今後も、これまでの取り組みを効果的に進め、妊娠期から出産・子育てに至るまでの切れ目のない支援を通し、地域で子育てを支える環境づくりにつなげます。

幼児教育・保育サービスの安定的な提供を図るため、認可保育所における低年齢児の受入枠の拡大を進めたことなどにより、「4月1日時点の保育所等の待機児童数【図1-2】」は前年より減少し、0人を達成しました。今後も共働き世帯の増加を背景とした保育ニーズは高い状況が続くと見込んでいることから、引き続き受入体制の確保などに努めていく必要があります。

子育てをしながら働き続けることができる環境づくりを促進するため、市ホームページや事業所雇用実態調査を通じて子育て応援事業所の登録制度や促進奨励金制度の周知などに取り組んだことにより「育児休業制を規定している事業所の割合【図1-3】」は前年より増加しました。依然として事業規模の小さい事業所ほど導入されていない傾向にあることから、今後も企業などへの周知啓発を行うなど、子育てしやすい環境づくりを進めます。

青少年の健全育成を図るための取り組みとしては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業の内容を工夫し実施しました。今後も関係団体と協力し、引き続き魅力ある体験活動機会の提供を進めます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策3 たくさんの小さなおせっかいがある暮らし — 地域福祉の推進 —

目指す姿

介護を必要とする高齢者や障害のある人など、日常生活において支援を必要とする人が、身近な人とのつながりや支え合いによって、社会から孤立せず、住み慣れた地域で安心して暮らしています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 50.0% :	40点	30点	25点
-------------	-----	-----	-----

- 【事務事業の主な取り組み】
- 生活上様々な問題を抱えている地域住民への相談対応や関係機関等との連絡調整などを行うため、民生委員・児童委員の担い手の確保及び活動を支援。
 - 住民相互の交流や親睦を図るため、地域交流サロンの活動を支援。
 - 地域で支え合い活動等を行うボランティアの養成及び活動を支援。
 - 判断能力が十分でない人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用促進を図るため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成を実施。
 - 高齢者の健康保持や生活に関する相談など、日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、地域包括支援センターを運営。
 - 高齢者や障害のある人への地域の見守り体制の強化のため、民間事業所や医療機関など多様な団体等の連携による、きづきネットワーク事業を推進。
 - 複合的な困りごとや世帯全体の困りごとなど分野をまたぐ課題に対応するため、地域福祉にかかる関係団体等との連携等による包括的な相談・調整を推進。



地域交流サロンの様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲4.7% :

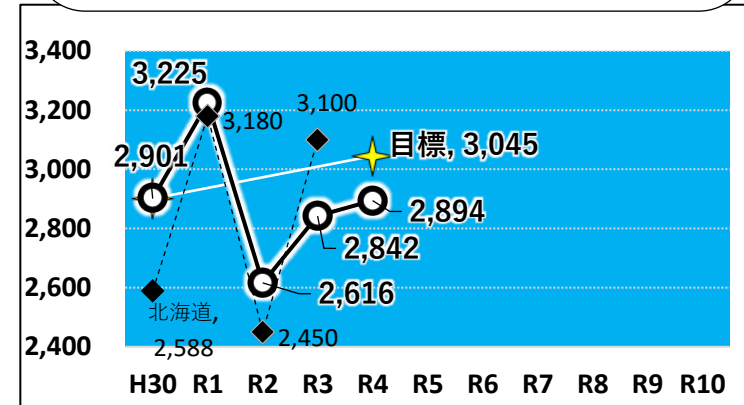
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
10万人あたりのボランティア登録者数		↗
指標の考え方	市民によるボランティア活動への参加や、市による福祉団体等への活動支援などにより、増加を目指します。	
	基準値 (H30)	2,901人
	実績値 (R4)	2,894人
	目標値 (R4)	3,045人

【図1-1】10万人あたりのボランティア登録者数（人）



【指標の動向・要因分析】

地域活動等を行うボランティアとして帯広市社会福祉協議会に登録している「10万人あたりのボランティア登録者数」は2,894人であり、目標を達成しませんでした。

新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念した市民の活動自粛などが見られたことが要因と考えますが、ボランティアセンターの運営や人材の育成・確保に向けたボランティア養成講座など、社会福祉協議会による取り組みの支援を行ったことで、増加傾向となっています。

今後も、ボランティア養成講座の開催回数の拡大や、ボランティア活動にかかる普及啓発、参加の呼びかけ強化などを通し、さらなる登録者数の増加をはかり、地域での支え合いの仕組みづくりの促進につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

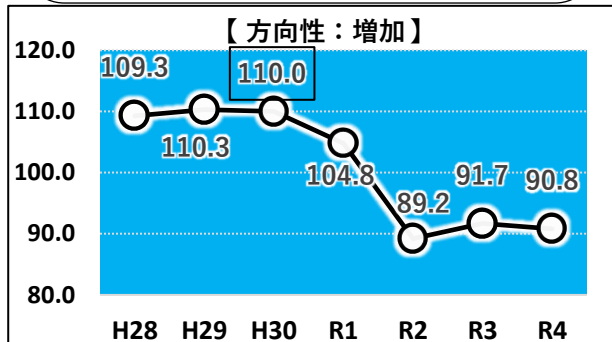
得点率 33.3% :

20点

15点

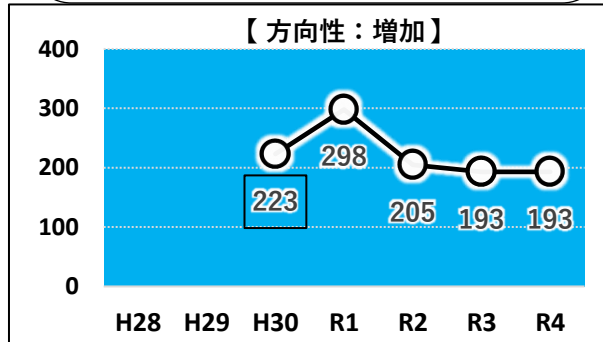
10点

【図1-2】 民生委員・児童委員 1人当たりの活動日数（日）



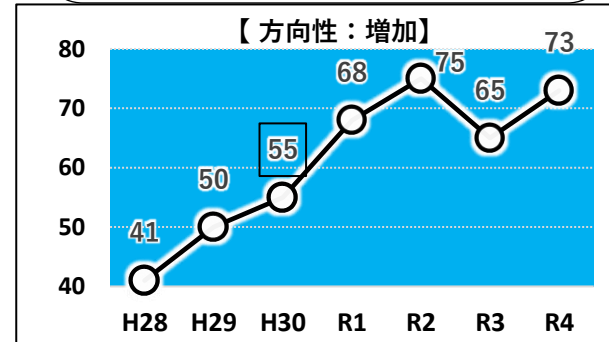
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 地域包括支援センターへ近隣住民等からの相談件数（件）



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】 法人後見支援員の登録者数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ= 60点 /100点)

市民相互の支え合いの意識を高め、様々な問題を抱えている人への相談対応や見守り体制の強化などを行うため、民生委員・児童委員による相談支援や多様な団体と連携した「きづきネットワーク事業」の推進を図ったほか、高齢者が日常生活を送る上で生じている課題を包括的に支援するため、「地域包括支援センター」の運営に取り組みました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大への懸念による活動の自粛などを背景に、「地域包括支援センターへの近隣住民等からの相談件数【図1-3】」は前年と同数となり、「民生委員・児童委員一人当たりの活動日数【図1-2】」は前年度より減少しています。

一方、「10万人あたりのボランティア登録者数【図1-1】」は、オンライン研修など様々な工夫を行ったことで、新規登録につながり、目標には及びませんが、増加傾向にあります。

高齢化や核家族化の進行等を背景とした単身世帯の増加により、社会的に孤立し生活に様々な不安や悩みを抱えている人は、今後も増加していくことが見込まれることから、引き続き地域での見守り合い・支え合いの重要性の啓発や、身近にある相談窓口の周知を図り、相談支援体制の強化を推進する必要があります。

福祉団体などと連携した福祉活動の担い手の育成・確保のため、成年後見支援センターの運営や市民後見人の養成などを進めたことで、判断能力が不十分な市民の生活を支える「法人後見支援員の登録者数【図1-4】」は、前年・策定時をともに上回りました。今後も持続的な権利擁護を図っていくため、成年後見人制度利用者の増加を見据えたさらなる市民後見制度の啓発のほか、関係機関と連携した法人後見支援員の育成や活動促進に取り組んでいきます。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策4 ゴーっと生き活きと暮らす – 高齢者福祉の推進 –



目指す姿

高齢者が、仕事や地域活動などを通して社会と関わりながら、必要な福祉サービスを安心して受けられ、住み慣れた地域で自分らしく生き活きと暮らしています。



事務事業の進捗状況

進捗率 71.4% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 高齢者及び介護する家族の不安解消などのため、ひとり暮らし高齢者、寝たきり・認知症高齢者登録のほか、各種サービスによる生活支援を実施。
- 高齢者の権利擁護のため、被虐待高齢者の保護と養護者に対する支援を実施。
- 高齢者が安心して生活できる環境を整備するため、グループホーム等の地域密着型サービス事業所の整備支援を実施。
- 高齢者の社会参加の促進のため、高齢者バス無料乗車証を発行。
- 高齢者の社会活動や生きがいづくり促進のため、老人クラブへの支援を実施。
- 認知症に関する理解促進のため、認知症サポーターを養成。
- 高齢者の健康保持・増進や生活の安定のため、地域包括支援センターによる相談支援や権利擁護を実施。
- 生きがいや役割を持ちながら地域で元気に過ごすことができるよう、趣味活動や簡単な運動などを通じた介護予防を実施。
- 在宅医療と介護の連携を推進するため、医療機関やケアマネジャーとの体制づくりを支援。
- ひとり暮らし高齢者などの生活上のちょっとした困りごとを地域で助け合い支えていくため、掃除や買い物などを手助けする生活援助員や、支え合いを日常生活の中で実践できる人を養成。
- 関係機関と連携した企業とのマッチングによる就労機会の確保。



活動支援者の派遣



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 100.3% :

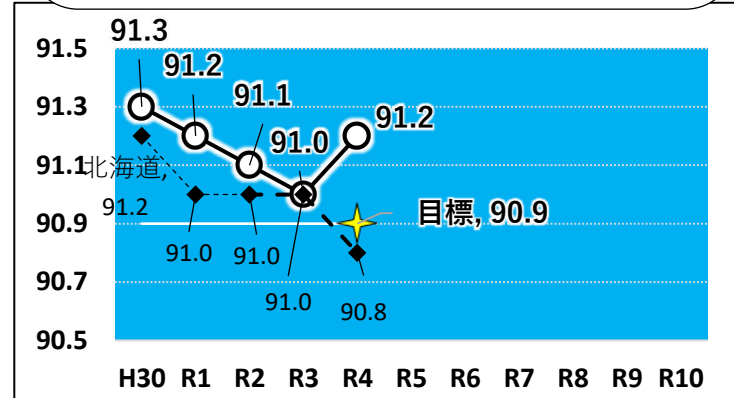
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合		→
指標の考え方	高齢者による適度な運動やバランスのとれた食生活の実践などの健康増進の取り組みや、市による介護予防の取り組みの推進などにより、維持を目指します。	基準値 (H30) 91.3%
		実績値 (R4) 91.2%
		目標値 (R4) 90.9%

【図1-1】 要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合 (%)



【指標の動向・要因分析】

「要介護度が「要介護1」までの高齢者の割合」は91.2%であり、目標を達成しました。

日常生活の自立に向けた介護サービスの提供や、地域包括支援センター・介護事業所による介護予防の取り組みの実施、介護予防教室への参加や自主的な軽運動の実践などが進み、介護の重度化の抑制につながっているものと考えます。

今後も引き続き関係機関等と連携し、介護予防の普及啓発や活動支援、社会参加の促進などに取り組めます。



III 関連データの状況

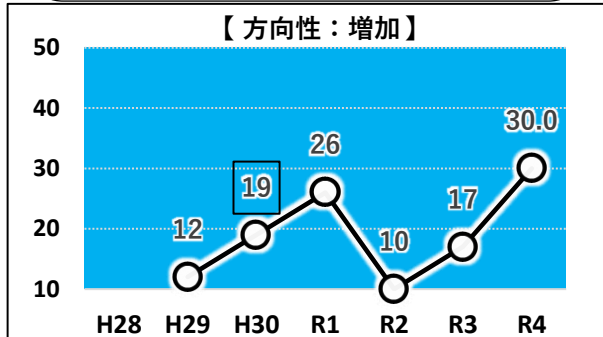
得点率 100.0% :

20点

15点

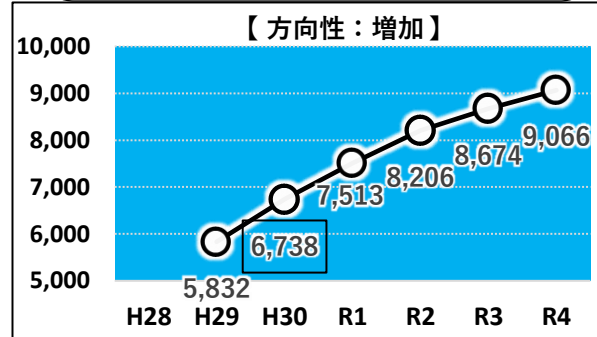
10点

【図1-2】 地域支え合いを推進する協議体の実施回数 (回)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】 雇用保険の高年齢被保険者の年平均数 (人)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 90点 /100点〕

高齢者の生活支援に向け、ひとり暮らし高齢者などへの生活支援や地域密着型サービス事業所等の整備支援、介護予防サービスの提供のほか、地域包括支援センターでの個別ケア会議の開催などに取り組み、地域での支援ネットワークの強化や、生活支援が必要な人に対する適切なサービス提供につながっています。

ちょっとした支え合いサポーターを中心に生活支援の課題を地域住民で共有し、実践につなげる「地域支え合いを推進する協議体の実施回数【図1-2】」は、地域住民主体の生活支援を行う団体の設立に向けた積極的な支援を行ったことなどにより、前年を上回っています。

少子高齢化は今後も進んでいくことが見込まれており、高齢者等の生活支援ニーズは高まっていくことから、引き続き、日常生活上の課題を地域の支え合いで解決する仕組み作りを進めていく必要があります。

高齢者の社会参加の促進に向け、「高齢者おでかけサポートバス事業」による外出支援、老人クラブ活動等への支援、簡単な運動などを通じた介護予防事業、掃除や買い物などを手助けする生活援助員の養成などに取り組んだほか、関係機関と連携した企業とのマッチングによる就労機会の確保などにより、「高齢者の雇用保険被保険者数【図1-3】」の増加につながっています。

今後も、高齢者の地域活動への参加促進や就労促進に向け取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策5 個性はみんなのたからもの — 障害者福祉の推進 —

目指す姿

障害に対する市民理解が深まり、障害のある人が地域社会の一員として、安心して暮らしています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 80.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 障害や障害のある人への理解が深まるよう、市民活動プラザ六中での地域住民との交流など各種事業を通じた交流や普及啓発を促進。
- 権利擁護や虐待・差別防止のため、関係機関の連携による早期対応の取り組みと周知啓発を実施。
- 支援に携わる関係者間の情報共有や連携強化、人材の育成、地域生活支援拠点の整備に係る検討を進めるため、帯広市地域自立支援協議会の開催及び研修等を実施。
- 障害のある人やその家族が安心して暮らせるよう、相談支援や意思疎通を円滑化するためのコミュニケーション支援事業を実施。
- 地域における自立生活の促進のため、障害福祉サービスの提供や自立支援医療等を給付。
- 希望や特性に応じて働ける環境を整備し就労を促進するため、就労支援事業所への研修や企業に対する障害者雇用への啓発活動を実施。
- 障害のある人の自立や社会参加を促進するため、身体機能の回復・強化を図ったトレーニングや日中活動の機会を提供する障害者生活支援センターを運営。



手話出前講座の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 37.5% :

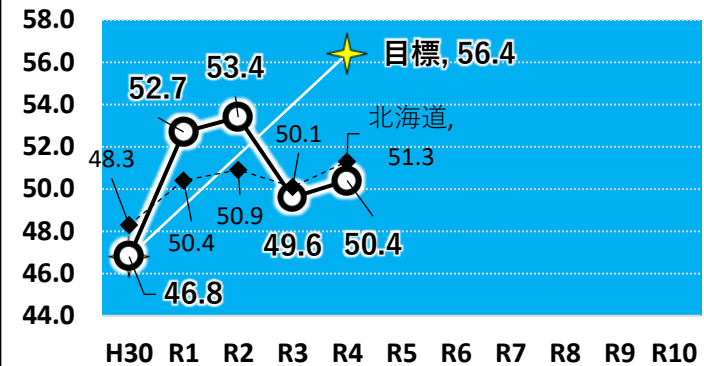
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
障害者雇用率を達成した企業の割合		↗
指標の考え方	民間企業等による障害のある人が能力を發揮しやすい雇用・職場環境づくりなどの取り組みや、市による就労支援などにより、上昇を目指します。	
	基準値 (H30)	46.8%
	実績値 (R4)	50.4%
	目標値 (R4)	56.4%

【図1-1】障害者雇用率を達成した企業の割合 (%)



【指標の動向・要因分析】

「障害者雇用率を達成した企業の割合」は50.4%であり、基準値を上回っていますが、目標を達成しませんでした。

市役所職場体験実習や就労移行・継続支援事業を通じた相談対応・研修など、障害のある方に対する就労意欲の向上や職場定着に向けた取り組みを進めてきたほか、関係機関や企業等とともに障害者雇用の課題共有や意見交換などを行ってきました。また、令和4年度より、企業における障害者雇用の理解促進に向け、企業訪問や障害者雇用の事例収集、事例集の作成、関係機関との連携強化などにも取り組んでいます。

しかしながら、令和3年度に民間企業における障害者の法定雇用率が2.2%から2.3%に引き上げられたことに伴い、対象事業者が拡大し、新たに障害者雇用経験のない企業が増加したことを背景として、達成した企業の割合は大きく減少しました。令和4年度では増加傾向が見られたものの、目標までには至っていない状況です。障害者雇用が一部の企業に集中し面的な拡大が進んでいないことや、福祉就労から一般就労への移行が進んでいないことも要因と考えます。

今後も、関係機関と連携し、雇用事例集を活用した障害者の受入れ拡大に向けた理解促進の取り組みや、就労支援事業所の支援員のスキル向上に向けた働きかけなどを通じ、障害のある人が能力を發揮しやすい雇用・職場環境づくりにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

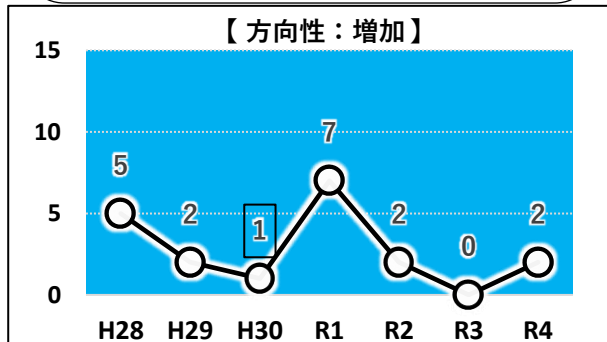
得点率 70.0% :

20点

15点

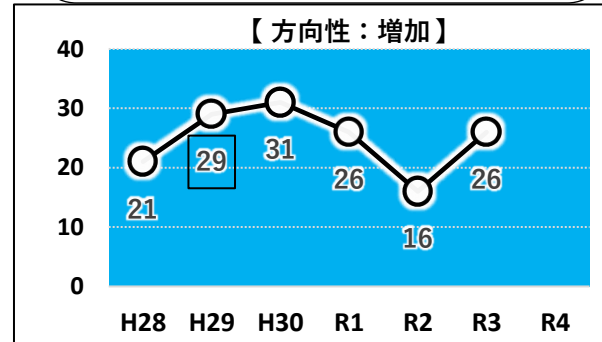
10点

【図1-2】施設入所者の地域生活
移行者数（人）



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】福祉施設から一般就労への
移行者数（人）



策定時より減少・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ= 80点 /100点)

障害の特性など、障害のある人の理解促進に向け、出前講座やおびひろ市民学における手話講座の開催、障害者週間記念事業の実施、ヘルプマークの配布などに取り組みました。令和6年度からは、改正障害者差別解消法が施行され、民間企業においても障害者への合理的配慮が義務化されることから、これまでの取り組みに加え、SNSなどを活用した効果的な情報発信や市民フォーラム等による啓発活動を行うほか、帯広市地域自立支援協議会の障害者差別解消部会において、障害のある人となない人が共生していく社会の実現に向けた、問題意識の共有や課題解決に向けた協議を行います。

障害のある人が安心して暮らせる地域社会の構築に向け、相談支援や生活介護・短期入所など障害福祉サービスの提供を行ったほか、地域生活支援拠点の面的な整備の一環として、圏域相談支援体制を整備し、相談機能の充実を図りました。近年では、グループホームや、施設での短期入所をはじめとする日中活動系サービスの事業所など、障害特性に応じたサービスを提供できる事業所が増え、施設入所だけでなく地域で暮らすための選択肢が徐々に広がってきており、令和4年度の「施設入所者の地域移行者数【図1-2】」は前年より増加し2人となっています。

引き続き、緊急時の受入れ対応などを行う地域生活支援拠点の整備を進め、地域で暮らす障害者の支援体制の充実を図る一方、施設入所者数が令和3年度に比べ微増していることから、本人や家族、施設関係者へのアウトリーチ調査等を通じ、支援ニーズの把握に努めていく必要があります。

障害のある人への就労支援については、令和4年度から企業に対する障害者雇用の啓発活動に取り組んだことにより、「福祉施設からの一般就労移行者数【図1-3】」が前年より増加しました。今後も、企業訪問やマッチングの成功事例の周知などを通じた企業における障害者雇用への理解促進や、就労支援事業所支援員のスキル向上に向けた働きかけなどを通じ、一般就労につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策 6 医療を身近に安心な暮らしをつくる – 医療体制の安定的確保 –



目指す姿

十勝圏全体で連携し、安心して医療を受けることのできる医療体制が確保され、市民の健康が守られています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域医療体制の安定化を図るため、看護師等の養成機関への支援により、医療に従事する人材を確保。
- 帯広市休日夜間急病センターの運営により、夜間、休日でも受診可能な医療体制を確保。
- 二次救急や三次救急に係る体制の構築のため、医療機関や関係機関と連携するとともに、帯広厚生病院をはじめとする関係医療機関へ運営費を支援。



帯広市医師会看護専門学校



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲15.0% :

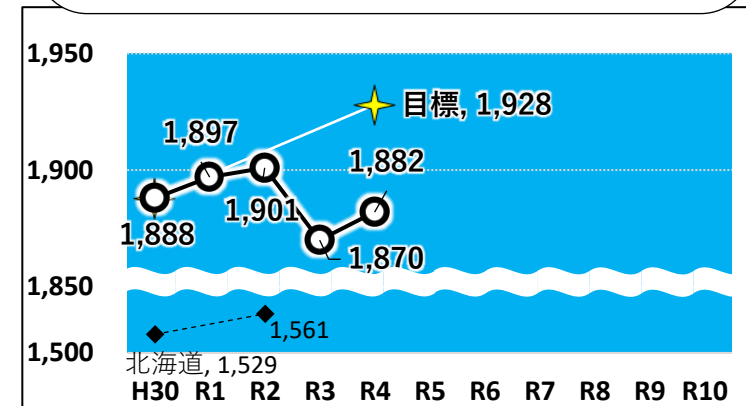
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
10万人あたりの看護師就業者数		↗
指標の考え方	医療機関等による看護師等の雇用・職場環境づくりの取り組みや、市による看護師養成機関への支援などにより、増加を目指します。	基準値 (H30) 1,888人
		実績値 (R4) 1,882人
		目標値 (R4) 1,928人

【図1-1】10万人あたりの看護師就業者数 (人)



【指標の動向・要因分析】

「10万人あたりの看護師就業者数」は1,882人であり、前年度を上回りましたが、目標を達成しませんでした。

市内看護学校による看護師養成のほか、市による看護学生に対する地域内の就労先に関する情報提供や看護師の復職支援などに取り組み、卒業生の一部の進学等による管外への転出は続いておりますが、管内定着率は前年より増加しています。コロナ禍における管外で就職することの不安や、実習受け入れ機関の増加を背景とした実習先への就職など、地元定着意識が高まり、昨年実績を上回ったものと考えられます。

今後も、高齢化の進行に伴う医療需要の増加に伴い、看護師等の医療に従事する人材不足が見込まれることから、引き続き関係機関と連携しながら看護師の養成や、管外へ進学した卒業生への働きかけなど看護師の確保に努めていく必要があります。



III 関連データの状況

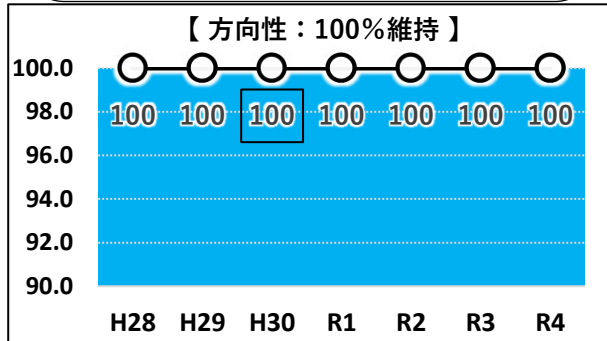
得点率 37.5% :

20点

15点

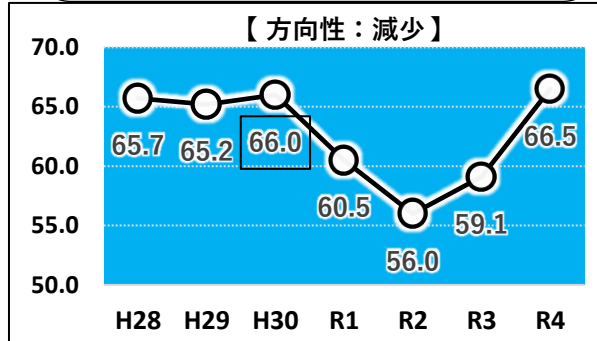
10点

【図1-2】 初期救急医療の対応可能日数の割合 (%)



基準以上：3点

【図1-3】 救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合 (%)



策定時以上・前年以上：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ＝ 75点 /100点〕

看護師の確保に向け、市内看護学校による看護師養成や管内就労先の情報提供などに取り組み、看護師等の市内定着率は60.9%と前年より増加していますが、「10万人あたりの看護師就業者数【図1-1】」については、基準値を下回っています。

令和5年4月に開校した帯広市医師会看護専門学校においては、地域の特色や課題に連動させた人材育成が計画されており、こうした取り組みへの支援や看護専門学校の校舎を活用した講座の実施などを通し、地元養成・地元就職の機能向上を図り、地域における看護師確保につなげていく必要があります。

十勝圏域全体の救急医療体制を確保するため、休日夜間急病センターの運営をはじめ、町村や関係機関と連携した在宅当番医制など夜間・休日の救急体制を整備し、「初期救急医療の対応可能日数の割合【図1-2】」は、100%を維持しています。また、広報紙やホームページにおける適切な救急医療の利用についての周知や、帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供などにより、三次救急の適切な利用が図られました。

一方で、新型コロナウイルスの変異やワクチン接種が進んだことで、感染者の重症化割合も減少してきたことなどにより、比較的軽症者への対応を示す「救命救急センターにおける一次救急患者の利用割合【図1-3】」は増加しています。今後も、医療機関や関係機関と連携しながら、救急医療体制を確保していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の推進状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策7 誰もが安心できる暮らしの支えになる－社会保障制度の持続性の確保－

目指す姿

国民健康保険や介護保険、生活保護などの社会保障制度の持続性が確保され、市民が安心して暮らしています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 国民健康保険の医療費の適正化を図るため、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導を実施。
- 疾病の早期発見・重症化予防や生活習慣改善に関する市民の理解促進のため、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導を実施。
- 介護保険制度の安定的な運営と介護サービス利用者へのサービス向上のため、要介護認定や介護報酬請求の適正化のほか、低所得の介護保険加入者への利用料負担を軽減。
- 保護を必要とする人の早期把握や、被保護者に対する制度の適切な運用、就労支援などを通じた自立支援を実施。
- 保護に至る前の生活困窮者対策として、自立相談支援や子供の学習支援、住居確保給付金や新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給など、生活全般にわたる包括的な支援を実施。



特定保健指導の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 250.0% :

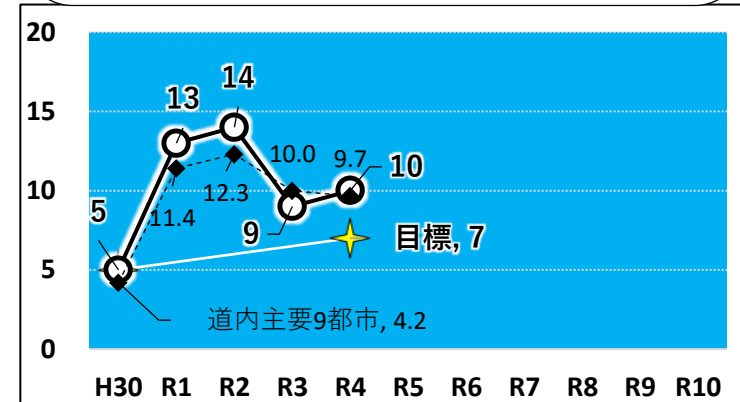
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
介護保険運営の安定化に資する取組項目数		↑
指標の考え方	市民が介護保険制度に対する理解を深め、市によるケアプランの点検や介護人材の確保に関する取り組みなどにより、増加を目指します。	基準値 (H30) 5項目
		実績値 (R4) 10項目
		目標値 (R4) 7項目

【図1-1】 介護保険運営の安定化に資する取組項目数 (項目)



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「介護保険運営の安定化に資する取組項目数」は10項目であり、目標を達成しました。

市によるケアプランの点検や、ケアマネジャーの給付適正化に資する研修会の実施、「介護人材の確保等の取組に対する意見交換会」や「介護士定着支援研修会」の開催などによる介護人材の確保・育成を図ったことで、介護保険制度の安定的な運営につながりました。

今後も高齢者人口の増加が見込まれることから、介護保険制度のより安定した運営に向け、介護給付の適正化や介護人材の確保に向けた取り組みを引き続き進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

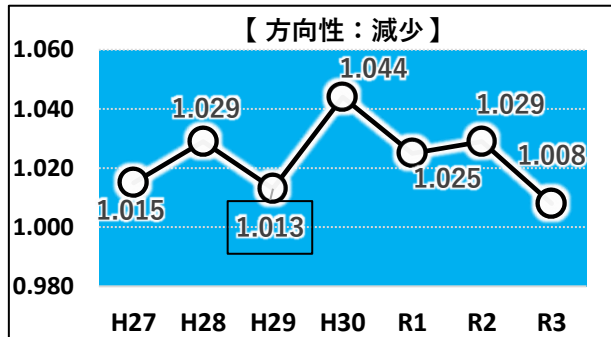
得点率 50.0% :

20点

15点

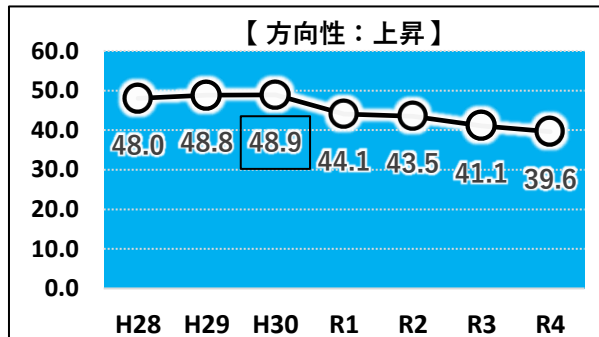
10点

【図1-2】医療費の地域差指数
(全国平均=1.000)



策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-3】稼働可能な被保護者に対する就
労者の占める割合（%）



策定時以下・前年以下：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ= 90点 /100点)

国民健康保険制度については、医療費通知の実施やジェネリック医薬品の使用促進、重複・頻回受診者への指導などのほか、ドック事業や特定健康診査・特定保健指導などを行っています。一人当たりの医療費の全国との差を示す「医療費の地域差指数【図1-2】」は、1.0を超えた高い傾向であるものの、計画策定時及び前年よりも低い値となりました。今後も、医療費の適正化や疾病の早期発見・重症化予防の取り組みを進め、制度の健全な運営につなげていきます。

介護保険制度については、給付費の適正化に向けたケアプランの点検や、ケアマネジャーを対象とした研修会の実施のほか、「介護人材の確保等の取組に対する意見交換会」や「介護士定着支援研修会」の開催などによる介護人材確保・育成に取り組んだことで、「介護保険運営の安定化に資する取組項目数【図1-1】」は目標を達成しています。介護保険制度のより安定した運営に向け、介護給付の適正化や介護人材の確保に向けた取り組みを引き続き進めていきます。

生活保護制度については、生活保護に至る前の相談支援に加え、自立支援プログラムの実施、ハローワークや委託先事業所と連携した就労支援など被保護者の自立の助長に向けた取り組みを進めましたが、被保護者の希望する条件に合った求人が限られていることなどから「稼働可能な被保護者に対する就労者の占める割合【図1-3】」は計画策定時を下回る状況となっています。今後も関係機関と連携を図り、被保護者個々の置かれている状況や能力に応じて就労に繋がるよう、適切に支援を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策 8 世界に冠たる十勝農業を創る — 農林業の振興 —



目指す姿

農業者や関係機関等による生産性や収益性向上に向けたチャレンジが続けられ、競争力の高い農業が展開されています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 80.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 農業経営の高度化・安定化の実現や、優れた経営能力を持つ担い手の育成・確保を図るため、農業者向け研修会や農林業育成資金の貸付などを実施。
- 環境負荷を低減するため、クリーン農業技術の情報提供や環境保全に取り組む農業者への支援を実施。
- 経営規模の拡大や農業従事者の不足、労働負担軽減等に対応するため、ロボット技術や情報通信技術（ICT）などを活用したスマート農業等の先進技術の導入を支援。
- 農畜産物の販路拡大や信頼性確保、消費者理解の向上のため、食の安全安心に係る取り組みを支援。
- 畜産経営の安定化や和牛生産の普及を図るため、とち帯広和牛生産改良組合の活動を支援。
- 十勝農業の魅力向上や理解促進を図るため、ホームページでの情報発信のほか、食育推進サポーターによる食育講座や農業体験機会の提供などを実施。
- 農業生産体制の強化を図るため、かんがい排水施設の整備のほか、土層改良などの生産基盤整備や保全管理を実施。
- 農村地域の活性化を図るため、農業センターの維持管理のほか、農道や明渠の草刈り・補修等、地域における共同活動への支援を実施。
- 森林の多面的機能の維持増進を図るため、市有林の適切な維持・管理のほか、森林経営計画作成支援などによる私有林所有者の森林整備の促進や担い手の育成等を実施。
- ばんえい競馬を安定的に運営するため、生産者への奨励金の支給や競馬の公正確保、全国の公営競技ファンに向けた情報発信、勝馬投票券の発売日数や発売所の拡大の取り組みのほか、ばん馬との触れ合い機会を通じたPR活動を実施。



農業技術センターでの食育展示ほ場見学の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲87.4% :

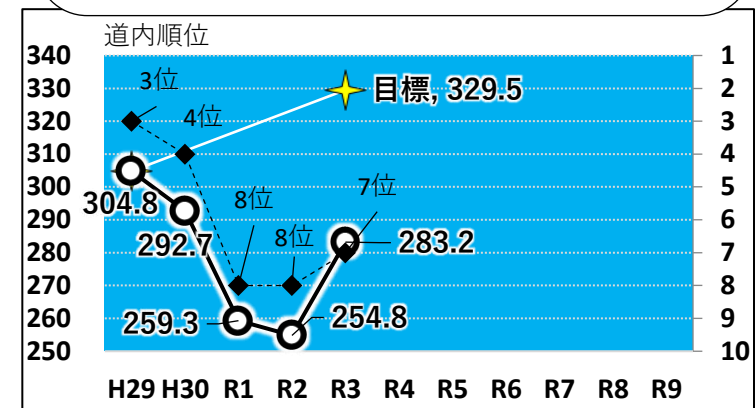
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
農業産出額（農林水産省推計値）		↑
指標の考え方	市と農業者・農業団体などが連携しながら、収益性向上や担い手育成の取り組みなどを進めることにより、増加を目指します。	
	基準値（H29）	304.8億円
	実績値（R3）	283.2億円
	目標値（R3）	329.5億円

【図1-1】農業産出額（農林水産省推計値）（億円）



【指標の動向・要因分析】

「農業産出額（農林水産省推計値）」は283.2億円であり、目標を達成しませんでした。

市では、先進技術及び農業機械の導入支援や、農業団体との連携による黒毛和牛の生産振興、農業者向け研修会の開催、環境保全型農業の推進などに取り組んでおり、目標には及びませんでした。前年を上回っており、農業産出額は道内全自治体中7位、全国で33位となっているほか、部門別では麦類が全国2位、豆類が全国3位、工芸農作物（てん菜）が全国3位となっており、上位に位置しています。

また、国による農業産出額は、生産者からの報告をもとに推計されており、耕種部門、畜産部門ともに前年を上回っています。

さらに、市の推計による農業産出額（H29：322億円→R3：344億円）も上昇傾向にあります。

今後も、引き続き農業団体・農業者との連携のもと、先進技術のさらなる導入促進や長いもをはじめとした高収益作物の品質向上などを通し、効率的で収益性の高い農業振興や農業の担い手育成・確保に取り組んでいく必要があります。



III 関連データの状況

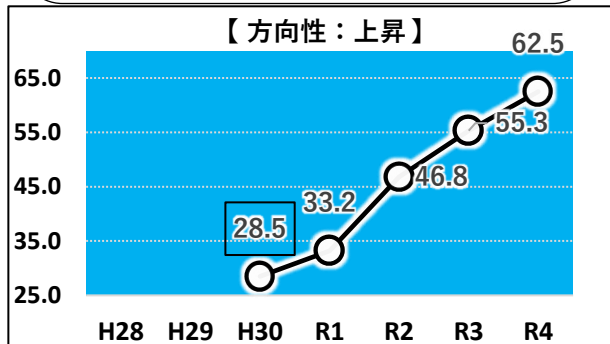
得点率 46.7% :

20点

15点

10点

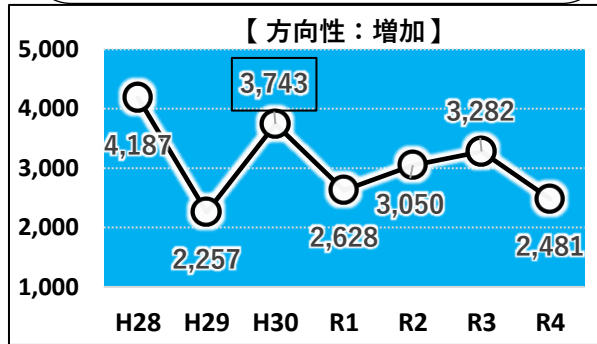
【図1-2】スマート農業普及率(※)
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

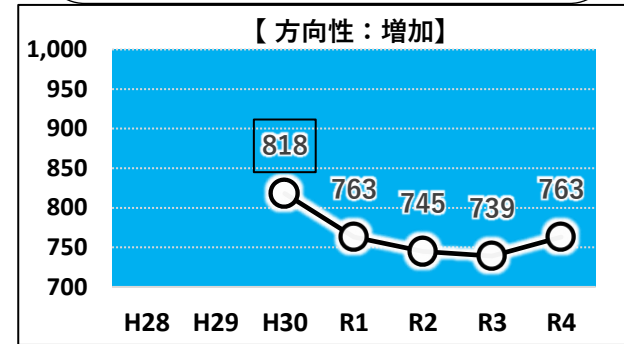
※スマート農業普及率＝
(GPS基地局利用農家数＋
搾乳ロボット等導入農家数)／全農家数

【図1-3】農畜産物輸出量
(t)



策定時以下・前年以下：0点

【図1-4】直近5年間の森林整備面積
(ha)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 75点 /100点〕

生産性や収益性の向上に向け、農業基盤の整備のほか、資金貸付等を通じた先進技術の導入支援や担い手の育成などに取り組んでおり、「農業産出額【図1-1】」の増加、「スマート農業普及率【図1-2】」の上昇、生乳生産量の増加などの動きがみられます。

「農畜産物輸出量【図1-3】」は、輸出先がアジアだけでなく、アメリカやEU圏内へ拡大されたことで牛肉の輸出量は年々増加していますが、輸出の大部分を占める長いもについて凍害による品質劣化や海上コンテナ不足などの影響により出荷量が減少したことから、輸出量実績は前年を下回っています。今後も、関係団体との協力のもと、主力品である長いもにおいて生産体制の強化や品質向上はもとより、収穫時期の一部変更や輸出用コンテナの確保などを図ることで、輸出量の増加につなげていくことが必要です。

農業への理解促進に向け、市管理施設における農業体験機会の提供や学校教育と連携した食育の推進などに取り組んだ結果、農業体験・学習に参加した市民の数が増加したほか、食育に関心を持っている市民の割合も前年から増加しました。新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着き、食育推進事業を再開する動きが出てきたことが影響したものと考えます。今後も、学校や関係団体等と連携し、農業技術センター食育展示圃場や帯広の森サラダ館の学童農園を利用した農業体験学習、農産物直売所の支援などに取り組むことで、市民の農業への関心を高めていくことが必要です。

森林の適正な管理・保全に向け、森林経営計画作成支援などによる私有林所有者の森林整備の促進や、造林や間伐など、市有林の適切な維持・管理に取り組んできたことで、森林所有者の負担軽減や作業員の雇用確保のほか、森林資源の有効活用が進みました。また、北海道からの補助金配分が前年比で増加したことなどにより、「森林整備面積【図1-4】」は増加しました。今後も市有林の計画的な施業や、私有林所有者に対する森林環境譲与税を活用した施業支援などを進め、整備の促進につなげていく必要があります。

ばんえい競馬の安定した運営を図るため、生産者への支援やばんえい競馬の魅力の発信、勝馬投票券の発売額増加に向けた取り組みなどを進めてきたことにより、インターネット投票での売上を中心に発売額の増加につながっています。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策9 「とちのかち」を創り続ける – 地域産業の活性化 –



目指す姿

地域資源や人材等を活かし、市場ニーズを捉えた商品やサービス等が創出・提供され、産業の活性化や雇用の拡大につながっています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 68.4% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地場製品の付加価値向上を図るため、包括連携企業と地元企業の協業による商品開発支援や、農業団体・研究機関や域外事業者へのニーズ調査など、6次産業化の推進に向けた取り組みを実施。
- 地元企業の製品開発や販路拡大を促進するため、知的財産や技術に関する相談のほか、資金面での支援から指導・助言に至るまでの総合的なものづくり支援、展示会等への出展支援を実施。
- 地元企業の経営基盤強化のため、感染症や物価高騰の影響も視野に入れた経営相談や制度融資を実施。
- 商店街の活性化を図るため、商店街が主体となって取り組む提案事業への支援を実施。
- 地域の経済発展に貢献する人材の育成に向け、帯広畜産大学などと連携し、フードバレーとちち人材育成事業等を実施。
- 持続的に新事業の創発を促すため、産学官連携による、人材育成、事業構想づくり、事業化までの伴走型支援等、総合的に事業創発を支援。
- 企業立地の促進に向け、工業団地の造成や販売促進、立地企業の設備投資への支援を実施。
- 勤労者が安心して働ける環境づくりのため、事業所雇用実態調査や労働相談のほか、子育て応援事業所への奨励金の給付、とちち勤労者共済センターの運営支援を実施。
- 求職者の状況に応じた多様な就職機会の確保のため、域外人材と地元企業のマッチングや高齢者の就労支援、通年雇用化に向けた能力開発支援を実施。



新たな事業構想を生み出す
「とちち・イノベーション・プログラム」



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲150.0% :

40点

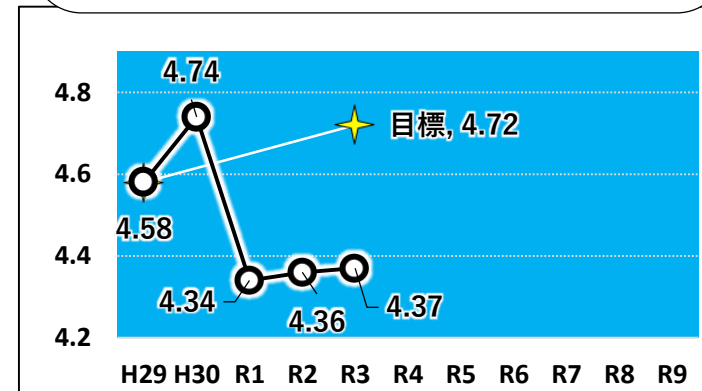
30点

25点

目指そう指標名		方向性
北海道内主要都市※に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合		↑
指標の考え方	市や関係団体等による経営基盤の強化や、事業者等による商品・サービスの開発・提供など地域の価値を高める取り組みにより、上昇を目指します。	基準値 (H29) 4.58%
		実績値 (R3) 4.37%
		目標値 (R3) 4.72%

※2018年時点における人口10万人以上の都市

【図1-1】北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合 (%)



【指標の動向・要因分析】

「北海道内主要都市に占める帯広市の法人市民税賦課金額の割合」は4.37%であり、目標を達成しませんでした。

北海道内の主要都市全体で、令和2年と比較して平均4%程度の減少となり、帯広市においても概ね同水準の減少となったため、横ばいの割合となっています。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業者の業績等への影響が継続しているものと考えます。

今後も、関係機関と連携しながら、地元企業の事業継続を支援するほか、設備投資に対する助成などを通じた企業立地や、域外人材との協業などを通じた顧客ニーズの高い商品の開発、販路の拡大を支援することにより、地元企業の経営基盤の強化につなげていく必要があります。



III 関連データの状況

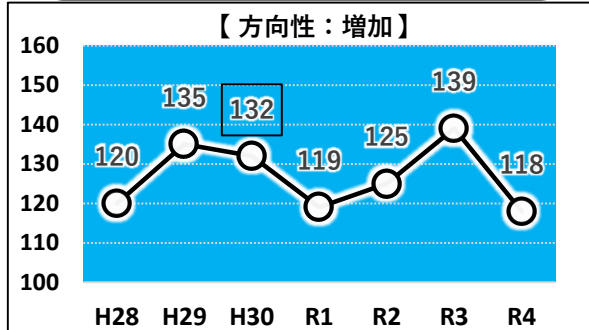
得点率 53.3% :

20点

15点

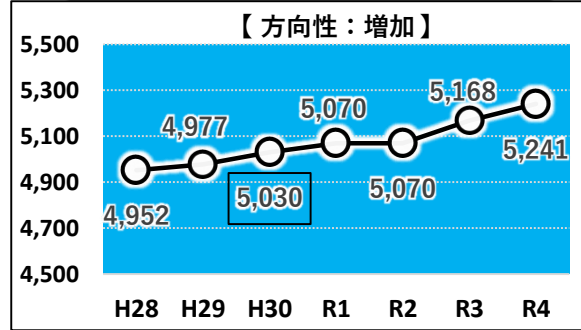
10点

【図1-2】 創業・起業件数
(件)



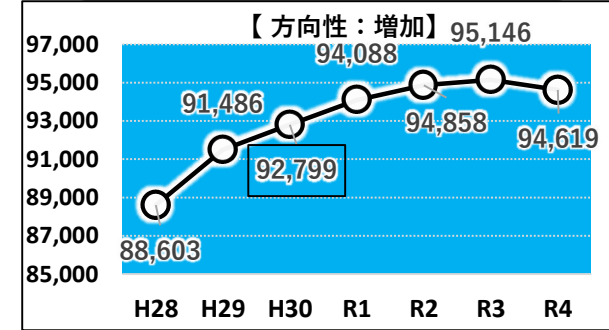
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 法人市民税賦課法人数
(件)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-4】 雇用保険被保険者数
(人)



策定時より増加・前年以下：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ= 65点 /100点)

地域の農林水産物の付加価値向上に向け、包括連携企業と連携した商品開発支援に取り組み、複数企業における新たな乳製品の開発を後押ししたほか、十勝産品を活用したスイーツなどの開発から、首都圏やECサイトでの販路拡大までの一連の取り組みを支援しました。今後も幅広く、消費者のニーズを捉えたマーケットインの視点を取り入れ、地域の事業者と連携し、包括連携企業の知見なども活かしながら新商品開発につなげていく必要があります。

創業・起業の促進に向け、関係機関と連携し、総合的な事業創発支援などを進めてきたことにより、新たな法人の設立や事業の創出につながっている一方、農業や建設業における個人営業からの法人化が近年一定数進んだことや新型コロナウイルス感染症の影響によるサービス業の法人化数の減少などにより「創業・起業件数【図1-2】」は基準値を下回っています。これまでの取り組みにより、新しい事業にチャレンジする人たちのコミュニティが拡大し、創業・起業の機運が醸成されていることから、今後も、事業創発のさらなる加速に向け、事業の周知を強化することにより、起業候補者の裾野拡大につなげていく必要があります。

中小企業の経営基盤の強化に向け、経営に関する相談対応や制度融資などに取り組んだことにより、感染症の影響下においても、「法人市民税賦課法人数【図1-3】」は平成28年度以降の年の最高値となっています。今後も、関係機関と連携しながら、きめ細かな相談対応や各種制度の周知の強化などを通し、中小企業の経営基盤強化につなげていく必要があります。

生き生きと安心して働ける雇用環境の確保に向け、多様な人材と地元企業とのマッチングや通年雇用化の促進、働きやすい職場環境づくりを進めてきたことで、移住者・高齢者の地元企業への就職や、子育て応援事業所数、とちぎ勤労者共済センター会員数が増加しています。一方、「雇用保険被保険者数【図1-4】」は基準値を上回っているものの前年度と比べ減少していることから、引き続き、雇用確保に向けた取り組みの周知を行い、雇用の定着を図っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策10 アウトドアの聖地にする — 観光の振興 —

目指す姿

食や農業、自然などの地域資源を活かした、この地域ならではのアクティビティやイベントなどを求め、国内外から多くの人を訪れ、滞在することで、にぎわいが生まれています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 41.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 地域資源を活かした体験・滞在型観光を推進するため、アクティビティを通じ、十勝地域の開拓の歴史や馬文化のほか、農業を柱として発展し、現在は、食の宝庫として注目されている地域固有のストーリーを体験するアドベンチャートラベルや、北海道唯一のナショナルサイクルルート「トカプチ400」を核としたサイクルツーリズム等の新たな観光コンテンツの開発などを実施。
- にぎわい創出や交流人口の拡大を図るため、三大まつり等各種イベントの開催支援を実施。
- 市内観光入込客数を増加させるため、地域の魅力を活かした観光誘致活動、大会・合宿・コンベンションの誘致活動のほか、新型コロナウイルス感染症の影響下における経済対策として、とち帯広空港利用者の旅行代金の割引を行うおびひろ空港割を実施。
- 広域観光の推進のため、道内他地域と連携し、インフルエンサーを活用して都市間周遊を促すメディアプロモーションを実施。
- 観光客の利便性向上や受け入れ環境の充実を図るため、観光施設等の適切な管理運営や観光関連団体への支援のほか、中心市街地へのWiFiスポットの維持管理支援などを実施。
- とち帯広空港の利用促進を図るため、関係機関と連携したプロモーション活動等を実施。<再掲：施策11>



アドベンチャートラベルの推進



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲143.8% :

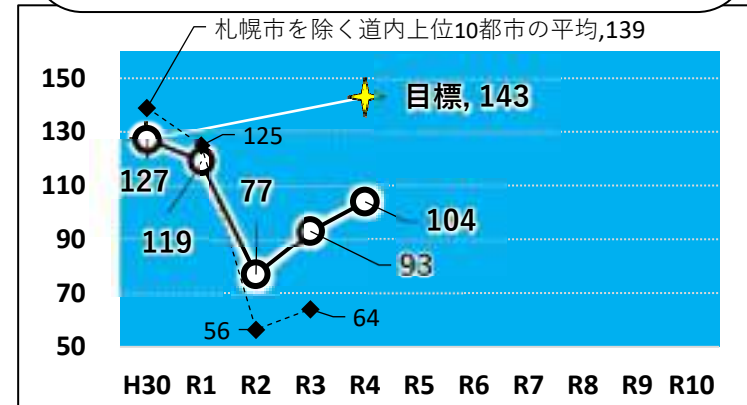
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
宿泊客延べ数		↗
指標の 考え方	市や関係団体等による魅力ある観光情報の発信や、観光コンテンツの開発・提供などにより、増加を目指します。	基準値 (H30)
		実績値 (R4)
		目標値 (R4)

【図1-1】 宿泊客延べ数
(万人泊)



【指標の動向・要因分析】

「宿泊客延べ数」は104万人泊であり、目標を達成しませんでした。

新型コロナウイルス感染症に伴う移動制限が徐々に緩和され、自然やアウトドアなどの地域資源を活かした観光コンテンツの開発のほか、観光関係団体との連携による、SNSなどインターネットを活用した情報発信、おびひろ空港割を実施したことで、宿泊客延べ数は前年度から増加しましたが、オンライン会議の普及等によるビジネス需要の停滞や水際対策の継続もあり、依然として訪日外国人旅行者が新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を大きく下回っていることなどにより、基準値を下回る結果となりました。

今後は、アドベンチャートラベルやサイクルツーリズムなどの地域特性を活かした体験型の観光コンテンツの掘り起こしや磨き上げに努め、効果的なプロモーション活動に取り組むことで、観光客の誘客につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

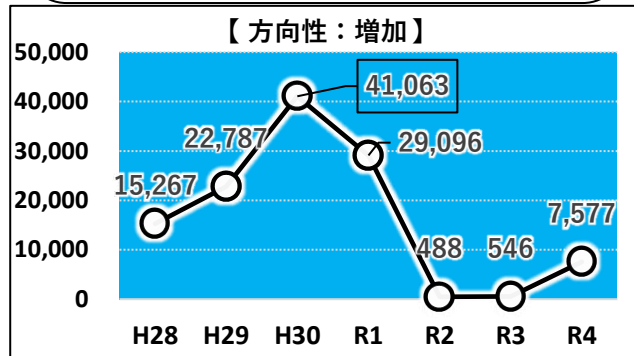
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】 訪日外国人宿泊客延数
(人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

〔Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ＝ 60点 /100点〕

地域資源を活かした魅力ある観光コンテンツの開発・提供により、観光客の誘客を図るため、アドベンチャートラベルや、サイクルツーリズムなど体験・滞在型観光や地域おこし協力隊制度を活用したアウトドア観光などの推進に取り組みました。

令和4年度は感染対策を講じた上でのイベントの開催や、おびひろ空港割の実施などにより、「宿泊客延べ数（図1-1）」は前年度と比較し増加しているほか、最新データである令和4年度の観光入込客数も前年度と比較し増加しています。

今後は、感染症の拡大を契機に注目されている自然や食・農業といった地域の強みを活かし、関係団体と連携し、観光コンテンツの開発、効果的な情報発信を行いながら、観光入込客数の更なる増加につなげていく必要があります。

訪日外国人旅行者をはじめとした観光客の受入環境の充実に向け、中心市街地等のWi-Fiスポットの維持管理や「トカプチ雄大空間ルート」運営への支援のほか、関係団体と連携し、ホームページやSNSを活用した観光情報の発信や観光情報発信拠点の運営を行いました。が、感染症の拡大に伴う渡航制限により、「訪日外国人宿泊客延数【図1-2】」は目標を大幅に下回っています。令和5年度は、渡航制限の解除や北海道で開催されるアドベンチャートラベル・ワールドサミットの開催などにより、インバウンド需要の回復が見込まれることから、(株)デスティネーション十勝や観光協会等と連携しながら、十勝地域一体となって、ガイドや通訳等の受入れ体制の充実に取り組み、地域の情報を効果的に発信していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策11 つなげて広げるビジネスチャンス – 広域交通ネットワークの充実 –

目指す姿

広域交通ネットワークの充実が図られ、人やモノなどが活発に行き交い、にぎわいと活力にあふれています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- とちち帯広空港の利用促進を図るため、関係機関と連携したプロモーション活動等を実施。
- とちち帯広空港利用者の旅行代金の割引を行うおびひろ空港割の実施。
- 航空機の安全で安定的な運航を確保するため、誘導路の改良工事や滑走路端安全区域整備工事に向けた埋蔵文化財発掘調査などを実施。
- 北海道エアポート(株)による空港運営へのモニタリングを実施。
- 広域的な交通ネットワークの形成を図るため、高規格道路帯広・広尾自動車道早期建設促進期成会等を通じた高規格道路の整備に関する要望活動を実施。
- 鉄道輸送の利便性の向上を図るため、北海道高速鉄道開発株式会社を通じた J R石勝線・根室本線の高速化等の促進のほか、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道に対する鉄道網の維持等に関する要望活動を実施。
- 十勝港の港湾機能の整備や利活用を促進するため、十勝圏活性化推進期成会を通じた国や北海道等に対する要望活動を実施。



航空会社・空港運営者等と連携した
首都圏プロモーション



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲104.9% :

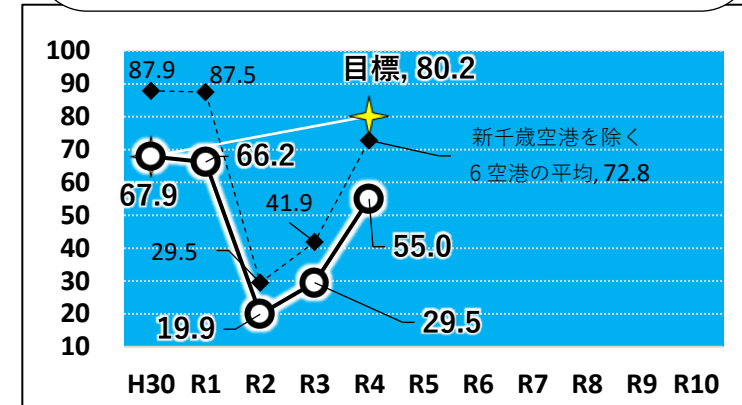
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
空港旅客数		↗
指標の考え方	市や民間事業者等による空港利用促進に向けた取り組みなどにより、増加を目指します。	
	基準値 (H30)	67.9万人
	実績値 (R4)	55.0万人
	目標値 (R4)	80.2万人

【図1-1】 空港旅客数 (万人)



※ 6空港：稚内、釧路、函館、旭川、女満別、帯広

【指標の動向・要因分析】

「空港旅客数」は55.0万人であり、目標を達成しませんでした。

とちち帯広空港の利用促進に向け、航空会社との意見・情報交換や、関係団体と連携し国内外においてプロモーション活動を行ったほか、おびひろ空港割の実施、チャーター便の誘致活動などに取り組んだことで、空港旅客数は前年度から増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大前の8割程度の回復に留まっています。オンライン会議の普及などによりビジネスでの需要が停滞していることなどが要因と考えます。

今後は、空港運営者による空港運営や路線誘致などと歩調を合わせ、航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、航空需要の回復・拡大に向けた取り組みを継続して進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

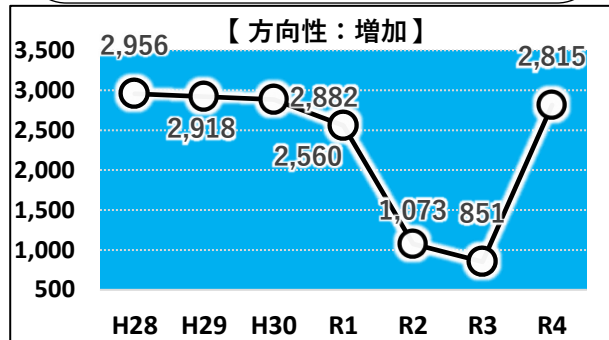
得点率 60.0% :

20点

15点

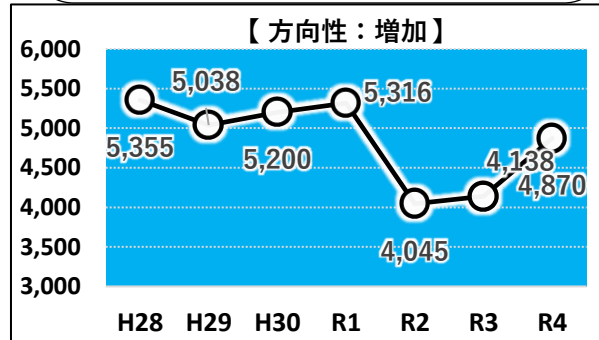
10点

【図1-2】 航空貨物取扱量 (t)



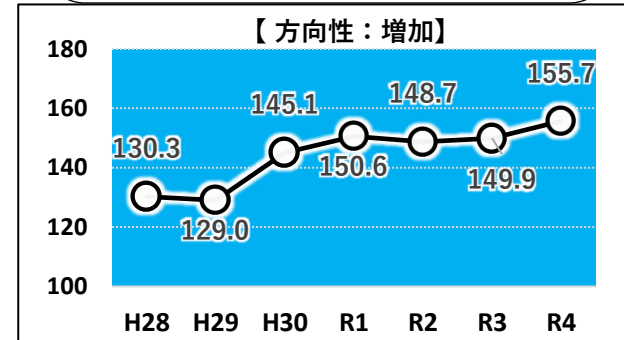
策定時以下・前年より増加：2点

【図1-3】 道東自動車道の1日あたり利用台数 (台)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-4】 十勝港取扱貨物量 (万t)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ = 80点 /100点)

十勝圏と他都市を結ぶ交通ネットワークの充実に向け、国や北海道等に対して、高規格道路の整備促進や鉄道網の維持、十勝港の港湾機能の整備・利活用促進等に関する要望活動などに継続的に取り組んできたことで、道東自動車道の占冠-十勝清水間の4車線化の事業開始や、「十勝港取扱貨物量【図1-4】」の堅調な推移などにつながっているものと考えます。一方で、「道東自動車道の1日あたり利用台数【図1-3】」は、前年比18%の増加になっているものの、新型コロナウイルス感染症の影響から回復途上にあり、感染症拡大前の令和元年度と比較して減少しています。今後も引き続き、更なる交通網の充実や利用促進に向け、管内町村や関係機関と連携した要望活動等に取り組んでいく必要があります。

空港については、誘導路等の整備のほか、関係機関と連携したプロモーションや、おびひろ空港割、チャーター便の誘致活動など、空港の利用促進につながる取り組みを進め、「航空貨物取扱量【図1-2】」は、物流事業者の専用コンテナ搭載のため、中型機が1日に1便運航されたことから、前年比約230%増加し感染症拡大前とほぼ同水準の取扱量となりました。一方で、「空港旅客数【図1-1】」は、オンライン会議の普及によるビジネス需要の停滞等の要因により、感染症拡大前の8割程度の回復に留まっています。今後は、空港運営者・航空事業者・観光関連団体等との連携のもと、空港利用の回復・拡大に向けた取り組みを継続して進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策12 未来を拓く子どもをともに育む — 学校教育の推進 —



目指す姿

学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇り・愛着を持ち、新たな時代を切り拓く力を身に付けた子どもたちが育っています。



事務事業の進捗状況

進捗率 89.3% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- ふるさと教育を拡充するため、全小・中学校及び義務教育学校での「おびひろ市民学」の実施や地域の特徴・特性・歴史などをまとめた社会科副読本「おびひろ」を発刊。
- 南商業高校において、就職や進学など生徒が希望する進路の実現を支援するため、進路説明会、ビジネスマナーや各資格試験の講習、面接指導など人材育成を推進。
- 教員の指導力向上を図るため、長期休業中における「夏季・冬季教職員研修講座」や、タブレット端末を学校教育で活用するための研修会の実施。
- 学校・家庭・地域が連携し、社会総がかりでの教育を実現するため、全ての市立学校にコミュニティ・スクール（CS）を導入したほか、学校支援地域本部事業や子どもの居場所づくり事業等の活動を推進。
- 「帯広市学校施設長寿命化計画」を推進するため、学校施設の個別改修を実施。併せて、「適正規模の確保等に関する計画」に基づき、大空学園義務教育学校を開校。
- 小・中学校及び義務教育学校に導入したタブレット端末を生徒が円滑に利活用できるよう支援したほか、教職員の業務効率化を図るため、校務支援システムを導入。
- 児童生徒における食への感謝や地域産業への理解促進、学校給食の更なる魅力向上を図るため、地元シェフや生産者等と連携した新たなメニューを開発したほか、学校給食の魅力や給食提供に携わる人々等を紹介する動画を製作。



おびひろ市民学の様子



II 目指そう指標の進捗状況

小学6年	進捗率 ▲370.0% :	20点	15点	12.5点
中学3年	進捗率 ▲623.5% :	20点	15点	12.5点

目指そう指標名		方向性		
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合		↑		
指標の考え方	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちに社会の一員としての意識を醸成するとともに、主体的な学びや、自ら問題を発見し、解決できる力の育成などを進めることにより、上昇を目指します。			
		小学6年	中学3年	
		基準値 (H30)	85.1%	75.7%
		実績値 (R4)	77.7%	65.1%
		目標値 (R4)	87.1%	77.4%

【指標の動向・要因分析】

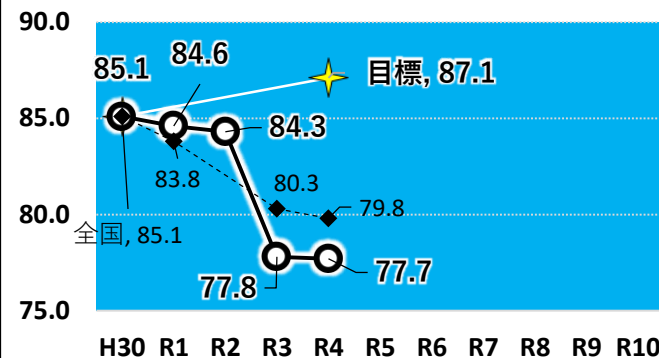
「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、小学6年生77.7%、中学3年生65.1%であり、いずれも目標を達成しませんでした。

新型コロナウイルス感染症の長期化により、児童生徒の不安感等が増したことから、全国的に実績値が減少傾向にあり、北海道においては小学6年生及び中学3年生ともに全国平均を下回っています。

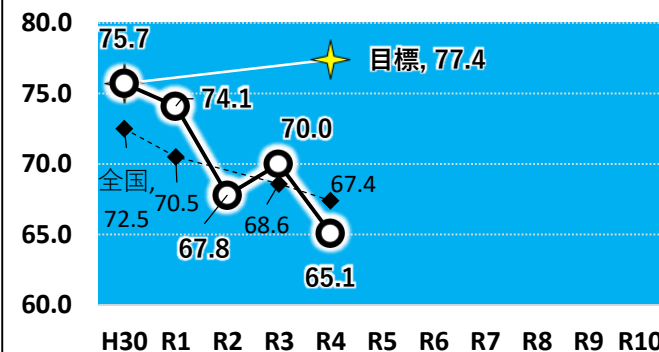
この傾向は市においても同様であり、自然体験学習やキャリア研修などを通し、地域の自然や文化、産業などへの理解を深め、地域社会の形成に参画しようとする児童生徒の意識醸成や、教師の指導力向上などに取り組んでいますが、感染症の影響が長引いたことで、学校生活に制限があったことなどが影響しているものと考えます。

今後は、地域住民や企業などとの対話の再開やキャリア教育の充実などを通し、引き続き児童生徒の主体的な学び、行動する力の育成を進めることで、社会の一員としての意識の醸成につなげていく必要があります。

【図1-1】 将来の夢や目標を持っている児童（小学6年生）の割合（%）



【図1-2】 将来の夢や目標を持っている生徒（中学3年生）の割合（%）





III 関連データの状況

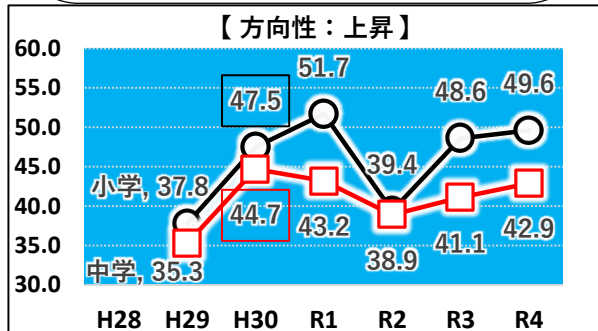
得点率 78.0% :

20点

15点

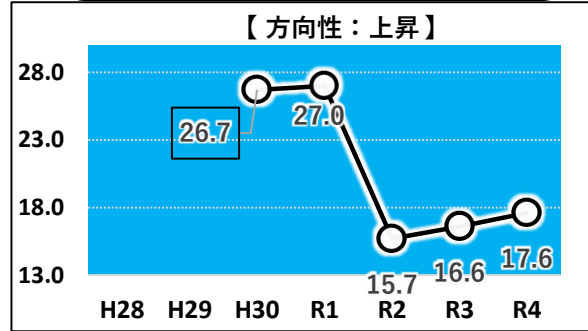
10点

【図1-3】 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合 (%)



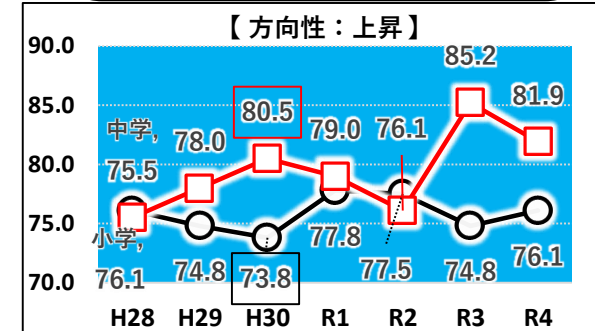
小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点
中学生(□)：策定時以下・前年より増加：1点

【図1-4】 地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合 (南商業高等学校) (%)



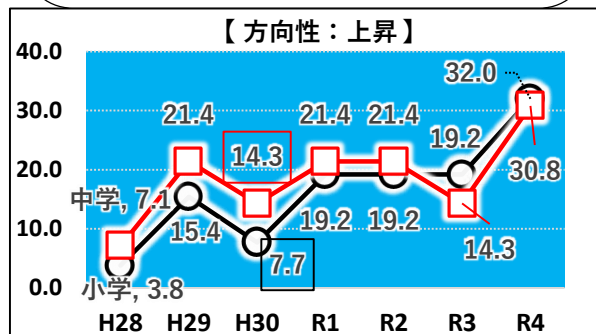
策定時以下・前年より増加：2点

【図1-5】 授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合 (%)



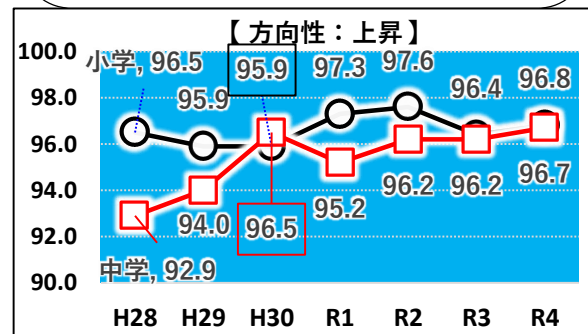
小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点
中学生(□)：策定時より増加・前年以下：1.5点

【図1-6】 小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合 (%)



小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点
中学生(□)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

【図1-7】 「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合 (%)



小学生(○)：策定時より増加・前年より増加：2.5点
中学生(□)：策定時より増加・前年より増加：2.5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点对象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ = 80点 /100点)

地域社会の一員としての自覚を持ち、地域の課題解決に主体的に取り組む人材の育成に向け、小・中学校及び義務教育学校における「おびひろ市民学」の実施や、小学校社会科副読本「おびひろ」を通じた地域への理解促進など、外部人材と連携・協働しながら、ふるさと教育の推進や問題解決力の育成に取り組んだことにより、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合【図1-3】」は、小・中学校ともに増加しています。また、児童生徒がより主体的に学習できるよう授業内容の改善に努めてきたことなどにより、「授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合【図1-5】」は、小学校、中学校のいずれも計画策定時を上回っています。今後も、各学校における授業改善や地域と連携した教育活動の展開などにより、児童生徒の主体的な学びの実現に向けた取り組みを進めていく必要があります。

南商業高等学校においては、専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材の育成に向け、外部講師を活用したビジネスマナー講座などの専門教育を実施しましたが、「地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合【図1-4】」は前年より増加しているものの、計画策定時を下回っています。長引く新型コロナウイルス感染症の影響により課外活動の中止などが続いたことで、地域ボランティア活動の機会が減ったことが要因と考えており、今後は、課外活動の実施機会を増やしていく必要があります。

学校・家庭・地域の連携による教育の推進に向け、中学校区を単位とするエリア・ファミリー構想の取り組みを基盤とした幼保小中の連携や市立学校のコミュニティ・スクール導入、小学校高学年における一部教科担任制などに取り組んだことにより、「小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合【図1-6】」は、小・中学校ともに増加しています。今後も、エリア・ファミリー構想に基づく児童生徒による小・中学校の交流活動の取り組みなどを通し、子どもたちの9年間の学びや育ちを、地域全体で支える仕組みづくりを進めていく必要があります。

子どもたちが安心して充実した学校生活を送ることができるよう、児童会・生徒会によるいじめの未然防止の取り組みや相談員による指導、道徳科の授業を通じた啓発を行ったことにより、「いじめは絶対に許されないと考える児童生徒の割合【図1-7】」は、小・中学校ともに前年より増加しています。今後も、いじめは絶対に許されないとことを児童生徒がしっかりと認識できるよう道徳科の授業改善や個別面談を通し、児童生徒一人ひとりの心に寄り添いながらきめ細かな指導を行っていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策13 いつまでも学んで面白い — 学習活動の推進 —

目指す姿

誰もが生涯にわたり、それぞれの目的やライフステージに応じた学びを続けています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 76.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 誰もが生涯にわたり学習を続けることができるよう、市民大学講座や博物館の講座・企画展示、動物園の飼育体験など多様な学習機会を提供。
- 学習への意欲や関心を高めるため、生涯学習情報誌の発行、ホームページやSNSを活用した学習情報を発信。
- 学習を通じて得られた知識等をまちづくりにつなげていくため、図書館ボランティアによる子ども向けのおはなし会の実施など、各社会教育施設でのボランティア活動を支援したほか、生涯学習推進委員会などの社会教育関係団体が立案・企画する地域での講座開催を支援。
- 今後の十勝・帯広における高等教育の取り組みの在り方を整理したほか、帯広畜産大学の整備・拡充のため、情報収集や国等への要望活動を実施。
- 若者の地元定着や地域課題の解決促進のため、帯広畜産大学と連携し、学生自らが考える地域課題の解決に向けた取り組みを支援。



博物館ボランティア養成講座で学芸員の解説を聞く参加者の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 470.0% :

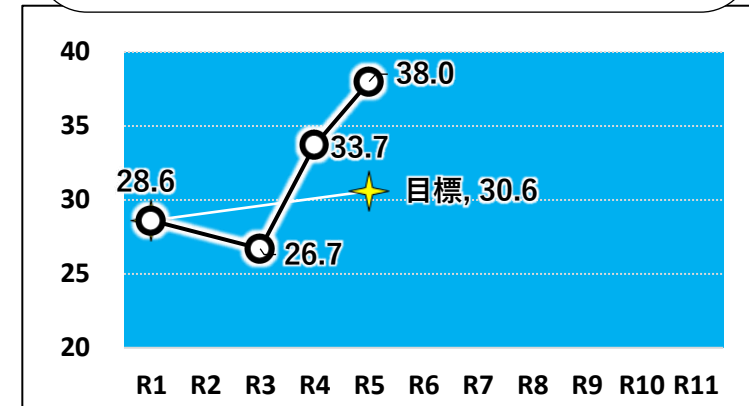
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
直近1年間に生涯学習を行った市民の割合		↗
指標の考え方	市民による主体的な学習活動や、市による学習機会の提供などにより、上昇を目指します。	
	基準値 (R1)	28.6%
	実績値 (R5)	38.0%
	目標値 (R5)	30.6%

【図1-1】直近1年間に生涯学習を行った市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に生涯学習を行った市民の割合」は38.0%であり、目標値を達成しました。

市の各社会教育施設では、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら、市民大学講座の対面講座やオンライン講座を開催したほか、学生・ボランティア団体が主体となった講座の開催などに取り組んだ結果、社会教育施設の来館者数や講座の参加者数が増加したことが影響したと考えられます。市民まちづくりアンケートでは、「生涯学習を行わなかった理由」として、「仕事が忙しくて時間がないから」、「きっかけがないから」との回答が多くあったことから、今後は、引き続き対面での講座に加え、オンラインによる講座の開催、開催時間帯の工夫や効果的な周知などにより、市民が参加しやすい学習機会の提供に取り組んでいく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

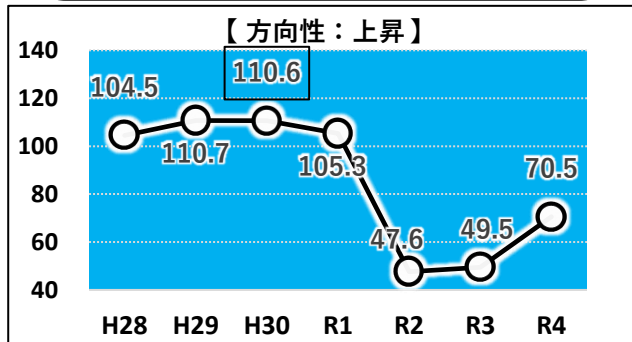
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】社会教育施設の利用者数
(万人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

〔Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ＝ 80点 /100点〕

市民の主体的な学習活動の推進に向け、各社会教育施設における講座のオンライン開催や学習情報の発信を継続したほか、講座の開催やボランティアが行う講座の支援など、徐々に対面での取り組みを進めてきたことで、「社会教育施設の利用者数【図1-2】」や講座の参加者数は前年より大幅に増加しています。今後も、市民ニーズを踏まえ、市民が参加しやすい学習機会を提供していくことが必要と考えます。

学習や仕事等を通じて得られた知識・技能をまちづくりに活かすため、生涯学習推進委員会等への活動支援や、学習活動指導者の登録・紹介、ボランティアへの活動支援、大学と連携し地域課題の解決に取り組む学生への活動支援などを進めており、新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していた生涯学習活動は全体的に回復傾向にあります。今後も継続して市民が活躍できる場の提供や環境づくりを進めていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策14 潤いのある暮らしと地域をつくる – 文化芸術の振興 –



目指す姿

創作活動や鑑賞の機会があり、豊かな感性や想像力が育まれ、文化芸術活動を通じた人のつながりが生まれています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 72.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 文化芸術活動を支える人材や団体を育成するため、文化団体や指導者についての情報発信、優秀な文化活動を行う個人・団体への顕彰を実施。
- 市民主体の文化芸術活動を促進するため、活動成果を発表する市民芸術祭の開催や、市民文藝・とちぎジュニア文芸の発刊などを通じた発表機会を提供。
- 市民の文化芸術への関心を高めるとともに子どもたちの感性や創造力を育むため、札幌交響楽団特別演奏会など、文化芸術にふれる機会を提供。
- ふるさとの歴史、伝統、文化に対する理解促進や誇りと愛着を育むため、市史資料の収集・調査、文化財の保護・保存、調査研究を行い、重要文化財の普及事業などを実施。
- アイヌ文化の保存、伝承、発展を図り、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進するため、調査・研究活動のほか、伝承活動への支援や普及啓発を実施。



親と子のわくわく音楽会の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲3,775.0% :

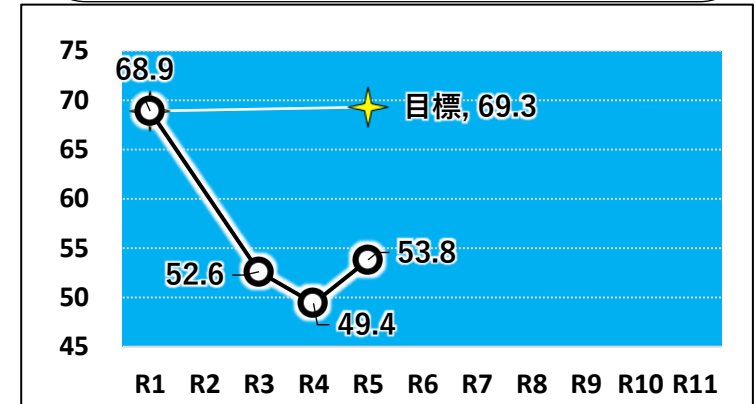
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合		↗
指標の考え方	市民による主体的な文化芸術活動や、市による鑑賞機会や発表の場の提供など文化に触れるきっかけづくりにより、上昇を目指します。	
	基準値 (R1)	68.9%
	実績値 (R5)	53.8%
	目標値 (R5)	69.3%

【図1-1】直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合」は53.8%であり、目標を達成しませんでした。

市では、市民芸術祭や子ども向けの鑑賞事業など、文化芸術の鑑賞・発表の機会の提供や活動団体の支援などに取り組んできましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により市民の活動が未だ回復途上にあると考えられます。市民まちづくりアンケートでは、「この1年間に文化芸術を直接鑑賞しなかった理由」として、「テレビ、インターネット等により鑑賞できるから」の回答が最も多く、文化芸術鑑賞が会場に赴くものから自宅での活動にシフトしたことが影響したものと推察されます。他にも「関心がないから」、「時間がなかなかとれないから」などの回答により、文化芸術に触れるきっかけや環境が少ないことも影響していると推察されます。

今後は、文化芸術活動を行う市民のすそ野の拡大に向けて、引き続き文化団体、企業など地域の多様な主体と連携しながら、直接市民が鑑賞・発表できる機会の提供を進めていくほか、社会教育施設が連携してイベントのPRを行うなど、様々な情報発信に取り組んでいくことが必要です。



Ⅲ 関連データの状況

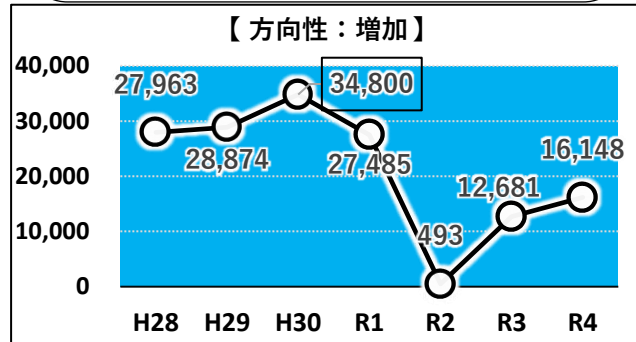
得点率 40.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】鑑賞事業の入場者数
(人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ = 65点 /100点)

市民の主体的な文化芸術活動の推進に向け、文化活動の鑑賞・発表機会の提供や活動団体への支援などに取り組みましたが、「直近1年間に文化芸術活動を行った市民の割合【図1-1】」は前年比では増加したものの、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、市民の活動が未だ回復途上にあることや、鑑賞スタイルの変化などの影響により目標達成には至りませんでした。今後も個人・団体、企業など、地域の多様な主体と連携しながら、文化芸術に取り組む市民のすそ野の拡大に向けて、文化芸術活動の環境づくりや情報発信の取り組みを進めていくことが必要です。

ふるさとの歴史、伝統、文化の理解促進に向け、重要文化財の活用やアイヌ民族文化情報センターによる普及啓発を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少しました。今後も、市民が主体的に学べるデジタルモバイルコンテンツの提供や少人数で開催する講座の周知拡大などに努め、市民が安心して利用できる学習機会の提供を進めていくことが必要です。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策15 スポーツで楽しく、ハツラツ、健康に — スポーツの振興 —

目指す姿

誰もが年齢や目的などに応じ、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツが市民の健康づくりや心身の育成、にぎわいづくりにつながっています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 37.5% :	40点	30点	25点
-------------	-----	-----	-----

【事務事業の主な取り組み】

- 市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツフェスティバルの開催のほか、小中学校の体育館等の地域への開放などを実施。
- フードバレーとかちマラソンを3年ぶりに実地開催し、車いす部門を試行的に新設。
- スポーツ施設利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図るため、施設の適切な管理運営や修繕等を実施。
- 地域に根差したスポーツであるスケートの裾野拡大等を図るため、ほっとドリームプロジェクト（スケート教室、指導者講習など）を実施。
- 地域におけるスポーツ活動の活性化に向け、スポーツ少年団や帯広市スポーツ協会の活動を支援。
- スポーツを通じたまちなぎわいづくりを進めるため、関係団体等と連携し、全国・全道大会のほか、プロスポーツや合宿の誘致活動を実施。



2022フードバレーとかちマラソン



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 112.3% :

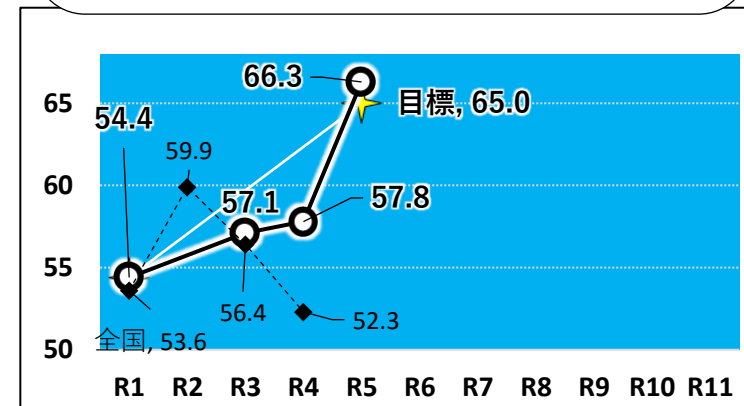
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
週1日以上運動・スポーツをする市民の割合		↑
指標の考え方	市民による主体的な運動・スポーツの実践や、市による運動・スポーツの機会の提供などにより、上昇を目指します。	基準値 (R1) 54.4%
		実績値 (R5) 66.3%
		目標値 (R5) 65.0%

【図1-1】 週1日以上運動・スポーツをする市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合」は66.3%であり、目標を達成しました。

市では、市民がスポーツに親しめるよう、学校施設の開放や総合型地域スポーツクラブの支援を実施しているほか、体育施設の指定管理者においても各種スポーツ教室を開催するなど、気軽にスポーツに取り組むことができる環境が整備されています。市民まちづくりアンケートの「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合」は増加しており、健康志向の高まりもあり、日常生活の中に運動・スポーツを取り入れた市民が増えているものと考えられます。

一方で、市民まちづくりアンケートでは「運動・スポーツを行わなかった理由」として、「仕事や家事、育児等で忙しいから」、「面倒くさいから」、との回答が多くあったことから、スマートフォンアプリを活用した健康マイレージ事業のほか、スポーツフェスティバルやフードバレーとかちマラソンなどを通し、より多くの市民が日常生活の中で気軽にスポーツに取り組めるきっかけづくりを進めていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

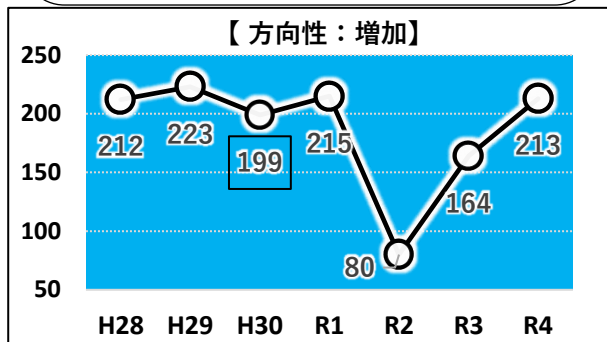
得点率 87.5% :

20点

15点

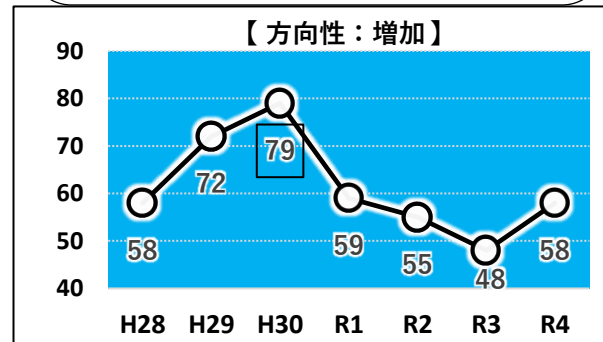
10点

【図1-2】 全国・全道大会等出場者数
(人)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】 帯広市内で開催されるスポーツ
国際・全国・全道大会数 (大会)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ= 85点 /100点)

市民がスポーツに親しむことができる環境づくりに向け、体育施設による活動の場の提供のほか、各種スポーツ教室や大会の開催等の取り組みを進めています。昨年につき、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツイベントや大会などの開催見合わせ、少年団及び一般団体による学校施設の使用を見合わせる動きもみられましたが、健康志向の高まりから、運動・スポーツを実施した市民が一定数いたことなどで、「週1日以上運動・スポーツをする市民の割合【図1-1】」の増加傾向が続いているものと考えます。今後もスマートフォンアプリを活用した健康マイレージ事業のほか、スポーツフェスティバルやフードバレーとかちマラソンなどを通じ、市民が生涯にわたって運動・スポーツに親しむためのきっかけづくりを進めていく必要があります。

競技スポーツの振興に向けては、「全国・全道大会等出場者数【図1-2】」、「市内で開催されるスポーツ国際・全国・全道大会数【図1-3】」ともに昨年より増加しています。今後の大会需要の回復状況などを踏まえ、市のスポーツ施設の有する充実した施設環境や大会運営能力などをPRしながら、大会等の効果的な誘致に取り組んでいく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策16 地球のために今、行動する — 環境の保全と循環型社会の形成 —



目指す姿

環境保全の意識が高まり、誰もが環境に配慮した行動をし、豊かな自然環境や生活環境が守られています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 75.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- エネルギーの有効活用を図るため、一般住宅への新エネルギー機器の導入費補助を実施したほか、公共施設や家庭における省エネ化の促進、家庭からの廃食用油の回収とB5燃料の利用促進などを実施。
- 市民の環境に対する意識の向上を図るため、とちぎ・市民「環境交流会」の開催や環境にやさしい活動実践校への支援、出前環境教室、省エネ啓発チラシの全戸配布などを実施。
- 市民のごみの適正排出推進のため、広報紙やSNSの活用、啓発チラシの配布、ごみ懇談会等による周知、清掃指導員による巡回パトロール、ごみ排出が困難な世帯への戸別収集（サポート収集）などを実施。
- ごみの再資源化や減量化を図るため、資源回収団体に対する資源集団回収奨励金及び十勝資源リサイクル事業協同組合に対する資源回収事業協力金の支給、使用済小型家電の回収などを実施。
- 生活環境を保全するため、大気や河川水質、自動車騒音などの測定調査を実施したほか、公害パトロールなどを実施。
- 自然環境を保全するため、特定外来生物であるアライグマの防除対策などを実施。



とちぎ・市民「環境交流会」2022の開催



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 72.4% :

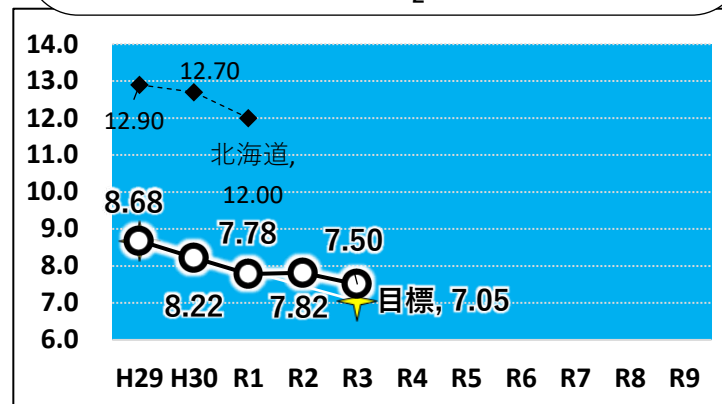
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
1人あたりの温室効果ガス排出量		↓
指標の考え方	市民、企業、市による省エネルギーの推進やエネルギー資源の利活用、3 R (リデュース・リユース・リサイクル) の推進などにより、減少を目指します。	基準値 (H29) 8.68 t-CO ₂
		実績値 (R3) 7.50t-CO ₂
		目標値 (R3) 7.05 t-CO ₂

【図1-1】 1人あたりの温室効果ガス排出量 (t-CO₂)



【指標の動向・要因分析】

「1人あたりの温室効果ガス排出量」は7.50t-CO₂であり、基準値は下回りましたが、目標を達成しませんでした。

新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅で過ごす時間が長くなり、家庭におけるエネルギー消費量が増加したことが要因と考えられますが、徐々に外出自粛が緩和されたことなどにより、前年度に比べると1人あたりの温室効果ガス排出量は減少しています。

今後も、市内から排出される温室効果ガスの排出割合が最も高い家庭部門を中心に、排出量の抑制に向けた省エネなどの啓発や、新エネルギー機器の導入支援などを通じ、市民の省エネ意識等の醸成をはかり、温室効果ガス排出量の削減につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

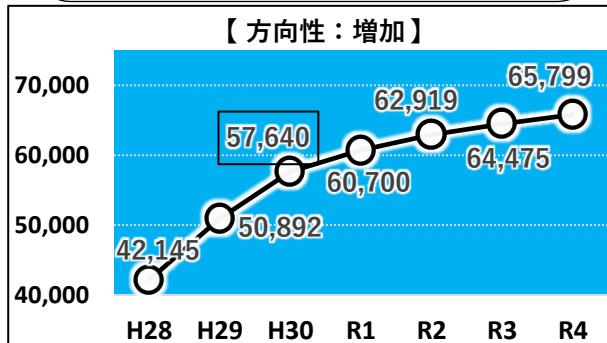
得点率 100.0% :

20点

15点

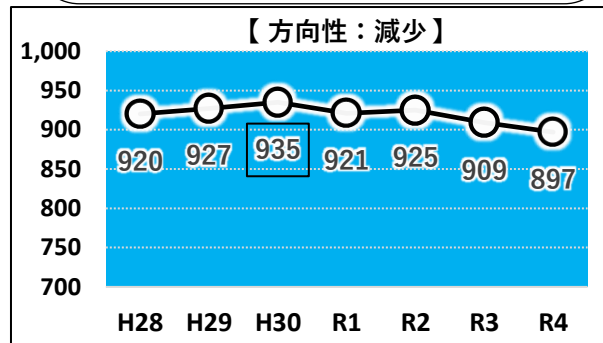
10点

【図1-2】再生可能エネルギー等の導入によるCO₂排出削減量 (t-CO₂)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】1人1日あたりのごみ排出量 (g)



策定時より減少・前年より減少：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ = 75点 /100点)

新エネルギー機器の導入支援により一般住宅への新エネ機器の導入が進み、「再生可能エネルギー等の導入によるCO₂排出削減量【図1-2】」の増加につながっています。また、新型コロナウイルス感染症の影響で自宅で過ごす時間が長くなり、引き続き家庭におけるエネルギー消費量が多い状況にありますが、徐々に外出自粛が緩和されたことなどにより、「1人あたりの温室効果ガス排出量【図1-1】」は前年度に比べ減少しました。引き続き、新エネルギー機器の導入支援に取り組むほか、家庭での温室効果ガス排出量削減に向け、省エネの啓発などに取り組む必要があります。

「1人1日あたりのごみ排出量【図1-3】」は、計画策定時・前年度と比べて共に減少しました。特に事業系ごみが計画策定時と比べて大きく減少しており、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う事業活動への影響が大きかったと考えられます。一方で、リサイクル率は、前年度25.0%から24.7%に微減しており、3Rの推進やごみの排出抑制及び分別に対する意識の向上に向け、広報紙やごみ懇談会等の活用による市民への啓発を継続して行っていく必要があります。

自然環境や生活環境の保全については、大気や河川水質、騒音などの測定調査や公害パトロールの実施、自然環境保全地区の監視や清掃ボランティアへの支援などを行っており、環境基準の達成状況などから良好な環境が維持されているほか、清掃活動への参加者が増加しています。今後も、豊かな自然環境と良好な生活環境の維持に向け、取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策17 「まさか」に備え今、行動する — 防災・減災の推進 —

目指す姿

市民一人ひとりが、高い防災意識のもと、自ら備え地域で支え合う体制が整えられ、自助・共助・公助により、災害に対する対応力が高まっています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 55.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 災害時の体制強化のため、市職員を対象とした防災訓練等を実施。
- 災害時要援護者に対する支援体制を整備するため、「おびひろ避難支援プラン」に基づく、個別支援計画策定を推進。
- 自助・共助による防災力向上のため、町内会などに対する研修会の実施や助成などによる自主防災組織の結成、育成などを支援。
- 公助としての避難体制の強化のため、備蓄基準に基づく、備蓄品の更新・整備を実施。
- 防災情報の周知啓発のため、WEB版ハザードマップの作成や、防災ガイドの作成・全戸配布を実施。
- 建築物の耐震化を促進するため、無料耐震簡易診断や相談体制の整備などを実施。
- 洪水の被害防止や河川の適切な管理のため、河川のパトロールや河川敷地の草刈りを実施。



令和4年9月に実施した防災訓練



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲49.8% :

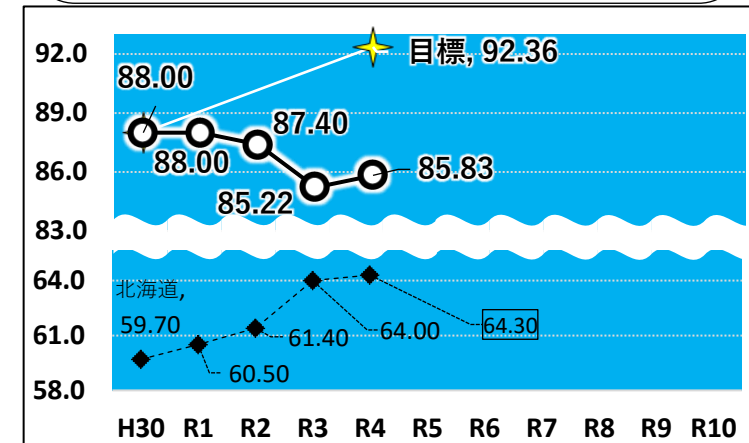
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
自主防災組織活動カバー率		↗
指標の考え方	市民が防災に対する関心や、地域で支え合う共助の意識を高め、市による防災意識の啓発や自主防災組織の設立支援などにより、上昇を目指します。	基準値 (H30) 88.00%
		実績値 (R4) 85.83%
		目標値 (R4) 92.36%

【図1-1】 自主防災組織活動カバー率 (%)



【指標の動向・要因分析】

「自主防災組織活動カバー率」は85.83%であり、目標を達成しませんでした。

市による防災に関する出前講座やセミナーの開催、リーダー育成などの取り組みにより、市民の防災に関する意識向上は図られてきていますが、新型コロナウイルス感染症による影響により、共助の担い手となる町内会等がコミュニティ活動を自粛したこともあり、自主防災組織の新規設立につながっていないものと考えます。北海道平均より高い水準を維持しており、今後も未設立地域への防災出前講座等の開催の働きかけなどを通し防災対策への意識啓発を図り、共助による地域の防災力の向上につなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

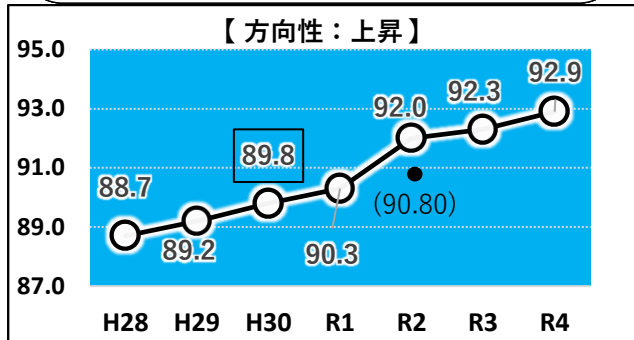
得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】住宅の耐震化率
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

- 第3期耐震改修促進計画において、耐震化率の算定方法が変更となっています。(R2～)
(R2：90.8%→92.0% R3：92.3%、R4：92.9%)

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ = 70点 /100点)

市民一人ひとりの防災意識の向上を図るため、平時から災害に備える重要性など防災に関する情報について、防災ガイドの全戸配布や広報紙、ホームページなどで啓発を行いました。災害時は市民自ら適切に行動できることが必要であることから、今後も情報発信や、防災訓練等の実施はもとより、家庭での備蓄を促しながら、自助の重要性についての理解促進を図っていく必要があります。

災害時における地域での支えあいの促進に向け、災害時要援護者の把握や、避難に関する個別計画の策定、自主防災組織の育成などを進めています。新型コロナウイルス感染症による影響により、共助の担い手となる町内会等がコミュニティ活動を自粛したこともあり、自主防災組織活動カバー率【図1-1】の増加にはつながっていません。今後も、未設立の地域に対して防災出前講座の開催等を働きかけるなど、自主防災組織の重要性についての理解促進を図り、共助による防災力向上につなげていく必要があります。

建築物の耐震化促進のため、耐震診断・改修・建替えへの支援や相談対応、無料耐震簡易診断などを実施していますが、耐震化には、高額な経費が掛かることなどから、「住宅の耐震化率【図1-2】」は92.9%であり前年から微増にとどまっています。今後も第3期耐震化促進計画に基づき、耐震化の重要性について周知を行いながら、各事業の推進を通し、耐震化に対する理解促進を図っていく必要があります。また、緊急情報一斉伝達システムの運用や備蓄資機材の適切な維持・管理により、災害時の様々な事態に迅速かつ的確に対応するための体制の充実を図りました。今後も関係機関と連携しながら公助の強化を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策18 とかちで守るみんなの安心 — 消防・救急体制の確保 —

目指す姿

管内町村や関係機関等との連携により、安心して暮らせる消防・救急体制が維持・確保されています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 100.0% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 効率的な消防体制の維持・確保を図るため、水槽付消防ポンプ自動車や高規格救急自動車の更新のほか、指令システム・デジタル無線機器の部分更新などを実施(実施主体：とかち広域消防事務組合)。
- 消防水利の確保のため、消火栓の更新、移設、修繕等を実施。
- 消防体制の維持のため、消防庁舎、消防団詰所の維持管理や消防団に係る消防車両・装備の維持管理を実施。
- 地域防災力の強化のため、消防団員確保に向けた普及啓発をはじめ、消防団員に対する教育訓練・研修機会の充実及び安全装備品の整備を推進。



消防団員研修会の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 462.5% :

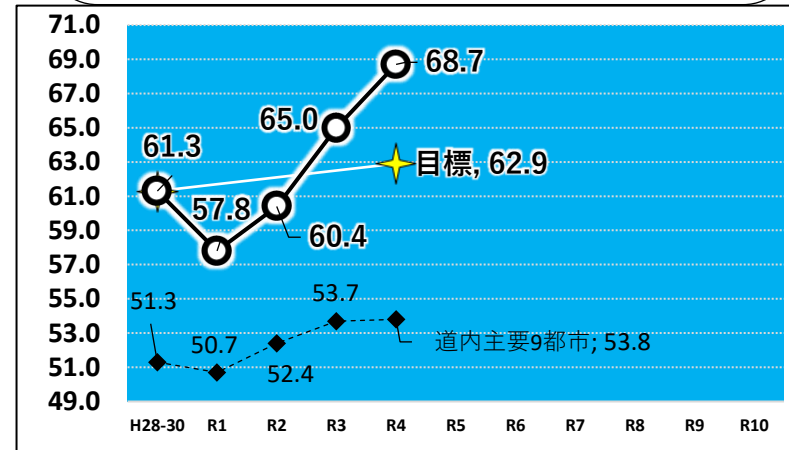
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
応急手当実施率		↗
指標の考え方	市による救命・救急講習の実施や、市民の心肺蘇生やAEDを用いた応急手当の習熟により、上昇を目指します。	
	基準値 (H28-30平均)	61.3%
	実績値 (R4)	68.7%
	目標値 (R4)	62.9%

【図1-1】 応急手当実施率 (%)



※道内主要9都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「応急手当実施率」は68.7%であり、目標を達成しました。

救命・救急講習の開催やおびひろ救命アシスト事業の推進などを通し、応急手当の知識があるバイスタンダー（けが人や急病人が発生した場合、その場に居合わせた人のこと）を養成してきたことで、心肺停止事案の救急現場において、応急手当が実施される割合が増加したと考えます。

応急手当実施率は道内主要9都市の平均よりも高い割合となっており、今後も引き続き、市民への救命・救急講習を実施し、応急手当の知識があるバイスタンダーの養成などを進めていきます。



Ⅲ 関連データの状況

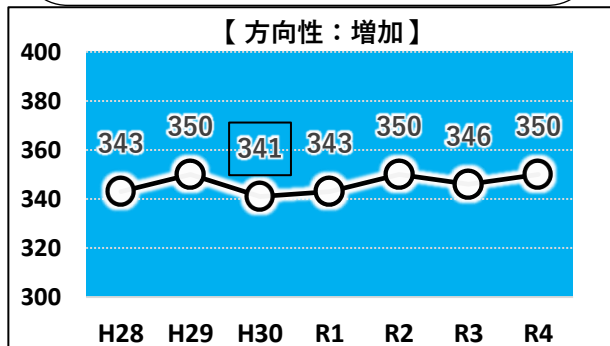
得点率 100.0% :

20点

15点

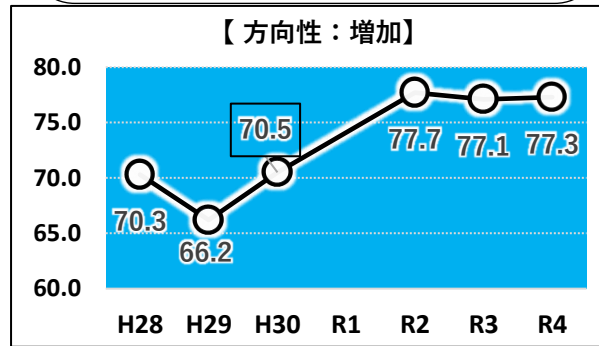
10点

【図1-2】消防団員数
(人)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】住宅用火災警報器設置率
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

※ R1は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で調査未実施

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ＝ 100点 /100点〕

消防・救急体制の維持・確保に向け、水槽付消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車の更新や指令システム・デジタル無線機器の部分更新を進めてきたほか、応急手当の普及啓発として、普通救命講習の定期開催のほか、要望に応じた出前講習の開催、救命アシスト事業の推進、広報紙やラジオなどの媒体を通じた応急手当のPR活動に取り組み、応急手当ができる市民は増加しています。その結果、バイスタンダーによる応急手当の実施割合が高まり「応急手当実施率【図1-1】」の増加につながっています。応急手当ができる市民を増やすことが、人命を救える機会を増やすことにつながるため、今後も救命・救急講習の実施を通し普及啓発などに取り組む必要があります。

消防団員の確保に向け、消防職員及び団員による勧誘、ホームページや広報おびひろでのPR等を実施してきたほか、消防団活動に関心を示す企業に対し説明の機会を設けるなど、消防団への加入促進や消防団活動に参加しやすい環境づくりに取り組んでいる事業所を認定する消防団協力事業所表示制度の周知を図ってきたことにより、「消防団員数【図1-2】」や消防団協力事業所数は前年度より増加し、地域防災力の向上に繋がっています。しかしながら、本市の消防団員数は定員を満たしていない状況にあるほか、団員の高齢化や担い手不足による組織体制への影響も懸念されることから、引き続き企業と連携を図るとともに、SNS等を活用した情報発信の強化など、若年世代の入団促進に向け、消防団員が活動しやすい環境づくりや消防団活動への理解を促進する取り組みを進めていく必要があります。

また、「住宅用火災警報器設置率【図1-3】」は計画策定時よりも増加していますが、さらなる設置率の向上を図るため、各種イベントや出前講座など対面による普及啓発の取り組みを強化し、火災予防意識の啓発を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策19 みんなでつくる笑顔と安全 — 安全な生活環境の確保 —

目指す姿

交通安全や防犯、消費生活に対する意識が高まり、地域で支え合い、被害が生じにくい安全な生活環境が確保されています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 54.5% :	40点	30点	25点
-------------	-----	-----	-----

【事務事業の主な取り組み】

- 交通ルールの遵守や交通マナーの向上のため、高齢者や子どもなどを対象にした各種交通安全教室等の開催や、関係機関や団体との連携による地域ぐるみの交通安全運動を展開。
- 安全な交通環境を確保するため、幹線道路や生活道路における歩道の整備や区画線、視線誘導標を設置。
- 防犯意識の向上のため、市公式 SNS を活用した情報提供や、回転灯を装備した公用車等による防犯パトロール等を実施。
- 消費者が自らの利益の擁護のため自主的かつ合理的に行動することができるよう、消費生活に関する正しい知識の普及や、消費者被害の未然防止を図るための各種講座や講演会を開催。
- 市民の安全で合理的な消費を支援するため、ホームページ等による消費生活に関する情報を提供。
- 夜間における交通安全、防犯等を図るため、町内会等の防犯灯管理への支援。



交通安全教室の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 271.4% :

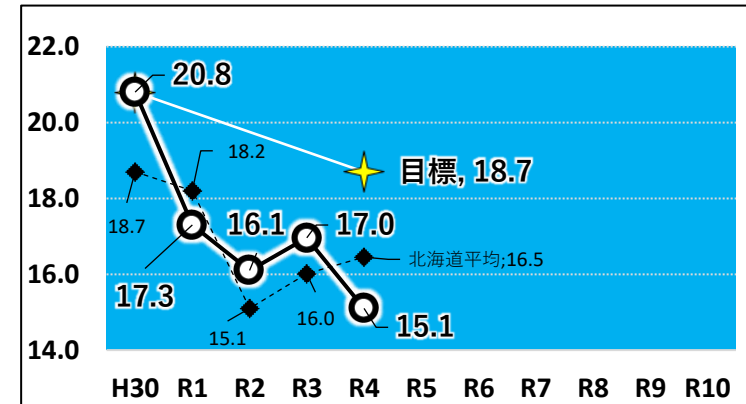
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
1万人あたりの交通事故発生件数		↓
指標の考え方	市民による交通ルール・マナーの遵守や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	基準値 (H30) 20.8件
		実績値 (R4) 15.1件
		目標値 (R4) 18.7件

【図1-1】1万人あたりの交通事故発生件数 (件)



【指標の動向・要因分析】

「1万人あたりの交通事故発生件数」は15.1件であり、目標を達成しました。

市による高齢者や子どもなどの交通弱者に対する交通安全教室や道路の環境整備の実施などのほか、市民の交通ルール遵守意識の向上などにより、目標値の達成につながったものと考えます。



Ⅲ 関連データの状況

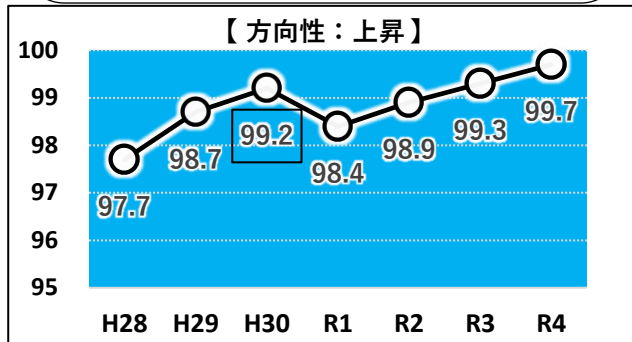
得点率 100.0% :

20点

15点

10点

【図1-2】消費生活相談の解決率
(%)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

(Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ = 85点 / 100点)

交通事故や交通違反の防止に向け、交通安全教室の開催など、市民の交通安全意識の向上を図ってきたほか、注意喚起看板の設置や歩道の整備などに取り組み、「1万人あたりの交通事故発生件数【図1-1】」は、市民の交通ルールの意識向上などにより、前年より減少しています。また、犯罪の発生抑制に向け、防犯パトロールや街頭啓発の実施のほか、防犯関係団体の活動や町内会による防犯灯の設置などの支援を継続していますが、刑法犯の認知件数は、令和3年の548件から560件とやや増加しています。今後も、交通安全・防犯意識の向上や交通事故・犯罪の防止に向けた環境づくりを進めていく必要があります。

消費生活に関するトラブル防止に向け、消費生活に係る情報提供や相談対応などを行っており、「消費生活相談解決率【図1-2】」は、高い水準を維持しています。今後も意識啓発や相談対応に取り組み、消費者意識の醸成を図る必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が25点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。



施策20 未来につなぐ、おいしい水 – 上下水道の基盤強化 –



目指す姿

いつでも安全で安心して利用できる強靱な上下水道が確保されています。



事務事業の進捗状況

進捗率 95.7% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 水道水の安定供給を図るため、配水管整備や浄水場等の機器設備更新、配水池の耐震工事などを実施。
- 統合された大空学園義務教育学校に、災害時に活用する緊急貯水槽を設置。
- 快適な生活環境づくりのため、雨水管や污水管、個別排水処理施設を整備。
- 下水道サービスの安定供給と広域化による効率的な事業運営を図るため、終末処理場設備改修や污水处理施設統合に向けた取り組みを実施。
- 災害時の体制強化を図るため、災害対策備蓄資器材の充実や災害訓練を実施。
- 利便性向上のため、水道料金等のスマートフォンアプリによるキャッシュレス決済を導入。
- 物価高騰等の影響を受ける水道使用者の支援のため、水道料金の基本料金免除を実施。
- 上下水道に関する理解促進のため、「水を見る週間」などのイベントを通じたPRやおびひろ極上水の製造・販売、カラーマンホール蓋の設置、マンホールカードの制作・配布を実施。
- 利用者サービス向上のため、メーター更新時に掘削を要しないメーターボックスへ更新。
- 安全な水道水供給のため、河川表流水調査や水源水質調査、水質基準検査などを実施。
- 環境負荷を軽減するため、下水汚泥の耕地還元や発生ガスの有効活用を実施。
- 下水道の利用促進のため、下水道への接続の普及啓発を実施。



大空学園義務教育学校の緊急貯水槽



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 123.3% :

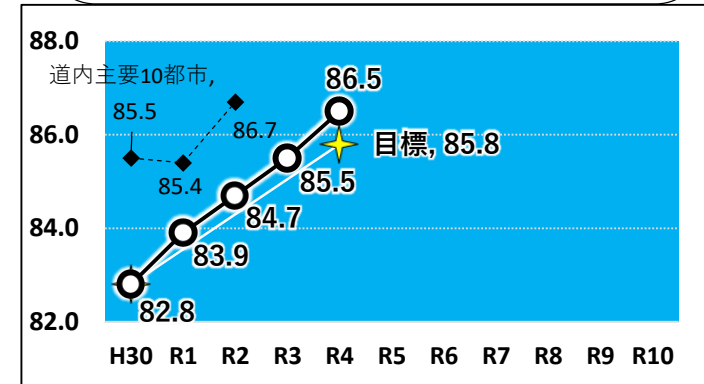
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
水道管路の耐震適合率		↗
指標の 考え方	上下水道の事業内容等への市民の理解を得ながら、市による強度や耐震性に優れた水道管への更新を進めることにより、上昇を目指します。	
	基準値 (H30)	82.8%
	実績値 (R4)	86.5%
	目標値 (R4)	85.8%

【図1-1】水道管路の耐震適合率 (%)



※道内主要10都市：札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、釧路市、江別市、北見市、小樽市、室蘭市、帯広市

【指標の動向・要因分析】

「水道管路の耐震適合率」は86.5%であり、目標を達成しました。

市の配水管整備事業により、耐用年数を迎える塩化ビニール管を国の耐震基準に適合する耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管などに計画的に更新してきたことによるものと考えます。



III 関連データの状況

得点率 100.0% :

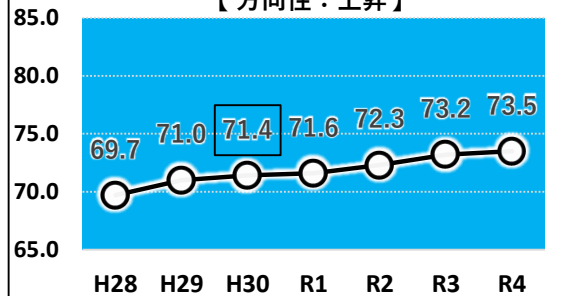
20点

15点

10点

【図1-2】 雨水整備率 (%)

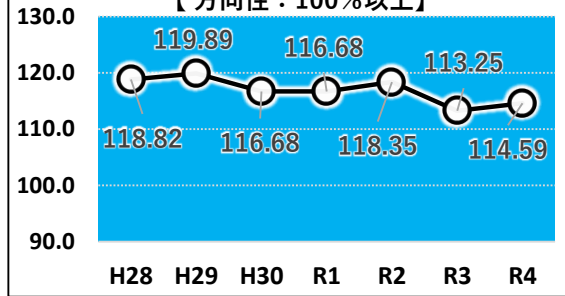
【方向性：上昇】



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】 経常収支比率（水道事業会計） (%)

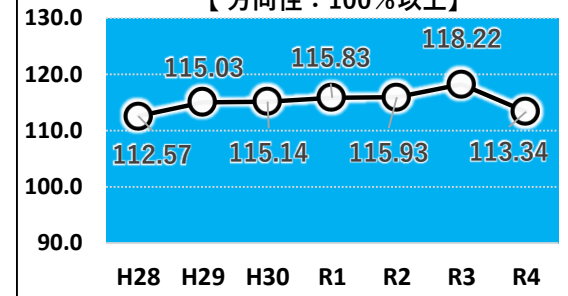
【方向性：100%以上】



基準以上：3点

【図1-4】 経常収支比率（下水道事業会計） (%)

【方向性：100%以上】



基準以上：3点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 100点 /100点〕

上下水道の基盤強化に向け、計画的な施設の長寿命化や耐震化を進めているほか、浸水対策などを着実に進めており、「水道管路の耐震適合率【図1-1】」や「雨水整備率【図1-2】」が上昇しています。

上下水道施設の老朽化が進む中、中長期的な視点に立った計画的・効率的な維持管理や更新事業を実施しており、水道料金・下水道使用料等によって維持管理等に必要な費用が賄われ、「経常収支比率【図1-3】【図1-4】」が100%以上となっているなど、健全な経営が維持されています。今後は、人口減少の進行に伴う収入の減少や施設の老朽化に伴うコストの増加などが見込まれていることから、上下水道の経営状況や事業内容の周知などを通じ、上下水道事業への理解を促進するとともに、中長期的な視点を持ち、より健全かつ安定的な経営につながる取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が20点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策21 未来につなぐ、住みよいまち — 都市基盤の整備と住環境の充実 —

目指す姿

都市機能の配置やインフラ施設等の管理が適切に行われ、コンパクトで誰もが住みやすいまちが形成されています。

I 事務事業の進捗状況

進捗率 94.6% :	40点	30点	25点
-------------	-----	-----	-----

【事務事業の主な取り組み】

- 都市内の主要な交通網を形成するため、都市計画マスタープランに基づき、未整備となっている都市計画道路の整備を実施。
- 緑地の保全や緑化の推進に取り組むため、みどりの基本計画に基づき、公園緑地の整備や維持管理のほか、緑化協議、慶事記念樹の贈呈、桜並木の整備等を実施。
- 居住の安定に特に配慮が必要な高齢者及び子育て世帯に対し、良好な住環境の提供を促進するため、地域優良賃貸住宅等への整備費補助及び家賃補助を実施。
- 中心市街地の活性化のため、イルミネーションプロジェクトやホコテンなどのまちなか活性化に向けたイベントなどに対する支援のほか、新規事業展開の支援を実施。
- 地域公共交通の維持確保のため、公共交通の利用促進活動や小学生等への交通環境学習などを実施したほか、バス運行維持に対する支援を実施。
- 地域住民の生活環境の保全を図るため、空き家等の利活用や適正な管理に向けた情報発信や相談対応、改修補助などを実施。



解体につながった特定空家



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 220.0% :

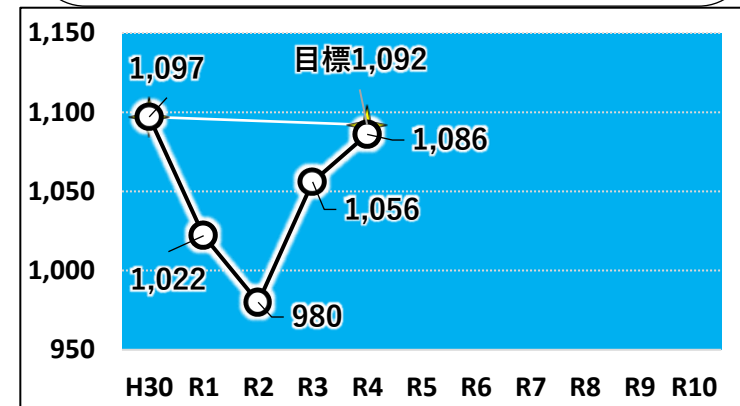
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
空き家数		↓
指標の考え方	所有者による空き家等の適切な管理・活用や、市による意識啓発などにより、減少を目指します。	
	基準値 (H30)	1,097箇所
	実績値 (R4)	1,086箇所
	目標値 (R4)	1,092箇所

【図1-1】空き家数 (箇所)



【指標の動向・要因分析】

「空き家数」は1,086箇所であり、目標を達成しました。

市による空き家に関する情報発信や相談対応、除却・改修補助などの取り組みのほか、北海道空き家情報バンクによる空き家の周知や利活用、所有者による管理や除却が進められたことが要因と考えますが、一方で令和3年度以降、新規発生空き家の増加や除却費用の上昇などにより空き家数は増加に転じています。引き続き、所有者への適切な管理等を求めていくとともに、関係団体と連携し市の補助制度など空き家に関する情報の周知をはかりながら、空き家の除却や利活用などにつなげていく必要があります。



Ⅲ 関連データの状況

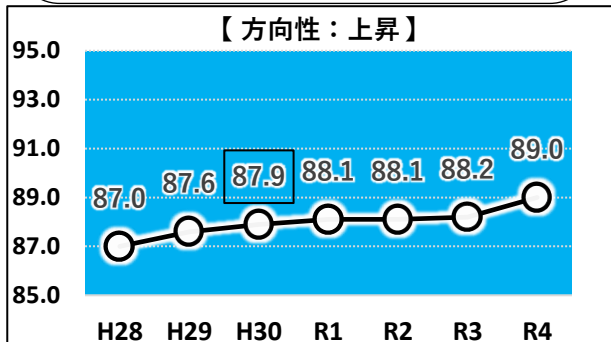
得点率 76.0% :

20点

15点

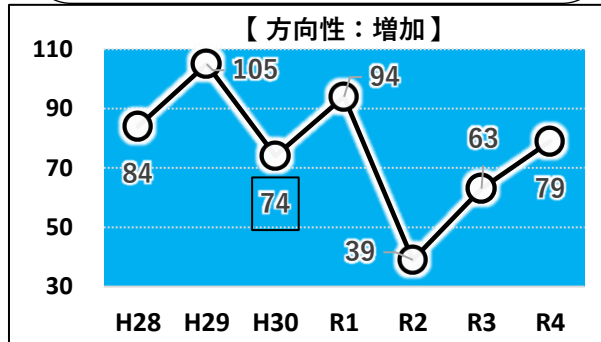
10点

【図1-2】都市計画道路の整備率 (%)



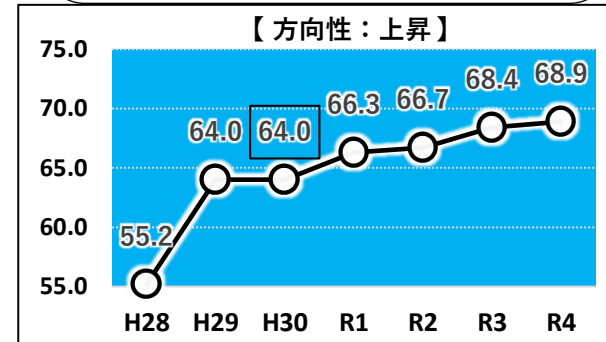
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-3】公園行為許可件数 (件)



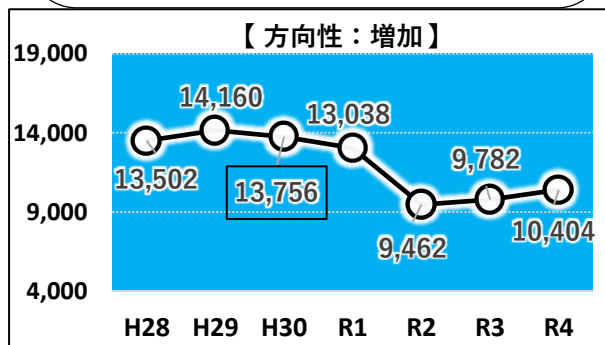
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-4】高齢者及び身障者に対応した市営住宅等の割合 (%)



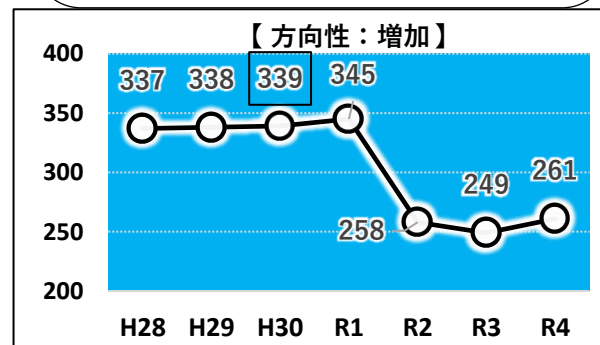
策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-5】中心市街地の平日昼間9～17時の歩行者通行量 (人)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-6】市内運行路線における路線バス年間利用者数 (万人)



策定時以下・前年より増加：2点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

順調に進んでいる

〔Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＝ 95点 /100点〕

中心市街地の活性化に向けては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベントの縮小・中止はあったものの、中心街に人を呼び込むイベントの開催支援や新規事業展開の支援などに取り組み、「中心市街地歩行者通行量【図1-5】」は前年度比では増加しています。計画策定時の数値を上回るよう、今後も関係団体や事業者等と連携し、にぎわいの創出に向けた取り組みを促進していく必要があります。

公園の適正管理や利活用促進に向け、公園緑地の整備や維持管理のほか、市民協働による帯広の森の育成・利活用などを進めており、「公園許可行為件数【図1-3】」は前年度より増加しています。今後も、公園緑地の利活用方法や活用例の情報発信などにより、健康や福祉、観光、地域活性などの分野でのみどりの利活用を促進し、公園の魅力の向上につなげていく必要があります。

人口構成の変化に対応した住まいを提供するため、民間事業者を活用した子育て世帯・高齢者世帯向けの公的賃貸住宅の供給を促進したほか、ユニバーサルデザインを取り入れた市営住宅の建て替えを進めたことにより、「高齢者及び身障者に対応した市営住宅の割合【図1-4】」は前年より増加しています。一方で新規発生の空き家の増加や除却費用の上昇などにより「空き家数【図1-1】」は増加しています。今後も、関係団体と連携し、市の補助制度など空き家に関する情報の周知をはかりながら、空き家の除却や利活用などにつなげていく必要があります。

道路の整備・維持管理については、計画的な道路整備、橋梁や大型標識の定期的な点検・修繕、街路樹の維持管理、除雪体制の確保や除雪方法の情報発信、都市計画道路の整備【図1-2】が進んでいる一方、除雪については、降雪状況が出勤条件を満たさず、出勤を見送ったことが要因となり、道路交通に影響が生じたケースがあったことから、問い合わせ件数が増加しました。今後も計画的な整備や、定期的な維持管理を行うほか、降雪時間や気温などを踏まえた効率的な除雪の実施、市民へのわかりやすい除雪情報の発信などを通し、除雪方法等の理解促進に努めていく必要があります。

地域公共交通の確保に向けては、バス路線維持に対する支援や農村地区における交通手段の確保、公共交通の利用促進などの取り組みを進めていることに加え、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出自粛等の影響が緩和してきたことから、「市内運行路線における路線バス利用者数【図1-6】」は前年より増加しましたが、策定時（平成30年度）までの回復には至っておりません。今後も、交通事業者をはじめとする関係機関と連携し、利用者のニーズに即した公共交通サービスの利便性向上及び利用促進に向けた取り組みを進め、持続可能な公共交通サービスを確保していく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が40点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「順調に進んでいる」と評価します。



施策22 認め合い、つながり、暮らす – 多様な主体が活躍する地域社会の形成 –



目指す姿

誰もが互いに尊重し合い、つながりながら、住みよいまちをつくるために主体的に行動し活躍しています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 63.6% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民団体等のまちづくり活動を支援するため、市民提案型協働のまちづくり支援事業を実施したほか、交付金補助による町内会の活動支援や、町内会活動の周知、町内会への加入啓発等を実施。また、市民相互の交流促進のため、コミュニティ施設を維持管理。
- 国際姉妹・友好都市、国内姉妹都市との交流活動を支援するため、高校生をはじめとする相互交流事業を実施。
- 移住促進を図るため、移住希望者に対する相談支援やホームページ等を活用した情報提供を実施。
- 男女がともに仕事と家庭生活を両立できる環境づくりや女性への暴力の根絶を図るため、男女共同参画に関する講座の実施や、啓発パンフレットを配布。
- アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進のため、講演会や、アイヌ民族文化情報センター（リウカ）、アイヌ文化とのふれあいゾーン（緑ヶ丘公園）を活用した周知啓発を実施。
- アイヌ子弟の教育環境の充実を図るため、教育扶助を支給。
- 平和意識の啓発を図るため、平和カレンダーの作成、配布やパネル展を実施。



市民提案型協働のまちづくり支援事業
団体の活動の様子



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲441.7% :

40点

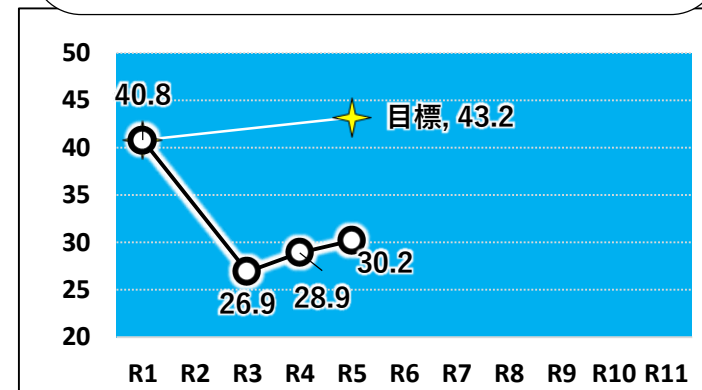
30点

25点

目指そう指標名		方向性
直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合		↗
指標の考え方	基準値 (R1)	40.8%
	実績値 (R5)	30.2%
	目標値 (R5)	43.2%

市民による主体的なボランティア活動・地域行事等への参加や、市による多様な活動への支援などにより、上昇を目指します。

【図1-1】直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合」は30.2%であり、前年度から1.3ポイント上昇したものの、目標を達成しませんでした。

市では、市民主体のまちづくり活動の促進やコミュニティ施設の維持管理などに取り組んでいるほか、市民団体や民間企業等において新たな社会貢献活動が展開されるなど、まちづくりに参画する主体の広がりが見られてきていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し、様々なまちづくり活動の自粛が相次いだほか、人々が外出を自粛していたことなどが影響したものと考えます。

今後も、町内会、市民団体や民間企業、NPOなど、まちづくりに参加する多様な主体の活動支援などを通し、市民の地域社会活動への主体的な参加を促進していく必要があります。



III 関連データの状況

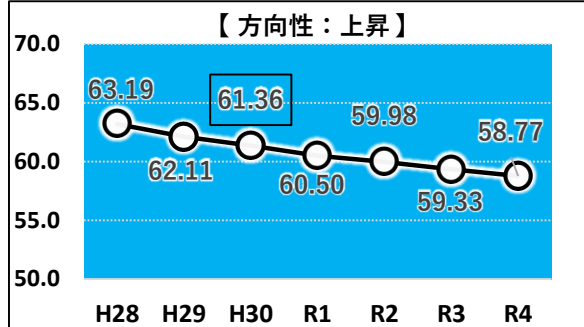
得点率 46.7% :

20点

15点

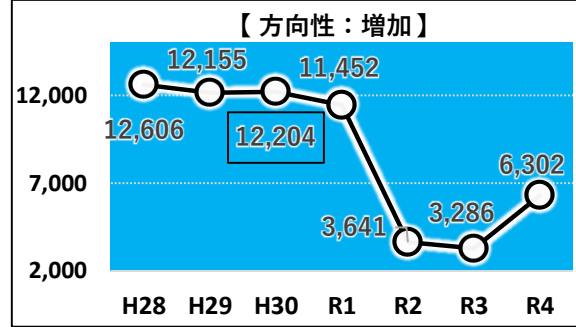
10点

【図1-2】 町内会加入率 (%)



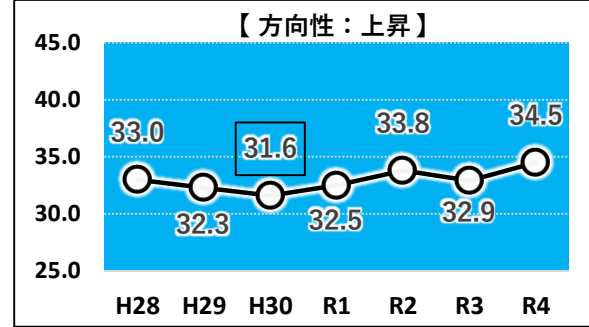
策定時以下・前年以下：0点

【図1-3】 国際理解推進事業・国際交流事業参加者数 (人)



策定時以下・前年より増加：2点

【図1-4】 審議会等への女性の参画率 (%)



策定時より増加・前年より増加：5点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

さらなる進捗が必要

{ I + II + III = 65点 / 100点 }

コミュニティ活動の活性化に向け、市民提案型協働のまちづくり支援事業や、こども学校応援地域交付金のほか、市民団体等の活動情報の発信など市民団体やNPO等によるまちづくり活動への支援等により、新たに社会貢献活動を実施する団体・企業が見られており、まちづくりに参加する主体は広がりつつあります。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し、様々なまちづくり活動の自粛が相次いだことや人々が外出を自粛していたことなどにより、「直近1年間で地域社会活動に参加した市民の割合【図1-1】」は復調の傾向にあるものの、計画策定時を下回っています。今後は、市民団体やNPO等まちづくりに参加する多様な主体の活動を支援するなど、コミュニティ活動を促進していく必要があります。また、「町内会加入率【図1-2】」は依然として減少傾向にあるため、町内会の活動内容や役割の周知啓発、役員の負担軽減などに取り組むほか、今後の町内会のあり方について関係団体等と検討を行うなど、持続可能な町内会活動を支援していく必要があります。

姉妹都市をはじめとした他地域との交流に向け、各種交流イベントの実施や国際交流ボランティアの育成、在住外国人への情報提供などの取り組みを行いました。国際交流ボランティア登録者は増加しているものの、「国際理解推進事業・国際交流事業参加者数【図1-3】」は、感染症拡大の影響で一部の事業が中止・延期となったほか、JICA研修員などの外国人の大半が来日できず、日本文化を紹介する機会が減ったこともあり、計画策定時と比べて大きく減少しています。新型コロナウイルス感染症状況が落ち着く中で、国際ボランティアの登録者数が増加する等、復調傾向にあることから、今後も各国の多様な文化への理解促進を図りながら、市民主体の交流を促進していく必要があります。

女性活躍の促進や一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けては、「審議会等への女性の参画率【図1-4】」が上昇傾向にある一方、新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインとの併用で開催した女性活躍や男女共同参画などの講座については、実施会場の定員制限や人々の外出自粛等により参加者数が微増に留まっています。また、デートDV予防にかかる講座や、女性に対する暴力の根絶などの意識向上をはかる取り組みを進めていますが、障害者、高齢者、子どもなどへの虐待等も依然として存在しています。引き続き、多様性を認め合いながら、誰もが活躍できる環境づくりに向けた取り組みを進めていくことが必要と考えます。

アイヌの人たちの誇りが尊重される社会の実現に向け、アイヌ民族に関する生活文化展や講習会などの開催などに取り組み、アイヌ協会主催イベント等への参加者数やリウカの利用者数は回復傾向にはあるものの、人々の外出自粛等の影響により、微増に留まっているものと考えます。今後も様々な情報発信の手法を検討し、アイヌ民族の歴史・文化への更なる理解促進に向けた取り組みを進めていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が30点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が10点となっており、目指す姿の実現に向け、「さらなる進捗が必要」と評価します。



施策23 未来に夢をつなぐ – 自治体経営の推進 –



目指す姿

市民ニーズや行政を取り巻く環境の変化を的確に捉えた、市民に信頼される持続可能な自治体経営が行われています。



I 事務事業の進捗状況

進捗率 96.1% :

40点

30点

25点

【事務事業の主な取り組み】

- 市民に行政情報を分かりやすく伝えるため、各種行政手続きの手順や施設の利用案内等に係る動画をSNSで発信したほか、広報紙やホームページなど、様々な媒体を活用した情報発信を推進。
- 効果的・効率的な行政運営に向け、スマートフォンアプリによる市税や国民健康保険料等のキャッシュレス納付の導入、指定管理者制度導入施設の拡大、公用バスの廃止のほか、職員同士の情報共有やスケジュールの共有による業務効率化を目的としたグループウェアの導入、業務の標準化・省力化に向けたRPA(※1)やAI-OCR(※2)などICT(※3)の活用を推進。

※1 RPA：定型的業務を自動化する技術 ※2 AI-OCR：AI（人工知能）を搭載した文字認識技術

※3 ICT：情報通信技術

- まちづくりに関する取り組みの状況を市民と共有するため、第七期総合計画の進捗状況を取りまとめて公表。
- 公共施設等のマネジメントの推進に向け、長寿命化や施設総量の適正化などを図るため、消防施設、農業関連施設の個別施設計画を策定。
- 自主財源の確保・拡大を図るため、ふるさと納税に係る返礼品の充実や寄附受付サイトの拡充、未利用地・低利用地の売払いや貸付けのほか、新たな取り組みの検討などを実施。
- 市民の日常生活における様々な問題の解決支援のため、市民相談員による一般相談や弁護士無料相談を実施。
- 職員の意欲や能力の向上を促すため、職員に対して各種研修等を実施したほか、eラーニングによる自己啓発機会を提供。
- マイナンバーカードの普及を促進するため、市内商業施設に「帯広市マイナンバーカードセンター」を設置。



スマホアプリによる
キャッシュレス決済を導入



II 目指そう指標の進捗状況

進捗率 ▲110.0% :

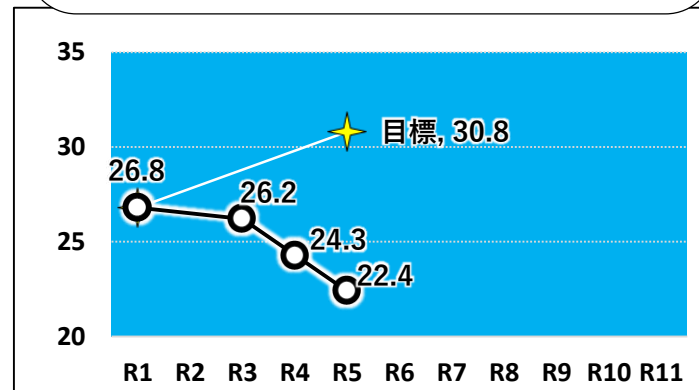
40点

30点

25点

目指そう指標名		方向性
まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合		↗
指標の考え方	わかりやすい情報発信に努めながら、効果的・効率的な自治体経営を進め、市民の理解や共感を得ることにより、上昇を目指します。	基準値 (R1) 26.8%
		実績値 (R5) 22.4%
		目標値 (R5) 30.8%

【図1-1】まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合 (%)



※ R2市民アンケート調査未実施

【指標の動向・要因分析】

「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合」は22.4%であり、目標を達成しませんでした。

市では、広報紙をはじめ、SNSや市長記者会見、ふれあい市政講座の実施など、多様な手法を用いて情報発信を行いながら、スマートフォンアプリによるキャッシュレス納付の導入や指定管理者制度導入施設の拡大、公用バスの廃止、ふるさと納税を通じた自主財源の確保など、効果的・効率的な行財政運営に向けた取り組みを進めていますが、目標値との乖離が生じています。

「有効に税金が使われていない」と回答した理由として、「どのように税金が使われているか分からない・分かりにくい」を選択した割合が64.1%と前年と同様に高い値となっているほか、「自分の身近な所に、税金があまり使われていないと感じるから」を選択した割合が61.9%と上昇傾向にあります。

このことから、「有効に税金が使われていると思う市民の割合」の上昇に向けて、市民の声を踏まえながら事業の見直し等を図り、取り組み状況を多様な媒体を通じて効果的に発信することにより、まちづくりに対する納得感を高めていく必要があります。



III 関連データの状況

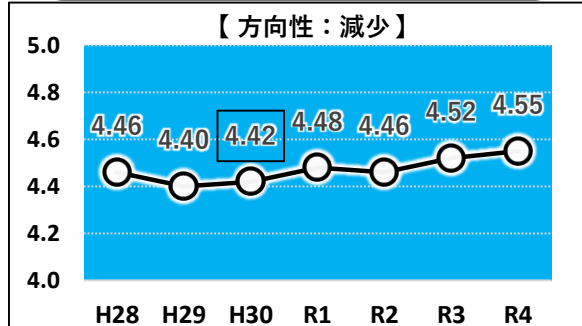
得点率 60.0% :

20点

15点

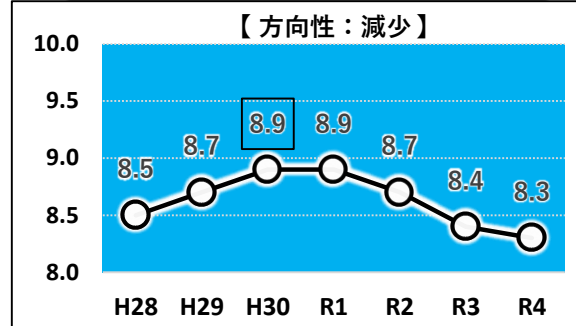
10点

【図1-2】市が管理する市民一人あたりの施設延床面積 (㎡)



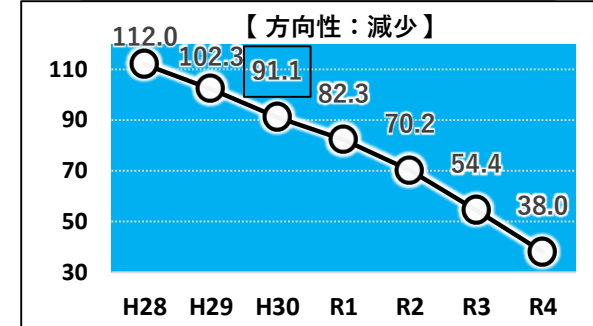
策定時以上・前年以上：0点

【図1-3】実質公債費比率 (%)



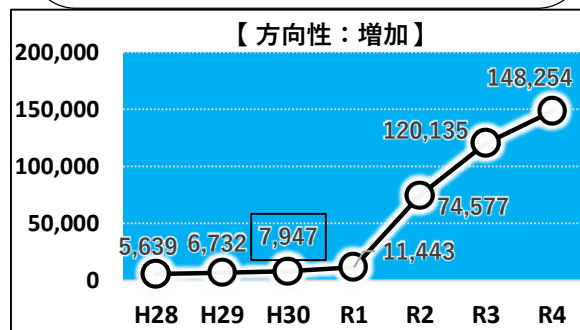
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-4】将来負担比率 (%)



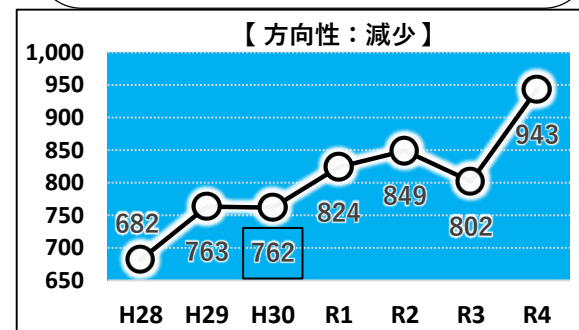
策定時より減少・前年より減少：5点

【図1-5】SNS等登録者数 (件)



策定時より増加・前年より増加：5点

【図1-6】月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数 (人)



策定時以上・前年以上：0点

※施策の推進に向けた市による事務事業や市民・企業等の様々な活動などによる地域社会の変化を把握するため、関連データの推移を示します。データの動向がグラフ枠上にある方向性に向かっていれば加点対象とします。

※□で囲んでいる箇所は計画策定時の数値です。



IV 施策評価

概ね順調に進んでいる

{ I + II + III = 80点 / 100点 }

まちづくりの考え方や取り組みに対する理解促進に向け、広報紙やホームページのほか、LINEなどのSNSの活用や市長記者会見等を通じた積極的な情報発信に取り組んでおり、「SNS等登録者数【図1-5】」は増加しているほか、まちづくりアンケートでは「行政情報を分かりやすく知ることができている」と回答した割合も前年と比べて上昇しています。しかし、「まちづくりのために、有効に税金が使われていない」と回答した人のうち、「行政情報を分かりやすく知ることができていない」と回答した割合が約4割を超えており、「自分の身近なところに、税金があまり使われていないと感じるから」を選択した割合が上昇していることから、多様な媒体を通じ、まちづくりの取り組みの内容や成果を、効果的に発信するほか、市民との対話を進めながら、市民の声を踏まえた事業の見直し等に努めていく必要があります。

効果的・効率的な自治体経営を進めるため、計画的な市債発行など中長期を見据えた財政運営に努めてきたことにより、「実質公債費比率【図1-3】」、「将来負担比率【図1-4】」ともに減少しています。一方で、業務の効率化に向け、新たにグループウェアを導入したほか、パソコンで行っている作業を自動化するRPAの活用範囲を拡大したことにより作業時間の縮減が図られたものの、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種関連業務やマイナンバー交付業務、選挙関連業務への対応などにより、「月間の時間外勤務が45時間を超えた職員の数【図1-6】」は前年と比べ増加していることから、今後も組織全体で事業の見直しや、ICTの活用促進による業務の効率化に取り組んでいく必要があります。

適正な業務執行の確保に向けては、定期監査や決算審査を実施しているほか、建設工事等の入札について、対象範囲の拡大等を図ってきたことなどに伴い、ほぼ全ての入札を一般競争入札により執行しています。

公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化に向けては、公共施設マネジメント計画に基づき、施設の統合や長寿命化などの取り組みを進めており、帯広競馬場内の一部施設などを廃止したことで総延床面積は減少しましたが、総人口の減少に伴い「市民一人あたりの施設延床面積【図1-2】」は前年と比べて増加しています。今後、財政面での制約がより強まると見込まれることから、各施設の老朽化の進行状況や公共施設に対するニーズの変化などを捉え、市民の理解と協力を得ながら、公共施設マネジメントの更なる推進を図っていく必要があります。

職員の育成については、各種研修等の実施のほか、eラーニングによる自己啓発機会の提供などを行っています。

他自治体との連携においては、廃棄物処理や水道、消防業務などの共同実施のほか、フードバレーとかちの推進や救急医療体制等の確保、観光客の誘致に向けたプロモーション活動の実施など、定住自立圏形成協定に基づく取り組みを推進しており、連携による事務の効率化や地域の生活機能の確保、魅力向上などが図られています。今後も、他自治体などと連携・協力し、効率的な運営や地域の活性化につなげていく必要があります。

施策全体としては、事務事業の進捗状況が40点、目指そう指標の進捗状況が25点、関連データの状況が15点となっており、目指す姿の実現に向け、「概ね順調に進んでいる」と評価します。

事務事業評価表

施策	1	取組	1	番号	1	事務事業	健康づくり推進事業			
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通じ、市民の健康づくりを推進します。					担当課	健康推進課			
目標	スマートフォン用アプリを活用し、運動習慣の定着を促す健康マイレージ事業の参加者数について4,500人を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進 健康マイレージの推進 スマートライフプロジェクトおよびひろの推進 おびひろ健康まつりの実施 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	1,723	1,563	1,790	
						特定財源	200	200	200	
						一般財源	1,523	1,363	1,590	
						指標名	健康マイレージ事業参加者数			単位
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
		1,500	3,000	4,500						
		2,230	2,878	3,701						
評価検証	R4年度の健康マイレージ事業の参加者数は3,701名であり、目標の達成には至りませんでした。周知カードなどの媒体を用い、関係団体や保健事業内での周知を行いました。協賛企業の加入が少なく事業としての魅力が不足したことが要因であると考えます。今後、改めて協賛企業の募集や効果的な周知等が必要と考えます。									

施策	1	取組	1	番号	2	事務事業	保健衛生普及啓発事業			
目的	保健衛生に関する情報提供や関係団体との連携などにより、市民の健康づくりを推進します。					担当課	健康推進課			
目標	子育てや健康づくりに役立つ情報を提供するすこやかネットの利用者数の増加を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 献血の普及啓発 臓器等提供の普及啓発 北海道難病連十勝支部への支援 健康づくりガイドの作成 地元食材の活用促進の啓発 帯広市すこやかネット事業の実施 公衆浴場の利用促進 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	25,555	22,887	22,759	
						特定財源	0	0	0	
						一般財源	25,555	22,887	22,759	
						指標名	-			単位
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	R4年度すこやかネットの利用者数は92,529人で大幅に増加し、目標を達成しました。SNSなどで子育ての世代向けの周知を強化したことが要因と考えます。R4年度ですこやかネットは終了し、今後は、ホームページやSNSを活用して、更に身近な情報提供を進めていきます。									

施策	1	取組	2	番号	1	事務事業	疾病対策事業			
目的	各種検診や保健指導、受診勧奨の実施により、疾病の予防や早期発見・早期治療と重症化予防を推進します。					担当課	健康推進課			
目標	大腸がんの検診における精密検査の受診率について75.5%を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> がん対策の実施 市民健康診査等の実施 肝炎ウイルス検診の実施 骨粗しょう症検診の実施 結核検診の実施 各種健診の受診勧奨・事後指導 糖尿病対策の実施 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	134,016	135,808	146,120	
						特定財源	3,172	3,113	2,919	
						一般財源	130,844	132,695	143,201	
						指標名	大腸がん検診の精密検査受診率			単位
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
		68.9	72.1	73.8	75.5					
			66.6	65.7	65.2					
評価検証	R4年度の大腸がん検診の精密検査受診率(R2年度の確定値)は65.2%であり、目標を達成しませんでした。R2年度より、施設検診受診者への精密検査受診再勧奨を実施していますが、精密検査費用の自己負担や、検診結果を重要視していない方が多いことが影響していると考えます。大腸がんの早期発見・早期治療の重要性について引き続き周知啓発を行っていくほか、精密検査の受診状況を市が確実に把握できるよう、実施医療機関と連携を図っていく必要があります。									

施策	1	取組	2	番号	2	事務事業	健康教育事業			
目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。					担当課	健康推進課			
目標	生活習慣の改善や病気の予防など健康づくりをテーマとした健康講座の受講者数について5,215人を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 集団健康教育の実施 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	3,339	3,529	3,519	
						特定財源	613	580	0	
						一般財源	2,726	2,949	3,519	
						指標名	健康講座受講者数			単位
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
		4,800	5,003	5,108	5,215					
			927	857	1,403					
評価検証	R4年度の健康講座の受講者数は1,403人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体が活動を自粛したり、企業等においても人が集まることを控えていたことから、依頼件数が少ない状況でした。今後は対面での健康講座を継続しながら、SNS上での動画の配信など、ICTの活用も行い講座を受けやすい環境づくりを進めます。									

施策	1	取組	2	番号	3	事務事業	健康相談・訪問支援事業			
目的	健康相談や訪問による保健指導などにより、市民の健康づくりを促進します。					担当課	健康推進課			
目標	市民の健康に関する不安に対して電話や面談により対応する健康相談・訪問の件数について773件を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談の実施 保健指導・受診勧奨の実施 保健福祉サービスに関する情報提供 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	3,016	2,879	2,661	
						特定財源	461	436	4	
						一般財源	2,555	2,443	2,657	
						指標名	健康相談・訪問件数			単位
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
		668	773	773	773					
			2,083	4,058	4,295					
評価検証	R4年度の健康相談・訪問の件数は4,295件であり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、健康への不安に関する相談が増加していることや、土曜日、日曜日の相談対応を行うなど相談体制を強化したことによるものと考えます。									

施策	1	取組	2	番号	4	事務事業	自殺対策事業			
目的	自殺対策に関わる人材の育成や地域での支え合いの強化、こころの健康づくりの普及啓発などを通じ自殺予防を図ります。					担当課	健康推進課			
目標	自殺の背景となる悩みの解決に向け、対応する様々な機関の連携や情報共有を促進する多分野合同研修会の参加者数について200人を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 帯広市生きるを支える連携会議の開催 ゲートキーパー養成(5回170名) 多分野合同研修会の実施(3回76名) SOSの出し方教室(2回18名) こころの健康づくりの普及啓発(こころの体温計、パネル展等) 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	440	458	457	
						特定財源	380	389	281	
						一般財源	64	69	176	
						指標名	多分野合同研修会参加者数			単位
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
		63	100	150	200					
			48	70	152					
評価検証	R4年度が多分野合同研修会の参加者数は152人であり、目標を達成しませんでした。感染症対策により定員制限は設けましたが、開催回数を増やしたことにより、前年度よりも参加者は増加しました。今後は、自殺対策に関する人材育成や地域での支え合いを強化するため、参加定員を増やし研修会を実施していく必要があると考えます。									

施策 1 取組 2 番号 5 事務事業 感染症予防事業									
目的	予防接種や日常の感染予防対策の実施により、感染症の発生及びまん延を予防します。				担当課	健康推進課			
目標	子どもの麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率について95.0%を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種の周知啓発 ・定期接種の実施(接種者延べ57,579人) ・中学3年生・高校3年生のインフルエンザ予防接種費用助成の実施(接種者延べ644人) ・風しん抗体検査の実施(受検者延べ1,060人) ・新型インフルエンザ対策行動計画の推進 ・感染症発生状況の把握、情報発信 ・エキノコックス症血清検査の実施(受診者延べ54人) ・新型コロナウイルスワクチン接種の実施(接種者延べ159,194人) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	466,286	1,484,651	1,246,530				
		特定財源	38,481	1,283,277	1,041,043				
		一般財源	427,805	201,374	205,487				
		指標名	麻しん・風しん混合ワクチン接種の接種率			単位	%		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	92.4		95.0		95.0		95.0		
			97.9		91.3		92.3		
評価検証	R4年度の麻しん・風しん混合ワクチン（2期）の接種率は92.3%であり、目標を達成しませんでした。対象者の保護者に対して、5月と12月に個別通知を送付したほか、就学時検診の際にチラシを配布する等の勧奨を行いました。必要性が十分に伝わらなかったことが要因であると考えます。今後も、個別通知のタイミングや内容を工夫して勧奨を行い、感染症対策と予防接種の必要性について周知啓発を図ります。								

施策 1 取組 2 番号 6 事務事業 健康増進計画（けんこう帯広21）推進事業									
目的	健康増進計画を推進し、健康増進に関する施策を総合的に進めます。				担当課	健康推進課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・健康生活支援審議会健康づくり支援部会の開催 ・「けんこう帯広21」の推進 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	0	0	0				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	0	0	0				
		指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 1 取組 2 番号 7 事務事業 保健福祉センター等管理運営事業									
目的	保健福祉センター等の管理運営を通して、健康づくりや子育て支援など、各種福祉サービスを提供します。				担当課	健康推進課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉センターの管理運営(利用者数34,743人) ・大正健康増進センターの管理運営(677人) ・川西健康増進センターの管理運営(3,505人) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	45,020	41,285	45,704				
		特定財源	1,337	1,244	1,229				
		一般財源	43,683	40,041	44,475				
		指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策	2	取組	1	番号	1	事務事業	のびのび子育て応援事業					
目的	地域担当保育士による乳児家庭訪問や保育所を活用した取り組み等により、家庭での子育てを支援します。					担当課	こども課					
目標	高校生や短大生などを対象とした、子どもの人権に対する理解促進を図る出前講座の参加者数について600人を目指します。											
事業実施状況	・こんには赤ちゃん訪問事業の実施(407回) ・あそびの広場事業の実施(135回、708組、1580人) ・保育所地域支援事業の実施(保育と給食体験、親子で保育参加、小中高生保育体験受け入れほか)(95組、198人) ・「子どもの権利条約」に係る出前講座の実施(29回、934人) ・サンデーファミリーの実施(11回、122組、357人)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	1,927	1,962	2,771			
						特定財源	2,138	2,878	2,414			
						一般財源	△211	△916	357			
評価検証	R4年度の出前講座の参加者数は934人であり、目標を達成しました。継続的に周知を行ったことで、新たに受講する学校の増につながり、全体の受講者数を押し上げたものと考えます。近い将来、子育て世代になる高校生や大学生などに対し、子どもが享受すべき人権に対する理解促進を図るため、今後も実施していくことが必要と考えます。					指標名	出前講座の参加者数		単位	人		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						600		600		600		600
								78		506		934

施策	2	取組	1	番号	2	事務事業	食育推進事業(保育所)					
目的	保育所での行事等を通して、児童の食に対する関心を高めるとともに、食と健康についての意識啓発を図ります。					担当課	こども課					
目標	食を通じた健康づくりを促進する食育講座(市主催)の1所あたりの平均参加人数について19人を目指します。											
事業実施状況	・行事での祝事食の提供(3回) ・ふるさと給食の提供(4回) ・保護者、児童向け食育講座の実施(5回、55人)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	854	745	816			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	854	745	816			
評価検証	R4年度の1所あたりの食育講座参加人数は7人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症に罹患する保育児が依然として多い状況にあったため、一部の公立保育所で食育講座を一度も開催することができなかったことが要因であると考えます。食を通じた健康づくりを促進するため、引き続き、食育講座の受講機会の確保に努めるほか、保護者懇談会や給食だよりによる周知など、様々な手法により食と健康についての意識啓発を図っていくことが必要と考えます。					指標名	1所あたりの食育講座参加人数		単位	人		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						17		19		19		19
								3		6		7

施策	2	取組	1	番号	3	事務事業	子育て支援事業					
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。					担当課	子育て支援課					
目標	地域で子育てを支援するファミリーサポートセンター事業によるサポート件数について1,804件を目指します。											
事業実施状況	・すこやかネット事業の実施(登録者17人、アクセス数103,013件) ・絵本との出会い事業の実施(配布対象1,014人) ・ファミリーサポートセンター事業の実施(789人、1,674件) ・子育て支援事業登録事業の実施(登録事業所数292事業所) ・利用者支援事業(基本型)の実施(セルフプラン作成数8件、転入者対応14件) ・衛生用品等の購入支援(子育て支援総合支援センター、帯広ファミリーサポートセンター) ・出産子育て応援給付金の支給(2,285人)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	11,422	11,981	126,608			
						特定財源	21,423	22,248	118,991			
						一般財源	△10,001	△10,267	7,617			
評価検証	R4年度ファミリーサポートセンター事業の利用件数は1,674人であり、目標を達成しませんでした。前年度よりも利用件数は増加したものの、子どもへの感染が広まったことにより、就労に伴う預かりや習い事への送迎などの利用ができなくなったことが要因と考えます。事業の登録者は増加傾向にあり、就労による預かり等潜在的なニーズは高いことから、今後も事業を継続していくことが必要と考えます。					指標名	ファミリーサポートセンター事業の利用件数		単位	件		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						1,096		1,450		1,627		1,804
								1,195		1,510		1,674

施策	2	取組	1	番号	4	事務事業	歯科保健事業					
目的	幼児期の継続的な歯科健診等を通して、口腔の健康管理のための正しい知識の普及を図ります。					担当課	健康推進課					
目標	乳幼児の虫歯保有率の低下を目指します。											
事業実施状況	・集団歯科健診の実施 ・歯科医療機関での歯科健診、フッ化物塗布の実施					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	11,540	11,416	11,243			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	11,540	11,416	11,243			
評価検証	R4年度は、1歳6か月児以降における定期的な歯科健診やフッ化物塗布の促進などにより、1歳6か月児から6歳児における虫歯保有率が平均1.7ポイント減少しており、目標達成に向け進捗しています。					指標名	-		単位			
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策	2	取組	1	番号	5	事務事業	食育推進事業(一般家庭)					
目的	料理教室などを通して、食と健康についての意識啓発や乳幼児期の栄養指導を行い、親子の健康の保持増進を図ります。					担当課	健康推進課					
目標	食と健康に関する理解を促進する料理教室の参加者数について42人を目指します。											
事業実施状況	・親子料理教室の開催(参加者延10人) ・パパと子の料理教室の開催(参加者延16人) ・離乳食教室の開催(参加者延196組) ・乳幼児栄養相談の実施					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	825	778	1,538			
						特定財源	0	0	4			
						一般財源	825	778	1,534			
評価検証	R4年度の親子料理教室、パパと子の料理教室の参加者数は26人であり、目標を達成しませんでした。感染症の影響により、定員数を減らして実施したことや当日の欠席が多かったことなどが要因であると考えます。今後も各事業の継続実施や、相談体制の充実により、食と健康について正しい知識の普及を進めていく必要があると考えます。					指標名	親子料理教室、パパと子の料理教室の参加者数		単位	人		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						42		42		42		42
								0		0		26

施策	2	取組	1	番号	6	事務事業	地域子育て支援センター事業					
目的	地域子育て支援センターにおいて、育児相談や地域と親子の交流の場の提供を行い、地域での子育てを支援します。					担当課	子育て支援課					
目標	地域子育て支援センターが実施する子育てに関する講座等への参加組数の増加を目指します。											
事業実施状況	・地域子育て支援センターの運営(施設数6箇所、利用件数22,615件) ・地域子育て支援センター支援事業(参加組数3,223組) ・衛生管理用品等の購入支援(6箇所)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	42,421	41,045	41,738			
						特定財源	39,509	38,090	38,358			
						一般財源	2,912	2,955	3,380			
評価検証	R4年度の子育て支援センター支援事業参加組数は3,223組であり、目標を達成しませんでした。前年度よりも増加したものの、新型コロナウイルスの感染対策として、参加組数を制限しながら講座等を開催したことが要因であると考えます。育児相談や育児講座は利用者のニーズが高いことから、今後も講座の回数を増やすなど、継続した取り組みが必要であると考えます。					指標名	子育て支援センター支援事業参加組数		単位	組		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						3,896		4,458		4,458		4,458
								2,189		2,061		3,223

施策 2 取組 1 番号 7 事務事業 子ども発達支援事業									
目的	発達相談や早期療育の機会の提供により、発達の遅れや障害のある児童と家庭への支援を行います。			担当課	子育て支援課				
目標	子どもの発達に関する相談体制を維持します。								
事業実施状況	・発達支援センターの運営(延相談人数127人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・子ども発達相談室の運営(発達相談 相談件数764件、2・3・4歳児相談 相談件数256件)	事業費	16,598	17,271	16,613				
	・ことばの教室の運営(延相談人数183人)	特定財源	630	620	587				
	・肢体不自由児機能訓練事業の実施(参加組数 親子197組)	一般財源	15,968	16,651	16,026				
評価検証	・子ども地域生活支援会議の開催(開催回数13回)	指標名	発達に心配のある子や障害児に関する相談件数		単位	件			
	・難聴児の補聴器購入への支援(助成件数3件)	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		484	484	484	484				
			521	650	764				
評価検証	R4年度における子ども発達相談室の相談件数は764件となり、目標を達成しました。こどもの発達に関する相談窓口として平成24年度に設置して以降、幼稚園や保育所、学校と連携しながら相談業務を行っており、保護者や関係機関に周知が進み、発達に心配のある子や障害児についての相談に応じることができたものと考えます。								

施策 2 取組 1 番号 10 事務事業 児童虐待予防・防止対策推進事業									
目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。			担当課	子育て支援課				
目標	児童虐待等に関する相談体制を維持します。								
事業実施状況	・家庭児童相談室の運営(相談件数179件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催	事業費	5,659	5,235	5,488				
	・代表者会議1回	特定財源	4,536	4,630	4,575				
	・ケース会議29回	一般財源	1,123	605	913				
評価検証	・ケース会議29回	指標名	-		単位	-			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、要保護児童対策地域協議会の「個別ケース検討会議」において決定した支援方針に基づき、関係機関と連携して児童虐待の未然防止や早期発見、早期対応につなげており、適切な相談支援ができたものと考えます。								

施策 2 取組 1 番号 8 事務事業 母子保健サービス提供事業									
目的	妊娠・出産・育児に関する相談や支援を進め、精神的・経済的不安の軽減を図ります。			担当課	健康推進課				
目標	子育てに関する相談体制を維持します。								
事業実施状況	・母性相談の実施(相談件数延1,597件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・訪問指導の実施(訪問件数延2,170件)	事業費	19,864	20,216	12,861				
	・特定不妊治療費の支援(延55件)	特定財源	10,519	14,026	14,004				
	・不育症治療費の支援(延0件)	一般財源	9,345	6,190	△1,143				
評価検証	・妊娠中・産後早期の妊産婦への支援(産後ケア延44件、産前産後サポート事業317件)	指標名	妊娠、出産及び育児に関する相談件数		単位	件			
	・利用者支援事業(母子保健型)の実施(1,013件)	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		1,883	1,883	1,883	1,883				
			2,123	1,912	1,597				
評価検証	R4年度の母性相談室での相談件数は1,597件であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響により、来所相談が減少したほか、妊娠届出数・出生数の減少に伴い、全体的に相談件数が減少傾向にあることが要因と考えます。育児不安等に関する相談については、感染対策を万全にし、来所・電話相談、家庭訪問も実施してきました。今後も、相談体制を維持しながら、育児不安等に関する必要な対応を行う考えです。								

施策 2 取組 1 番号 11 事務事業 児童手当支給事業									
目的	児童手当の支給により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。			担当課	子ども課				
目標	-								
事業実施状況	・児童手当の支給(191,294件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	2,231,247	2,189,609	2,108,959				
		特定財源	1,885,752	1,853,204	1,783,475				
		一般財源	345,495	336,405	325,484				
評価検証		指標名	-		単位	-			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 9 事務事業 妊婦・乳幼児健康診査等事業									
目的	妊婦・乳幼児の健康診査等を通じ、異常の早期発見や出産・育児に関する情報の提供・助言などを行い、母子の健康の保持増進を図ります。			担当課	健康推進課				
目標	乳幼児健康診査の受診体制を維持します。								
事業実施状況	・妊婦健康診査の実施(受診者延11,753人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・乳幼児健康診査の実施(受診者延4,185人)	事業費	117,837	113,591	106,759				
	・両親教室の開催(参加者延188組)	特定財源	0	0	0				
	・育児教室の開催(参加者延196組)	一般財源	117,837	113,591	106,759				
評価検証	・すこやか親子教室の開催(参加者延838組)	指標名	-		単位	-			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、乳幼児健康診査や教室を休止することなく実施し、母子の健康状態等を把握することが出来ており、目標達成に向け進捗しています。								

施策 2 取組 1 番号 12 事務事業 児童扶養手当支給事業									
目的	児童扶養手当の支給により、父子・母子家庭等の経済的負担の軽減を図ります。			担当課	子ども課				
目標	-								
事業実施状況	・児童扶養手当の支給(1,949人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	959,518	922,511	879,774				
		特定財源	321,629	306,634	291,999				
		一般財源	637,889	615,877	587,775				
評価検証		指標名	-		単位	-			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 13 事務事業 乳幼児等医療費給付事業									
目的	乳幼児等医療費の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	・乳幼児等医療費の給付(125,697件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	232,460	279,845	257,534			
			特定財源	84,333	104,410	94,416			
			一般財源	148,127	175,435	163,118			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 16 事務事業 助産施設入所費援助事業									
目的	経済的理由により、入院助産を受けられない妊産婦への分娩費用を援助し、経済的負担の軽減を図ります。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	・助産施設入所費の援助(16人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	8,842	13,762	8,245			
			特定財源	7,355	8,864	10,188			
			一般財源	1,487	4,898	△1,943			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 14 事務事業 ひとり親家庭等医療費給付事業									
目的	ひとり親家庭等への医療費の給付により、経済的負担の軽減を図ります。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	・ひとり親家庭等医療費の給付(50,260件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	124,980	130,646	124,432			
			特定財源	30,294	32,396	29,052			
			一般財源	94,686	98,250	95,380			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 17 事務事業 母子家庭等日常生活支援事業									
目的	一時的な生活援助や保育サービスを必要とするひとり親家庭等に家庭生活支援員を派遣し、日常生活を支援します。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	・家庭生活支援員による家事、育児の支援(31件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	178	232	437			
			特定財源	128	155	267			
			一般財源	50	77	170			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 15 事務事業 未熟児養育医療給付事業									
目的	入院を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療の給付を行い、乳児の健康の保持および健やかな育成を図ります。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	・未熟児養育医療の給付(28人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	37,206	6,451	13,606			
			特定財源	16,961	15,096	10,487			
			一般財源	20,245	△8,645	3,119			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 18 事務事業 子育て短期支援事業									
目的	家庭における養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設において受け入れます。				担当課	子育て支援課			
目標	-								
事業実施状況	・児童養護施設における一時的養育の実施(3人10日)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	653	78	347			
			特定財源	709	272	413			
			一般財源	△56	△194	△66			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 2 取組 1 番号 19 事務事業 介護給付・地域生活支援事業									
目的	心身障害児へデイサービスの提供などにより、心身機能の維持向上や家庭の負担軽減を図ります。				担当課	子育て支援課			
目標	-								
事業実施状況	・自立支援給付の実施(受給児童数47人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・地域生活支援事業の提供(受給児童数334人)		事業費	1,076,118	1,216,022	1,168,877			
	・障害児通所給付の実施(受給児童数1,325人)		特定財源	597,402	802,598	712,300			
	・相談支援給付の実施(受給児童数165人)		一般財源	478,716	413,424	456,577			
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 2 取組 2 番号 2 事務事業 病後児保育事業									
目的	多様な保育ニーズに対応するため、病気の回復期にある児童の受け入れを行います。				担当課	こども課			
目標	病気の回復期にある児童の受入体制を維持します。								
事業実施状況	・病後児保育の実施(延利用児童数157人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	6,483	7,813	7,915			
			特定財源	4,285	5,371	5,469			
			一般財源	2,198	2,442	2,446			
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、子育て家庭における多様な保育ニーズに対応し、新型コロナウイルスの感染拡大による影響はあったものの、病気の回復期にある児童を対象とした病後児保育を実施するなど、病後児童に対する適切な保育支援ができたものと考えます。								

施策 2 取組 1 番号 20 事務事業 特別児童扶養手当事業									
目的	20歳未満の身体又は精神に障害のある児童を養育する父母又は養育者に対する特別児童扶養手当の支給に関する事務を行います。				担当課	子育て支援課			
目標	-								
事業実施状況	・特別児童扶養手当の支給事務(受給資格者数529人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	105	106	107			
			特定財源	942	1,443	956			
			一般財源	△837	△1,337	△849			
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 2 取組 2 番号 3 事務事業 公立保育所管理運営事業										
目的	公立保育所の管理運営により、安定した保育サービスを提供します。				担当課	こども課				
目標	-									
事業実施状況	・公立保育所の管理運営(8所)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・乳児保育(6所)、延長保育(8所)、一時保育(2所)、休日保育(1所)、特別支援保育(8所)の実施		事業費	943,868	926,759	959,616				
	・保育料、副食費の賦課・徴収		特定財源	638,976	593,893	574,138				
	・収納率向上対策の推進		一般財源	304,892	332,866	385,478				
	・公立保育所の民間移管準備(日赤東保育所)		指標名	-				単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 2 取組 2 番号 1 事務事業 保育士等資質向上事業									
目的	研修会の開催などにより、保育士等の資質向上を図ります。				担当課	こども課			
目標	保育士研究会や保育士向けゼミ講習会、保育実践交流会の参加者数について1,338人を目指します。								
事業実施状況	・保育士等研修会の開催(2回710人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・私立保育所で構成する研修団体への支援		事業費	344	424	478			
	・保育士の研修会参加に係る支援		特定財源	0	45	49			
			一般財源	344	379	429			
	指標名	保育士等の資質向上にむけた研修会の参加者数				単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	1,227		1,338 141		1,338 570		1,338 710		
評価検証	R4年度の保育士等の資質向上にむけた研修会の参加者数は710人であり、目標を達成しませんでした。集合形式での会議・研修が、感染状況により中止になったことが要因であると考えますが、感染状況を見ながら一部の研修会をオンライン形式に変更するなど工夫したことで、参加者数が回復傾向にあります。今後も、引き続き、市内の保育内容のレベルを向上させていくため、オンライン開催を含めた様々な手法により保育関係者の合同研修・情報交換の機会を確保していくことが必要と考えます。								

施策 2 取組 2 番号 4 事務事業 私立保育所運営事業									
目的	社会福祉法人等に保育業務を委託し、保育需要を踏まえた保育サービスを提供します。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	・私立保育所への保育業務委託(21所)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・乳児保育(20所)、延長保育(21所)、一時保育(1所)、特別支援保育(21所)の実施		事業費	2,515,654	2,527,057	2,617,811			
			特定財源	1,818,437	1,790,054	1,887,044			
			一般財源	697,217	737,003	730,767			
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 2 取組 2 番号 11 事務事業 認定こども園整備事業									
目的	私立認定こども園の施設整備を支援し、保育環境を整備します。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費	0	11,550	0					
	特定財源	0	10,700	0					
	一般財源	0	850	0					
	指標名	-			単位				
	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値					
評価検証	-								

施策 2 取組 2 番号 12 事務事業 児童保育センター整備事業									
目的	児童保育センターの施設整備を実施し、就学児童の保育環境を整備します。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費	37,012	4,240	5,015					
	特定財源	37,011	2,826	16,000					
	一般財源	1	1,414	△10,985					
	指標名	-			単位				
	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値					
評価検証	-								

施策 2 取組 2 番号 13 事務事業 子育てのための施設等利用給付事業									
目的	認可外保育施設等の利用料の給付により、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費	175,249	139,001	127,669					
	特定財源	129,839	108,153	97,790					
	一般財源	45,410	30,848	29,879					
	指標名	-			単位				
	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値					
評価検証	-								

施策 2 取組 3 番号 1 事務事業 待機児童対策事業									
目的	認可保育所(地域型保育事業含む)に入所できない児童を、認可外保育施設で受け入れることにより、待機児童対策を進めます。				担当課	こども課			
目標	認可外保育施設における保育受入体制を確保します。								
事業実施状況	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費	3,090	4,383	4,834					
	特定財源	0	0	0					
	一般財源	3,090	4,383	4,834					
	指標名	-			単位				
	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値					
評価検証	R4年度の待機児童対策事業を利用した児童数は25人であり、認可保育所に入所できない児童を認可外保育施設で受け入れる体制の確保につなげることができたものと考えます。								

施策 2 取組 3 番号 2 事務事業 母子家庭等就業・自立支援事業									
目的	母子・父子自立支援員等による相談や母子家庭等就業・自立支援センター事業による就労支援を行い、ひとり親家庭等の自立を促進します。				担当課	こども課			
目標	ひとり親家庭等に対する相談体制や母子家庭等就業・自立支援センターによる就労支援体制を維持します。								
事業実施状況	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費	7,664	7,725	7,687					
	特定財源	1,000	1,000	2,461					
	一般財源	6,664	6,725	5,226					
	指標名	-			単位				
	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値					
評価検証	R4年度は、支援員による相談対応や、母子家庭等就業・自立支援センターによる就労支援を実施するなど、ひとり親家庭等の自立に向けた相談支援ができたものと考えます。								

施策 2 取組 3 番号 3 事務事業 母子家庭等自立支援事業									
目的	就職のための教育訓練、職業訓練への支援により、ひとり親家庭の自立を促進します。				担当課	こども課			
目標	-								
事業実施状況	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費	13,972	10,227	13,560					
	特定財源	10,896	8,833	11,311					
	一般財源	3,076	1,394	2,249					
	指標名	-			単位				
	基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値					
評価検証	-								

施策 2 取組 3 番号 再 事務事業 労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>									
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。			担当課	商業労働課				
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 労働相談の実施(14件) 子育て応援事業所促進事業の実施(42件) とちぎ勤労者共済センターへの運営支援(8,752名) 事業所雇用実態調査の実施 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費	-	-	-					
	特定財源	-	-	-					
	一般財源	-	-	-					
指標名	-			単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	-	
評価検証	-								

施策 2 取組 3 番号 再 事務事業 女性活躍推進事業<再掲22-3-1>									
目的	育児・介護休業制度等の周知や意識啓発などにより、男女がともに仕事と家庭生活が両立できる環境づくりを進めます。			担当課	市民活動課				
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 各種審議会等への女性の登用促進(34.5%) 女性活躍に関する講座の開催(3回86人) ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布(2,068枚) 男女共同参画専門員の配置 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費	-	-	-					
	特定財源	-	-	-					
	一般財源	-	-	-					
指標名	-			単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	-	
評価検証	-								

施策 2 取組 4 番号 1 事務事業 子ども・若者支援地域協議会事業									
目的	円滑な社会生活を送る上で不安や困難を抱える子ども・若者を支援します。			担当課	地域福祉課				
目標	不安や困難を抱える子どもや若者等の心の不安や悩み、困り事に関する相談体制を維持します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・若者支援地域協議会の開催(実務者会議・代表者会議各1回) ヤングテレホン相談の実施(相談対応件数296件) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費	3,209	3,184	3,194					
	特定財源	0	0	0					
	一般財源	3,209	3,184	3,194					
指標名	ヤングテレホン相談件数			単位	件				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	-	
	103		103		103		103	-	
			195		247		296	-	
評価検証	R4年度におけるヤングテレホン相談件数は296件となり、目標を達成しました。心の不安や悩み・困りごとに関する相談体制を維持し、相談窓口の周知などにより、不安や困難を抱える子どもや若者への相談に応じることができたものと考えます。								

施策 2 取組 4 番号 2 事務事業 青少年センター事業									
目的	街頭巡回活動などを通じて、青少年非行の防止と社会環境の改善を推進します。			担当課	学校地域連携課				
目標	青少年の非行などに対する巡回指導の1回当たりの指導数について0.58人を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 子ども110番の家の設置(995箇所) 街頭巡回指導の実施 非行防止啓発事業の実施 出前講座の実施 社会環境改善活動の実施 有害情報防止対策啓発事業 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費	10,900	9,359	11,092					
	特定財源	0	0	0					
	一般財源	10,900	9,359	11,092					
指標名	巡回指導による声かけ指導数			単位	人				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	-	
	0.92		0.73		0.65		0.58	-	
			1.67		1.47		1.29	-	
評価検証	R4年度の街頭巡回による指導数は1.29人であり、目標を達成しませんでした。巡回時の声かけや啓発チラシを通して、自転車のながらスマホ走行などに対する注意喚起により、一定の効果は現れているものの、走行中の画面操作などが高い割合にあることから、今後も関係機関と連携しながら注意喚起します。また、子ども達の行動範囲における安心・安全が守られるよう地元事業者等とも協力していく考えです。								

施策 2 取組 4 番号 3 事務事業 青少年健全育成事業									
目的	家庭、地域、学校、関係機関等との連携により、青少年健全育成活動を推進します。			担当課	学校地域連携課				
目標	ジュニアリーダー養成事業や、子どもたちの豊かな人間性、社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 帯広市青少年問題協議会の開催 帯広市青少年育成者連絡協議会への支援(各種事業中止・規模縮小により、補助金交付なし) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費	9,269	10,815	10,327					
	特定財源	0	0	0					
	一般財源	9,269	10,815	10,327					
指標名	-			単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	-	
評価検証	R4年度の帯広市青少年育成者連絡協議会の事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなか事業内容の工夫を図ってきましたが、実施規模の縮小から参加者数が減少しており目標達成に向けあまり進捗していません。今後は、5類感染症移行を踏まえ、これまでの改善点を生かしながら各種事業を継続し、関係団体と協力して青少年の健全育成を促進していく必要があると考えます。								

施策 2 取組 4 番号 再 事務事業 体験活動機会提供事業(学校地域連携課)<再掲12-1-2>									
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。			担当課	学校地域連携課				
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 中学生からのメッセージ事業の実施(発表者14人、来場者89人) 冬季活動機会提供事業(十勝子ども雪上ばらばの実施(参加者86人)) おびひろキッズタウン(中止) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費	-	-	-					
	特定財源	-	-	-					
	一般財源	-	-	-					
指標名	-			単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	-	
評価検証	-								

施策 2 取組 4 番号 再 事務事業 青少年活動支援事業（学校地域連携課）〈再掲12-1-3〉							
目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。			担当課	学校地域連携課		
目標	-						
事業実施状況	・ジュニアリーダーの養成 (地域子ども会リーダー宿泊研修会の開催、北海道地域子ども会リーダー研修会への派遣、ジュニアリーダーの育成支援)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		-	-	-		
	特定財源		-	-	-		
	一般財源		-	-	-		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 2 取組 0 番号 1 事務事業 おびひろ子ども未来プラン推進事業							
目的	審議会等の運営を通して、おびひろ子ども未来プランを推進し、子どもに関する施策を総合的に進めます。			担当課	子ども課		
目標	-						
事業実施状況	・おびひろ子ども未来プランの推進 ・健康生活支援審議会児童育成部会の開催 ・子ども未来基金の管理	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		13,491	41,339	52,613		
	特定財源		13,318	41,179	52,450		
	一般財源		173	160	163		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 2 取組 0 番号 2 事務事業 子育て世帯特別給付事業							
目的	給付金の支給により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への生活支援を行います。			担当課	子ども課		
目標	-						
事業実施状況	・子育て世帯生活支援特別給付金の支給(2,608世帯) ・子育て世帯臨時特別給付金の支給(14,195世帯) ・(R3→R4)子育て世帯臨時特別給付金の支給(14世帯)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		550,782	2,513,385	761,965		
	特定財源		654,621	2,642,401	745,664		
	一般財源		△103,839	△129,016	16,301		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 3 取組 1 番号 1 事務事業 成年後見制度利用支援事業									
目的 本人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用支援により、高齢者等の権利擁護を図ります。			担当課 地域福祉課						
目標 成年後見支援センターにおける法人後見支援員の登録者数について81人を目指します。									
事業実施状況	・成年後見制度の利用支援(73人) ・市民後見制度の啓発 ・市民後見人養成講座の開催(受講者16人) ・成年後見支援センターの運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費		21,501	22,714	23,395				
	特定財源		1,791	6,035	6,069				
	一般財源		19,710	16,679	17,326				
	指標名		市民後見人養成人数		単位	人			
		基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値				
		55	67 75	73 65	81 73				
評価検証 R4年度の法人後見支援員の登録者数は73人であり、目標を達成しませんでした。市民後見人養成講座の受講者数は増加しましたが、受講者の年度内登録率が低下しており、目標には到達できませんでした。成年後見人制度利用者の増加を見据え、持続的な権利擁護を図るため、今後も市民後見制度及び法人後見事業の普及啓発や、法人後見支援制度の育成を継続していく必要があります。									

施策 3 取組 1 番号 2 事務事業 地域福祉推進事業										
目的 市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等をともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。			担当課 地域福祉課							
目標 地域において高齢者や障がいのある人等を支える環境づくりを進めるため、ボランティア養成講座の参加者数の増加を目指します。										
事業実施状況	・地域交流サロンの活動促進 ・戦没者追悼式の実施 ・福祉基金の管理 ・社会福祉法人の指導監査(5件) ・グリーンプラザの管理運営 ・帯広市社会福祉協議会への支援 ・ボランティア養成講座(1回10人) ・地域密着型サービスマネジメント委員会の運営(3回) ・ボランティア養成講座(1回10人) ・地域密着型サービスマネジメント委員会の運営(3回) ・介護、障害サービス事業所等の指定・指導監査(運営指導 介護:61件 障害:27件) ・無料低額診療の対象者に対する院外保険薬局の調剤処方費用を支援(273件) ・社会福祉施設等への抗原検査キットの支給(100件) ・社会福祉施設新規入所者等のPCR検査受検費用の支援(94件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		107,181	151,669	142,612					
	特定財源		20,240	39,970	44,859					
	一般財源		86,941	111,699	97,753					
	指標名		-		単位					
		基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値					
評価検証 R4年度における社会福祉協議会によるボランティア養成講座の参加者数は、前年度と比べ減少しており、目標達成に向けあまり進捗していません。新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン開催で実施しましたが、開催回数の減少などにより、参加者数の増加には至りませんでした。今後は、地域福祉の環境づくりを進めるため、内容や開催方法などの工夫のほか、積極的な周知などを行うことで、参加拡大を図っていく必要があります。										

施策 3 取組 2 番号 1 事務事業 民生委員・児童委員活動推進事業									
目的 民生委員・児童委員の配置や支援により、地域における相談活動を推進します。			担当課 地域福祉課						
目標 民生委員・児童委員による相談・支援体制を維持します。									
事業実施状況	・民生委員・児童委員の配置(相談件数10,047件) ・民生委員・児童委員への活動支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費		26,759	26,408	29,173				
	特定財源		23,399	23,399	23,371				
	一般財源		3,360	3,009	5,802				
	指標名		民生委員・児童委員の相談・支援件数		単位	件			
		基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値				
		10,908	10,908 10,847	10,908 11,290	10,908 10,047				
評価検証 R4年度における民生委員・児童委員の相談件数は10,047件となり、目標を達成しませんでした。委員の一斉改選が行われ、新任の委員も多く、本格的な活動開始までに一定の時間を要したことなどが、相談件数が減った一因と考えます。委員に対するサポートを続け、委員が活動しやすい環境を整えることで、引き続き各地区の民生委員・児童委員による相談体制を維持し、地域福祉の環境づくりを進めます。									

施策 3 取組 2 番号 2 事務事業 地域福祉包括支援事業									
目的 地域福祉にかかる関係団体等との連携等により、複合的な課題を抱える人や世帯に対し、包括的な支援を進めます。			担当課 地域福祉課						
目標 複合的な課題を抱える人や世帯に対して包括的な支援を行う体制づくりを進めます。									
事業実施状況	・高齢者、障害者福祉等関係機関によるコーディネート連携会議の開催 ・きづきネットワーク事業の推進 ・包括的な相談、調整の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費		0	0	0				
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		0	0	0				
	指標名		-		単位				
		基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値				
評価検証 包括的な連携体制構築のため関係課と協議を重ね、複合的な課題を抱えるケースに対して、包括的に支援をするための相談体制や支援の在り方について検討を行いました。今後も引き続き、関係課と連携しながら、複合的な課題をもつ相談事例への効果的な支援体制等について、検討を行っていきます。									

施策 3 取組 2 番号 再 事務事業 地域包括支援センター運営事業<再掲4-1-1>									
目的 高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。			担当課 地域福祉課						
目標 -									
事業実施状況	・総合相談支援の実施(12,253件) ・権利擁護の支援 ・包括的・継続的ケアマネジメントの支援 ・介護予防ケアマネジメントの実施 ・地域ケア会議の開催(48回435人) ・ひとり暮らし高齢者等の支援 ・家族介護者リフレッシュ事業の実施(8回83人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費		-	-	-				
	特定財源		-	-	-				
	一般財源		-	-	-				
	指標名		-		単位				
		基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値				
評価検証 -									

施策 3 取組 2 番号 再 事務事業 生活困窮者自立促進支援事業<再掲7-3-2>									
目的 生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。			担当課 生活支援第1課・第2課						
目標 -									
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援(新規相談件数287件(実人数)) ・生活困窮者の就労準備支援(3人 実人数) ・住居確保給付金の支給(新規申請決定件数10世帯、給付額2,441,800円) ・生活困窮世帯(被保護世帯含む)の子どもの学習支援(小学生<参加者10人、延べ192人>、中学生(高校生含む)<参加者19人、延べ608人>) ・生活困窮者世帯への支援金の支給(新規申請決定件数51世帯、給付額17,740,000円)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費		-	-	-				
	特定財源		-	-	-				
	一般財源		-	-	-				
	指標名		-		単位				
		基準値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値				
評価検証 -									

施策	3	取組	0	番号	1	事務事業	地域福祉計画推進事業			
目的	健康生活支援審議会の運営を通して、地域福祉計画に基づき、保健・福祉・医療に関する施策を総合的に推進します。					担当課	地域福祉課			
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 健康生活支援審議会の開催(3回) 地域福祉計画の推進 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	1,547	666	1,146	
						特定財源	0	0	0	
						一般財源	1,547	666	1,146	
	指標名	-					単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	3	取組	0	番号	2	事務事業	新型コロナウイルス対策に伴う給付事業			
目的	給付金の支給により、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている世帯への支援を行います。					担当課	地域福祉課			
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 臨時特別給付金の支給(R4年度4,014世帯(R3年度繰越明許含む)) 暖房代支援給付金の支給(R4年度5,230世帯) 価格高騰緊急支援給付金の支給(R4年度23,909世帯) 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	16,660,521	2,351,796	1,688,017	
						特定財源	16,660,521	2,318,196	1,660,201	
						一般財源	0	33,600	27,816	
	指標名	0					単位	0		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		0	0	0	0	0	0			
評価検証	-									

施策 4 取組 1 番号 1 事務事業 地域包括支援センター運営事業										
目的	高齢者の健康の保持や生活の安定のために必要な支援を行うなど、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。				担当課	地域福祉課				
目標	高齢者等の生活に関わる課題等の解決に向けて話し合う地域ケア会議への参加者数について455人を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談支援の実施(12,253件) 権利擁護の支援 包括的・継続的ケアマネジメントの支援 介護予防ケアマネジメントの実施 地域ケア会議の開催(48回/435人) ひとり暮らし高齢者等の支援 家族介護者リフレッシュ事業の実施(8回/83人) 		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		163,382	163,519	161,520					
	特定財源		131,931	132,042	132,668					
	一般財源		31,451	31,477	28,852					
	指標名	地域ケア会議参加者数			単位	人				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		395	425 355	440 598	455 435					
評価検証	R4年度の地域ケア会議参加者数は435人であり、目標を達成しませんでした。関係者間のカンファレンス等により情報共有・課題解決へ向けた検討が行われ、地域ケア会議ではない形での協議も複数行われ、ていたことから、開催回数及び参加者数が減少したものと考えられます。今後も高齢者等の生活に係る課題等の解決に向け、ケアマネや医療職など多様な関係機関との連携体制構築を図り、感染対策を継続しながら、書面やオンライン開催など感染状況に合わせ実施していきます。									

施策 4 取組 1 番号 2 事務事業 認知症高齢者見守り事業										
目的	認知症に関する理解を促進し、認知症の人やその家族を地域で支える環境づくりを進めます。				担当課	地域福祉課				
目標	認知症の人やその家族に対して手助けをする認知症サポーターの養成を図る講座の受講者数について2,114人を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーター養成講座の開催(72回、3,316人) 認知症高齢者等SOSネットワークの運用 認知症地域支援推進員の配置 認知症初期集中支援推進事業 認知症カフェの開催 認知症ケアパス(認知症ガイドブック)の作成 		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		24,292	23,964	24,087					
	特定財源		19,369	19,351	19,451					
	一般財源		4,923	4,613	4,636					
	指標名	認知症サポーター養成講座受講者数			単位	人				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		1,856	2,114 3,134	2,114 2,961	2,114 3,316					
評価検証	R4年度の認知症サポーター養成講座受講者数は3,316人であり、目標を達成しました。おびひろ市民学における取り組みの一つとして市内の小中学校でも講座を開催したことに加え、一般向け講座の出前開催が少しずつ増えてきたことが、受講者数増加の要因であると考えます。今後も認知症の人やその家族を地域で支える環境づくりを進めます。									

施策 4 取組 1 番号 3 事務事業 介護予防日常生活支援総合事業										
目的	社会参加を促す介護予防事業や、訪問型及び通所型サービスなどの多様なサービスを提供し、介護予防及び重症化の防止を図ります。				担当課	地域福祉課、介護高齢福祉課				
目標	高齢者等の住み慣れた地域での生活を支援するボランティア団体等の数について8団体を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防生活支援サービスの提供 一般介護予防事業(介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業ほか) 生活支援コーディネーターの配置(9人) 生活支援サービスに関わる協議体の設置 		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		559,552	587,641	67,562					
	特定財源		483,845	508,510	57,269					
	一般財源		75,707	79,131	10,293					
	指標名	地域住民主体の生活支援を行う団体等の数			単位	団体				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		1	4 1	6 1	8 2					
評価検証	R4年度の地域住民主体の生活支援を行う団体等の数は1団体増加し2団体となりましたが、目標を達成しませんでした。団体創出に向けた協議等が行われていた地域において、団体設立に向けた積極的な支援を行ったことで新たな団体の創設に至った一方、新型コロナウイルス感染症の感染状況により協議が出来なかった地域や、取り組むべき課題が多様であることなどから、更なる団体設立には至りませんでした。圏域ごとの状況や取り組むべき課題は様々ではあるものの、高齢者等の生活支援ニーズは高まっていることから、引き続き各圏域の課題に応じたコーディネートに取り組んでいく必要があると考えます。									

施策 4 取組 1 番号 4 事務事業 高齢者在宅生活支援事業										
目的	高齢者やその家族の相談に応じ、必要なサービスを提供するなど在宅高齢者の生活を支援します。				担当課	介護高齢福祉課				
目標	在宅高齢者の生活を支援するため、民間サービスも含めた様々なサービスを活用できる体制づくりを進めます。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等の相談支援(相談件数 1,415件) ひとり暮らし高齢者登録による生活支援の実施(登録者1,875人) わたり認知症高齢者登録による生活支援の実施(登録者129人) 理美容・クリーニングサービスの実施(延利用件数 理美容343件、クリーニング105件) 在宅生活援助サービス事業の実施(延利用件数 212件) 家族介護用品の支給(延利用件数 885件) 緊急通報システム事業の実施(設置台数 521台) 宅配事業者等による訪問活動の実施(延利用件数 40,444件) 配食サービスの実施(配食数 65,192件) 		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		73,775	45,954	52,325					
	特定財源		32,166	20,161	17,435					
	一般財源		41,609	25,793	34,890					
	指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、在宅高齢者の生活を支えるため、引き続き公的サービスの周知をホームページ等で行い利用促進を図ったほか、新たな民間サービスの活用に向けて情報収集に努めるなど、サービス提供体制の維持・確保に向け進捗しています。									

施策 4 取組 1 番号 5 事務事業 高齢者虐待防止事業										
目的	地域包括支援センターや関係機関との連携により、高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。				担当課	介護高齢福祉課				
目標	高齢者等に対する虐待防止への理解を促進する研修会の参加者数の増加を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催(1回) 高齢者虐待防止研修会の開催(1回) 被虐待高齢者の保護、支援(通報件数28件、認定件数5件) 		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		46	41	85					
	特定財源		37	33	69					
	一般財源		9	8	16					
	指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、高齢者虐待防止研修会を3年ぶりに対面開催し、感染症対策により定員を170名としたものの、151名の参加があり、関係者間の高齢者虐待に関する知識向上を図ることができたものと考えます。									

施策 4 取組 1 番号 6 事務事業 在宅医療・介護連携推進事業										
目的	在宅医療と介護の連携を推進し、高齢者が住み慣れた地域で暮らすための支援体制づくりを進めます。				担当課	地域福祉課				
目標	医療と介護の関係者が連携できる体制づくりを進めます。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護ネットワーク会議の開催(2回) 多職種連携研修会の開催(2回) 医療と介護の連携体制構築 在宅医療に関する地域住民への普及啓発 		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		3,125	3,225	1,071					
	特定財源		2,524	2,604	865					
	一般財源		601	621	206					
	指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、在宅医療・介護ネットワーク会議で多職種連携の推進に向けた協議を行いました。また、在宅医療・介護ネットワーク会議ワーキングを設置し、医療と介護の関係者が連携できる体制づくりに取り組みました。ケアマネジャー向けの調査結果からは、前年度より悪化した設問はあるものの、医療機関との連携の実態については改善傾向にあることがうかがえることから、目標達成に向け進捗しているものと考えます。									

施策 4 取組 1 番号 7 事務事業 生活支援ハウス運営事業									
目的	生活支援ハウスの運営支援を通して、介護支援、居住、交流などの機能を総合的に提供し、高齢者の自立した生活を支援します。				担当課	介護高齢福祉課			
目標	-								
事業実施状況	・生活支援ハウスへの運営支援 (定員40名、月平均入居者28名)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	42,402	42,225	42,218			
			特定財源	7,658	8,164	8,056			
			一般財源	34,744	34,061	34,162			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 4 取組 1 番号 8 事務事業 地域介護・福祉空間整備事業									
目的	地域密着型の小規模介護施設の整備などを支援し、日常生活圏域内で高齢者が安心して生活できる環境整備を進めます。				担当課	介護高齢福祉課			
目標	-								
事業実施状況	・介護保険施設等の非常用自家発電設備等の整備への支援 (1施設へ支援、2施設はR5年度へ繰越)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	128,876	4,084	4,202			
			特定財源	128,876	4,084	4,202			
			一般財源	0	0	0			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 4 取組 1 番号 9 事務事業 老人福祉施設等整備補助事業									
目的	民間事業者との連携により、各種老人福祉施設の整備を促進し、在宅生活が困難な高齢者を支援します。				担当課	介護高齢福祉課			
目標	-								
事業実施状況	・特別養護老人ホーム建設費償還への支援 (6施設へ支援)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	52,041	51,250	50,059			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	52,041	51,250	50,059			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 4 取組 1 番号 10 事務事業 老人保護措置事業									
目的	養護老人ホームへの入所措置により、在宅での生活が困難な高齢者の生活の安定を図ります。				担当課	介護高齢福祉課			
目標	-								
事業実施状況	・養護老人ホームへの入所措置 (月平均入居者175名)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	326,929	324,125	327,102			
			特定財源	84,704	91,452	94,745			
			一般財源	242,225	232,673	232,357			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 4 取組 2 番号 1 事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業									
目的	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進を図ります。				担当課	介護高齢福祉課			
目標	高齢者の社会参加を促進するバス無料乗車証の交付率について67.6%を目指します。								
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付(交付率59.6%)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	170,098	168,457	172,890			
	・高齢者の社会参加などを促進する「いきいき元気事業」の実施 (「まちなか」利用者数13,376人)		特定財源	803	698	859			
			一般財源	169,295	167,759	172,031			
	指標名		バス無料乗車証の交付率			単位	%		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		63.2	65.4	66.5	67.6				
			63.5	62.9	59.6				
評価検証	R4年度のバス無料乗車証の交付率は59.6%であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛によりバスを利用する機会が減り、例年より無料乗車証を求める人が少なかったものと考えます。今後も事業の啓発を行い利用促進に努めます。								

施策 4 取組 2 番号 2 事務事業 老人クラブ等活動支援事業									
目的	老人クラブへの支援などにより、高齢者の知識・経験を活かした社会活動や生きがいづくりを促進します。				担当課	市民活動課			
目標	高齢者の生きがい創出などにつながる老人クラブの活動の継続を目指します。								
事業実施状況	・検討委員会の開催(6回)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・老人クラブ等への支援(101団体、4,035人)		事業費	29,421	28,370	30,120			
	・バスの貸出(33件、561人)		特定財源	5,355	5,401	4,054			
			一般財源	24,066	22,969	26,066			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	趣味の活動や交流の場の多様化、高齢者就業の増加などを背景に、老人クラブへの新規入会の減少、会員の高齢化の進行、役員の負担感の増大や活動の継続性など、様々な課題に対応するため、R3年度に設置された「これからの老人クラブ活動に関する検討委員会」からの提言に基づき、R4年度は補助金の見直しや報告様式の簡略化を行うなど、将来に向けて、無理なく楽しく活動を続けられるよう取り組みを進めており、目標達成に向けて進捗しています。								

施策 4 取組 2 番号 3 事務事業 敬老祝金支給事業									
目的	敬老祝金の贈呈を通して、高齢者の生きがいづくりや市民の敬老意識の向上につなげます。				担当課	介護高齢福祉課			
目標	-								
事業実施状況	・敬老祝金の贈呈 (88歳 980人、100歳 60人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	28,678	30,356	30,191				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	28,678	30,356	30,191				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 4 取組 0 番号 1 事務事業 高齢者保健福祉計画推進事業									
目的	高齢者保健福祉計画を推進し、高齢者福祉に関する施策を総合的に進めます。				担当課	介護高齢福祉課			
目標	-								
事業実施状況	・高齢者保健福祉計画の推進 ・健康生活支援審議会高齢者支援部会の開催(8月.10月.2月開催)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	0	0	0				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	0	0	0				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 4 取組 2 番号 再 事務事業 雇用拡大・機会確保促進事業<再掲9-4-1>									
目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、求職者の状況に応じた多様な就業機会の確保を図ります。				担当課	商業労働課			
目標	-								
事業実施状況	・季節労働者の通年雇用化促進 ・UIJ ターン、人材マッチングの促進(コミュニケーションアプリの導入等) ・高齢者の就業機会の拡大 ・シルバー人材センターへの運営支援 ・国の雇用調整助成金嵩上げ及び手続きの支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	-	-	-				
		特定財源	-	-	-				
		一般財源	-	-	-				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 4 取組 2 番号 再 事務事業 学習機会提供事業(生涯学習文化課)<再掲13-1-1>									
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。				担当課	生涯学習文化課			
目標	-								
事業実施状況	・市民大学講座の実施(36講座1,817人) ・生涯学習情報誌「まなびや」の発行(年4回) ・高齢者学級の実施(1年生31人、2年生41人) ・プラザエンジョイス쿨の実施(第I期535人、第II期522人、第III期501人、第IV期438人) ・放送大学北海道センター帯広学習室における学習機会の提供(学習室9人利用)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	-	-	-				
		特定財源	-	-	-				
		一般財源	-	-	-				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策	5	取組	1	番号	1	事務事業	障害者理解促進事業			
目的	障害者団体、ノーマライゼーションに関する地域住民活動への支援や地域住民の交流を通して、障害や障害のある人に対する理解を促進します。					担当課	障害福祉課			
目標	地域住民との交流を通じ、障害や障害のある人に対する理解を促進する市民活動プラザ六中の利用者数の増加を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 福祉のひろばへの支援 帯広心身障害者(児)育成会への支援 ノーマライゼーション推進活動への支援(3地区への補助) 障害者週間記念事業の実施 手話言語条例の施行に伴う周知・啓発等の実施 市民活動プラザ六中での地域支え合い体制づくり事業の実施(利用者数44,937人) 北海道手をつなぐ育成会全道大会帯広大会への支援(参加者数620人) 障害福祉関連施設等の電気料金高騰分に対する支援(11事業所) 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	47,082	16,250	18,078						
	特定財源	32,100	0	0						
	一般財源	14,982	16,250	18,078						
指標名	-				単位					
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	R4年度は、地域マイスター講座や六中サポーター養成などを実施したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響によりR2年度以降開催できていなかった六中七夕や六中祭などの大きなイベントを開催できたことなどにより、市民活動プラザ六中の利用者数は前年度より増加しており、目標達成に向け進捗しています。									

施策	5	取組	1	番号	2	事務事業	障害者虐待防止事業			
目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。					担当課	障害福祉課			
目標	関係機関と障害者虐待事例等の共有や虐待に関する相談体制を維持します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 障害者虐待防止センターの運営(通報件数44件) 虐待防止に関する啓発活動の実施 帯広市虐待防止ネットワーク会議の開催 帯広市地域自立支援協議会地域生活支援会議における虐待防止研修の実施(2回 138人) 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	16	16	16						
	特定財源	22	22	22						
	一般財源	△6	△6	△6						
指標名	-				単位					
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	R4年度は、障害者虐待に関する関係機関との連携や、24時間体制での相談対応のほか、帯広市地域自立支援協議会の場合を活用し、虐待防止や虐待に関する相談に適切に対応することができており、事業所向けに虐待防止に向けた研修を実施するなど、目標達成に向け進捗しています。									

施策	5	取組	2	番号	1	事務事業	地域生活支援拠点等整備推進事業			
目的	地域での相談体制の充実などにより、障害のある人の日常生活を支援します。					担当課	障害福祉課			
目標	障害のある人の自立した生活に向けた相談体制を維持します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 各種相談員の配置(相談員10人:相談対応14,876件) 基幹相談支援センターの委託(1か所:相談支援825件) 一般相談支援事業の委託(5か所:相談対応7,529件) 帯広市地域自立支援協議会の開催(地域生活支援会議12回、各会議・専門部会34回) 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	39,354	53,206	53,390						
	特定財源	239,803	228,728	220,110						
	一般財源	△200,449	△175,522	△166,720						
指標名	一般相談支援事業所における相談件数				単位	件				
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
4,181		4,610 5,248		4,841 5,227		5,083 7,529				
評価検証	R4年度の一般相談支援事業所における相談件数は7,529件であり、目標を達成しました。R4年度よりスタートした圏域相談支援体制について、パンフレットを作成・配布し、各相談支援事業所が担当する地域を周知したことで、どの事業所に日常生活等の相談をすればよいか明確となったことが効果的であったと考えます。									

施策	5	取組	2	番号	2	事務事業	障害者コミュニケーション支援事業			
目的	手話・要約筆記通訳者や支援者などの派遣により、障害のある人の自立や日常生活を支援します。					担当課	障害福祉課、介護高齢福祉課			
目標	聴覚障害者の社会参加を後押しする手話通訳者の派遣件数について547件を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 聴覚障害者等への手話・要約筆記通訳者などの派遣(手話742件、要約筆記177件) 手話・要約筆記奉仕員養成講座等の実施(受講者数 手話25名、要約筆記6名) 遠隔手話通訳サービスの実施(登録者36名、遠隔手話サービス12件、問合せ相談143件) 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	8,266	9,172	10,700						
	特定財源	261	437	343						
	一般財源	8,005	8,735	10,357						
指標名	手話通訳者派遣件数				単位	件				
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
467		547 558		547 714		547 742				
評価検証	R4年度の手話通訳者派遣件数は742件であり、目標を達成しました。派遣コーディネーターを行う専任手話通訳者の配置や登録派遣通訳者の確保など定常的な派遣体制を維持できたことに加え、遠隔手話通訳サービスの導入により、対面での派遣が難しいケースにおいても手話通訳が可能となったことが効果的であったと考えます。また、新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、講演等への派遣依頼が回復の兆しを見せたほか、ろう者の高齢化により、生活援助に関する派遣が前年度より増加したことも一因であると考えます。									

施策	5	取組	2	番号	3	事務事業	障害者日常生活支援事業			
目的	クリーニング・理美容サービスの各種在宅サービスの提供や日常生活用具の給付などにより、日常生活の支援や経済的負担の軽減を図ります。					担当課	障害福祉課			
目標	障害のある人の日常生活を支援する各種サービスの利用率の向上を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活用具の給付・貸付(支払件数964件) 理美容・クリーニング等サービスの実施(理美容クリーニング対象者89人、緊急通報システム対象者27人) 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	57,741	60,011	58,568						
	特定財源	1,515	1,380	214						
	一般財源	56,226	58,631	58,354						
指標名	-				単位					
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	R4年度は、障害のある人の日常生活を支援するための様々な公的サービスを提供してきていますが、特に理美容・クリーニング等サービスについては、個々のニーズにばらつきがあることから、利用率が低水準で推移しており、目標を達成しませんでした。今後も、必要な人に支援が行き届くよう、福祉ガイドへの掲載や、窓口で案内等を通じた制度の周知を図っていくなど、利用を促していく必要があると考えます。									

施策	5	取組	2	番号	4	事務事業	障害者施設整備補助事業			
目的	民間事業者との連携により、各種障害者施設の整備を促進し、障害者が安心して生活できる環境整備を進めます。					担当課	障害福祉課			
目標	-									
事業実施状況	障害者施設建設費償還への支援					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費	6,405	6,342	6,278						
	特定財源	0	0	0						
	一般財源	6,405	6,342	6,278						
指標名	-				単位					
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-									

施策	5	取組	2	番号	5	事務事業	障害者自立支援給付事業			
目的	介護給付費や障害者自立支援訓練等給付費の支給などにより、障害のある人の日常生活や自立した生活を支援します。					担当課	障害福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・障害者介護給付費の支給 ・自立支援訓練等給付費の支給		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	4,519,198	4,741,899	4,861,195				
			特定財源	3,425,231	3,596,324	3,728,222				
			一般財源	1,093,967	1,145,575	1,132,973				
	指標名		-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	5	取組	2	番号	6	事務事業	障害者医療給付事業			
目的	障害者医療給付費の支給により、障害の除去・軽減を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。					担当課	障害福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・障害者医療給付費の支給		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	683,382	680,240	655,259				
			特定財源	458,374	458,789	444,833				
			一般財源	225,008	221,451	210,426				
	指標名		-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	5	取組	2	番号	7	事務事業	障害者補装具給付事業			
目的	障害者補装具給付費の支給により、身体機能の補完を支援するとともに、経済的負担の軽減を図ります。					担当課	障害福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・障害者補装具給付費の支給		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	49,699	60,892	53,270				
			特定財源	52,163	47,456	45,990				
			一般財源	△2,464	13,436	7,280				
	指標名		-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	5	取組	2	番号	8	事務事業	特別障害者手当等支給事業			
目的	特別な介護を必要とする最重度の障害者に手当を支給し、経済的負担の軽減を図ります。					担当課	障害福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・特別障害者手当等の支給		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	46,455	45,685	42,837				
			特定財源	34,712	34,125	32,030				
			一般財源	11,743	11,560	10,807				
	指標名		-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	5	取組	2	番号	9	事務事業	障害者福祉サービス管理運営事業			
目的	障害者自立支援審査会の開催などにより、障害支援区分の判定を行い、公平・公正な障害者施策の推進を図ります。					担当課	障害福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・障害認定調査の実施(632回) ・障害者自立支援審査会の開催(37回)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	23,626	26,344	26,513				
			特定財源	0	0	270				
			一般財源	23,626	26,344	26,243				
	指標名		-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	5	取組	2	番号	10	事務事業	地域生活支援給付事業			
目的	日中一時支援などの提供により、障害のある人の地域における自立した生活を支援します。					担当課	障害福祉課			
目標	-									
事業実施状況	・地域生活支援事業(移動支援、日中一時支援、訪問入浴)の提供		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	99,066	104,337	93,487				
			特定財源	3,650	0	0				
			一般財源	95,416	104,337	93,487				
	指標名		-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 5 取組 3 番号 1 事務事業 障害者就労促進事業									
目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。				担当課	障害福祉課			
目標	企業に一般就労している障害者数について930人を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者施設からの物品優先調達 ・障害者就労・生活支援事業 ・障害者の職場体験実習の実施(13課17名) ・障害者の就労環境づくり ・障害者雇用に係る成功事例の周知や課題等の調査(5事例収集) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	2,614	2,617	4,318				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	2,614	2,617	4,318				
		指標名	企業に一般就労している障害者数				単位	人	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	726		821		874		930		
			843		828		854		
評価検証	R4年度の企業に一般就労している障害者数は854人であり、目標を達成しませんでした。就労を希望する障害者向けの研修や、市役所の職場体験実習の実施などを通じ、障害者の就労意欲の喚起に努めたほか、企業への訪問や成功事例の収集などにより企業における障害者雇用への理解促進に取り組んでいますが、障害者雇用が一部の企業に集中し面的な拡大が進んでいないことや、福祉就労から一般就労への利用者の移行が進んでいないことが要因であると考えます。今後は、障害者雇用事例集を活用し、企業におけるさらなる理解促進に努めるほか、関係機関と連携し福祉就労事業所の就労支援に関わるスキル向上を図っていく必要があります。								

施策 5 取組 3 番号 2 事務事業 障害者社会参加促進事業									
目的	地域活動支援センターの運営や障害のある人の各種活動への支援などにより、障害のある人の自立や社会参加を促進します。				担当課	障害福祉課			
目標	障害のある人の社会参加等を促進する障害者生活支援センターの利用率向上を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・社会活動、余暇活動への支援(ろうあ者スポーツ大会への参加支援、障害者乗馬体験会の開催など) ・地域活動支援センターへの運営支援 ・障害者生活支援センターの運営 ・重度障害者等タクシー料金、通所施設等交通費の助成 ・医療的ケア事業の実施 ・地域活動支援センターへの電気料金高騰分に対する支援 ・福祉有償運送事業者への電気料金高騰分に対する支援 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	125,724	126,789	126,789				
		特定財源	6,129	4,776	5,177				
		一般財源	119,595	122,013	121,612				
		指標名	-				単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、障害者生活支援センターにおいて、創作的活動など社会参加を促進するための事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、定員制限などの対応を行ったことにより、新規利用者が少なくなっており、目標を達成しませんでした。今後は、国の方針に基づき、定員制限を緩和しつつ、利用者が安心して活動できる環境づくりを図りながら、広報紙やSNS等により事業周知を強化し、利用率の向上を図っていく必要があります。								

施策 5 取組 0 番号 1 事務事業 障害者計画推進事業									
目的	障害者計画を推進し、障害者福祉に関する施策を総合的に進めます。				担当課	障害福祉課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者計画の推進 ・次期障害者計画、障害福祉計画策定に向けたアンケートの実施 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	1,636	0	878				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	1,636	0	878				
		指標名	-				単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 6 取組 1 番号 1 事務事業 看護師等人材確保事業									
目的	看護師等の養成機関への支援等により、医療に従事する人材の確保を図ります。				担当課	健康推進課			
目標	看護師等の管内定着率について65.1%を目指します。								
事業実施状況	・看護師等養成機関等への運営支援 ・帯広高等看護学院の運営支援 ・医師会看護専門学校建設への支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	81,509	76,243	234,192			
			特定財源	1,100	2,100	145,000			
			一般財源	80,409	74,143	89,192			
	指標名		看護師等の管内定着率			単位	%		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
		62.5		65.1		65.1		65.1	
				65.1		61.4		69.0	
評価検証	R4年度の看護師等の管内定着率は、69.0%と目標を達成しました。実習先の増加や感染症の影響などにより、地元定着意識が高くなったものと考えます。								

施策 6 取組 2 番号 1 事務事業 救急医療対策事業									
目的	医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間、休日等でも安心して医療を受けられる環境づくりを進めます。				担当課	健康推進課			
目標	夜間・休日でも受診可能な医療体制を維持します。								
事業実施状況	・休日夜間急病センターの運営 ・二次救急医療体制の維持 ・在宅当番医制の維持 ・休日歯科診療体制の維持 ・帯広市急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供 ・公共施設へのAEDの設置 ・道東ドクターヘリ運航調整委員会との連携		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	241,782	239,464	248,343			
			特定財源	92,156	79,058	0			
			一般財源	149,626	160,406	248,343			
	指標名		-			単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、医療機関や関係機関との連携により、救急医療体制を維持し、夜間、休日等でも受診可能な医療体制を維持できたものと考えます。								

施策 6 取組 2 番号 2 事務事業 地域医療体制整備支援事業									
目的	医療機関や関係機関と連携し、地域医療体制を整備します。				担当課	健康推進課			
目標	救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持します。								
事業実施状況	・健康生活支援審議会地域医療推進部会の開催 ・地域医療の確保に関する要望活動 ・帯広厚生病院への運営支援 ・心身障害者歯科治療事業の支援 ・訪問看護ステーションへの運営支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	267,210	212,240	212,240			
			特定財源	63,501	0	0			
			一般財源	203,709	212,240	212,240			
	指標名		-			単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、医療機関や関係機関との連携により、地域医療体制の確保や、救命救急センター、小児救急医療、周産期医療、小児医療などの体制を維持できたものと考えます。								

施策	7	取組	1	番号	1	事務事業	国民健康保険制度運営事業				
目的	北海道の運営方針を踏まえ、事務の標準化・広域化をすすめるとともに、医療費の適正化などにより、国民健康保険の安定的な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課				
目標	-										
事業実施状況	・国民健康保険運営協議会の運営 ・国民健康保険事業費納付金の支出 ・国民健康保険料の独自減免 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険料の減免					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	・医療費通知の実施 ・ジェネリック医薬品の使用促進 ・重複・多受診者への指導 ・個別家庭訪問の実施 ・保険者努力支援制度への対応 ・保険料過誤納付金の還付					事業費	4,929,728	4,888,474	4,647,690		
						特定財源	3,689,340	3,501,478	3,240,317		
						一般財源	1,240,388	1,386,996	1,407,373		
	指標名					-			単位		
					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策	7	取組	1	番号	4	事務事業	検診事業				
目的	被保険者を対象とした各種検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。					担当課	国保課				
目標	-										
事業実施状況	・各種がん検診の実施(受診者数8,780人) ・人間ドックの実施(受診者数446人) ・脳ドックの実施(受診者数667人) ・歯科ドックの実施(受診者数400人)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費	31,082	30,728	31,817		
						特定財源	31,082	30,728	31,817		
						一般財源	0	0	0		
	指標名					-			単位		
					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策	7	取組	1	番号	2	事務事業	国民健康保険料賦課・徴収事業				
目的	保険料の適正な賦課・徴収や収納率向上対策などにより、国民健康保険の健全な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課				
目標	-										
事業実施状況	・保険料の賦課、徴収事務 ・収納率向上対策の推進 ・保険料の納付相談の実施					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費	93,570	74,303	72,216		
						特定財源	30,539	21,206	21,857		
						一般財源	63,031	53,097	50,359		
	指標名					-			単位		
					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策	7	取組	1	番号	5	事務事業	特定健康診査及び特定保健指導事業				
目的	被保険者を対象とした健康診査・保健指導を実施し、健康の維持・増進により、生活習慣病の予防を図ります。					担当課	国保課、健康推進課				
目標	-										
事業実施状況	・特定健康診査の実施(受診者数8,132人) ・特定保健指導の実施(終了者数223人) ・特定健康診査未受診者、特定保健指導未利用者対策事業の実施 ・国保データベースを活用した特定保健指導の推進					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費	89,865	88,485	94,038		
						特定財源	60,506	58,312	66,510		
						一般財源	29,359	30,173	27,528		
	指標名					-			単位		
					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策	7	取組	1	番号	3	事務事業	療養給付費等支給事業				
目的	被保険者の医療費に関する保険者負担分、出産育児一時金及び葬祭費の支給を行います。					担当課	国保課				
目標	-										
事業実施状況	・療養給付費の支給 ・療養費の支給 ・高額療養費の支給 ・出産育児一時金の支給 ・葬祭費の支給 ・傷病手当金の支給					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費	10,421,265	10,568,916	10,713,770		
						特定財源	10,418,040	10,567,471	10,710,165		
						一般財源	3,225	1,445	3,605		
	指標名					-			単位		
					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策	7	取組	1	番号	6	事務事業	後期高齢者医療制度運営事業				
目的	後期高齢者医療制度に関する事務を適切に執行し、制度の安定的な運営を図ります。					担当課	国保課、収納課				
目標	-										
事業実施状況	・後期高齢者医療制度の運営に関する市町村事務 ・保険料過誤納付金の還付					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
						事業費	6,860	7,649	10,146		
						特定財源	680	1,958	4,252		
						一般財源	6,180	5,691	5,894		
	指標名					-			単位		
					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-										

施策	7	取組	1	番号	7	事務事業	後期高齢者医療保険料徴収事業			
目的	後期高齢者医療保険料の徴収や制度周知などを進め、制度の安定的な運営を図ります。				担当課	国保課、収納課				
目標	-									
事業実施状況	・後期高齢者医療保険料の徴収 ・後期高齢者医療制度の周知		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	27,591	21,029	34,122				
			特定財源	1,978	83	83				
			一般財源	25,613	20,946	34,039				
			指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	7	取組	2	番号	1	事務事業	介護給付等費用適正化事業			
目的	要介護認定や介護報酬請求の適正化などを進め、介護保険制度の安定的な運営を図ります。				担当課	介護高齢福祉課				
目標	介護保険サービスの適切な利用につなげるため、ケアプランの点検件数について94件を目指します。									
事業実施状況	・給付費の適正化 (ケアプラン点検件数94件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	7,554	7,921	12,562				
			特定財源	6,100	6,396	6,375				
			一般財源	1,454	1,525	6,187				
			指標名	ケアプランの点検件数			単位	件		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
			75	87	91	94				
				35	91	94				
評価検証	R4年度のケアプランの点検件数は94件であり、目標を達成しました。職員によるケアプラン点検等を実施しているほか、北海道介護支援専門員協会に委託しているケアプラン点検と併せて給付適正化研修会を開催し、介護支援専門員の資質向上に努めています。									

施策	7	取組	1	番号	8	事務事業	後期高齢者医療広域連合市町村負担金納付事業			
目的	後期高齢者医療制度の運営主体である北海道後期高齢者医療広域連合の運営に必要な経費を負担します。				担当課	国保課、収納課				
目標	-									
事業実施状況	・市町村負担金(事務費、療養給付費、保険料等)の納付		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	4,216,108	4,203,444	4,294,380				
			特定財源	1,897,040	1,943,864	2,020,243				
			一般財源	2,319,068	2,259,580	2,274,137				
			指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	7	取組	2	番号	2	事務事業	介護保険制度運営事業			
目的	介護認定審査会の運営や賦課・徴収などの事務を行い、介護保険制度の適切な運営を図ります。				担当課	介護高齢福祉課、収納課				
目標	-									
事業実施状況	・介護認定審査会の運営 ・介護保険制度の周知 ・介護保険料の賦課、徴収 ・介護保険被保険者の資格管理 ・介護人材の定着支援とスキルアップ		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	166,129	175,856	218,918				
			特定財源	5,831	4,229	281				
			一般財源	160,298	171,627	218,637				
			指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	7	取組	1	番号	9	事務事業	後期高齢者健康診査事業			
目的	被保険者を対象とした各種健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療により、健康維持や疾病の重症化予防を図ります。				担当課	国保課				
目標	-									
事業実施状況	・健康診査の実施(受診者数4,790人) ・人間ドックの実施(受診者数50人) ・脳ドックの実施(受診者数197人) ・歯科ドックの実施(受診者数356人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	40,988	41,747	49,676				
			特定財源	37,304	41,747	49,676				
			一般財源	3,684	0	0				
			指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	7	取組	2	番号	3	事務事業	介護保険制度運営安定化事業			
目的	介護保険制度の財政安定化に係る貸付制度や基金の積立等を行い、制度の安定的な運営を図ります。				担当課	介護高齢福祉課、収納課				
目標	-									
事業実施状況	・介護給付費準備基金の管理 ・保険料過誤納付金の還付		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	312,272	423,934	414,044				
			特定財源	312,272	423,934	414,044				
			一般財源	0	0	0				
			指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 7	取組 2	番号 4	事務事業 介護保険利用者負担軽減対策事業				
目的	低所得の介護保険利用者が介護サービスを利用する際の負担軽減を図ります。		担当課 介護高齢福祉課				
目標	-						
事業実施状況	・低所得者に対する介護保険利用者負担軽減(6,000件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		64,858	64,093	62,057		
	特定財源		21,496	21,823	21,840		
	一般財源		43,362	42,270	40,217		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 7	取組 2	番号 5	事務事業 介護保険料減免制度事業				
目的	災害などにより一時的に保険料の納付が困難となった低所得の被保険者に対し、保険料の負担軽減を図ります。		担当課 介護高齢福祉課				
目標	-						
事業実施状況	・介護保険料の法定減免(2件) ・介護保険料の独自減免(269件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		0	0	0		
	特定財源		0	0	0		
	一般財源		0	0	0		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 7	取組 2	番号 6	事務事業 介護保険給付事業				
目的	要介護者が利用した介護サービスに要する保険者負担分の支出を行い、制度の適正な運用を図ります。		担当課 介護高齢福祉課				
目標	-						
事業実施状況	・介護サービス給付費の支給	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		13,783,947	14,261,436	14,370,697		
	特定財源		11,826,292	12,236,136	12,328,883		
	一般財源		1,957,655	2,025,300	2,041,814		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 7	取組 2	番号 7	事務事業 介護保険事業計画推進事業				
目的	介護保険事業計画を推進し、介護保険サービスの確保と制度の持続的な運営を図ります。		担当課 介護高齢福祉課				
目標	-						
事業実施状況	・介護保険事業計画の推進(第九期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査の実施)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		8,036	0	5,382		
	特定財源		0	0	0		
	一般財源		8,036	0	5,382		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 7	取組 3	番号 1	事務事業 早期把握・自立支援事業				
目的	民生委員等と連携を図り、要保護者の早期把握に努めるとともに、公共職業安定所と連携した就労支援を実施し、被保護者の自立を促進します。		担当課 生活支援第1課・第2課				
目標	自立支援プログラムを利用した被保護者の就労率について50.0%を目指します。						
事業実施状況	・要保護者・被保護者との面談相談の実施(新規相談1,048件、申請443件) ・被保護者への就労支援(就労自立促進事業<参加者16人、就労者11人>、被保護者就労支援事業<参加者51人、就労者30人>、被保護者就労準備支援事業<4事業 参加者28人、就労者9人>)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		12,442	11,768	12,153		
	特定財源		6,361	6,332	6,312		
	一般財源		6,081	5,436	5,841		
	指標名	自立支援プログラム利用者の就労率	単位	%			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
	44.4		50.0 32.0	50.0 39.6	50.0 52.6		
評価検証	R4年度の自立支援プログラム利用者の就労率は52.6%であり目標を達成しました。ハローワークや委託先事業所と連携し、プログラム利用者個々の能力や経験に即した就労支援に努めたことが効果的であったと考えます。						

施策 7	取組 3	番号 2	事務事業 生活困窮者自立促進支援事業				
目的	生活困窮者の状態に応じた相談支援等を実施し、困窮状態からの早期自立を促進します。		担当課 生活支援第1課・第2課				
目標	生活困窮者の生活や就労に関する相談体制を維持します。						
事業実施状況	・生活困窮者の自立相談支援(新規相談数287件(実人数)) ・生活困窮者の就労準備支援(3人 実人数) ・住居確保給付金の支給(新規申請決定件数10世帯、給付額2,441,800円) ・生活困窮世帯(被保護世帯含む)の子どもの学習支援(小学生<参加者10人、延べ192人>、中学生(高校生含む)<参加者19人、延べ608人>) ・生活困窮者世帯への支援金の支給(新規申請決定件数51世帯、給付額17,740,000円)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		54,380	68,852	50,109		
	特定財源		43,078	78,526	47,460		
	一般財源		11,302	△9,674	2,649		
	指標名	人口10万人あたりの自立相談件数	単位	件			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
	7.3		9.1 41.2	9.1 34.3	9.1 14.6		
評価検証	R4年度における人口10万人あたりの自立相談件数は15件/月となり目標を達成しました。特別貸付申請時に必要な相談が制度終了に伴い減少したことからR3年度に比して実数は大幅減となっているものの、貸付以外の困窮相談は前年度より増加しており、パンフレットの配布等により自立相談支援センターの認知度向上に努めたことが効果的であったと考えます。また、自立相談支援センターや関係機関・団体と連携し地域における生活困窮者の支援体制構築に努めたことで、適切に相談に応じることが出来たものと考えます。						

施策 7 取組 3 番号 3 事務事業 救護施設東明寮整備補助事業									
目的	救護施設東明寮の移転改築に伴う借入金の償還を支援し、障害を持つ要保護者の生活や自立を支援します。				担当課	地域福祉課			
目標	-								
事業実施状況	・救護施設東明寮の移転改築費償還への支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		9,043	9,009	8,974				
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		9,043	9,009	8,974				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 7 取組 0 番号 1 事務事業 国民年金事業									
目的	市民が適正に年金を受給できるよう、制度周知や各種受付事務などを進めます。				担当課	戸籍住民課			
目標	-								
事業実施状況	・広報紙やパンフレットによる制度周知 ・被保険者の各種受付事務の実施	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		9,678	7,982	9,015				
	特定財源		42,977	41,310	40,381				
	一般財源		△33,299	△33,328	△31,366				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 7 取組 3 番号 4 事務事業 生活保護事業									
目的	被保護者の生活実態を把握し、的確な助言・指導を行います。				担当課	生活支援第1課・第2課			
目標	-								
事業実施状況	・被保護者の家庭訪問の実施(被保護者3,804世帯/月平均、ケースワーカー33名、家庭訪問8,973件) ・被保護者に対する健康管理支援(特定健診受診勧奨 2,188名)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		77,042	78,861	76,335				
	特定財源		1,949	1,754	1,591				
	一般財源		75,093	77,107	74,744				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 7 取組 3 番号 5 事務事業 生活保護等支給事業									
目的	生活に困窮する被保護者等に対し、保護費等による支援により、生活の安定を図ります。				担当課	生活支援第1課・第2課			
目標	-								
事業実施状況	・保護費の支給 ・中国残留邦人等への支援給付費等の支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		7,861,175	7,669,558	7,511,068				
	特定財源		6,214,240	6,129,598	6,065,724				
	一般財源		1,646,935	1,539,960	1,445,344				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策	8	取組	1	番号	1	事務事業	制度融資事業（農政課）			
目的	長期・低利等の資金の貸付により、農業経営の高度化・安定化を図ります。					担当課	農政課			
目標	農業者の経営の高度化・安定化を図る農林業育成資金の新規貸付件数について99件を目指します。									
事業実施状況	・農林業育成資金の貸付(新規貸付74件) ・農地保有合理化事業資金の貸付(新規貸付0件)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					2,172,092	2,412,954	2,441,081		
	特定財源					2,167,757	2,408,138	2,436,209		
	一般財源					4,335	4,816	4,872		
指標名					制度資金利用件数		単位	件		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
55			99		99		99			
			82		91		74			
評価検証	R4年度の新規貸付件数は74件であり、目標を達成しませんでした。 エネルギー価格や肥料を含む生産資材価格の高騰等によって、農業者が新たな機材等の導入や農地取得を必要最小限に抑えたことやGPSガイドランス等の導入がひと段落していること、過年度に国の補助事業を活用して機材等を導入した農業者が多かったことが要因であると考えます。 資材価格高騰の影響もあり、経営コストの削減に資する自動散布制御スプレーヤーやドローンの導入に向けた動きが見られることから、今後も農協を通じ、農業者に貸付制度を効果的に周知していくことが必要であると考えます。									

施策	8	取組	1	番号	2	事務事業	農業経営体育成・強化事業			
目的	経営研修や新規就農者の支援などを進め、優れた経営能力と生産技術を持った担い手の育成・確保を図ります。					担当課	農政課			
目標	担い手の育成・確保を図る研修会（市主催又は共催）への参加者数について90人を目指します。									
事業実施状況	・担い手の強化、育成支援(十勝地域農業者合同研修会183名(会場28名、オンライン155名)、アグリカレッジ3名(新規就農者コース)) ・農業振興基金の管理(年度末残高113,210,456円)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					24,258	105,312	40,949		
	特定財源					23,051	50,537	40,170		
	一般財源					1,207	54,775	779		
指標名					各種研修への参加者数		単位	人		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
63			75		82		90			
			95		162		186			
評価検証	R4年度の各種研修への参加者数は186人であり、目標を達成しました。 農業者が参加（視聴）しやすい動画配信サイトを活用した研修会を2回開催したことや、農業者が高い関心を持つ「土づくり」を研修題目とし、前年度からの継続的な内容として実施したことが効果的であったと考えます。									

施策	8	取組	1	番号	3	事務事業	クリーン農業推進事業			
目的	生産者・関係団体との連携によるクリーン農業技術の普及などにより、安全で良質な農産物の生産を進めます。					担当課	農政課			
目標	持続的な生産活動を推進するとともに環境負荷の低減を図る環境保全型農業の実践者数について66人を目指します。									
事業実施状況	・クリーン農業技術等の普及促進 ・環境保全型農業直接支援対策事業の実施(実施面積68,617a)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					32,826	35,016	38,004		
	特定財源					24,815	26,448	28,215		
	一般財源					8,011	8,568	9,789		
指標名					環境保全型農業実践者数		単位	人		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
59			62		64		66			
			62		60		65			
評価検証	R4年度の環境保全型農業実践者数は65人であり、目標を達成しませんでした。 天候の影響による病害虫防除回数が増などにより、実践まで至らなかったことが要因であると考えます。 引き続き、年2回行っている事業周知やクリーン農業技術の取組事例集の配布による情報提供を継続し、環境保全型農業への理解醸成を図っていくことが必要であると考えます。									

施策	8	取組	1	番号	4	事務事業	営農技術向上対策事業			
目的	営農技術情報の提供や試験研究などを進め、生産性の向上や環境負荷の低減を図ります。					担当課	農政課			
目標	地域農業における生産性の向上や環境負荷の低減などに関する営農技術の試験研究数について14件を目指します。									
事業実施状況	・営農技術試験、調査、情報提供(営農技術情報の提供11回) ・土壌、堆肥分析などへの支援(検査点数2,583点) ・新技術の導入や研究などへの支援(実施主体2団体) ・新規作物の栽培実証事業の実施及び普及への支援(新規作物試験栽培4a) ・メタン発酵消化液の実証試験等への支援(実証面積2,638ha) ・高騰する化学肥料の購入支援(給付件数578件)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					15,577	15,360	97,522		
	特定財源					6	225	81,779		
	一般財源					15,571	15,135	15,743		
指標名					営農技術試験研究数		単位	件		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
12			14		14		14			
			14		17		16			
評価検証	R4年度の営農技術試験研究数は16件であり、目標を達成しました。 試験研究課題や技術普及について、農業団体や農業者等と協議を行ったほか、帯広市農業技術センターの機能が民間企業等に認知されるようになったことが要因であると考えます。									

施策	8	取組	1	番号	5	事務事業	多面的機能支払推進事業			
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。					担当課	農村振興課			
目標	水源の涵養や自然環境の保全など農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数について16団体を目指します。									
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持、発揮を図るための地域の共同活動(水路の泥上げ、草刈、農道の補修など)に係る支援(15,119.72ha)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					183,760	194,539	218,887		
	特定財源					137,920	146,020	164,294		
	一般財源					45,840	48,519	54,593		
指標名					農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数		単位	団体		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
14			15		16		16			
			16		17		22			
評価検証	R4年度の多面的機能の維持・発揮に取り組む農事組合数は22団体であり、目標を達成しました。 事業説明会などの開催を通じて、地域活動の重要性を周知してきたことなどが効果的であったと考えます。									

施策	8	取組	1	番号	6	事務事業	有害鳥獣駆除事業			
目的	有害鳥獣の駆除により、農林業被害を防止します。					担当課	農村振興課			
目標	鳥獣害による農業被害額を2,849万円にまで抑制します。									
事業実施状況	・有害鳥獣の駆除 ・帯広市鳥獣被害対策実施隊による被害対策の実施(出動回数235回)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					5,315	5,075	5,620		
	特定財源					965	917	993		
	一般財源					4,350	4,158	4,627		
指標名					鳥獣害による農業被害額		単位	万円		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
5,530			2,849		2,849		2,849			
			3,511		2,356		1,727			
評価検証	R4年度の鳥獣害による農業被害額は1,727万円であり、目標を達成しました。 帯広市鳥獣被害対策実施隊や駆除員による被害調査の結果を基に、捕獲活動などを効果的に行ったことが、農業被害額の減少につながったものと考えています。 今後も安定的に目標値を達成できるよう、当面は現在の駆除体制を維持していくことが必要と考えます。									

施策 8 取組 1 番号 7 事務事業 家畜衛生対策事業									
目的	防疫体制の充実や予防接種など家畜衛生対策を進め、畜産経営の安定化を図ります。				担当課	農政課			
目標	予防接種の実施などにより家畜伝染病の発生防止を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種への支援(ワクチン接種延べ頭数14,627頭) ・家畜伝染病発生予防の啓発、推進 ・情報収集や危機管理体制の整備 ・防疫資材の備蓄 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	1,415	1,541	1,548				
		特定財源	240	1	95				
		一般財源	1,175	1,540	1,453				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、自衛防疫組合員に予防接種の支援を行ったほか、伝染病発生予防の啓発活動などに取り組んだことにより、家畜伝染病の発生が防止されており、目標を達成しました。								

施策 8 取組 1 番号 8 事務事業 生乳生産安定対策事業									
目的	乳質改善や牛群の資質向上などを進め、酪農経営の安定化と安全・安心な生乳の生産を促進します。				担当課	農政課			
目標	生乳の安定的な出荷を維持します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・生乳検査、乳質改善への支援(生乳検査16,451検体) ・牛群の改良、飼養管理改善への支援(乳牛検査延べ頭数14,840頭) ・酪農ヘルパー派遣事業への支援(酪農ヘルパー利用延べ回数1,336回) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	2,568	2,568	2,568				
		特定財源	500	500	1,000				
		一般財源	2,068	2,068	1,568				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、酪農家に対する各種支援などにより、生産基盤が安定し、生乳出荷量が増加しており、目標を達成しました。								

施策 8 取組 1 番号 9 事務事業 農業技術センター管理運営事業									
目的	農業者及び農業生産活動の支援拠点である農業技術センターを管理運営し、農業振興施策を総合的に展開します。				担当課	農政課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・農業技術センターの維持管理 ・農業行政に関する事務 ・農業・農村基本計画の推進 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	9,825	11,379	10,590				
		特定財源	33	43	4				
		一般財源	9,792	11,336	10,586				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 8 取組 1 番号 10 事務事業 八千代公共育成牧場管理運営事業									
目的	八千代公共育成牧場の管理運営や利用促進を通して、畜産経営の安定化を図ります。				担当課	農政課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・八千代公共育成牧場の管理運営(入牧延べ頭数(牛)6,258頭) ・(馬)203頭、舎飼延べ頭数7,036頭) ・八千代公共育成牧場の利用促進 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	180,792	187,204	200,815				
		特定財源	123,640	124,804	126,354				
		一般財源	57,152	62,400	74,461				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 8 取組 1 番号 11 事務事業 畜産研修センター管理運営事業									
目的	畜産研修センターの管理運営により、畜産や農業に関する研修機会を提供し、農業理解の促進を図ります。				担当課	農政課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産研修センターの管理運営(利用者数965名) ・研修機会の提供 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	22,836	24,525	26,682				
		特定財源	804	1,317	660				
		一般財源	22,032	23,208	26,022				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 8 取組 1 番号 12 事務事業 畜産振興事業									
目的	飼養管理技術の普及や畜産関連情報の収集・提供などを通じ、畜産の振興を図ります。				担当課	農政課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・飼養管理技術の普及促進 ・畜産関連情報の収集、提供 ・バイオガスプラント整備に向けた支援 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	1,035	1,056	991				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	1,035	1,056	991				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 8 取組 1 番号 13 事務事業 農業生産体制強化事業									
目的	農業用機械や施設整備の支援などを進め、生産性の向上を図ります。				担当課	農政課			
目標	-								
事業実施状況	・農業用機械等の整備支援(0経営体)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・施設園芸エネルギー転換促進支援(1経営体)	事業費	305,819	479,963	103,862				
	・先進的な生産技術や作業体系の導入支援(ソフト事業7実施主体(病害虫抵抗性品種の導入など)、ハード事業10実施主体(省力作業機械等の導入など))	特定財源	305,819	479,963	103,862				
		一般財源	0	0	0				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	農地利用効率化事業は、R3を基準として事業計画(目標)を作成して事業を実施するものです。R3は豊作の年であり、達成可能な目標を立てることが難しく、当該事業に申請する農業者がいなかったため、未実施となりました。								

施策 8 取組 1 番号 16 事務事業 道営水利施設等保全高度化事業									
目的	農業用排水施設の整備や土層改良などの生産基盤整備を総合的に進め、生産性・収益性の向上を図ります。				担当課	農村振興課			
目標	-								
事業実施状況	・明渠・畑地かんがい・暗渠排水、土層改良などの整備(川西西2地区、大正北2地区、大正南2地区、川西中央2-1地区、帯広かわにし1地区)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・整備費の償還	事業費	215,329	191,182	212,393				
		特定財源	100,905	88,993	123,057				
		一般財源	114,424	102,189	89,336				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 8 取組 1 番号 14 事務事業 農業経営基盤強化資金利子補給事業									
目的	農業者の借入資金に対する金利負担を軽減し、経営改善の促進、担い手の育成・確保を図ります。				担当課	農政課			
目標	-								
事業実施状況	・農業経営基盤強化資金利子補給(新規案件数0件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	3,114	2,442	1,949				
		特定財源	1,557	1,221	978				
		一般財源	1,557	1,221	971				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 8 取組 1 番号 17 事務事業 国営土地改良事業									
目的	農業用水の確保など農業生産基盤の整備を促進し、生産性・収益性の向上を図ります。				担当課	農村振興課			
目標	-								
事業実施状況	・国営かんがい排水事業による農業生産基盤整備費の償還	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	17,314	17,314	30,265				
		特定財源	0	0	11,600				
		一般財源	17,314	17,314	18,665				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 8 取組 1 番号 15 事務事業 農業基盤施設維持補修事業									
目的	農業用排水施設、畑地かんがい施設の適切な維持管理を促進し、生産性の維持を図ります。				担当課	農村振興課			
目標	-								
事業実施状況	・明渠の維持管理への支援(水利施設管理強化補助金)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・明渠周辺の環境保全への支援(明渠排水維持管理事業補助金)	事業費	11,924	12,098	12,366				
	・畑地かんがい施設の維持管理への支援(維持管理協議会負担金)	特定財源	6,246	6,246	8,063				
	・明渠橋修繕工事の設計	一般財源	5,678	5,852	4,303				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 8 取組 1 番号 18 事務事業 土地改良促進事業									
目的	土地改良事業を円滑に推進するため、事業実施に伴う事務を行います。				担当課	農村振興課			
目標	-								
事業実施状況	・土地改良事業に関する事務	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	4,960	5,181	7,899				
		特定財源	1,801	1,654	3,868				
		一般財源	3,159	3,527	4,031				
	指標名	-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策	8	取組	1	番号	19	事務事業	農業委員会運営事業
目的	農業生産力の向上や農業経営の合理化を図るため、農地に関する権利移動や転用、利用集積などの業務を行います。		担当課	農業委員会事務局			
目標	-						
事業実施状況	・農地法に基づく法令業務 ・農業経営基盤強化促進法に基づく農地の利用集積等に関する業務	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	・農地中間管理事業の推進に関する法律に基づく農地の集積・集約化等に関する業務 ・農業者年金業務 ・法人化その他の農業経営の合理化に関する業務	事業費	20,122	20,077	20,113		
	・農業に関する調査及び情報提供 ・農業後継者結婚対策業務 ・農地等証明発行	特定財源	18,142	18,577	16,505		
		一般財源	1,980	1,500	3,608		
指標名	-			単位			
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-						

施策	8	取組	2	番号	3	事務事業	黒毛和牛生産振興事業
目的	繁殖・素牛育成技術の普及など肉用牛の生産振興により、畜産経営の安定化や地域ブランド「十勝和牛素牛」の普及を図ります。		担当課	農政課			
目標	繁殖雌牛の飼養頭数の増加を目指します。						
事業実施状況	・黒毛和牛の繁殖、育成技術の普及促進(生産技術巡回指導12回、黒毛和種繁殖雌牛飼養頭数792頭) ・黒毛和牛の受精卵移植の促進(和牛受精卵移植87頭(R5.3.31現在八千代牧場)) ・とちか帯広和牛生産改良組合への支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	117	111	357		
		特定財源	0	0	234		
		一般財源	117	111	123		
指標名	-			単位			
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、和牛素牛生産の指導巡回やとちか帯広和牛生産改良組合による研修会などを実施しましたが、一部の生産者において規模縮小や経営方針の転換があったため、目標を達成しませんでした。今後も現在の取り組みを継続するとともに、生産者のニーズに応じた取り組みを和牛生産改良組合と協力し、検討、実施していく必要があると考えます。						

施策	8	取組	2	番号	1	事務事業	フードバレーとちか食・農活性化事業
目的	地域の農畜産物などの情報発信を通じ、十勝農業の魅力向上を図ります。		担当課	農政課			
目標	十勝の農畜産物など地域資源の情報を掲載したホームページ「十勝の食卓」のアクセス数を維持します。						
事業実施状況	・地域資源に係る情報の収集・発信(「地域資源」の紹介ページの追加・更新104件、地域の食材を使用した「おいしいレシピ」の追加・更新20件、十勝の食卓HPアクセス数68,603回)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	264	264	264		
		特定財源	0	0	0		
		一般財源	264	264	264		
指標名	-			単位			
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、「地域の資源」の紹介ページや「おいしいレシピ」の追加・更新をするなど、内容の充実に取り組みました。しかしながら、人々の興味・関心の多様化などにより、目標を達成しませんでした。今後、「十勝の食卓」ホームページをSNSやイベントにおいて効果的にPRしていく必要があると考えます。						

施策	8	取組	2	番号	4	事務事業	畜産物加工研修センター管理運営事業
目的	畜産物加工研修センターの管理運営により、畜産物の付加価値の向上、農業理解の促進を図ります。		担当課	農政課			
目標	-						
事業実施状況	・畜産物加工研修センターの管理運営 ・加工研修機会の提供(研修参加人数(乳加工、肉加工)393名) ・畜産物の加工技術、製品の研究開発	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	13,267	13,101	11,990		
		特定財源	167	301	498		
		一般財源	13,100	12,800	11,492		
指標名	-			単位			
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-						

施策	8	取組	2	番号	2	事務事業	農畜産物安全安心推進事業
目的	食の安全・安心に向けた取り組みなどにより、農業の競争力強化を促進します。		担当課	農政課			
目標	持続可能な農業生産や輸出拡大につながる国際水準GAPに取り組み農家数の増加を目指します。						
事業実施状況	・農畜産物の安全安心に係る普及啓発(啓発ポスター等の設置53か所)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	433	433	433		
		特定財源	289	289	289		
		一般財源	144	144	144		
指標名	-			単位			
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、これまでの取り組みに加え、「みどりのチェックシート」による持続可能な生産体系を実践するための取り組みが行われるなど、目標に向け進捗しています。						

施策	8	取組	2	番号	再	事務事業	フードバレーとちか推進事業<再掲9-2-3>
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとちか」を推進します。		担当課	経済企画課			
目標	-						
事業実施状況	・十勝の企業や食・農林漁業に関する情報発信、試験研究機関と生産者や企業等との連携促進 ・「フードバレーとちか」の取り組みへの住民参加の促進 ・生産・加工・流通業者との連携機会の提供など、コーディネート機能の発揮 ・域内外企業等との連携促進 ・バイオマス産業都市構想の推進 ・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大 ・フードバレーを通じた交流の推進 ・十勝の食の高付加価値化の推進 ・学び直しを支える環境づくり事業の実施 ・とちかファンミーティングの実施およびとちかファンサイト(とちかテーブル)の開設	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	-	-	-		
		特定財源	-	-	-		
		一般財源	-	-	-		
指標名	-			単位			
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-						

施策	8	取組	3	番号	1	事務事業	食育推進事業（農業分野）			
目的	各種イベントの開催などを通して、地産地消の促進や市民の食や健康への意識の向上を図ります。					担当課	農政課			
目標	食育に関心を持つ市民の割合の増加を目指します。									
事業実施状況	・食や農業に関するイベントの開催・支援（食育推進イベント（ブース出展）2件、食育推進サポーター活用 24件） ・消費者と生産者との相互交流の促進 ・地場農畜産物の消費拡大 ・第4次食育推進計画の策定					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費						4,602	2,686	3,224	
	特定財源						3,522	0	0	
	一般財源						1,080	2,686	3,224	
評価検証	R4年度は、「食育推進サポーター」による市内小学校への食育出前授業等を実施したほか、新型コロナウイルス感染症の感染沈静化に伴いイベントへの食育推進PRブース出展の取り組みを実施したことにより、食育に関心を持つ市民の割合の増加に結びついたものと考えており、目標を達成しました。									

施策	8	取組	3	番号	4	事務事業	農村活性化促進事業			
目的	農村におけるコミュニティの維持・確保、景観形成などの取り組みを通じて、農村の活性化を図ります。					担当課	農村振興課			
目標	-									
事業実施状況	・農業センターの維持管理(7施設) ・耕地防風林の整備への支援(4戸)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費						14,770	15,713	15,366	
	特定財源						3,559	53	94	
	一般財源						11,211	15,660	15,272	
評価検証	-									

施策	8	取組	3	番号	2	事務事業	帯広の森市民農園管理運営事業			
目的	帯広の森市民農園の管理運営により、農業に対する理解促進や都市と農村の交流促進を図ります。					担当課	農政課			
目標	-									
事業実施状況	・帯広の森市民農園の管理運営 ・市民農園(159区画)、学童農園(市内20団体)の運営					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費						18,820	17,939	22,132	
	特定財源						1,482	1,555	1,518	
	一般財源						17,338	16,384	20,614	
評価検証	-									

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	多面的機能支払推進事業<再掲8-1-5>			
目的	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。					担当課	農村振興課			
目標	-									
事業実施状況	・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動(水路の泥上げ、草刈、農道の補修など)に係る支援(15,119.72ha)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費						-	-	-	
	特定財源						-	-	-	
	一般財源						-	-	-	
評価検証	-									

施策	8	取組	3	番号	3	事務事業	とち大平原交流センター管理運営事業			
目的	とち大平原交流センターの管理運営により、農業・農村の歴史や魅力を発信し、農業・農村の理解促進、農業・農村文化の継承を図ります。					担当課	農政課			
目標	-									
事業実施状況	・とち大平原交流センターの管理運営(利用者数7,213名) ・とち農機具歴史館の管理運営					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費						10,861	10,888	12,039	
	特定財源						61	74	0	
	一般財源						10,800	10,814	12,039	
評価検証	-									

施策	8	取組	3	番号	再	事務事業	配水管整備事業<再掲20-1-1>			
目的	配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。					担当課	水道課			
目標	-									
事業実施状況	・配水管整備事業 L=2,065.5m ・管路近代化事業 L=9,791.7m					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費						-	-	-	
	特定財源						-	-	-	
	一般財源						-	-	-	
評価検証	-									

施策 8	取組 3	番号 再	事務事業 農村下水道施設整備事業<再掲20-1-10>				
目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。		担当課	下水道課			
目標	-						
事業実施状況	・個別排水処理施設の整備 ・清川下水処理場などの設備更新	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	-	-	-		
		特定財源	-	-	-		
		一般財源	-	-	-		
		指標名	-			単位	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 8	取組 3	番号 再	事務事業 下水道施設維持管理事業<再掲20-2-8>				
目的	適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。		担当課	下水道課			
目標	-						
事業実施状況	・下水道管の維持管理 ・終末処理場の維持管理 ・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	-	-	-		
		特定財源	-	-	-		
		一般財源	-	-	-		
		指標名	-			単位	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 8	取組 3	番号 再	事務事業 量水器整備事業<再掲20-2-2>				
目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。		担当課	水道課			
目標	-						
事業実施状況	・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	-	-	-		
		特定財源	-	-	-		
		一般財源	-	-	-		
		指標名	-			単位	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 8	取組 3	番号 再	事務事業 下水道普及促進事業<再掲20-2-12>				
目的	下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。		担当課	下水道課			
目標	-						
事業実施状況	・下水道への接続の普及啓発 ・排水設備改造資金の貸付	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	-	-	-		
		特定財源	-	-	-		
		一般財源	-	-	-		
		指標名	-			単位	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 8	取組 3	番号 再	事務事業 水道施設維持管理事業<再掲20-2-7>				
目的	適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。		担当課	水道課			
目標	-						
事業実施状況	・配水管、水道施設、量水器の維持管理	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	-	-	-		
		特定財源	-	-	-		
		一般財源	-	-	-		
		指標名	-			単位	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 8	取組 3	番号 再	事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業<再掲21-6-1>				
目的	農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。		担当課	都市政策課			
目標	-						
事業実施状況	・大正地区乗合タクシーの運行 ・川西地区乗合バスの運行	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	-	-	-		
		特定財源	-	-	-		
		一般財源	-	-	-		
		指標名	-			単位	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 8 取組 4 番号 1 事務事業 森林整備促進事業										
目的	私有林等の森林整備を支援し、森林の適切な管理を促進します。				担当課	農村振興課				
目標	森林経営計画の作成面積割合について64.9%を目指します。									
事業実施状況	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		37,101	46,600	59,752					
	特定財源		6,663	16,373	18,798					
	一般財源		30,438	30,227	40,954					
	指標名	森林経営計画作成面積割合			単位	%				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		63.3	64.9		64.9		64.9			
			65.6		64.6		64.8			
評価検証	R4年度の森林経営計画作成面積割合は64.8%であり、目標は達成できませんでした。R2年度から実施している施策により、森林経営計画の作成面積は増加しましたが、それを上回る伐採があったことが要因と考えます。今後は、森林環境譲与税を活用し計画作成に結び付く事業を増やしていく必要があると考えます。									

施策 8 取組 4 番号 2 事務事業 林業振興事業										
目的	私有林の造成や担い手の育成・確保等の支援を通じ、林業を振興します。				担当課	農村振興課				
目標	林業事業者が雇用している現場作業員及び作業日数（森林作業員の延べ人日）の増加を目指します。									
事業実施状況	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		13,516	6,246	5,987					
	特定財源		8,213	2,137	1,913					
	一般財源		5,303	4,109	4,074					
	指標名	-			単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、私有林における施策への補助や、森林認証制度への参画、森林作業員就労条件整備事業の実施により、森林所有者の施策意欲の向上が図られ、現場作業員及び作業日数の増加につながっており、目標を達成しました。									

施策 8 取組 4 番号 3 事務事業 林道等整備事業										
目的	林道・作業道を整備し、森林を適切に管理します。				担当課	農村振興課				
目標	-									
事業実施状況	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		41,239	24,200	551					
	特定財源		39,132	22,942	547					
	一般財源		2,107	1,258	4					
	指標名	-			単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 8 取組 4 番号 4 事務事業 市有林造成事業										
目的	水源かん養や環境保全など、森林が持つ公益的機能を積極的に発揮させるため、造林や間伐などの森林整備を進め、市有林を適切に管理します。				担当課	農村振興課				
目標	-									
事業実施状況	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		41,693	70,887	98,018					
	特定財源		38,484	43,495	58,044					
	一般財源		3,209	27,392	39,974					
	指標名	-			単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 8 取組 4 番号 5 事務事業 市有林収穫事業										
目的	間伐や皆伐の適切な実施により、市有林の維持・管理を進めるとともに、森林資源の活用を図ります。				担当課	農村振興課				
目標	-									
事業実施状況	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		5,725	5,485	5,820					
	特定財源		17,666	23,291	27,408					
	一般財源		△11,941	△17,806	△21,588					
	指標名	-			単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 8 取組 4 番号 6 事務事業 市有林・林道等管理事業										
目的	林業関係情報の収集・提供や市有林・林道の適切な管理などに取り組み、森林・林業行政施策を総合的に推進します。				担当課	農村振興課				
目標	-									
事業実施状況	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		4,250	4,856	4,589					
	特定財源		252	463	317					
	一般財源		3,998	4,393	4,272					
	指標名	-			単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 8 取組 5 番号 1 事務事業 ばん系馬生産振興事業							
目的	ばん馬生産者の生産意欲を高め、ばん馬の生産を振興します。			担当課	ばんえい振興課		
目標	ばんえい競馬の新馬能力検査申込頭数について291頭を目指します。						
事業実施状況	・生産者への生産奨励金支給 延べ4934頭 生産者表彰式、パネル展開催	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	56,964	67,880	67,168		
		特定財源	54,852	65,634	64,950		
		一般財源	2,112	2,246	2,218		
	指標名	新馬能力検査申込頭数			単位	頭	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
		256	291	291	291		
			329	342	331		
評価検証	R4年度の新馬能力検査申込頭数は331頭であり、目標を達成しました。 安定的な競馬運営とともに、生産奨励金の支給が効果的であったと考えます。						

施策 8 取組 5 番号 2 事務事業 馬文化継事業							
目的	ばん馬とふれあう機会の提供などにより、人と馬との文化を継承します。			担当課	ばんえい振興課		
目標	ばんえい十勝PR馬のイベント等への派遣回数について76回を目指します。						
事業実施状況	・馬とふれあう機会の提供(0件) ・馬耕技術伝承プロジェクトの実施への支援 ・草競馬等における生産者への表彰への支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	9,738	8,135	13,458		
		特定財源	3,064	3,997	4,037		
		一般財源	6,674	4,138	9,421		
	指標名	ばんえい十勝PR馬のイベント等派遣回数			単位	回	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
		37	76	76	76		
評価検証	R4年度のばんえい十勝PR馬のイベント等派遣回数は0回であり、目標を達成しませんでした。 R4年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、イベント時の混雑等を考慮し、PR馬の派遣を自粛したことが要因であります。 今後、地域の馬文化について知り、次代へ繋げていくことができるよう関係団体と協力しながら取り組んでいく必要があると考えます。						

施策 8 取組 5 番号 3 事務事業 競馬開催事業							
目的	世界で唯一の地域資源であるばんえい競馬を開催します。			担当課	ばんえい振興課		
目標	売上増加やコスト削減を通じ、ばんえい競馬の安定運営を目指します。						
事業実施状況	・ばんえい競馬の開催(開催日数149日、発売額554億7,988万5,100円)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	49,252,681	53,384,780	56,358,423		
		特定財源	49,223,192	53,355,991	56,330,197		
		一般財源	29,489	28,789	28,226		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	R4年度は、売上向上の取り組みなどにより、収支は黒字となり、ばんえい競馬の安定的な運営が図られ、目標を達成しました。						

施策 9 取組 1 番号 1 事務事業 市場開拓・販路拡大事業										
目的 関係機関等と連携した地場産品の付加価値向上などの取り組みを通じ、市場開拓・販路拡大を促進します。			担当課 経済企画課							
目標 海外との取引に必要な原産地証明の発行件数について476件を目指します。										
事業実施状況	・国内・海外販路拡大に向けた支援 ・工場等の衛生水準の向上支援 ・関係機関との連携による地域内外へのかちブランドのPR促進 ・地場産品ブランド化の総合的な支援 ・国の持続化補助金を活用した販路拡大等への支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			352	6,178	3,157				
	特定財源			0	0	2,482				
	一般財源			352	6,178	675				
指標名		原産地証明発行件数			単位	件				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
406			476		476		476			
			103		114		91			
評価検証 R4年度の原産地証明発行件数は91件であり、目標を達成しませんでした。 主な要因は、シンガポールの規制緩和により当証明の発行が不要になった商品があることが考えられます。 今後も、関係機関と連携した相談体制の維持やセミナー等の支援を継続し、市場開拓・販路拡大を促進していく必要があると考えます。										

施策 9 取組 1 番号 2 事務事業 知的財産保護・活用促進事業										
目的 特許や実用新案の登録など、地域の知的財産活動を支援し、地元企業の製品開発等を促進します。			担当課 経済企画課							
目標 地元企業の製品開発の促進や知的財産の活用に関する発明相談件数について32件を目指します。										
事業実施状況	・弁理士等による発明相談会の実施(18回)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			4	5	5				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			4	5	5				
指標名		発明相談件数			単位	件				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
28			32		32		32			
			31		25		18			
評価検証 R4年度の発明相談件数は18件であり、目標を達成しませんでした。 相談会の周知不足が原因と考えられます。 今後は、目標達成に向け関係機関との協力や、地域事業者への周知活動を強化していく必要がある一方で、会場に来れない方も参加できるようなオンライン開催の仕組みを構築していく必要があると考えます。										

施策 9 取組 1 番号 3 事務事業 経営相談事業										
目的 中小企業に対する経営相談などにより、経営改善を促進し、経営基盤の強化を図ります。			担当課 商業労働課							
目標 中小企業の経営に係る相談体制を維持します。										
事業実施状況	・経営相談の実施(相談件数1,768件) ・中小企業相談所による経営、講習会などの実施(44件) ・経済動向の把握と情報提供 ・北海道中小企業総合支援センターとの連携		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			26,191	16,161	16,328				
	特定財源			12,588	0	0				
	一般財源			13,603	16,161	16,328				
指標名		経営相談件数			単位	件				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
1,329			1,329		1,329		1,329			
			1,772		1,805		1,768			
評価検証 R4年度の経営相談件数は1768件であり、目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症の影響も含めた中小企業の経営に係る相談や、新規創業者の創業の相談等に応じたことにより、地元企業の経営基盤の強化につながっているものと考えます。										

施策 9 取組 1 番号 4 事務事業 商店街活性化事業										
目的 商店街のにぎわい創出や環境整備などを支援し、商店街の活性化を図ります。			担当課 商業労働課							
目標 商店街空き店舗率について8.6%を目指します。										
事業実施状況	・商店街が新たに取り組み事業等への支援(4件) ・演出、催事事業への支援(12件) ・商店街ロードヒーティング設備維持への支援(7件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			35,161	12,255	13,651				
	特定財源			22,579	0	0				
	一般財源			12,582	12,255	13,651				
指標名		商店街空き店舗率			単位	%				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
8.6			8.6		8.6		8.6			
			9.6		10.1		11.1			
評価検証 R4年度の商店街空き店舗率は11.1%であり、目標を達成しませんでした。飲食店等が撤退し空き店舗数が増えたことや、営業店舗の「住宅化」や「駐車場化」により総店舗数が減少したことが影響したと考えます。 今後は、商店街における空き店舗情報の周知や、商店街活性化への取り組みを促進していく必要があると考えます。										

施策 9 取組 1 番号 5 事務事業 制度融資事業(商業労働課)										
目的 長期・低利な資金の貸付や信用保証料の補給により、中小企業の経営基盤の強化を図ります。			担当課 商業労働課							
目標 市内融資に占める市の制度融資の割合について現状の水準を維持します。										
事業実施状況	・制度融資のあっせん(あっせん数170件) ・信用保証料の補給(補給件数136件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			4,953,933	4,920,410	4,925,194				
	特定財源			4,953,932	4,902,309	4,902,989				
	一般財源			1	18,101	22,205				
指標名		制度融資実行割合			単位	%				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
24.48			24.48		24.48		24.48			
			3.70		15.30		16.80			
評価検証 R4年度の制度融資実行割合は16.8%であり、目標を達成しませんでした。 R2年度の国の新型コロナウイルス施策に伴う政府系金融機関の実質無利子無担保融資を多くの事業者が使い、資金需要が低下していることが要因であると考えます。 今後は、中小企業にとって円滑で有利な資金調達が可能となるよう制度融資等に関する効果的な情報提供を行うことが必要であると考えます。										

施策 9 取組 1 番号 6 事務事業 人材育成事業										
目的 関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。			担当課 経済企画課							
目標 地域の経済発展に貢献する人材を育成するフードバレーとから人材育成事業の修了者数の増加を目指します。										
事業実施状況	・フードバレーとから人材育成事業の実施(修了者数39名)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			5,513	4,757	5,157				
	特定財源			2,756	0	0				
	一般財源			2,757	4,757	5,157				
指標名		-			単位	件				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 R4年度の修了者数は39名(前年修了者数:41名)であり、対面講座の回数が多く遠方だと参加しにくい為、前年よりも修了者数を下回り目標に向けあまり進捗していません。 より参加しやすいオンライン開催の仕組みを構築していく必要があると考えます。										

施策	9	取組	1	番号	7	事務事業	産業支援機能提供事業					
目的	新製品の研究開発や産学官連携の支援、相談体制の充実などを通じ、					担当課	経済企画課					
目的	地場工業の活性化を図ります。											
目標	新製品・新技術の開発等に向けた技術相談件数の増加を目指します。											
事業実施状況	・とから財団への支援(とから財団による技術指導相談件数872件)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・+勝産業振興センター建設費償還への支援(設備機器利用件数66件)					事業費	176,722	110,535	176,665			
	・商工観光振興基金の管理(商工観光振興基金の寄付者数5,072名、寄付額77,641,875円)					特定財源	7,697	1,000	0			
	・製品開発、販路開拓等への支援					一般財源	169,025	109,535	176,665			
	・関係機関に配置されたコーディネーター等との連携による支援相談体制の充実					指標名	-				単位	
評価検証	R4年度は、関係機関とともに、企業等の技術的課題の解決や新製品開発等の相談に対応し、必要に応じて生産現場等に赴き指導及び助言を実施するなど連携を強化してきたことにより、相談件数は増加しており、目標を達成しました。					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策	9	取組	1	番号	8	事務事業	産業振興ビジョン推進事業					
目的	中小企業者等と連携しながら、帯広市産業振興ビジョンを推進し、中小					担当課	経済企画課					
目的	企業の活性化を図ります。											
目標	-											
事業実施状況	・帯広市産業振興会議の開催					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・産業振興ビジョンの推進					事業費	0	0	23			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	0	0	23			
						指標名	-				単位	
評価検証	-					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策	9	取組	1	番号	9	事務事業	企業支援事業					
目的	地元企業との意見交換や事業成果の確認・指導等を通じ、企業の経営					担当課	経済企画課					
目的	力強化を図ります。											
目標	-											
事業実施状況	・地元企業との意見交換や事業成果の確認、指導等					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	233	0	252			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	233	0	252			
						指標名	-				単位	
評価検証	-					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策	9	取組	1	番号	10	事務事業	職業能力開発・向上推進事業					
目的	関係機関の連携により、職業能力開発を促進し、高度な技能を有する人					担当課	商業労働課					
目的	材の育成・確保を図ります。											
目標	-											
事業実施状況	・職業能力開発事業への支援					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・職業能力開発センターへの運営支援					事業費	34,055	33,708	34,217			
						特定財源	200	100	0			
						一般財源	33,855	33,608	34,217			
						指標名	-				単位	
評価検証	-					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策	9	取組	1	番号	11	事務事業	商業活性化事業					
目的	商業・商店街の活性化のための情報収集・提供や中小企業団体の組織					担当課	商業労働課					
目的	強化支援などを通じ、商業の振興を図ります。											
目標	-											
事業実施状況	・商業・商店街の活性化に関する情報収集・提供					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・大規模小売店舗立地法に関する事務					事業費	786,676	925,666	680,071			
	・商業行政に関する事務					特定財源	783,133	921,304	676,233			
	・中小企業団体の組織強化への支援					一般財源	3,543	4,362	3,838			
	・全道商工会議所女性会研修交流会への支援					指標名	-				単位	
評価検証	-					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策	9	取組	1	番号	12	事務事業	組織設立認可等関連事業					
目的	中小企業協同組合などの設立認可等に関する事務を進めます。					担当課	商業労働課					
目的	-											
目標	-											
事業実施状況	・組合設立認可等に関する事務					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	0	0	0			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	0	0	0			
						指標名	-				単位	
評価検証	-					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策 9 取組 2 番号 1 事務事業 十勝・イノベーション・エコシステム推進事業									
目的	産学官金が連携した支援体制により、持続的な事業創出を促進します。				担当課	経済企画課			
目標	産学官金の連携による支援を通じた事業化件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・域内外の異分野人材との触発等による事業創発の促進(十勝ドリームマップ会議)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・起業候補者の発掘から事業構想の創発、事業計画の磨き上げ、事業化までを一貫してサポートする支援システムの構築(とちろイノベーションプログラム、LANDの管理、運営等)	事業費	80,264	48,265	33,977				
		特定財源	76,113	47,580	33,245				
		一般財源	4,151	685	732				
		指標名	-			単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、とちろイノベーション・プログラムにおいて、一部セッションにおけるリモート実施や希望者への託児サービスを継続して導入したほか、金融機関の取引先への周知や事務局人的ネットワークを通じた参加者募集などを行ったことにより、子育て世帯からの参加をはじめ、新規参加者が半数を超えるなど、参加者の裾野も着実に広がり、支援を通じた事業化件数の増加につながったため、目標を達成しました。								

施策 9 取組 2 番号 2 事務事業 産学官連携促進事業									
目的	産学官連携を促進し、大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出を図ります。				担当課	経済企画課			
目標	産学官連携による新商品開発件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・新商品の開発支援(十勝ブランド登録商品数185品)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・商談会への出展支援	事業費	430	700	1,580				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	430	700	1,580				
		指標名	-			単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、首都圏で開催される展示会、商談会に参加し、域外企業との商談会を行い地域発の商品、技術等のPR及び販路拡大等の取り組みが進んだことで、新商品開発件数が増加し、目標を達成しました。今後も、十勝ブランド認証機構による認証商品数の増加を目標に向けて商談会やイベントへの参加を積極的に行っていくことが必要と考えます。								

施策 9 取組 2 番号 3 事務事業 フードバレーとちろ推進事業									
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとちろ」を推進します。				担当課	経済企画課			
目標	事業者間の連携促進等による6次産業化件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・十勝の企業や食・農林漁業に関する情報発信、試験研究機関と生産者や企業等との連携促進	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・「フードバレーとちろ」の取り組みへの住民参加の促進	事業費	15,834	9,996	17,288				
	・生産・加工・流通業者の連携機会の提供など、コーディネート機能の発揮	特定財源	0	0	7,000				
	・域内外企業等との連携促進	一般財源	15,834	9,996	10,288				
	・バイオマス産業都市構想の推進	指標名	-			単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、包括連携企業であるJALUXが立ち上げた十勝のスイーツブランドにより、域内企業との連携による新商品(とちろティラミス、十勝大福等)開発や、首都圏での販路拡大に取り組みました。また、明治との取組みではLOVE十勝プロジェクトと称して、池田町とタイアップしたワインの商品化に取り組みなど、域内外の企業との連携も進みました。さらに、管内農協の特産品を活用した新商品の開発が進むなど、6次産業化事例が増加しており、目標を達成しました。								

施策 9 取組 3 番号 1 事務事業 企業立地促進事業									
目的	企業の設備投資に対する支援などにより、企業立地を促進します。				担当課	経済企画課			
目標	立地企業件数について8件を目指します。								
事業実施状況	・企業訪問活動による情報収集	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・立地企業の設備投資への支援	事業費	67,888	68,284	67,030				
		特定財源	4,505	0	0				
		一般財源	63,383	68,284	67,030				
		指標名	立地企業件数			単位	件		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
			5	8	8	8	8	8	
				4	2	9	9	9	
評価検証	R4年度の立地企業件数は9件であり、目標を達成しました。また、西19条北工業団地は完売し、立地も順調に進んでいます。帯広市の工業用地の地価公示額の伸び率は北海道内でも上位であることから、企業の需要はあるものと考えられるため、今後も企業訪問などを通し情報収集に努め、企業立地の促進につなげていくことが必要と考えます。								

施策 9 取組 4 番号 1 事務事業 雇用拡大・機会確保促進事業									
目的	高齢者、移住者、女性等を含む多様な人材と企業のマッチング事業等の実施により、求職者の状況に応じた多様な就業機会の確保を図ります。				担当課	商業労働課			
目標	UIJターン情報の提供登録者について108人を目指します。								
事業実施状況	・季節労働者の通年雇用化促進	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・UIJ ターン、人材マッチングの促進(コミュニケーションアプリの導入等)	事業費	47,769	66,877	67,789				
	・高齢者の就業機会の拡大	特定財源	13,150	34,089	34,288				
	・シルバー人材センターへの運営支援	一般財源	34,619	32,788	33,501				
	・国の雇用調整助成金嵩上げ及び手続きの支援	指標名	UIJターン情報提供先の登録数			単位	人		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
			63	83	95	108	108	108	
				139	196	209	209	209	
評価検証	R4年度のUIJターン情報の提供登録者は209人であり、目標を達成しました。移住相談会の定期的な開催や周知、移住イベントの実施など、移住希望者との接点を増やしたことが効果的であったと考えます。								

施策 9 取組 4 番号 2 事務事業 労働環境整備促進事業									
目的	労働相談の実施や子どもを生き育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。				担当課	商業労働課			
目標	とちろ勤労共済センター会員数について8,538人を目指します。								
事業実施状況	・労働相談の実施(14件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・子育て応援事業所促進事業の実施(42件)	事業費	13,053	12,379	11,847				
	・とちろ勤労者共済センターへの運営支援(8,752名)	特定財源	0	0	0				
	・事業所雇用実態調査の実施	一般財源	13,053	12,379	11,847				
		指標名	とちろ勤労共済センター会員数			単位	人		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
			7,613	8,075	8,306	8,538	8,538	8,538	
				8,264	8,371	8,752	8,752	8,752	
評価検証	R4年度のとちろ勤労者共済センター会員数は8,752人であり、目標を達成しました。十勝管内市町村における広報や商工会を通じたパンフレットの送付や、ホームページでの周知が効果的であったと考えます。								

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 子育て支援事業<再掲2-1-3>									
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。			担当課	子育て支援課				
目標	-								
事業実施状況	・すこやかネット事業の実施(登録者17人、アクセス数103,013件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・絵本との出会い事業の実施(配布対象1,014人)	事業費	-	-	-				
	・ファミリーサポートセンター事業の実施(789人、1,674件)	特定財源	-	-	-				
	・子育て応援事業所登録事業の実施(登録事業所数292事業所)	一般財源	-	-	-				
指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 障害者就労促進事業<再掲5-3-1>									
目的	障害のある人の一般就労や、就労後の職場定着の支援などにより、障害のある人の自立や就労を促進します。			担当課	障害福祉課				
目標	-								
事業実施状況	・障害者施設からの物品優先調達	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・障害者就労・生活支援事業	事業費	-	-	-				
	・障害者の職場体験実習の実施(13課17名)	特定財源	-	-	-				
	・障害者の就労環境づくり	一般財源	-	-	-				
指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 移住推進事業<再掲22-2-1>									
目的	移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。			担当課	観光交流課				
目標	-								
事業実施状況	・移住に関する情報収集、提供	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・移住に関する相談の実施(延べ140人)	事業費	-	-	-				
	・ちよっと暮らしサポート事業の実施(5件106日間)	特定財源	-	-	-				
		一般財源	-	-	-				
指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 9 取組 4 番号 再 事務事業 女性活躍推進事業<再掲22-3-1>									
目的	育児・介護休業制度等の周知や意識啓発などにより、男女がともに仕事と家庭生活が両立できる環境づくりを進めます。			担当課	市民活動課				
目標	-								
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進(34.5%)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・女性活躍に関する講座の開催(3回86人)	事業費	-	-	-				
	・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布(2,068枚)	特定財源	-	-	-				
	・男女共同参画専門員の配置	一般財源	-	-	-				
指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 9 取組 0 番号 1 事務事業 運送事業者臨時支援事業									
目的	支援金の支給により、燃料費高騰の影響を受けている運送事業者への事業継続支援を行います。			担当課	経済企画課				
目標	-								
事業実施状況	・運送事業者臨時支援金の支給	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	0	0	46,258				
		特定財源	0	0	46,258				
		一般財源	0	0	0				
指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 10 取組 1 番号 1 事務事業 体験・滞在型観光推進事業										
目的	管内町村などと連携し、自然や農業、食を活かした体験・滞在型観光を進めます。				担当課	観光交流課				
目標	十勝のアウトドア観光消費額について861百万円を目指します。									
事業実施状況	・自然体験観光推進事業の実施(ヤマメ、ニジマス放流1回)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・アウトドア観光情報の発信	事業費	36,597	27,285	9,139					
	・サイクルツーリズムの推進	特定財源	17,754	17,950	3,500					
	・アドベンチャーツーリズムの推進	一般財源	18,843	9,335	5,639					
	・アイヌ古式舞踊の観光コンテンツ化に向けた取組の実施(舞踊披露15回)	指標名	十勝のアウトドア観光消費額			単位	百万円			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		775.7	811.5		835.9		861.0			
			299.9		337.9		586.4			
評価検証	R4年度の十勝のアウトドア観光消費額は586.4万円であり、前年比で増加していますが、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響から観光客が減少していることが要因であると考えます。 今後は新型コロナウイルス感染症の5類への引き下げにより、国内外からの観光客の増加が見込まれるため、サイクルツーリズムの推進によるコンテンツの充実化やアドベンチャーツーリズムの推進による新たな客層の獲得を図り、観光消費額の向上に努めます。									

施策 10 取組 1 番号 2 事務事業 三大まつり等開催事業										
目的	各種イベントにおいて十勝の魅力を発信することにより、にぎわいの創出や交流人口の拡大を図ります。				担当課	観光交流課				
目標	帯広三大まつりの来場者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・三大まつり(平原まつり195,000人、菊まつり14,600人、氷まつり186,000人)への支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・地域イベントへの協力、支援	事業費	29,311	42,536	51,664					
		特定財源	875	0	0					
		一般財源	28,436	42,536	51,664					
		指標名	-			単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、3年ぶりに三大まつりを全て通常開催したことにより、来場者数がR3年比、R1年比ともに増加しており、目標を達成しました。									

施策 10 取組 1 番号 3 事務事業 地域観光圏連携推進事業										
目的	地域観光圏と連携し、広域観光ルートの形成を図ります。				担当課	観光交流課				
目標	全道外国人観光客宿泊客延べ数道東シェアの向上を目指します。									
事業実施状況	・道内他地域との連携による広域観光の推進(スタンプラリー1回、旅行商品造成4社、WEBプロモーション1回)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	2,322	1,667	1,645					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	2,322	1,667	1,645					
		指標名	-			単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年10月から訪日外国人旅行者の個人旅行の受入や査証免除措置を再開したこと等により、北海道全体の外国人観光客及び道東地区における宿泊客延べ数は前年度比で増加していますが、感染症流行前の水準には回復しておらず、プロモーション活動の継続的な取り組みが必要と考えます。									

施策 10 取組 2 番号 1 事務事業 アンテナショップ運営事業										
目的	とちか物産センターの運営を支援し、地域の特産品等の宣伝、販売を促進します。				担当課	経済企画課				
目標	とちか物産センターの売上額について3.2億円を目指します。									
事業実施状況	・とちか物産センターへの運営支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	16,700	16,700	16,700					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	16,700	16,700	16,700					
		指標名	とちか物産センター売上額			単位	億円			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		3.2	3.2		3.2		3.2			
			0.2		0.2		0.2			
評価検証	R4年度のとちか物産センター売上額は0.2億円であり、目標を達成しませんでした。 ギフト商品の拡充によりインターネット受注高は増加傾向にあるものの、物価上昇による生活必需品全般の値上げによりなどによる、消費マインドの低下が要因であると考えます。今後、帯広物産協会および会員企業による商品開発の促進をはかることはもとより、ネット販売用の商品ラインナップをさらに拡充するなど、多様な販売チャネルを活かした販売戦略を展開していく必要があると考えます。									

施策 10 取組 2 番号 2 事務事業 物産販路拡大推進事業										
目的	物産展への特産品出展などにより、特産品の販路拡大や地域のイメージアップを図ります。				担当課	経済企画課				
目標	物産展等の取扱額について3.3億円を目指します。									
事業実施状況	・道内外での物産展の開催及び出展に対する支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	3,550	3,550	3,596					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	3,550	3,550	3,596					
		指標名	物産展等取扱額			単位	億円			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		3.0	3.3		3.3		3.3			
			1.4		2.1		2.6			
評価検証	新たな商品開発や全道の物産協会との連携強化を図ってまいりましたが、R4年度の物産展等取扱額は2.6億円であり、目標を達成しませんでした。 物価上昇による生活必需品全般の値上げによりなどによる、消費マインドの低下が要因であると考えます。今年度は28店の会場へ出展を予定しており、商品開発や連携強化を深め、目標達成を目指します。									

施策 10 取組 2 番号 3 事務事業 観光プロモーション事業										
目的	国内外において、地域の魅力を活かした誘致宣伝活動を進め、観光客の誘致を図ります。				担当課	観光交流課				
目標	市内観光入込客数について332万人を目指します。									
事業実施状況	・観光ポスター、パンフレットなどによる観光情報の発信	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・地域おこし協力隊制度の活用による地域の魅力発信	事業費	100,340	59,976	50,747					
	・観光客の誘致に向けたプロモーション活動の実施	特定財源	78,434	47,093	36,310					
	・おびひろ空港割事業の実施(空港利用9,582人、市内宿泊2,907人)	一般財源	21,906	12,883	14,437					
		指標名	市内観光入込客数			単位	万人			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		292.5	311.6		321.7		332.0			
			140.6		138.2		182.8			
評価検証	R4年度市内観光入込客数は182.8万人であり、目標を達成しませんでした。 前年比で増加していますが、新型コロナウイルス感染症の影響から入込客数が伸び悩んでいることが要因であると考えます。感染症収束後に向けたプロモーション活動の継続的な取り組みが必要と考えます。									

施策 10 取組 2 番号 4 事務事業 コンベンション誘致推進事業									
目的	関係機関と連携した情報発信や開催支援により、コンベンションの誘致を進めます。			担当課	観光交流課				
目標	コンベンション誘致件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・コンベンションの誘致活動(商談会2回)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・コンベンションの開催支援(全道社交飲食業者帯広大会、ラリー北海道)	事業費	3,830	3,617	6,522				
		特定財源	0	0	630				
		一般財源	3,830	3,617	5,892				
		指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、関係機関と連携した情報発信や開催支援によるコンベンションの誘致を進めてきたものの、新型コロナウイルス感染症の影響による情報発信の不足により、コンベンション誘致件数の増加には至っておらず、目標達成に向けあまり進捗していません。今後もこの地域の特色を活かした継続的な誘致活動を展開していくことが必要と考えます。								

施策 10 取組 2 番号 再 事務事業 空港利用促進事業<再掲11-2-1>									
目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とから帯広空港の利用促進を図ります。			担当課	観光交流課				
目標	-								
事業実施状況	・航空路線の充実に向けた関係機関への要請活動の実施	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・利用促進に向けたプロモーション活動の実施	事業費	-	-	-				
	・新たな路線就航のための調査・検討	特定財源	-	-	-				
		一般財源	-	-	-				
		指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 10 取組 2 番号 再 事務事業 スポーツ大会・合宿等誘致事業 <再掲15-3-1>									
目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。			担当課	スポーツ課				
目標	-								
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援(33大会への支援)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・合宿の誘致(宿泊団体数336団体、宿泊者数6,125人)	事業費	-	-	-				
	・スケート国際大会の誘致・開催	特定財源	-	-	-				
	・北海道日本ハムファイターズ応援大使事業(トークショー参加者162人)	一般財源	-	-	-				
	・プロスポーツ等の誘致	指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 10 取組 3 番号 1 事務事業 観光インフォメーション推進事業									
目的	駅や空港等における観光や物産情報の提供などにより、観光客の利便性向上を図ります。			担当課	観光交流課				
目標	観光情報センター利用者数について50,000人を目指します。								
事業実施状況	・とから観光情報センターの運営(利用者39,965人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・馬の資料館を活用した情報発信(利用者34,915人)	事業費	30,959	30,959	28,634				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	30,959	30,959	28,634				
		指標名	観光情報センター利用者数			単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	49,517		50,000		50,000		50,000		
			23,773		20,780		39,965		
評価検証	R4年度の観光情報センター利用者数は39,965人であり、目標を達成できませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響から観光客が減少していることが要因であると考えます。今後は新型コロナウイルスの感染症分類の5類への引き下げにより、国内外からの観光客の増加が見込まれるため、窓口の多言語対応など現体制の維持のほかホームページやSNSを活用した情報発信の強化をしていく必要があると考えます。								

施策 10 取組 3 番号 2 事務事業 観光景観等整備事業									
目的	景観等の整備を通じ、観光客等に対する地域のイメージアップを図ります。			担当課	観光交流課				
目標	地域の観光景観等を維持します。								
事業実施状況	・中心市街地へのWi-Fiスポットの維持管理への支援(利用件数15,476回)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・シーニックバイウェイ北海道「トカプチ雄大空間ルート」への運営支援	事業費	1,677	863	663				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	1,677	863	663				
		指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、中心市街地におけるWi-Fi環境の維持管理やライトアップイベントなどを支援し、観光客の受入環境の充実、景観の維持を図っており、目標を達成しました。								

施策 10 取組 3 番号 3 事務事業 観光推進団体支援事業									
目的	観光推進団体の育成、支援や連携を進め、観光客の受入環境の充実を図ります。			担当課	観光交流課				
目標	観光スポットやモデルルートなどの情報を提供する帯広観光コンベンション協会HPのアクセス数の増加を目指します。								
事業実施状況	・帯広観光コンベンション協会への支援(HPアクセス472,159件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・十勝観光連盟など各種団体との連携	事業費	57,561	60,981	59,466				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	57,561	60,981	59,466				
		指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、観光推進団体の育成、支援や連携を通じ観光案内を継続して実施したことにより、帯広観光コンベンション協会HPのアクセス数は前年比で増加しており、目標を達成しました。								

施策 10 取組 3 番号 4 事務事業 観光施設管理運営事業							
目的	観光施設を適正に維持管理し、観光客受入環境の充実に努めます。			担当課	観光交流課		
目標	-						
事業実施状況	・観光施設の維持管理	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		33,403	34,261	34,570		
	特定財源		236	739	54		
	一般財源		33,167	33,522	34,516		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 10 取組 3 番号 5 事務事業 北愛国交流広場管理運営事業							
目的	北愛国交流広場の適切な管理運営により、各種イベントの開催を促進します。			担当課	観光交流課		
目標	-						
事業実施状況	・北愛国交流広場の管理運営 ・北愛国交流広場の環境整備	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		6,779	5,607	56,018		
	特定財源		1,203	0	50,732		
	一般財源		5,576	5,607	5,286		
	指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 11 取組 1 番号 1 事務事業 十勝港利活用促進事業											
目的	管内自治体と連携し十勝港の整備などを進め、十勝港の利活用を促進します。						担当課	企画課			
目標	-										
事業実施状況	・十勝港の港湾機能の整備や利活用促進に関する国や北海道等への要望活動の実施	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額						
		事業費	0	0	0						
		特定財源	0	0	0						
		一般財源	0	0	0						
	指標名	-						単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 11 取組 1 番号 2 事務事業 主要幹線・広域道路整備促進事業											
目的	主要な幹線道路や高規格幹線道路の整備を促進し、広域的な交通ネットワークの形成を図ります。						担当課	都市政策課			
目標	-										
事業実施状況	・高規格道路の整備に関する要望活動の実施	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額						
		事業費	948	868	930						
		特定財源	0	0	0						
		一般財源	948	868	930						
	指標名	-						単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 11 取組 1 番号 3 事務事業 鉄道高速化等促進事業											
目的	石勝線・根室線の高速化等の促進のほか、維持充実にに向けた要望活動などにより、鉄道輸送の利便性の向上を図ります。						担当課	都市政策課			
目標	-										
事業実施状況	・石勝線・根室線の高速化の促進や、維持充実にに向けた要望活動の実施 ・JR北海道の線区見直し等に係る情報収集 ・北海道新幹線の札幌延伸を見据えた圏域への波及効果などに係る情報収集	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額						
		事業費	0	0	0						
		特定財源	0	0	0						
		一般財源	0	0	0						
	指標名	-						単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 11 取組 1 番号 再 事務事業 地域公共交通活性化事業<再掲21-6-2>											
目的	地域公共交通網形成計画に基づき、事業者等との連携によるバス交通の利便性の向上や活性化を図ります。						担当課	都市政策課			
目標	-										
事業実施状況	・公共交通の利用促進(小学生等への交通環境学習の実施、バス停留所除雪対策の実施、関係機関と連携した公共交通実態調査など) ・バス運行維持に対する支援 ・地域公共交通計画策定に向けた調査 ・地域公共交通担い手確保支援金	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額						
		事業費	-	-	-						
		特定財源	-	-	-						
		一般財源	-	-	-						
	指標名	-						単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 11 取組 2 番号 1 事務事業 空港利用促進事業											
目的	関係機関と連携した航空会社等への要請活動やプロモーション活動等に取り組み、とちち帯広空港の利用促進を図ります。						担当課	観光交流課			
目標	とちち帯広空港におけるチャーター便の増加を目指します。										
事業実施状況	・航空路線の充実にに向けた関係機関への要請活動の実施 ・利用促進に向けたプロモーション活動の実施 ・新たな路線就航のための調査・検討	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額						
		事業費	5,200	3,281	4,960						
		特定財源	0	0	0						
		一般財源	5,200	3,281	4,960						
	指標名	-						単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	R4年度は帯広発20便、帯広着24便の国内チャーター便が運航し、前年比で増加しており、目標を達成しました。今後も国内外の観光客の増加を捉え、関係機関と連携した利用促進策を展開していくことが必要と考えます。										

施策 11 取組 2 番号 2 事務事業 空港整備事業											
目的	滑走路の改良など空港施設の整備により、空港機能の維持向上を図り、航空機の安全で安定的な運航を確保します。						担当課	観光交流課			
目標	-										
事業実施状況	・空港施設整備に関する関係機関との調整協議 ・誘導路改良工事 ・誘導路灯火改良工事 ・滑走路端安全区域(RESA)整備 ・航空灯火整備機器更新	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額						
		事業費	1,556,232	863,045	723,262						
		特定財源	1,538,307	845,734	674,184						
		一般財源	17,925	17,311	49,078						
	指標名	-						単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 11 取組 2 番号 3 事務事業 空港施設維持補修事業										
目的	滑走路などの空港施設を維持補修し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。				担当課	観光交流課				
目標	-									
事業実施状況	・誘導路、航空灯火等の維持補修	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費		37,781	6,175	3,366				
		特定財源		0	0	0				
		一般財源		37,781	6,175	3,366				
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 11 取組 2 番号 4 事務事業 空港管理運営事業										
目的	とちかち帯広空港を適切に管理運営し、航空機の安全で安定的な運航を確保します。				担当課	観光交流課				
目標	-									
事業実施状況	・車両購入費の償還 ・北海道内7空港の一括運営委託に係る業務 (モニタリングの実施)	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費		451,250	48,412	36,176				
		特定財源		43,752	0	0				
		一般財源		407,498	48,412	36,176				
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 12 取組 1 番号 1 事務事業 食育推進事業（小・中学校）（給食センター）										
目的	学校給食における地元産食材の活用や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。				担当課	給食センター				
目標	学校給食が好きだと思う児童生徒の割合について71.3%を目指します。									
事業実施状況	・ふるさと給食の提供 ・新たなメニューの開発 ・地場産農産物生産者との交流 ・食育・給食のPR ・学校給食における地元産食材導入の推進 ・食育アンケートの実施 ・学校給食PR動画の制作		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	1,927	1,929	3,482				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	1,927	1,929	3,482				
	指標名		学校給食が好きだと思う児童生徒の割合		単位	%				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		69.8		70.3		70.8		71.3		
				65.1		72.9		76.1		
評価検証	R4年度の学校給食が好きだと思う児童生徒の割合は76.1%であり、目標を達成しました。学校給食を通じた食や地域産業に対する正しい理解を促進するため、ふるさと給食の提供や栄養教諭等による食育指導などを実施したほか、新たなメニューの開発等による魅力向上や、広報紙やホームページを活用した情報発信を実施したことによるものと考えます。									

施策 12 取組 1 番号 4 事務事業 おびひろ市民学推進事業										
目的	学校・家庭・地域が連携し、子どもの学びや育ちを支援することにより、地域への誇りや愛着を持つ子どもたちの育成を図ります。				担当課	学校教育指導課				
目標	おびひろ市民学を通じて地域のことが好きになったと回答した子どもの割合の増加を目指します。									
事業実施状況	・全小中学校の児童生徒を対象とした「おびひろ市民学」の実施 ・各学校が独自に取り組む特色ある教育活動への支援 ・総合的な学習の時間の取り組み等への支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	10,159	7,826	7,788				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	10,159	7,826	7,788				
	指標名		-		単位					
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、市内全校において、帯広市の豊かな自然環境や歴史、伝統、文化、地域住民との関わりを通じた「おびひろ市民学」を実施したことにより、市内全児童生徒に行った「帯広に関するアンケート」において、「帯広のことが好き」と肯定的な回答をした児童生徒の割合が増加しており、目標を達成しました。									

施策 12 取組 1 番号 2 事務事業 体験活動機会提供事業（学校地域連携課）										
目的	体験機会の提供などにより、青少年の社会性を育みます。				担当課	学校地域連携課				
目標	子どもたちの豊かな人間性や社会性を養う体験活動の参加者数を維持します。									
事業実施状況	・中学生からのメッセージ事業の実施(発表者14人、来場者89人) ・冬季活動機会提供事業(十勝子ども雪上ばらんば)の実施(参加者86人) ・おびひろキッズタウン(中止)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	119	121	218				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	119	121	218				
	指標名		-		単位					
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、中学生からのメッセージと冬季活動機会提供事業を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症対策により、おびひろキッズタウンを中止したため、目標を達成しませんでした。今後は、5類感染症移行を踏まえ、イベントの再開に向けた内容の検討や広報活動を積極的に実施していくことが必要であると考えます。									

施策 12 取組 1 番号 5 事務事業 外国語指導講師派遣事業										
目的	外国人講師を派遣し、諸外国の言語・文化等への理解やコミュニケーション能力の育成を図ります。				担当課	学校教育指導課				
目標	英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子どもの割合の増加を目指します。									
事業実施状況	・小中学校への外国語指導講師の派遣		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	29,582	29,575	29,609				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	29,582	29,575	29,609				
	指標名		-		単位					
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、市内全小中学校及び義務教育学校に外国語指導講師を派遣し、また、外国語指導講師の指導や向上に向けた研修を行うことで、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合おうとする子どもの割合が増加し、目標を達成しました。									

施策 12 取組 1 番号 3 事務事業 青少年活動支援事業（学校地域連携課）										
目的	青少年育成団体などと連携し、体験活動や宿泊研修を通して、積極的に地域や学校での活動に取り組む青少年のリーダー養成を進めます。				担当課	学校地域連携課				
目標	地域活動等に積極的に取り組むジュニアリーダーの養成事業への参加者数を維持します。									
事業実施状況	・ジュニアリーダーの養成(地域子ども会リーダー宿泊研修会の開催、北海道地域子ども会リーダー研修会への派遣、ジュニアリーダーの育成支援)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	5	74	195				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	5	74	195				
	指標名		-		単位					
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、中高校生を対象としたあるふあ会の部会や、小学6年生対象のあすかの会、北海道地域子ども会リーダー研修会、各種派遣事業を行いました。新型コロナウイルス感染症対策により、規模を縮小して行ったため、目標を達成しませんでした。今後は5類感染症移行を踏まえ、これまでの規模による活動実施に向け関係団体と協力する必要があると考えます。									

施策 12 取組 1 番号 6 事務事業 動画教材作成事業										
目的	地域素材を生かした動画教材を作成し、授業で活用することにより、地域理解、学習意欲や学力の向上を図ります。				担当課	教育研究所				
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促す動画教材の利用回数の増加を目指します。									
事業実施状況	・地域素材を生かした動画教材の作成(2本)と活用(16校参加)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	502	502	502				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	502	502	502				
	指標名		-		単位					
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、小麦の収穫に関する動画の作成や地元事業者の工場見学をオンラインで行う等、生産から出荷までの工程をとった学びを提供したことにより、動画教材の利用回数が増加するとともに児童生徒の地域理解が深まったため目標を達成しました。									

施策 12 取組 2 番号 1 事務事業 地域連携推進事業										
目的	学校施設や人材の活用により、地域住民に学習機会を提供し、地域との結びつきを深めます。				担当課	南商業高校				
目標	地域と学校とのつながりを促進する学校開放事業の参加者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・学校開放講座の開催(中止)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		0	0	0					
	特定財源		0	0	0					
	一般財源		0	0	0					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため講座の実施を取りやめたため、目標達成に向けあまり進捗していません。今後は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を踏まえ、学校内での実施に向けた準備を進めていく必要があります。									

施策 12 取組 2 番号 2 事務事業 国際理解教育推進事業										
目的	個々の生徒の実力に応じた英語教育や外国の実社会に触れる機会の提供などにより、英語能力の向上や外国の生活文化の理解促進を図ります。				担当課	南商業高校				
目標	-									
事業実施状況	・インターネットを活用した英語学習の推進 ・マディソン市への生徒派遣(中止) ・外国語指導講師の配置(1人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		5,043	4,825	4,643					
	特定財源		0	0	0					
	一般財源		5,043	4,825	4,643					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 2 番号 3 事務事業 キャリア教育推進事業										
目的	外部講師を活用した専門教育などにより、社会人・職業人として必要とされる能力の育成を図ります。				担当課	南商業高校				
目標	-									
事業実施状況	・外部講師を活用した専門教育の推進 ・情報機器の整備 ・北海道高等学校商業教育フェアへの参加	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		8,644	11,351	12,728					
	特定財源		0	0	0					
	一般財源		8,644	11,351	12,728					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 2 番号 4 事務事業 社会人教育推進事業										
目的	ボランティア活動の推進など、課外活動を充実し、生徒の社会性の育成を図ります。				担当課	南商業高校				
目標	-									
事業実施状況	・ボランティア活動の推進 ・宿泊研修、見学旅行の実施	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		10	2,342	1,350					
	特定財源		0	0	0					
	一般財源		10	2,342	1,350					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 2 番号 5 事務事業 学校運営事業										
目的	学校運営を適切に進め、良好な学習環境を提供します。				担当課	南商業高校				
目標	-									
事業実施状況	・学校保健の推進 ・学校運営に関する事務 ・スクールカウンセラーの配置(1人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		22,320	23,246	25,393					
	特定財源		79,128	75,462	74,431					
	一般財源		△56,808	△52,216	△49,038					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 2 番号 6 事務事業 学校施設維持管理事業(南商)										
目的	学校施設を適切に維持管理し、良好な学習環境を提供する。				担当課	南商業高校				
目標	-									
事業実施状況	・学校施設の維持管理 ・設備の改修等	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費		49,741	63,315	56,439					
	特定財源		15,425	17,447	10,830					
	一般財源		34,316	45,868	45,609					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 2 番号 7 事務事業 学習環境整備事業（南商）									
目的	学校図書や備品の整備等により、良好な学習環境を提供する。				担当課	南商業高校			
目標	-								
事業実施状況	・学校図書の整備 ・備品等の整備		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	6,741	16,805	6,378			
			特定財源	34	10,246	0			
			一般財源	6,707	6,559	6,378			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 3 事務事業 学校図書館運営事業									
目的	図書資料の整備や学校図書館活性化事業の推進により、児童生徒の読書活動の充実を図ります。				担当課	学校教育課			
目標	子どもの読書機会の増加及び興味関心の向上を目指します。								
事業実施状況	・学校図書館の運営 ・学校図書館図書資料の整備 ・学校図書館活性化事業に対する支援 (小学校25校、中学校1校、義務教育学校1校)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	52,791	71,787	19,316			
			特定財源	31,669	0	0			
			一般財源	21,122	71,787	19,316			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、図書の整備や授業などでの電子図書の活用などに加え、学校図書システムの更新を通じて、図書担当教諭や図書ボランティア間の情報共有や研修活動を促進したことにより、電子図書を含めた図書貸出数が増加しており、目標を達成しました。								

施策 12 取組 3 番号 1 事務事業 教員リーダー育成事業									
目的	人間力に裏打ちされたリーダーシップのある教師を育成し、教師全体の指導力向上を図ります。				担当課	教育研究所			
目標	教員リーダー研修の参加者数について192人を目指します。								
事業実施状況	・研修会の開催(4回) ・参加者同士の交流、協議		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	188	207	249			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	188	207	249			
	指標名		教員リーダー研修参加人数			単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	172		192	192	192	192			
			24	202	207	207			
評価検証	R4年度の人数は207人であり、目標を達成しました。研修を対面参加とオンライン参加を併用して開催したことや、教職員の要望を踏まえフィールドワーク研修を設定したことが要因であると考えます。								

施策 12 取組 3 番号 4 事務事業 学校保健事業									
目的	健康診断の実施や、関係団体と連携した学校保健推進体制を整備し、児童生徒の健康保持を促進します。				担当課	学校教育課			
目標	-								
事業実施状況	・健康診断の実施 ・学校内の衛生環境の確保 ・スポーツ振興センター災害共済給付 ・フッ化物洗口の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	65,389	63,898	63,312			
			特定財源	6,570	4,503	4,594			
			一般財源	58,819	59,395	58,718			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 2 事務事業 教育研究事業									
目的	教育に関する調査研究の成果を各学校に提供し、教師の指導力向上を図ります。				担当課	教育研究所			
目標	教師の指導力を向上する研修講座（教育研究所主催）の参加者数について801人を目指します。								
事業実施状況	・教育研究所の運営 ・調査研究紀要の発刊 ・研修講座の開催(12回) ・情報教育の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	11,865	18,592	19,076			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	11,865	18,592	19,076			
	指標名		研修講座への参加人数			単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	726		801	801	801	801			
			948	793	821	821			
評価検証	R4年度の人数は821人であり、目標を達成しました。研修を対面参加とオンライン参加を併用して開催したほか、多様性に関することなど、教育現場で求められる支援や対応に当たり知識や理解を深める講座を充実したことが要因であると考えます。								

施策 12 取組 3 番号 5 事務事業 データベース教材作成事業									
目的	データベース教材を活用し、一人ひとりの学習達成状況に応じた指導を行い、学習意欲や学力の向上を図ります。				担当課	教育研究所			
目標	児童生徒の学習に対する意欲向上を促すデータベース教材の利用回数の増加を目指します。								
事業実施状況	・データベース教材の作成(デジタル鍵盤アプリ「ドレミア」39万回、デジタル副読本「おびひろ」37万回のアクセス数)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	700	700	700			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	700	700	700			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度はタブレット端末と親和性の高い教材として、デジタル鍵盤アプリやデジタル副読本を作成したこと、児童生徒がデジタル教材を利用する環境が整備され、データベース教材の利用回数が増加し学習意欲向上につながったことから目標を達成しました。								

施策 12 取組 3 番号 6 事務事業 学校施設維持管理事業（職員室CMI）									
目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。				担当課	企画総務課			
目標	-								
事業実施状況	・職員室用パソコンの維持管理 ・校務支援システムの導入		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	54,983	67,827	71,763			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	54,983	67,827	71,763			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 7 事務事業 文化系大会派遣支援事業									
目的	全国・全道大会への参加を支援し、文化系クラブの活動を促進します。				担当課	学校教育課			
目標	-								
事業実施状況	・文化系クラブの全道・全国大会派遣への支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	0	1,361	1,959			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	0	1,361	1,959			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 8 事務事業 体育系大会派遣支援事業									
目的	全国・全道大会への参加を支援し、体育系クラブの活動を促進します。				担当課	学校教育課			
目標	-								
事業実施状況	・体育系系クラブの全道・全国大会派遣への支援 ・全道・全国大会の開催支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	1,524	11,444	11,801			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	1,524	11,444	11,801			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 9 事務事業 教職員管理事業									
目的	教職員の人事管理や福利厚生などを適切に行い、教職員が能力を十分に発揮することができる環境を整備します。				担当課	学校教育課			
目標	-								
事業実施状況	・教職員の人事、サービス管理、福利厚生等 ・教職員住宅の整備(清川中学校、八千代中)、維持管理等 ・教職員の働き方改革の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	9,643	32,277	32,508			
			特定財源	2,342	21,172	20,277			
			一般財源	7,301	11,105	12,231			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 10 事務事業 教育指導推進事業									
目的	教育理論等に関する調査・研究や普及を進め、教師の指導力向上を図ります。				担当課	学校教育指導課			
目標	-								
事業実施状況	・各教科、部門の研究 ・地域特性を活かした教材の研究 ・各種講座等への参加		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	2,375	2,601	3,196			
			特定財源	331	604	901			
			一般財源	2,044	1,997	2,295			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 11 事務事業 学力検査事業									
目的	児童生徒の学力を調査・分析し、学習指導に活用することにより、学習意欲や学力の向上を図ります。				担当課	教育研究所			
目標	-								
事業実施状況	・CRT学力検査の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	6,071	6,775	6,630			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	6,071	6,775	6,630			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 3 番号 12 事務事業 教育研修センター事業										
目的	十勝教育研修センターの活用により、職員研修を効果的・効率的に実施し、教師の指導力向上を図ります。				担当課	教育研究所				
目標	-									
事業実施状況	・十勝教育研修センターの運営(実施主体:十勝圏複合事務組合)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	8,366	8,351	8,653				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	8,366	8,351	8,653				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 3 番号 13 事務事業 学校給食事業										
目的	安全・安心な学校給食の提供により、健全な心と体の育成を図ります。				担当課	給食センター				
目標	-									
事業実施状況	・学校給食の提供 ・食物アレルギーへの対応		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	637,169	651,025	673,805				
			特定財源	615,315	628,765	605,605				
			一般財源	21,854	22,260	68,200				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 3 番号 14 事務事業 学校給食センター管理運営事業										
目的	学校給食センターを管理運営し、安全・安心な学校給食を提供します。				担当課	給食センター				
目標	-									
事業実施状況	・学校給食センターの管理運営 ・衛生管理・危機管理の徹底 ・施設・設備の更新 ・学校給食センターの運営手法の調査、研究		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	537,199	544,051	586,562				
			特定財源	26,555	7,163	7,021				
			一般財源	510,644	536,888	579,541				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 3 番号 15 事務事業 食育推進事業(小・中学校)(学校教育指導課)										
目的	学校給食や教科を通して食育を進め、食に関する正しい理解を促進します。				担当課	学校教育指導課				
目標	朝食を毎日食べている子どもの割合の増加を目指します。									
事業実施状況	・栄養教諭、食育指導専門員等による食育指導 ・食育、給食のPR		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	5,313	5,315	5,500				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	5,313	5,315	5,500				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、市内全校で栄養教諭及び食育指導専門員による食育指導を実施しましたが、夜型の生活習慣が続くなど朝食を食べている子どもの割合は増加せず、目標達成できませんでした。今後も「おひろ市民学」における「つながる食育」の取り組みを通し生活習慣を含めた食育指導の充実をはかる必要があると考えます。									

施策 12 取組 4 番号 1 事務事業 学校・家庭・地域連携事業(学校支援地域本部)										
目的	地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。				担当課	学校地域連携課				
目標	学校地域ボランティア参加者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・学校支援地域本部の活動支援 ・学校支援ボランティアの育成 ・帯広市学校・家庭・地域協働会議の運営 ・子ども学校応援地域基金プロジェクトの運営 ・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	28,542	63,719	84,330				
			特定財源	25,373	60,813	82,907				
			一般財源	3,169	2,906	1,423				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、地域のボランティア人材を確保するため、市内全戸にボランティア募集チラシを配布したことにより、関係事業のボランティア参加者を増やすことができたため、目標を達成しました。									

施策 12 取組 4 番号 2 事務事業 学校・家庭・地域連携事業(子どもの居場所づくり)										
目的	放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。				担当課	学校地域連携課				
目標	放課後の居場所づくり活動に関わるボランティア登録者数を維持します。									
事業実施状況	・放課後子ども広場の開催(参加ボランティア数延べ2,078名、実施回数422回) ・居場所づくりに関わるボランティアの養成(参加者5名) ・放課後子ども広場運営委員会の開催 ・放課後子ども広場PR活動		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	3,077	2,885	4,783				
			特定財源	3,077	2,885	4,783				
			一般財源	0	0	0				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、とちかちプラザや地元小売店において放課後子ども広場の広報活動を行ったことにより、ボランティア登録者数が増加しているため、目標を達成しました。									

施策 12 取組 4 番号 3 事務事業 コミュニティ・スクール等推進事業										
目的	学校運営協議会の活用により、学校と家庭・地域住民との協働による特色ある学校づくりを進めます。				担当課	学校地域連携課				
目標	地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるコミュニティ・スクールの導入校の増加を目指します。									
事業実施状況	・コミュニティ・スクールの普及啓発 ・コミュニティ・スクールの導入(12校)、運営 ・学校運営に関する協議 ・学校評議員制度の活用				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費					1,513	1,725	2,053		
	特定財源					0	0	2,053		
	一般財源					1,513	1,725	0		
	指標名				-			単位		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度はコミュニティ・スクール通信の発行、広報おびひろへの掲載など周知啓発を積極的に行い、市民理解が進んだほか、全校でコミュニティ・スクールの導入が完了し目標を達成しました。									

施策 12 取組 4 番号 4 事務事業 通学路安全確保事業										
目的	通学路の点検などを行い、児童生徒の登下校における安全の確保を図ります。				担当課	学校地域連携課				
目標	-									
事業実施状況	・通学路の安全点検 ・通学路安全対策連絡協議会の運営				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費					0	0	0		
	特定財源					0	0	0		
	一般財源					0	0	0		
	指標名				-			単位		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 4 番号 5 事務事業 子ども安全ネットワーク運用事業										
目的	不審者情報や災害情報の保護者への迅速な提供により、適切な対応を促し、児童生徒の安全確保を図ります。				担当課	学校教育指導課				
目標	保護者の子ども安全ネットワークへの登録率の増加を目指します。									
事業実施状況	・情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の運用				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費					1,891	1,654	1,425		
	特定財源					0	0	0		
	一般財源					1,891	1,654	1,425		
	指標名				-			単位		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、各学校が新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急連絡の方法として学校便り等を通じ、情報通信機器による連絡網「子ども安全ネットワーク」の周知及び登録の徹底を行ったことにより、登録率がほぼ100%に近付いており、目標を達成しました。									

施策 12 取組 4 番号 6 事務事業 幼保小中連携推進事業										
目的	幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校の連携を推進し、教育活動の円滑な接続を図ります。				担当課	学校教育指導課				
目標	エリア・ファミリー構想をもとに、エリア内における幼保小及び小中の連携を推進し、小中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合を増加します。									
事業実施状況	・異校種連携の啓発 ・地区レベルにおける協議の場の開催 ・幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校のなめらかな接続をはかるスタートカリキュラムや、教育課程に位置付けた教育の推進 ・小中一貫教育の推進				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費					750	750	750		
	特定財源					0	0	0		
	一般財源					750	750	750		
	指標名				-			単位		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、ICTを活用した授業参観や交流を行い、学力や体力の向上、生徒指導の分野など、各校の取り組みについて情報共有しながら、9年間を見通した教育課程の編成に向け協議を行えたことから、目標を達成しました。									

施策 12 取組 4 番号 7 事務事業 通学区域管理事業										
目的	地域の実情等を踏まえ通学区域を設定し、適切な就学環境を整備します。				担当課	学校地域連携課				
目標	-									
事業実施状況	・通学区域の設定、見直し				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費					0	0	0		
	特定財源					0	0	0		
	一般財源					0	0	0		
	指標名				-			単位		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 1 事務事業 就学資金貸付事業										
目的	経済的理由により、高等学校、専門学校、大学への就学が困難な人に修学資金を貸付し、進学機会の確保を図ります。				担当課	学校教育課				
目標	-									
事業実施状況	・広山市奨学資金の貸与(新規3件、継続13件)				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費					22,486	14,810	15,562		
	特定財源					32,574	26,520	13,234		
	一般財源					△10,088	△11,710	2,328		
	指標名				-			単位		
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 2 事務事業 特別支援教育推進事業										
目的	インクルーシブ教育の考え方にに基づき、多様な学びの場を整備し、児童生徒一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。				担当課	学校教育課				
目標	-									
事業実施状況	・特別支援学級の開設	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・特別支援学級の環境整備	事業費	978	620	148,230					
	・通級指導教室開設に向けた検討	特定財源	0	0	0					
	・特別な配慮を要する児童生徒に対応した環境整備	一般財源	978	620	148,230					
	指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 5 事務事業 小規模特認校推進事業										
目的	農村地域の小規模校の特色を活かした教育の機会を提供します。				担当課	学校教育課				
目標	-									
事業実施状況	・小規模特認校制度利用の推進	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	0	0	0					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	0	0	0					
	指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 3 事務事業 特別支援教育支援員配置事業										
目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった教育を受けられる環境を整備します。				担当課	学校教育課				
目標	-									
事業実施状況	・助手、特別支援教育補助員の配置(68人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・生活介助員の配置(31人)	事業費	140,833	147,619	244					
		特定財源	6,287	4,064	4,101					
		一般財源	134,546	143,555	△3,857					
	指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 6 事務事業 児童生徒支援事業										
目的	相談員等を学校に配置し、児童生徒の心の問題への対応を図るほか、いじめや不登校、非行の相談・指導を行い、未然防止や早期解決を図ります。				担当課	学校教育指導課				
目標	不登校児童生徒の減少を目指します。									
事業実施状況	・こころの教室相談員の配置	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・家庭訪問相談員の配置	事業費	19,895	20,062	23,558					
	・スクールソーシャルワーカーの配置	特定財源	366	182	250					
	・教育相談員の配置	一般財源	19,529	19,880	23,308					
	・適応指導教室の運営									
	・いじめ、不登校、非行等に関する対策委員会の運営									
	指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、教育相談員等の配置や適応指導教室の運営等、様々な支援に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖や登校自粛等の影響を受け、本市だけでなく全国的に児童生徒の欠席数は増加傾向にあり、目標達成に向けあまり進捗していません。今後、ICTを活用した学びの保障や居場所づくりなど、登校できない児童生徒への学びの環境づくりを進めることが必要であると考えます。									

施策 12 取組 5 番号 4 事務事業 教育支援委員会運営事業										
目的	障害や学習において困り感を抱えた児童生徒が、一人ひとりの特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、適切な就学先を勧奨します。				担当課	学校教育課				
目標	-									
事業実施状況	・教育支援委員会による教育相談及び就学先の勧奨の実施(458人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	1,603	1,527	2,956					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	1,603	1,527	2,956					
	指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 7 事務事業 高等学校間口対策事業										
目的	PTAや中学校などと連携した高等学校の間口確保に向けた要望活動などにより、希望する地元の高等学校などへ進学できる機会の確保を図ります。				担当課	企画総務課				
目標	-									
事業実施状況	・帯広市高等学校間口対策協議会の開催	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・北海道教育委員会への要請活動	事業費	0	0	0					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	0	0	0					
	指標名	-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 8 事務事業 学校施設地域開放推進事業									
目的	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。				担当課	企画総務課			
目標	-								
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			127,836	125,922	129,171			
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			127,836	125,922	129,171			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 11 事務事業 義務教育施設整備事業										
目的	校舎、体育館の改築や長寿命化等を進め、安全で安心して学ぶことができる環境を整備します。				担当課	企画総務課、学校地域連携課				
目標	-									
事業実施状況	・防災機能強化		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・煙突用断熱材の除去(北栄小、広陽小)									
	・ボイラーの改修(第二中)		事業費	1,527,104	2,436,628	201,161				
	・学校施設の長寿命化計画に基づく施設の維持管理(第七中、広野小、つつじ小、愛国小)		特定財源	1,380,502	2,245,294	142,789				
	・大空地区義務教育学校の整備		一般財源	146,602	191,334	58,372				
	・南町中学校の整備に向けた基本調査		指標名	-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 12 取組 5 番号 9 事務事業 学校施設維持管理事業(小・中学校)									
目的	学校施設を適切に維持管理し良好な学習環境を提供します。				担当課	企画総務課、学校地域連携課			
目標	-								
事業実施状況	・学校施設の保守点検		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・学校プールの維持管理		事業費	653,996	646,578	792,390			
	・リンクの造成委託		特定財源	114,610	26,818	30,748			
	・日常経費支出		一般財源	539,386	619,760	761,642			
	・学習機会保障のための物品、資材等の整備		指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 12 事務事業 学校環境整備事業									
目的	学校施設の修繕、学校の備品等の整備・管理など、維持を進め、良好な学習環境を提供します。				担当課	企画総務課、学校地域連携課			
目標	-								
事業実施状況	・学校施設の修繕		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・設備・機器類の修繕		事業費	70,290	92,638	89,520			
	・屋外教育環境の整備		特定財源	500	0	0			
	・網戸の整備(多目的室等)		一般財源	69,790	92,638	89,520			
	・校内無線LANの整備		指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 10 事務事業 学習環境整備事業(小・中学校)									
目的	学校の備品等の維持・整備を進め、良好な学習環境を提供します。				担当課	企画総務課			
目標	-								
事業実施状況	・小中学校児童生徒用机、椅子の賃貸借及び維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・消耗品及び備品等による学習環境の維持、整備		事業費	20,775	24,880	24,949			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	20,775	24,880	24,949			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 13 事務事業 小・中学校適正配置推進事業									
目的	小・中学校の適正配置を進め、適正な学校規模の維持を図り、良好な教育環境を確保します。				担当課	学校地域連携課			
目標	-								
事業実施状況	・帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			71	232	97			
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			71	232	97			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 14 事務事業 就学援助費等支給事業									
目的	経済的な困難を抱える世帯や、特別支援学級に通う児童生徒の保護者への支援により、誰もが等しく教育を受けることができる機会を確保します。				担当課	学校教育課			
目標	-								
事業実施状況	・就学援助費の支給 ・特別支援教育就学奨励費の支給		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			190,327	199,351	189,509			
	特定財源			3,985	3,827	4,450			
	一般財源			186,342	195,524	185,059			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 17 事務事業 スクールバス運行事業									
目的	遠距離通学や校外活動における交通手段を確保し、安心して通学・活動できる環境を整備します。				担当課	学校教育課			
目標	-								
事業実施状況	・農村地区におけるスクールバスの運行 ・肢体不自由児学級在籍児童、生徒に係るタクシーの運行 ・プール学習、校外活動等におけるバス送迎		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			125,441	132,584	155,969			
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			125,441	132,584	155,969			
	指標名		-			単位			
	基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 15 事務事業 障害者高等学校等就学支援事業									
目的	特別支援学校高等部等に在学している生徒の保護者に対する経済的支援により、高等教育機関等への進学を促進します。				担当課	学校教育課			
目標	-								
事業実施状況	・障害者高等教育補助金の交付		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			2,700	2,940	3,060			
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			2,700	2,940	3,060			
	指標名		-			単位			
	基準値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	R5	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 18 事務事業 教材教具整備事業									
目的	教材教具の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。				担当課	学校教育課			
目標	-								
事業実施状況	・教材用消耗品、備品の整備、維持管理 ・副読本の作成 ・ピアノ等の維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			189,085	145,691	122,916			
	特定財源			25,912	1,690	717			
	一般財源			163,173	144,001	122,199			
	指標名		-			単位			
	基準値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	R8	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 16 事務事業 私立高等学校支援事業									
目的	私立高等学校の教材教具の整備を支援し、教育環境の充実をはかります。				担当課	企画総務課			
目標	-								
事業実施状況	・私立学校教材教具整備費補助金の交付 ・私立高等学校の校舎改築費用の支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			3,873	3,945	23,993			
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			3,873	3,945	23,993			
	指標名		-			単位			
	基準値	R4	目標値 実績値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 5 番号 19 事務事業 ICT教育環境整備事業									
目的	ICT機器の整備により、児童生徒が充実した教育を受けることができる教育環境の整備を進めます。				担当課	学校教育課			
目標	-								
事業実施状況	・ICT教育環境の整備、維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			753,715	92,349	97,447			
	特定財源			382,344	12,977	5,733			
	一般財源			371,371	79,372	91,714			
	指標名		-			単位			
	基準値	R7	目標値 実績値	R8	目標値 実績値	R9	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 12 取組 0 番号 1 事務事業 教育委員会運営事業							
目的	教育委員会運営に関する事務を進め、地域の実情に応じた教育行政を推進します。			担当課	企画総務課、学校教育課、学校地域連携課		
目標	-						
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会会議の開催、運営 教育委員会事務局の運営 小中学校記念式典等の実施 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	60,912	58,813	51,280		
		特定財源	14,963	358	428		
		一般財源	45,949	58,455	50,852		
	指標名	-			単位		
	基準値	R8	目標値 実績値	R9	目標値 実績値	R10	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 12 取組 0 番号 2 事務事業 教育基本計画推進事業							
目的	教育基本計画に基づき、教育に関する施策を総合的に推進します。			担当課	企画総務課		
目標	-						
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 教育に関する点検、評価報告 教育行政執行方針の策定 教育懇談会の開催 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	18	9	9		
		特定財源	0	0	0		
		一般財源	18	9	9		
	指標名	-			単位		
	基準値	R9	目標値 実績値	R10	目標値 実績値	R11	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 13 取組 1 番号 1 事務事業 学習機会提供事業（生涯学習文化課）									
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。				担当課	生涯学習文化課			
目標	市民に学びの機会を提供する市民大学講座での学習の満足度について94.0%を目指します。								
事業実施状況	・市民大学講座の実施(36講座1,817人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・生涯学習情報誌「まなびや」の発行(年4回)	事業費	843	804	1,490				
	・高齢者学級の実施(1年生31人、2年生41人)	特定財源	18	27	494				
	・プラザエンジョイス쿨の実施(第I期535人、第II期522人、第III期501人、第IV期438人)	一般財源	825	777	996				
	・放送大学北海道センター帯広学習室における学習機会の提供(学習室9人利用)	指標名	市民大学講座での学習の満足度		単位	%			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	94		94		94		94		
			97		97		97		
評価検証	R4年度の市民大学講座での学習の満足度（「満足」「やや満足」と答えた人の割合）は97.0%であり、目標を達成しました。 参加アンケートでの「Zoomにより、多くの方が参加できるようにしてほしい」等の意見を受け、オンライン講座の企画を継続したことが効果的であったと考えます。								

施策 13 取組 1 番号 2 事務事業 子ども向けプログラム推進事業（図書館）									
目的	おはなし会や、子ども向け図書の紹介などにより、子どもが幼児期から読書に親しむことができる環境づくりを進めます。				担当課	図書館			
目標	子ども向けおはなし会の参加者数について1,964人を目指します。								
事業実施状況	・図書館等での子どもを対象としたおはなし会の実施(72回、1,473人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・家庭における読書活動推進事業の実施(家読にチャレンジ! 2022参加者数62人)	事業費	297	354	370				
	・子育て応援バッグ(絵本セット)の貸出(1,027セット)	特定財源	0	0	0				
	・ブックリストの作成・配布(2~3歳児向け6,000冊作成)	一般財源	297	354	370				
		指標名	おはなし会(子ども向け)の参加者数		単位	人			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	1,964		1,964		1,964		1,964		
			963		1,143		1,473		
評価検証	R4年度の定例おはなし会への参加者数は1,473人となり、目標を達成しませんでした。 R3年度と比較しておはなし会を多く開催できたことで、R3年度より参加者数が増加したものの、市民の外出を控える傾向が続いていたものと考えます。 今後も子どもが読書に親しむ機会を提供していくとともに、図書館公式Twitter等での周知を行っていく必要があると考えます。								

施策 13 取組 1 番号 3 事務事業 図書館・学校連携事業									
目的	学校及び児童保育センターへの貸出や、図書館司書による学校図書館への支援を進め、児童生徒の読書活動を推進します。				担当課	図書館			
目標	学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数について595件を目指します。								
事業実施状況	・学校及び児童保育センターへの図書のセット貸出(861件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・学校図書館クリニック(1回、23名)、リユース会(1回、19名)の実施	事業費	605	719	719				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	605	719	719				
		指標名	学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数		単位	件			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	595		595		595		595		
			838		752		861		
評価検証	R4年度の学校・児童保育センターへの図書のセット貸出件数は861件であり、目標を達成しました。 学校への貸出件数は感染症による学級閉鎖等が少なくなり回復傾向であるほか、児童保育センターによる継続的な利用があったことが要因であると考えます。								

施策 13 取組 1 番号 4 事務事業 学習機会提供事業（図書館）									
目的	各種講座や講演会などを開催し、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる機会を提供します。				担当課	図書館			
目標	市民の読書活動の推進や図書資料等の学習活動への活用につなげる講座の参加者数について438人を目指します。								
事業実施状況	・語り手育成講習会ほか各種講座・教室の実施(4回、70人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・社会教育施設連携講演会(2回、45人)	事業費	0	48	39				
	・畜大連携事業(3回、36人)	特定財源	0	0	0				
		一般財源	0	48	39				
		指標名	市民向け講座の参加者数		単位	人			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	438		438		438		438		
			130		149		151		
評価検証	R4年度の市民向け講座の参加者数は151人であり、目標を達成しませんでした。 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の中止や対面開催事業の参加人数を制限したことが大きな要因と考えます。 今後は、定員や回数の確保のほか、各関係機関との連携等により、市民の関心が高いテーマを設定した講座を開催する等、学習機会の場を提供していく必要があると考えます。								

施策 13 取組 1 番号 5 事務事業 図書館地域サービス運営事業									
目的	移動図書館バスの運行やコミュニティセンター図書室等への配本により、地域における図書館サービスの提供を図ります。				担当課	図書館			
目標	移動図書館やコミュニティセンター図書室への配本など地域における図書館サービス体制を維持します。								
事業実施状況	・移動図書館バスの運行	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・コミュニティセンター図書室等への配本	事業費	3,136	4,336	4,810				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	3,136	4,336	4,810				
		指標名	-		単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、移動図書館ステーションの見直しや、司書がバスに同乗する回数を増やしたことで、利用者からの資料相談により多く応えられるようにするなど改善を加えました。 今後は、魅力ある選書の充実と安定的な運営体制により、利用者サービスの向上を図っていく必要があると考えます。								

施策 13 取組 1 番号 6 事務事業 体験活動機会提供事業（児童会館）									
目的	児童会館において、科学教室など幼少期から科学や文化に親しむ機会を提供します。				担当課	児童会館			
目標	児童会館利用者数について150,012人を目指します。								
事業実施状況	・児童会館の利用者数183,062人	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・常設コーナーの利用(科学展示室26,590人、プラネタリウム13,263人、遊び場91,536人など)	事業費	3,105	3,316	3,779				
	・科学教室・工作教室等の開催(98回6,325人)	特定財源	212	244	277				
	・文化関連事業の開催(人形劇、将棋、囲碁、児童劇団、国際こども環境絵画展等)	一般財源	2,893	3,072	3,502				
	・子育て支援事業の開催(もっくん教室8回98人)	指標名	児童会館利用者数		単位	人			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	144,874		150,012		150,012		150,012		
			50,476		115,361		183,062		
評価検証	R4年度の児童会館利用者数は183,062人であり、目標を達成しました。 新たな木育遊具の導入やプラネタリウム投影機器の更新による設備の充実のほか、科学教室等の行事開催数の確保や内容の充実により、過去最多の利用者数となったと考えます。								

施策	13	取組	1	番号	7	事務事業	学習機会提供事業（百年記念館）					
目的	博物館活動・創造活動に関する各種の展示・講座等を開催し、市民の学習活動を支援します。					担当課	百年記念館					
目標	百年記念館における事業参加者数（講座、企画展等の入室者数）について13,090人を目指します。											
事業実施状況	・博物館講座(12回409人、企画展(3回7,586人)、その他講座(5回233人)) ・美術分野の展示の実施(2回1287人) ・創造活動講座の実施(28回640人)、創造活動関連の展示(3回、655人) ・出前講座の開催					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	4,085	4,315	5,059			
						特定財源	404	622	1,436			
						一般財源	3,681	3,693	3,623			
						指標名	事業参加者数(講座、企画展等の入室者数)		単位	人		
評価検証	R4年度の事業参加者数は10,634名であり目標を達成しませんでした。感染拡大への対策のため、講座参加者数の制限を継続したことが要因と考えられますが、周年事業により数多く企画展を開催したことで、R3年度より事業参加者数が増加しています。今後も関心の高い講座や展示を継続するとともに、高齢者学級・生涯学習系サークルや大学生等の学習活動を行う団体に周知を行いながら、多くの方に来館いただけるような事業を実施していく必要があると考えます。					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						9,844	13,090	13,090	13,090			
							5,185	6,038	10,634			

施策	13	取組	1	番号	8	事務事業	学習機会提供事業（動物園）					
目的	飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。					担当課	動物園					
目標	動物園における教育講座、体験講座の参加者数について407人にします。											
事業実施状況	・体験事業(1日飼育係・裏側探検等16回244人) ・教育事業(スポットガイド・おびZoo寺子屋等8回156人) ・人材育成(実習受入等3回8人) ・帯広畜産大学連携事業(サテライトブース設置・共同研究等)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	3,004	3,253	3,490			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	3,004	3,253	3,490			
						指標名	教育講座、体験講座の参加者数		単位	人		
評価検証	R4年度教育講座、体験講座の参加者数は408人であり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で講座の開催数を確保したことや、ホームページ等で周知を図り定員数の確保に努めたことにより、参加者数が増加したと考えます。					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
						402	407	407	407			
							335	333	408			

施策	13	取組	1	番号	9	事務事業	図書館間ネットワーク事業					
目的	図書館間の資料の相互貸借や、十勝管内在住者への広域貸出しにより、利用者サービスの向上を図ります。					担当課	図書館					
目標	蔵書にない図書の貸出を可能にする他図書館との相互貸借体制を維持します。											
事業実施状況	・相互貸借業務の実施(貸出:1,111冊、借受:1,117冊) ・十勝管内在住者への広域貸出しの実施(12,885人、64,667冊)					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	308	302	332			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	308	302	332			
						指標名			単位			
評価検証	R4年度も相互貸借や、他館と連携した広域貸出サービスを継続しており、目標に向けて進捗しています。					基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策	13	取組	1	番号	10	事務事業	とちかちプラザ管理運営事業					
目的	とちかちプラザの管理運営により、市民の生涯学習活動等の場を提供します。					担当課	生涯学習文化課					
目標	-											
事業実施状況	・とちかちプラザの管理運営					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	217,090	205,438	209,303			
						特定財源	23,437	3,400	3,739			
						一般財源	193,653	202,038	205,564			
						指標名	-		単位	-		
評価検証						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策	13	取組	1	番号	11	事務事業	とちかちプラザ施設整備事業					
目的	とちかちプラザの適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。					担当課	生涯学習文化課					
目標	-											
事業実施状況	・とちかちプラザの改修、修繕					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	21,980	33,068	6,228			
						特定財源	17,000	27,000	1,800			
						一般財源	4,980	6,068	4,428			
						指標名	-		単位	-		
評価検証						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策	13	取組	1	番号	12	事務事業	郷土資料収集・保存整備事業					
目的	帯広・十勝等に関する各種資料の収集・整理・保存を進め、郷土の歴史や文化について市民の学習・調査研究に提供します。					担当課	図書館					
目標	-											
事業実施状況	・郷土資料の収集・整理・保存					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
						事業費	102	780	1,110			
						特定財源	0	0	0			
						一般財源	102	780	1,110			
						指標名	-		単位	-		
評価検証						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値

施策 13 取組 1 番号 13 事務事業 図書資料・刊行物等整備事業										
目的 蔵書等の整備や新聞・雑誌等の収集により、社会動向等の情報を市民へ提供します。			担当課		図書館					
目標 -										
事業実施状況	・蔵書等の整備 ・図書館図書整備基金の管理 ・新聞、雑誌、広報、官報等の収集 ・資料の整備及び製本 ・図書館雑誌スポンサー制度の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	64,414	38,610	36,223				
			特定財源	14,250	3,018	24,475				
			一般財源	50,164	35,592	11,748				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 13 取組 1 番号 14 事務事業 図書館管理運営事業										
目的 図書館の管理運営により、市民が図書や各種資料を学習活動等に利用することができる環境を提供します。			担当課		図書館					
目標 -										
事業実施状況	・図書館の管理運営 ・図書館情報システムの運営管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	165,882	160,104	169,572				
			特定財源	822	732	1,017				
			一般財源	165,060	159,372	168,555				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 13 取組 1 番号 15 事務事業 図書館施設整備事業										
目的 図書館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。			担当課		図書館					
目標 -										
事業実施状況	・施設の改修、修繕 (R3→R4繰越:中央監視装置の修繕34,430千円を含む)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	10,101	1,201	40,860				
			特定財源	8,900	900	25,800				
			一般財源	1,201	301	15,060				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 13 取組 1 番号 16 事務事業 児童会館施設整備事業										
目的 児童会館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。			担当課		児童会館					
目標 -										
事業実施状況	・施設の修繕と更新、改修(非常用自家発電機更新工事等)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	16,710	22,654	38,821				
			特定財源	2,200	4,200	29,800				
			一般財源	14,510	18,454	9,021				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 13 取組 1 番号 17 事務事業 児童会館管理運営事業										
目的 児童会館の管理運営により、幼少期から科学に親しむことができる環境など多様な体験活動の機会を提供します。			担当課		児童会館					
目標 -										
事業実施状況	・児童会館の管理運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	51,649	53,980	62,566				
			特定財源	1,122	1,658	2,804				
			一般財源	50,527	52,322	59,762				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 13 取組 1 番号 18 事務事業 野草園管理運営事業										
目的 野草園の管理運営により、自然観察や環境学習など体験活動の場を提供します。			担当課		児童会館					
目標 -										
事業実施状況	・野草園の管理運営 ・園内の植物相調査の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	2,391	3,703	2,930				
			特定財源	0	1,110	0				
			一般財源	2,391	2,593	2,930				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 13 取組 1 番号 19 事務事業 農業体験実習館管理運営事業									
目的	岩内自然の村の管理運営により、自然体験活動の場を提供します。				担当課	児童会館			
目標	-								
事業実施状況	・岩内自然の村の管理運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・岩内自然の村の廃止、建物等の民間利活用の募集		事業費	7,770	7,658	9,306			
			特定財源	103	0	147			
			一般財源	7,667	7,658	9,159			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 13 取組 1 番号 20 事務事業 百年記念館管理運営事業									
目的	百年記念館の管理運営により、市民が郷土の自然・歴史等を学び、創造活動ができる環境を提供します。				担当課	百年記念館			
目標	-								
事業実施状況	・百年記念館の管理運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・帯広百年記念館運営審議会の開催		事業費	46,596	41,162	55,117			
			特定財源	3,162	3,463	4,866			
			一般財源	43,434	37,699	50,251			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 13 取組 1 番号 21 事務事業 百年記念館施設整備事業									
目的	百年記念館の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。				担当課	百年記念館			
目標	-								
事業実施状況	・施設の改修、修繕		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	14,596	4,441	13,759			
			特定財源	9,800	0	10,000			
			一般財源	4,796	4,441	3,759			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 13 取組 1 番号 22 事務事業 動物園管理運営事業									
目的	動物園の管理運営により、市民が動物や自然等について学ぶための環境を提供します。				担当課	動物園			
目標	-								
事業実施状況	・動物園の管理運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	129,538	125,224	141,718			
			特定財源	59,111	57,086	78,960			
			一般財源	70,427	68,138	62,758			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 13 取組 1 番号 23 事務事業 動物園施設整備事業									
目的	動物園の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。				担当課	動物園			
目標	-								
事業実施状況	・施設及び遊具の改修、修繕(キリン舎外放飼場等)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・馬ふれあい舎、キリン舎の実施設計		事業費	29,032	231,720	361,685			
			特定財源	27,933	230,114	357,862			
			一般財源	1,099	1,606	3,823			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 13 取組 2 番号 1 事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業									
目的	社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。				担当課	生涯学習文化課			
目標	生涯学習推進委員会が企画・運営するコミュニティ講座の参加者数について24,400人を目指します。								
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・社会教育関係団体等への支援		事業費	8,691	9,771	10,868			
	・学生の社会参加(16名)		特定財源	134	709	504			
	・指導者登録(登録者数181名)		一般財源	8,557	9,062	10,364			
	・20歳の集いの開催		指標名	コミュニティ講座の参加者数			単位	人	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		23,423	24,400	24,400	24,400	24,400	24,400		
			4,155	4,609	7,622				
評価検証	R4年度のコミュニティ講座の講座回数は151回、参加者数は7,622人となり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策に伴う講座の開催中止や規模縮小が要因であると考えます。今後、学習活動の本格的な再開を見据え、講座の開催に繋げるために、生涯学習推進委員会に対して、他団体(学校、PTA、町内会など)との事業の連携、協力を促すことが必要であると考えます。								

施策 13 取組 2 番号 2 事務事業 図書館ボランティア活動推進事業									
目的	図書館におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かせます。				担当課	図書館			
目標	図書館に関わるボランティア団体数について5団体を目指します。								
事業実施状況	・ボランティア活動への支援(5団体)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			97	94	92			
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			97	94	92			
	指標名	ボランティア団体数				単位	団体		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		5	5	5	5				
			5	5	5				
評価検証	R4年度の図書館のボランティアの団体数は5団体であり、目標を達成しています。新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業の中止や感染対策を講じながらの事業実施となりましたが、ボランティア団体の意見を踏まえメニューを工夫したことや、継続して活動できる場を提供するなどの支援を行ったこと、活動の状況について情報発信に努めボランティアのモチベーション向上につながったことが効果的であったと考えます。								

施策 13 取組 2 番号 3 事務事業 百年記念館ボランティア活動推進事業									
目的	博物館の活性化及び地域住民と博物館とをつなぐ役割を担うボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かせます。				担当課	百年記念館			
目標	百年記念館に関わるボランティア会員数について27人を目指します。								
事業実施状況	・ボランティア養成講座の開催や研修の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・収蔵資料の整理と活用			13	11	12			
	・独自事業の開催			0	0	0			
	・常設展示室解説			13	11	12			
	指標名	ボランティア会員数				単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		27	27	27	27				
			28	28	26				
評価検証	R4年度のボランティア会員数は26名で目標を達成しませんでした。高齢や健康上の事情で退会される方が多いことに要因があると考えられます。依頼するボランティア事業の数を増やすなど既存会員のやりがいを持続するとともに、活動を通じてボランティア活動への市民の関心を高め、新規ボランティア参加者の確保を図る必要があると考えます。								

施策 13 取組 2 番号 4 事務事業 博物館活動推進事業									
目的	自らが学び、その成果を活かすことができる環境づくりを進めます。				担当課	百年記念館			
目標	郷土の歴史・文化に関わる展示をしている百年記念館常設展示室の入場者数について16,059人にします。								
事業実施状況	・学芸関係職員の調査研究や研修参加		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・博物館資料、美術品の収集、保管			6,354	8,903	7,319			
	・常設展示室の充実			4	13	11			
	・帯広百年記念館紀要の発刊			6,350	8,890	7,308			
	指標名	常設展示室入場者数				単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		15,496	16,059	16,059	16,059				
			9,723	10,690	13,874				
評価検証	R4年度の常設展示室入場者数は13,906名であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症の流行により、小学校のバス見学などの学習活動が減少したことや、観光・視察の際の見学者が減少したことが要因であると考えますが、周年事業により数多く企画展を開催したことで、R3年度より常設展示室入場者数が増加しています。今後は、常設展示室でのモバイルガイドを活用した学習機会の提供を継続するなど、引き続き利用促進に取り組む必要があると考えます。								

施策 13 取組 2 番号 5 事務事業 動物園ボランティア活動推進事業									
目的	動物園におけるボランティア活動を推進し、施設の取り組みに活かせます。				担当課	動物園			
目標	動物園に関わるボランティア団体数について8団体を目指します。								
事業実施状況	・施設整備ボランティア(各奉仕活動)5団体		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・事業協力ボランティア(ZooFul等)2団体			0	0	0			
	・運営推進ボランティア(動物園協会)1団体			0	0	0			
	一般財源			0	0	0			
	指標名	ボランティア団体数				単位	団体		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		8	8	8	8				
			9	8	8				
評価検証	R4年度の動物園ボランティア団体数は8団体であり、目標を達成しました。ボランティア活動等について、ホームページやSNS等で周知したことで、ボランティア団体の意欲向上につながり、活動の継続につながったものと考えます。								

施策 13 取組 3 番号 1 事務事業 高等教育推進事業									
目的	帯広畜産大学や関係団体などと連携し、高等教育機関の整備・充実や、大学の研究・教育機能の活用を通じて、高等教育の推進を図ります。				担当課	企画課			
目標	学生のまちづくりへの参画促進などを図る帯広畜産大学の学生によるまちづくり活動の件数について15件を目指します。								
事業実施状況	・とかち高等教育推進まちづくり会議の運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・高等教育機関の整備充実に関する情報収集			3,769	3,824	3,805			
	・帯広畜産大学の整備・拡充に向けた情報収集や要望活動の実施			1,160	1,466	1,559			
	・帯広畜産大学との包括連携協定に基づく各種事業の推進(学生主体のまちづくり活動の推進など)			2,609	2,358	2,246			
	指標名	帯広畜産大学の学生によるまちづくり活動の件数				単位	件		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		14	15	15	15				
				4	6				
評価検証	R4年度の帯広畜産大学の学生によるまちづくり活動の件数は6件であり、目標を達成できませんでした。コロナ禍における学生生活の変化から、サークル活動など、学生主体の活動の停滞が要因と考えます。大学と連携しながら、感染対策により休止していた各種活動の再開状況を踏まえ、実施や事業内容の改善を進めることでまちづくりへの参画につなげていく必要があります。								

施策 13 取組 3 番号 再 事務事業 人材育成事業<再掲9-1-6>									
目的	関係機関の連携により多様な研修機会を提供し、総合的な人材育成を進めます。				担当課	経済企画課			
目標	-								
事業実施状況	・フードバレーとかち人材育成事業の実施(修了者数39名)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			-	-	-			
	特定財源			-	-	-			
	一般財源			-	-	-			
	指標名	-				単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策	13	取組	3	番号	再	事務事業	学習機会提供事業（動物園）〈再掲13-1-8〉			
目的	飼育体験など動物や自然環境について学ぶ機会を提供し、市民の学習活動を支援します。					担当課	動物園			
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 体験事業(1日飼育係・裏側探検等16回244人) 教育事業(スポットガイド・おびZoo寺子屋等8回156人) 人材育成(実習受入等3回8人) 帯広畜産大学連携事業(サテライトブース設置・共同研究等) 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	-	-	-	
						特定財源	-	-	-	
						一般財源	-	-	-	
						指標名	-			単位
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-									

施策	13	取組	0	番号	1	事務事業	社会教育委員会議運営事業			
目的	社会教育施策のあり方や課題などについて議論するための会議や研究大会への出席などを通し、社会教育委員活動の充実を図ります。					担当課	生涯学習文化課			
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育委員会議の開催 研修大会等への参加 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
						事業費	193	300	521	
						特定財源	0	0	0	
						一般財源	193	300	521	
						指標名	-			単位
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-									

施策 14 取組 1 番号 1 事務事業 文化活動団体・指導者育成事業									
目的	市民の主体的な文化活動の促進や優秀な活動を表彰し、文化芸術活動を支える人材や団体を育成します。				担当課	生涯学習文化課			
目標	市ホームページの文化団体紹介ページのアクセス数について1,921回を目指します。								
事業実施状況	・文化団体等の情報提供(HP掲載団体274団体)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・文化賞・文化奨励賞・文化活動功労賞の実施(受賞者1団体)		事業費	1,285	1,729	2,982			
	・文化団体への活動支援(事業補助3団体、大会派遣補助2件)		特定財源	50	50	50			
	・十勝馬唄全国大会への支援(大会中止につき0件)		一般財源	1,235	1,679	2,932			
	指標名		市ホームページの文化団体紹介ページの年間総アクセス数			単位	回		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		1,777	1,848 792	1,884 340	1,921 372				
評価検証	R4年度の文化団体紹介ページのアクセス数は372件であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響による文化的活動の自粛傾向が継続し、文化団体紹介ページの活用機会が減少していることが要因と考えます。文化的活動の支援につながる情報の充実を図り、文化活動を促進していくことが必要と考えます。								

施策 14 取組 1 番号 2 事務事業 市民文化活動促進事業									
目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。				担当課	生涯学習文化課			
目標	市民芸術祭の出演者・出品者数について640人を目指します。								
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援(文化事業の後援件数101件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・市民芸術祭の開催(ステージ出演者数467人、展示出品者数289人)		事業費	646	1,460	3,460			
	・文化芸術活動発表会の開催(3事業)		特定財源	146	0	2,000			
	・活動成果発表機会の提供(5事業)		一般財源	500	1,460	1,460			
	指標名		市民芸術祭出演者・出品者数			単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		1,330	640 755	640 755	640 756				
評価検証	R4年度の市民芸術祭の出演者・出品者数は756人であり、目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症の流行による、活動成果の発表機会の中止・自粛などの影響が継続する中で、基本的な感染対策の徹底を図り、安心して参加できる環境づくりに努めたことが要因であると考えます。								

施策 14 取組 1 番号 3 事務事業 市民文芸誌発刊事業									
目的	文芸作品の表彰、文芸誌への掲載により、市民の主体的な文化活動を促進します。				担当課	図書館			
目標	市民文芸・とちかジュニア文芸の応募者数について386人を目指します。								
事業実施状況	・文芸作品の募集、表彰		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・各種関連教室の開催(4講座、17人)		事業費	2,038	1,887	2,020			
	・『市民文芸』の発刊(応募者102人)		特定財源	190	203	169			
	・『とちかジュニア文芸』の発刊(応募者393人)		一般財源	1,848	1,684	1,851			
	指標名		市民文芸とちかジュニア文芸の応募者数			単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		340	386 357	386 404	386 495				
評価検証	R4年度の市民文芸・とちかジュニア文芸の応募者数は495人であり、目標を達成しました。図書館公式TwitterなどSNSを活用した周知が浸透してきたことが効果的であったと考えます。今後も継続して周知に取り組みます。								

施策 14 取組 1 番号 4 事務事業 文化施設整備事業									
目的	文化施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。				担当課	生涯学習文化課			
目標	-								
事業実施状況	・市民文化ホールの改修、修繕		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	50,787	76,765	25,752			
			特定財源	37,700	61,300	13,400			
			一般財源	13,087	15,465	12,352			
	指標名		-			単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 14 取組 1 番号 5 事務事業 文化施設管理運営事業									
目的	文化施設の管理運営により、市民の文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術にふれることができる機会を提供します。				担当課	生涯学習文化課、百年記念館			
目標	-								
事業実施状況	・グリーンステージの管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・市民文化ホールの管理運営		事業費	196,607	185,808	197,386			
	・市民ギャラリーの管理		特定財源	25,190	14,614	3,839			
			一般財源	171,417	171,194	193,547			
	指標名		-			単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 14 取組 2 番号 1 事務事業 文化芸術鑑賞事業									
目的	市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めめます。				担当課	生涯学習文化課、百年記念館			
目標	文化芸術の鑑賞機会を提供する鑑賞事業の満足度について77.4%を目指します。								
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供(6事業、4,015人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	1,700	1,078	1,700			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	1,700	1,078	1,700			
	指標名		鑑賞者の満足度			単位	%		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		76.3	76.7 82.0	77.0 86.0	77.4 90.0				
評価検証	R4年度の文化芸術鑑賞事業の鑑賞者の満足度は90%であり、目標を達成しました。鑑賞者アンケート等を踏まえニーズをとらえた事業を実施したことが効果的であったと考えます。								

施策 14 取組 2 番号 2 事務事業 子ども向け鑑賞機会提供事業（生涯学習文化課）									
目的	子どもたちに良質な文化芸術にふれる機会を提供し、子どもたちの感性や創造力の育成を図ります。				担当課	生涯学習文化課			
目標	親子で参加できるコンサートの満足度を維持します。								
事業実施状況	・子ども向けの文化芸術鑑賞機会の提供(3事業、1,618人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		0	2,393	4,614				
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		0	2,393	4,614				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	親しみやすいポップス曲のほか、オペラ曲や民俗舞曲など様々なジャンルの楽曲を採用するなどコンサートの魅力向上に取り組んだことにより、親子向けコンサートの鑑賞者満足度は100%となり目標を達成しました。								

施策 14 取組 3 番号 1 事務事業 文化財調査・保存事業									
目的	文化財等を保存・活用し、郷土の歴史や文化への理解を促進します。				担当課	百年記念館			
目標	一般公開を含めた文化財の活用件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・文化財の保存、利活用	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		616	584	975				
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		616	584	975				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度の文化財を活用した公開事業（2回）における参加者数は77人であり、R3年度と比較して参加者が85人減少し、目標を達成しませんでした。一般公開当日の悪天候により参加人数が大幅に減少したことや新型コロナウイルス感染症の流行による市民の外出自粛の影響が原因であると考えます。今後は、「史跡ガイド」を活用し身近にある郷土の歴史や文化にふれる機会を提供することで、理解促進を進める必要があると考えます。								

施策 14 取組 3 番号 2 事務事業 おびひろ・まちの歴史調査・収集普及事業									
目的	帯広の歴史に関する史料の収集・調査を実施し、体系にまとめることで今後のまちづくり、人づくりに活用します。				担当課	百年記念館			
目標	歴史に関する講座の受講者数について123人を目指します。								
事業実施状況	・史料収集調査と成果の公表(6回147名) ・帯広市史専門委員会の開催(4回) ・普及事業を推進するネットワークづくり	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		3,040	3,223	3,298				
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		3,040	3,223	3,298				
	指標名	歴史関係の博物館講座、連続講座の受講者数。				単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		116	123 93	123 119	123 147				
評価検証	R4年度の歴史関係の講座の受講者数は147名と目標を達成しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、講座の開催数を確保したことや、ホームページ等で周知を図り、定員数の確保に努めたことにより、受講者数が増加したと考えます。								

施策 14 取組 3 番号 3 事務事業 埋蔵文化財調査・保存・活用事業									
目的	埋蔵文化財の調査・保護・保存活用により、郷土の歴史への関心を深めます。				担当課	百年記念館			
目標	埋蔵文化財センター来館者数について243人を目指します。								
事業実施状況	・八千代A遺跡出土品の活用 ・埋蔵文化財の保護、保存 ・埋蔵文化財の調査研究、活用 ・埋蔵文化財センターの管理運営	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		2,317	2,449	3,948				
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		2,317	2,449	3,948				
	指標名	埋蔵文化財センター来館者数				単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		190	243 114	243 99	243 105				
評価検証	R4年度の埋蔵文化財センター来館者数は105人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策に伴う市民の外出自粛の影響が継続していることが要因であると考えます。市民がより郷土の歴史への関心を深める機会を提供するため、重要文化財「八千代A遺跡出土品」の小学校向け教材の作成や、出土資料を活用した教育普及事業に継続して取り組む必要があると考えます。								

施策 14 取組 3 番号 再 事務事業 アイヌ民族文化調査・普及事業<再掲22-4-4>									
目的	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。				担当課	百年記念館			
目標	-								
事業実施状況	・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動 ・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		-	-	-				
	特定財源		-	-	-				
	一般財源		-	-	-				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 14 取組 3 番号 再 事務事業 アイヌ伝統文化保存・伝承事業<再掲22-4-5>									
目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存・発展を図ります。				担当課	百年記念館			
目標	-								
事業実施状況	・帯広カムイウポボ保存会への支援 ・アイヌ文化の保存・伝承、普及啓発	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		-	-	-				
	特定財源		-	-	-				
	一般財源		-	-	-				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 14	取組 0	番号 1	事務事業 文化振興事業			
目的	情報収集などを通して、文化芸術振興に関する施策を総合的に推進します。		担当課	生涯学習文化課		
目標	-					
事業実施状況	・文化振興に関する事務 ・ふるさと文化基金の管理	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
		事業費	4,410	7,796	8,271	
		特定財源	4,265	7,655	8,135	
		一般財源	145	141	136	
	指標名	-			単位	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4
評価検証	-					

施策 15 取組 1 番号 1 事務事業 学校開放事業									
目的	小・中学校の体育館等を開放し、市民にスポーツ活動の場を提供します。				担当課	スポーツ課			
目標	市民の主体的なスポーツ活動を促進する学校開放事業の利用者数について165,289人を目指します。								
事業実施状況	・小中学校の体育館等の地域への開放(273団体、延べ120,832人利用)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	2,116	2,079	1,871			
			特定財源	972	2,225	1,637			
			一般財源	1,144	△146	234			
	指標名		学校開放事業利用者数			単位	人		
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	165,289		165,289		165,289		165,289		
			72,828		87,860		120,832		
R4年度の学校開放事業利用者数は120,832人であり、R3年度より32,972人増加したものの、目標を達成しませんでした。感染症対策による施設利用の制限により、団体での利用数が増えなかったことが要因であると考えます。今後、改めてホームページ等により事業の周知を行うとともに、安心して活動できる場を提供していく必要があると考えます。									

施策 15 取組 1 番号 2 事務事業 地域スポーツ振興事業									
目的	総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などにより、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供します。				担当課	スポーツ課			
目標	スポーツ教室開催数について114回を目指します。								
事業実施状況	・総合型地域スポーツクラブへの支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・地域ごとのスポーツ推進委員の配置(推進員数48人)		事業費	16,237	16,244	23,437			
	・各種スポーツ教室の開催(55回、延べ1,443人参加)		特定財源	7,969	0	8,000			
	・スポーツ大会の開催		一般財源	8,268	16,244	15,437			
	・パークゴルフ場の環境維持		指標名	スポーツ教室開催数			単位	回	
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	98		114		114		114		
			18		22		55		
R4年度のスポーツ教室開催数は55回であり、目標を達成しませんでした。感染症の影響による活動の自粛等が影響していると考えられるものの、R3年度と比較してスポーツ教室開催数は33回増加しています。今後、ニュースポーツやニーズの把握による新たなメニューの追加など、地域のスポーツ活動が活発に行われるような取組を進めていく必要があると考えます。									

施策 15 取組 1 番号 3 事務事業 社会体育施設管理運営事業									
目的	社会体育施設の管理運営により、市民のスポーツ活動やスポーツ交流の場を提供します。				担当課	スポーツ課			
目標	-								
事業実施状況	・社会体育施設の管理運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	1,397,224	1,422,241	1,523,000			
			特定財源	80,392	36,699	38,362			
			一般財源	1,316,832	1,385,542	1,484,638			
	指標名		-			単位	-		
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 15 取組 1 番号 4 事務事業 社会体育施設整備事業									
目的	社会体育施設の適切な改修や修繕などにより、利用者の安全性の確保や施設の機能維持を図ります。				担当課	スポーツ課			
目標	-								
事業実施状況	・施設の改修、修繕		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	37,884	75,688	49,931			
			特定財源	34,600	63,400	36,300			
			一般財源	3,284	12,288	13,631			
	指標名		-			単位	-		
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 15 取組 1 番号 再 事務事業 健康づくり推進事業<再掲1-1-1>									
目的	健康意識の向上に関する取り組みや、生活習慣病予防に関する知識を普及する人材の育成などを通じ、市民の健康づくりを推進します。				担当課	健康推進課			
目標	-								
事業実施状況	・健康づくり推進サポーターの育成と活動の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・健康マイレージの推進		事業費	-	-	-			
	・スマートライフプロジェクトおびひろの推進		特定財源	-	-	-			
	・おびひろ健康まつりの実施		一般財源	-	-	-			
	指標名		-			単位	-		
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 15 取組 1 番号 再 事務事業 学校施設地域開放推進事業<再掲12-5-8>									
目的	体育館などの学校施設を地域に開放し、施設を有効に活用するとともに、学校と地域の結びつきを深めます。				担当課	企画総務課			
目標	-								
事業実施状況	・スポーツ、文化、地域活動等への施設開放		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	-	-	-			
			特定財源	-	-	-			
			一般財源	-	-	-			
	指標名		-			単位	-		
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 15 取組 2 番号 1 事務事業 スケート競技振興事業									
目的	子どもたちに年齢に応じたスケートの専門的指導を行い、競技力の向上を図ります。				担当課	スポーツ課			
目標	地域に根ざしたスポーツであるスケートの子どもたちの競技力向上を図るほっとドリームプロジェクト事業の参加者数について4,974人を目指します。								
事業実施状況	・スケート競技の裾野拡大や競技力向上をはかる「ほっとドリームプロジェクト」の推進(延べ1,961人参加)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			1,974	1,564	2,684			
	特定財源			449	507	536			
	一般財源			1,525	1,057	2,148			
	指標名	ほっとドリームプロジェクト事業参加者数		単位	人				
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
			4,974		4,974		4,974		
	3,320		1,331		1,840		1,961		
評価検証	R4年度のほっとドリームプロジェクト事業の参加者数は1,961人であり、R3年度より増加したものの、目標を達成しませんでした。感染症の影響により自粛した市民がいると考えられることや事業周知の不足が要因であると考えます。参加者数の増加からもスケート教室のニーズは高いものと捉えており、様々なメディアの活用などによる効果的な事業の周知が必要と考えます。								

施策 15 取組 3 番号 1 事務事業 スポーツ大会・合宿等誘致事業									
目的	情報発信や関係団体と連携し、スポーツ大会・合宿等の誘致を進めるほか、プロスポーツの選手と触れ合う機会を創出します。				担当課	スポーツ課			
目標	スポーツに関連した大会や合宿で本市を訪れる人数について24,411人を目指します。								
事業実施状況	・各種全国・全道大会等の誘致、開催支援(33大会への支援)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・合宿の誘致(宿泊団体数336団体、宿泊者数6,125人)		事業費	6,713	12,541	14,104			
	・スケート国際大会の誘致・開催		特定財源	0	0	2,503			
	・北海道日本ハムファイターズ応援大使事業(トークショー参加者162人)		一般財源	6,713	12,541	11,601			
	指標名	大会・合宿で訪れた人数		単位	人				
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
			24,411		24,411		24,411		
	16,986		3,897		4,954		6,125		
評価検証	R4年度の大会・合宿により帯広市を訪れた人数は6,125人であり、目標を達成しませんでした。感染症の影響等による合宿等の自粛が要因であると考えますが、R3年度と比較すると大会の支援数や合宿の誘致数は増加しています。今後、他都市の状況や地域の強みを確認し、支援内容の見直しを図るなど、合宿の受入体制を整備していく必要があると考えます。								

施策 15 取組 2 番号 2 事務事業 団体・人材育成事業									
目的	専門性を備えたスポーツ指導者の育成やスポーツ少年団・スポーツ団体への支援を通じ、人材の育成を図ります。				担当課	スポーツ課			
目標	スポーツ少年団加入割合の上昇を目指します。								
事業実施状況	・スポーツ少年団への支援(少年団数69団体、登録者数1,331人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・スポーツ少年団指導者育成への支援(指導者数328人)		事業費	10,717	11,578	13,335			
	・各種交流大会等の開催		特定財源	0	0	0			
	・スポーツ推進委員の育成		一般財源	10,717	11,578	13,335			
	・帯広市スポーツ協会への支援		指標名	-		単位			
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は各団体への支援を通じて指導者の育成を図ったほか、全国全道大会等への派遣支援など、競技スポーツの普及・振興に取り組みましたが、スポーツ少年団の加入割合は16.5% (前年比1.1ポイント減) であり、目標を達成しませんでした。少子化や新型コロナウイルス感染症の影響により活動規模を縮小せざるを得なかった団体があつたほか、地域のスポーツクラブや習い事等の選択肢の多様化、指導者不足などが要因と考えます。今後、指導者の確保や指導者を対象とした研修会の開催などにより、児童生徒や保護者が安心してスポーツ少年団に加入できる環境づくりを行っていくことが必要と考えます。								

施策 15 取組 2 番号 3 事務事業 スポーツ振興推進事業									
目的	健康スポーツ都市宣言の理念に基づき、スポーツ振興に関する施策を総合的に進めます。				担当課	スポーツ課			
目標	-								
事業実施状況	・スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施(スポーツ賞 功労部門・個人1人 成績部門・個人1人 団体1組、スポーツ奨励賞 個人5人 団体5組)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・スポーツ振興に関する事務		事業費	9,747	13,236	13,581			
	・スポーツ推進審議会の開催		特定財源	3,466	7,072	7,151			
	・スポーツ振興基金の管理		一般財源	6,281	6,164	6,430			
	指標名	-		単位					
評価検証	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策	16	取組	1	番号	1	事務事業	再生可能エネルギー導入促進事業			
目的	太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーの導入を促進し、エネルギーの有効活用を図ります。					担当課	環境課			
目標	新エネルギー機器の導入数の増加を目指します。									
事業実施状況	・新エネルギー機器の導入促進 (太陽光発電システム、蓄電池78件、木質ペレットストーブ3件、エコジョーズ(潜熱回収型ガス給湯暖房機)、ガスエンジンコージェネレーションシステム(ガスによる発電熱利用システム)175件、エコキュート(CO2冷媒ヒートポンプ給湯器)68件、太陽光発電システム貸付1件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			195,814	146,160	105,634				
	特定財源			175,870	126,809	84,516				
	一般財源			19,944	19,351	21,118				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、市の補助事業をホームページや広報紙で周知し、新エネルギー機器の導入が進みました。温室効果ガスの削減に繋がっており、目標達成に向け進捗しています。									

施策	16	取組	1	番号	2	事務事業	環境意識向上対策事業			
目的	学校などと連携した環境教育などを進め、市民の環境に対する意識の向上を図ります。					担当課	環境課			
目標	環境に対する市民の意識向上を図る出前環境教室の参加者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・帯広市環境白書の作成、公表 ・ホームページ等による環境情報の提供 ・環境にやさしい活動実践校の取り組み支援 (活動実践校:市内25小学校、13中学校、1高校、1義務教育学校) ・出前環境教室の実施(38回1,861人) ・環境パネル展の開催 ・環境交流会の開催(1,022人来場) ・省エネ啓発チラシの全戸配布(77,000部配布) ・COOL CHOICEの推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			703	882	819				
	特定財源			400	400	400				
	一般財源			303	482	419				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、昨年度より出前環境教室の参加者数が増加しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の一部を中止したものの、環境交流会の実施、ホームページや広報紙による啓発、市民全戸へのチラシの配布などに取り組んできており、目標達成に向け進捗しています。									

施策	16	取組	1	番号	3	事務事業	省エネルギー活動推進事業			
目的	行政における省エネルギーへの率先した取り組みや市民、企業への普及啓発などにより、エネルギーの有効活用を図ります。					担当課	環境課			
目標	廃食用油の家庭からの回収量について69,9460を目指します。									
事業実施状況	・公共施設の省エネ化 ・廃食用油のリサイクル推進 (廃食用油の回収、バイオディーゼル燃料の公用車等での利用) ・電気自動車などエコカーの普及啓発 ・ノーカーデーの実施(延参加人数6,084人、距離数27,877km、CO2削減量4,075kg) ・家庭における省エネの促進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			416	274	80				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			416	274	80				
	指標名		家庭用廃食用油の回収量			単位	ℓ			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
	66,591		69,946 78,917	69,946 74,992	69,946 67,602					
評価検証	R4年度の家食用廃食用油の回収量は67,602ℓであり、目標を達成しませんでした。食品価格の高騰により、家庭における食用油の使用量の減少などが、主要因と推測します。今後もエネルギーの有効活用に向け、資源回収の取り組みなどの市民周知を進めていきます。									

施策	16	取組	1	番号	4	事務事業	エコタウン構想推進事業			
目的	リサイクル関連施設等の集積など、エコタウン構想を推進し、環境負荷低減・温室効果ガス削減を図ります。					担当課	中島地区振興課			
目標	-									
事業実施状況	・土地利用に向けた地域、関係機関等との調整 ・環境関連企業の立地促進 ・中島緑地用地の管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			24	3,490	393				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			24	3,490	393				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	16	取組	1	番号	再	事務事業	フードバレーとから推進事業<再掲9-2-3>			
目的	十勝管内の自治体や関係機関と連携し、地域の農林水産物の付加価値向上や情報発信などに取り組み、「フードバレーとから」を推進します。					担当課	経済企画課			
目標	-									
事業実施状況	・十勝の企業や食・農林漁業に関する情報発信、試験研究機関と生産者や企業等との連携促進 ・「フードバレーとから」の取り組みへの住民参加の促進 ・生産・加工・流通業者の連携機会の提供など、コーディネート機能の発掘 ・域内外企業等との連携促進 ・バイオマス産業都市構想の推進 ・十勝産農畜産物、加工品の販路拡大 ・フードバレーを通じた交流の推進 ・十勝の食の高付加価値化の推進 ・学び直しを支える環境づくり事業の実施 ・とからファンミーティングの実施およびとからファンサイト「とからテーブル」の開設		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			-	-	-				
	特定財源			-	-	-				
	一般財源			-	-	-				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	16	取組	2	番号	1	事務事業	排出指導事業			
目的	排出マナーの周知や指導などにより、ごみの適正排出を促進します。					担当課	清掃事業課			
目標	ごみの適正排出に関する問い合わせ・苦情件数について27,370件以下を目指します。									
事業実施状況	・清掃指導員の巡回パトロールの実施 ・排出マナーの周知・適正排出指導 ・ごみの減量化・資源化の周知・指導 ・ごみステーションのごみ飛散防止及び管理に係る指導 ・身体障害者などによりごみ排出が困難な世帯への戸別収集(サポート収集事業)の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			8,104	9,539	10,056				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			8,104	9,539	10,056				
	指標名		問い合わせ・苦情件数			単位	件			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
	27,831		27,600 24,079	27,485 24,777	27,370 20,529					
評価検証	R4年度のごみに関する問い合わせ・苦情件数(指導件数)は20,529件であり、目標を達成しました。SNSを活用した排出方法の周知や、分別パンフレット・指導チラシの配布などにより、排出ルールが市民に浸透し、適正排出に関する問い合わせ・苦情件数が減少したことが要因であると考えます。									

施策 16 取組 2 番号 2 事務事業 不法投棄対策事業										
目的 夜間パトロールなどの実施により、ごみの不法投棄を防止します。		担当課 清掃事業課								
目標 ごみの不法投棄件数について39件以下を目指します。										
事業実施状況	・不法投棄防止の意識啓発 ・夜間パトロールの実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			4,415	4,420	4,414				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			4,415	4,420	4,414				
	指標名 不法投棄件数				単位	件				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		61		39 48		39 24		39 30		
評価検証 R4年度の不法投棄件数は30件で、目標を達成しました。看板設置や夜間パトロールを継続して実施した効果と考えます。特定廃家電の不法投棄が30件中29件を占めていることから、今後も、特定廃家電の適正処理について周知徹底していくことが必要と考えます。										

施策 16 取組 2 番号 3 事務事業 資源回収推進事業										
目的 町内会等の資源集団回収・資源回収事業者への支援により、地域の自主的なリサイクル活動を進め、再資源化やごみの減量化を促進します。		担当課 清掃事業課								
目標 町内会等における資源集団回収量について7,551tを目指します。										
事業実施状況	・資源集団回収の奨励 ・資源回収事業者への支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			48,418	44,588	44,120				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			48,418	44,588	44,120				
	指標名 資源集団回収量				単位	t				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		6,961		7,551 5,954		7,551 5,669		7,551 5,246		
評価検証 R4年度の資源集団回収量は5,246tであり、目標を達成しませんでした。資源集団回収を実施する団体数が減少傾向であることに加え、団体規模（参加人数）の縮小化などにより、回収される資源量が減少していることが要因と考えられます。今後も効果的な周知を図りながら地域の自主的なリサイクル活動を支援していくことが必要と考えます。										

施策 16 取組 2 番号 4 事務事業 リサイクル推進事業										
目的 ごみの分別収集を進め、再資源化を促進します。		担当課 清掃事業課								
目標 資源ごみの排出量について7,325t以下を目指します。										
事業実施状況	・廃棄物減量等推進審議会の開催 ・資源ごみの収集・運搬 ・資源の収集車両の維持管理 ・小型家電リサイクル事業の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			190,486	245,547	250,785				
	特定財源			24	0	0				
	一般財源			190,462	245,547	250,785				
	指標名 資源ごみ排出量				単位	t				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		7,360		7,325 7,865		7,325 7,980		7,325 7,950		
評価検証 R4年度の資源ごみ排出量は7,950tであり、昨年度より減少しましたが、目標を達成しませんでした。感染症の影響による生活様式の変化に伴い宅配・テイクアウトなどが定着し、これらの各容器が一定量排出されることが要因と考えられます。今後もごみの排出量削減や資源集団回収の積極的な利用について、広報紙やごみ懇談会等を通じて効果的に周知を図る必要があると考えます。										

施策 16 取組 2 番号 5 事務事業 ごみ発生抑制・再使用促進事業										
目的 市民への意識啓発などにより、ごみの発生抑制及び再使用を促進します。		担当課 清掃事業課								
目標 ごみの発生抑制や資源の再使用に対する意識向上を図る出前講座の参加者数について1,465人を目指します。										
事業実施状況	・生ごみ減量の促進 (「ディスプレイ」の周知、生ごみ堆肥化容器(55件)・電動生ごみ処理機の購入支援(25件-見込み)、ダンボールコンポストのPR) ・ごみ発生抑制の周知 (「ごみユニティメール」の発行(2回)、ごみ懇談会の開催(5回)、エコエコ紙芝居の開催(0回)、簡易包装のPR ・マイバッグ持参運動の推進) ・リサイクルイベント(リサイクルひろば)の開催(2回) ・収集曜日区域図の作成		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			3,015	3,175	2,146				
	特定財源			300	301	318				
	一般財源			2,715	2,874	1,828				
	指標名 出前講座参加者人数				単位	人				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		1,414		1,439 1,166		1,452 1,178		1,465 1,198		
評価検証 R4年度の出前講座参加者人数は1,198人であり、目標を達成しませんでした。環境学習支援事業の参加人数は横ばいですが、ごみ懇談会の参加人数は、感染症の影響により自粛していた団体が懇談会の開催を申請し始めたことから、昨年度より実績が増加しました。今後は、学校や団体への周知を増やして、実施校・団体や実施回数が増加につなげていく必要があると考えます。										

施策 16 取組 2 番号 6 事務事業 災害廃棄物処理事業										
目的 大規模災害発生時に、災害廃棄物を適切かつ迅速に処理を進めます。		担当課 清掃事業課								
目標 -										
事業実施状況	・災害廃棄物の処理方法に関する市民周知 ・災害廃棄物を迅速に処理するための準備 ・災害発生時の適正かつ迅速な災害廃棄物の処理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			0	0	0				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			0	0	0				
	指標名 -				単位					
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証 -										

施策 16 取組 2 番号 7 事務事業 清掃施設管理運営事業										
目的 清掃施設を管理運営し、業務を円滑に進めます。		担当課 清掃事業課								
目標 -										
事業実施状況	・清掃センターの管理運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			12,108	10,657	11,211				
	特定財源			824	294	334				
	一般財源			11,284	10,363	10,877				
	指標名 -				単位					
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証 -										

施策 16 取組 2 番号 8 事務事業 旧ごみ埋立処分場管理事業										
目的	旧ごみ埋立処分場を適切に維持管理し、施設周辺の環境保全を図ります。				担当課	清掃事業課				
目標	-									
事業実施状況	・旧ごみ埋立処分場の管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			1,522	1,854	1,885				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			1,522	1,854	1,885				
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 11 事務事業 ごみ収集・運搬事業										
目的	ごみの収集・運搬を円滑に行い、ごみの適正処理を進めます。				担当課	清掃事業課				
目標	-									
事業実施状況	・ごみの収集、運搬業務 ・ごみの収集車両の維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			323,885	316,704	312,267				
	特定財源			257,425	257,425	260,560				
	一般財源			66,460	59,279	51,707				
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 9 事務事業 ごみ処理施設管理運営事業										
目的	一般廃棄物の処理を行う処理施設を管理運営し、廃棄物の効率的な処理を進めます。				担当課	清掃事業課				
目標	-									
事業実施状況	・ごみ処理施設の管理運営(実施主体:十勝圏複合事務組合)(くりんセンター、一般廃棄物最終処分場、リサイクルプラザ)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			812,656	782,862	775,208				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			812,656	782,862	775,208				
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 12 事務事業 ごみ処理手数料収納管理事業										
目的	指定ごみ袋・処理券の管理、ごみ処理手数料の収納業務を適切に進めます。				担当課	清掃事業課				
目標	-									
事業実施状況	・指定ごみ袋、ごみ処理券の作成、保管、配送、販売業務 ・ごみ処理手数料の収納管理事務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			115,533	121,672	122,608				
	特定財源			117,505	116,594	111,575				
	一般財源			△1,972	5,078	11,033				
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 10 事務事業 し尿処理施設管理運営事業										
目的	し尿処理施設を管理運営し、し尿等の効率的な処理を進めます。				担当課	清掃事業課				
目標	-									
事業実施状況	・し尿処理施設の管理運営(実施主体:十勝圏複合事務組合)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			24,964	26,359	29,453				
	特定財源			309	0	217				
	一般財源			24,655	26,359	29,236				
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 13 事務事業 し尿収集・運搬事業										
目的	し尿等の収集・運搬を円滑に行い、し尿等の適正処理を進めます。				担当課	清掃事業課				
目標	-									
事業実施状況	・し尿、汚水の収集、運搬業務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			68,373	68,378	68,400				
	特定財源			20,251	19,756	19,063				
	一般財源			48,122	48,622	49,337				
	指標名		-			単位				
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 16 取組 2 番号 14 事務事業 し尿処理手数料収納管理事業									
目的	し尿処理券の管理、し尿処理手数料の収納業務を適切に進めます。				担当課	清掃事業課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> し尿処理券の作成、販売業務 し尿処理手数料の収納管理業務 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	1,560	1,560	1,507				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	1,560	1,560	1,507				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 16 取組 2 番号 15 事務事業 一般廃棄物処理業関連事業									
目的	一般廃棄物処理業の許可等に関する事務を進めます。				担当課	清掃事業課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理業許可事務 浄化槽清掃業許可事務 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	314	369	347				
		特定財源	825	1,368	999				
		一般財源	△511	△999	△652				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 16 取組 3 番号 1 事務事業 環境監視・測定事業									
目的	環境(大気、河川、騒音、振動、悪臭)の監視・測定や対策に取り組み、生活環境の保全を図ります。				担当課	環境課			
目標	河川水質等の環境基準の達成を維持します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 大気の大気測定調査の実施(各項目市内1箇所、窒素酸化物、微小粒子状物質) 河川の水質測定調査の実施(市内8河川11地点、生活環境項目・健康項目調査) 地下水の水位観測の実施(市内4箇所) 航空機騒音の測定調査の実施(固定局2箇所、移動局4箇所) 道路交通騒音常時監視測定(10路線14区間) 悪臭の測定調査(市内4事業所) 公害苦情対応(41件) PCB廃棄物の処分の実施 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	61,529	50,313	52,279				
		特定財源	45	45	45				
		一般財源	61,484	50,268	52,234				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、環境基準類型指定河川の測定地点6地点のうち1地点で環境基準(BOD75%)をわずかに超過しましたが、その他の類型指定以外の河川を含め、概ね良好な状態を維持しており、目標達成に向け進捗しています。								

施策 16 取組 3 番号 2 事務事業 自然環境保全対策事業									
目的	自然環境保全地区の監視などにより、自然林や生物生息環境など自然環境の保全を図ります。				担当課	環境課			
目標	自然環境保全地区をはじめとした市内森林面積の減少を抑制します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境保全地区の監視(監視員3名、月2回) 移入動物問題等に関する情報提供(HP、広報おびひろ、ラジオ等による情報提供) 環境配慮ガイドラインに基づく取り組みの推進 日高山脈襟裳国定公園の国立公園化に向けた取り組みの推進(期成会要望、実行委員会による子ども向けプログラムの実施) アライグマ防除対策の実施(捕獲頭数:65頭) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	1,486	1,611	2,515				
		特定財源	479	343	331				
		一般財源	1,007	1,268	2,184				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度の市内の森林面積は、私有林等の減少により前年より若干減少しましたが、自然環境保全地区等の自然環境は保全されており、目標達成に向け進捗しています。								

施策 16 取組 3 番号 3 事務事業 環境保全連携促進事業									
目的	市民・事業者・行政の連携により、環境負荷低減の取り組みを進めます。				担当課	環境課			
目標	個人で清掃活動を行うエコフレンズの登録者数の増加を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 帯広市町内会連合会と連携したまち美化の推進(活動広報1回、花苗共同購入事業実施1回:27連合町内会参加) 清掃ボランティア「エコフレンズ」の推進(登録者数3,925名) 清掃ボランティア「クリーン・キャンパス・21」への協力、支援 空き地の草刈り指導(苦情受付件数:66件) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	251	216	196				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	251	216	196				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、エコフレンズ登録者数が減少しましたが、ごみ袋の配付枚数は前年度より1,680枚増えており、市民によるまち美化の活動は着実に進められています。今後も活動への参加や登録者の増加に向けた周知啓発を進めます。								

施策 16 取組 3 番号 4 事務事業 犬等管理事業									
目的	犬等の適正な管理や飼育指導により、狂犬病の発生防止と生活環境の保全を図ります。				担当課	環境課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 畜犬の登録及び狂犬病予防注射の接種促進(新規登録:693頭、注射接種:4,777頭) 犬等の適正飼育の啓発、指導(飼い主へのチラシの送付、町内会回覧による啓発、苦情等による指導件数:24件) 野犬の掃とう(浮浪犬捕獲頭数:9頭) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	10,292	7,900	7,775				
		特定財源	4,304	4,389	4,713				
		一般財源	5,988	3,511	3,062				
	指標名	-				単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 16	取組 0	番号 1	事務事業 環境関連計画推進事業					
目的	環境基本計画などの環境関連計画に基づき、環境保全に関する施策を総合的に推進します。			担当課	環境課			
目標	-							
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広市環境基本計画の推進 ・帯広市環境審議会の開催(2回) ・エネルギーの使用の合理化等に関する法律(省エネ法)に基づく事務 ・帯広市環境モデル都市行動計画の推進 ・帯広市環境基金の管理 ・帯広市エコオフィスプランの推進 ・次期地方公共団体実行計画(区域施策編)の策定に向けた調査 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
		事業費	18,766	33,236	37,474			
		特定財源	12,089	27,216	33,448			
		一般財源	6,677	6,020	4,026			
	指標名	-				単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	-							

施策 17 取組 1 番号 1 事務事業 防災意識普及啓発事業										
目的	防災に関する情報提供や教育、実践的な防災訓練などを通して、防災意識の向上を図ります。				担当課	危機対策課				
目標	防災訓練・講座の参加者数について8,235人を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練の実施 ・冬季防災訓練の実施 ・防災講座の実施(90回) ・地域防災マネージャーの配置(1人) ・洪水ハザードマップの更新 ・土砂災害ハザードマップの作成 ・WEB版ハザードマップの作成 ・防災ガイドの作成及び全戸配布 				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		4,201	5,005	28,987					
	特定財源		0	100	5,100					
	一般財源		4,201	4,905	23,887					
評価検証	R4年度の防災活動への参加者数は5,424人であり、目標を達成しませんでした。コロナ禍による諸活動の自粛が徐々に緩和され、地域防災訓練や冬季防災訓練も人数制限しながら開催してきましたが、町内会による防災出前講座の申し込みがコロナ禍前に比べ大幅に落ち込んでいます。引き続き、各方面への出前講座の申し込みを呼び掛けつつ、新たな防災ガイドや広報紙、インターネットなど様々な媒体を活用して啓発に取り組んでいく必要があります。				指標名		防災活動への参加者数		単位	人
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	7,744			8,235		8,235		8,235		
				4,286		4,529		5,424		

施策 17 取組 3 番号 1 事務事業 建築物耐震化推進事業										
目的	地震による建築物の倒壊の被害や、これに起因する市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止するため、建築物の耐震化を促進します。				担当課	建築開発課				
目標	無料耐震簡易診断(市実施)の実施件数について81件を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断・改修・建替え・除却への支援(診断0件、改修0件、建替え0件、除却4件) ・相談体制の整備 ・パンフレット等による情報提供 ・無料耐震簡易診断の実施 ・第3期耐震改修促進計画の策定 				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		1,875	1,941	415					
	特定財源		1,870	1,936	200					
	一般財源		5	5	215					
評価検証	R4年度の無料耐震簡易診断件数は76件であり、目標を達成しませんでした。無料耐震簡易診断は、住宅耐震化への理解と実践につなげていくものですが、耐震改修費用の負担感などが要因で耐震化が進んでいないと考えます。引き続き、住宅相談で耐震化の重要性を説明するなど、地震防災対策に対する理解の促進を図っていく必要があります。				指標名		無料耐震簡易診断件数		単位	件
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	34			81		81		81		
				66		67		76		

施策 17 取組 2 番号 1 事務事業 要援護者避難支援体制整備事業										
目的	要援護者の把握を進めるとともに、地域などと協力し、避難支援体制を整備します。				担当課	危機対策課				
目標	災害時に自力で避難することが困難な災害時要援護者の避難支援等を定める個別計画の策定完了件数について454件を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・おびひろ避難支援プランの推進(R4年度末:登録者数1,624人、策定完了件数304件、個別計画作成協議会数24) 				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		3,341	3,457	1,251					
	特定財源		0	0	0					
	一般財源		3,341	3,457	1,251					
評価検証	R4年度の災害時要援護者の個別計画策定完了件数は304件(新規作成7件、死亡や施設入所などでの除外41件)であり目標を達成しませんでした。支援者となる地域(町内会)が、制度の複雑さや要援護者の支援を負担に感じ、個別計画作成協議会の設立につながらないことが要因であると考えます。災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者の個別計画の作成が努力義務化されたことを受け、今後は、個別計画を必要とする要支援者の優先度の考え方を整理するとともに、取り組みやすい制度に見直していく必要があります。				指標名		災害時要援護者の個別計画策定完了件数		単位	件
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	334			394		424		454		
				353		338		304		

施策 17 取組 3 番号 2 事務事業 地域防災推進事業										
目的	災害・緊急時の通信体制の確保や避難経路の明示など、避難所や防災拠点施設の維持管理に取り組みます。				担当課	危機対策課				
目標	災害時における市民の適切な避難行動につなげる体制を確保します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の情報発信、連絡体制の整備及び維持管理 ・避難所機能の整備及び維持管理(非常用発電機、ジェットヒーター等) ・防災資機材等整備基準に基づく備蓄品の更新、整備 ・緊急情報一斉伝達システムの運用 				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		89,855	203,384	42,782					
	特定財源		78,382	153,200	10,800					
	一般財源		11,473	50,184	31,982					
評価検証	R4年度は、備蓄基準に基づく備蓄品の整備を計画通りに進め、拠点備蓄倉庫及び各指定避難所の防災備蓄倉庫、自主防災倉庫を適正に維持・管理しました。また、指定避難所の冬季の停電対策として、R5年度から3カ年で行う非常用発電機整備の計画を整え、R5年度整備分(14ヶ所)の実施設計を行いました。また、地域防災無線や緊急情報一斉伝達システムなどの各種通信・周知手段のシステム維持管理及び操作訓練を行い、いずれも適正に作動・操作できる体制を維持しており、目標を達成しました。				指標名		-		単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 17 取組 2 番号 2 事務事業 自主防災組織育成事業										
目的	自主防災組織の育成や指導的役割を担う人材の育成を進め、地域防災力の向上を図ります。				担当課	危機対策課				
目標	自主防災組織への防災出前講座の実施率について77.5%を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広市町内会連合会への支援 ・自主防災組織の育成 ・地域防災マネージャーの配置(1人) 				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		4,372	4,993	5,275					
	特定財源		0	0	0					
	一般財源		4,372	4,993	5,275					
評価検証	R4年度の自主防災組織への防災出前講座実施率は26.6%であり、目標を達成しませんでした。コロナ禍による諸活動の自粛が徐々に緩和されてきましたが、自主防災組織の主体である町内会活動自体がコロナ禍前の状況にまで復調していないことが要因であると考えます。引き続き、様々な機会を通じて講座の周知と自主防災組織の活動支援を行っていく必要があります。				指標名		自主防災組織への防災出前講座実施率		単位	%
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	64.7			71.1		74.3		77.5		
				0.9		21.2		26.6		

施策 17 取組 3 番号 3 事務事業 防災事業										
目的	防災関係機関との連携による防災体制の整備のための事務を行います。				担当課	危機対策課				
目標	民間企業等との防災協定の締結数の増加を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・防災会議の開催(1回) ・民間企業等との防災協定の締結(4件、合計84件) ・自衛官募集事務の実施 ・十勝地方山岳遭難防止対策協議会に係る事務対応 				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
	事業費		660	430	919					
	特定財源		0	28	193					
	一般財源		660	402	726					
評価検証	帯広市の防災体制の強化に向けた協議を民間企業と進めたことにより、R4年度の民間企業等との防災協定締結数は4件となり、R4年度末の協定締結数は84件となっています。引き続き防災力の強化に有効となる協定の締結に取り組みます。				指標名		-		単位	
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 17 取組 3 番号 4 事務事業 国民保護計画推進事業									
目的	国及び道の計画を踏まえ、市の国民保護に関する計画に基づき、関係機関と連携協力し実施する国民保護措置を総合的に推進します。				担当課	危機対策課			
目標	-								
事業実施状況	・国民保護協議会の開催(1回) ・帯広市国民保護計画の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	0	0	0			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	0	0	0			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 配水管整備事業<再掲20-1-1>									
目的	配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定供給を図ります。				担当課	水道課			
目標	-								
事業実施状況	・配水管整備事業 L=2,065.5m ・管路近代化事業 L=9,791.7m		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	-	-	-			
			特定財源	-	-	-			
			一般財源	-	-	-			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 17 取組 3 番号 5 事務事業 河川管理事業									
目的	河川を適切に管理し、洪水などの被害を防止します。				担当課	管理課、道路維持課			
目標	河川敷地の管理や支障木処理、河川パトロールなどを通じ河川を適切に管理します。								
事業実施状況	・樋門樋管の点検管理(36箇所) ・河川敷地の管理 ・河川敷地の支障木処理 ・河川のパトロール		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	7,863	7,487	12,074			
			特定財源	1,495	1,497	4,257			
			一般財源	6,368	5,990	7,817			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、洪水時の被害防止のため、樋門樋管の点検管理や河川敷地の草刈りを行ったほか、河川敷地の支障木の伐採を実施するなど、河川の適正管理に取り組んでおり、目標達成に向け進捗しています。								

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 浄水場等耐震化事業<再掲20-1-2>									
目的	浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。				担当課	水道課			
目標	-								
事業実施状況	・中島配水場の耐震化事業 ・大正配水池の耐震化事業		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	-	-	-			
			特定財源	-	-	-			
			一般財源	-	-	-			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 17 取組 3 番号 6 事務事業 治水対策事業									
目的	国や道に対する十勝川流域水系の整備や適正な管理の要望などを通じ、治水対策を促進します。				担当課	管理課			
目標	-								
事業実施状況	・十勝川治水促進期会を通じた要望活動の実施(要望活動2回、意見交換会2回)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	140	140	140			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	140	140	140			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 17 取組 3 番号 再 事務事業 浸水対策下水道事業<再掲20-1-3>									
目的	雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。				担当課	下水道課			
目標	-								
事業実施状況	・公共下水道雨水管整備事業 ・下水道マンホール蓋取替		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	-	-	-			
			特定財源	-	-	-			
			一般財源	-	-	-			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策	17	取組	3	番号	再	事務事業	災害時体制強化事業<再掲20-1-4>							
目的	自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。					担当課	水道給務課ほか							
目標	-													
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策備蓄資器材等の購入 ・応急給水体制などの整備 ・稲田浄水場の災害対策事業 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
						事業費	-	-	-					
						特定財源	-	-	-					
						一般財源	-	-	-					
						指標名	-					単位		
						基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-													

施策 18 取組 1 番号 1 事務事業 広域消防管理運営事業										
目的		管内自治体と連携し、消防に関する事務の共同処理を進め、効率的な消防体制の充実を図ります。				担当課		消防課		
目標		管内町村との連携により、市町村の枠を越えた消防・救急体制の確保を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・とかち広域消防事務組合を通じた消防に関する事務の共同処理の推進(実施主体:とかち広域消防事務組合) ・指令システム、デジタル無線機器の部分更新 ・水槽付消防ポンプ自動車の更新 ・高規格救急自動車の更新 		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		1,860,449	1,830,552	2,041,957			
			特定財源		16,230	10,847	115,607			
			一般財源		1,844,219	1,819,705	1,926,350			
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		R4年度は、管内19市町村で構成するとかち広域消防事務組合が主体となり、車両整備や指令システム・デジタル無線機器の部分更新など消防に関する事務の共同処理を進めており、目標を達成しました。								

施策 18 取組 1 番号 2 事務事業 消防水利整備事業										
目的		消火栓、防火水槽の新設、維持管理を行い、消防水利を充実します。				担当課		消防課		
目標		-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・消火栓の更新(23基)、移設(2基)、修繕(13基) 		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		30,966	36,714	35,691			
			特定財源		25,100	28,200	29,300			
			一般財源		5,866	8,514	6,391			
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 18 取組 1 番号 3 事務事業 消防行政事業										
目的		消防庁舎の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。				担当課		消防課		
目標		-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・消防庁舎の維持管理 		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		4,441	2,901	2,390			
			特定財源		2,901	2,901	2,390			
			一般財源		1,540	0	0			
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 18 取組 2 番号 1 事務事業 消防団活動促進事業										
目的		消防団員の確保、教育訓練などにより、地域防災力の強化を図ります。				担当課		消防課		
目標		消防団協力事業所の累計数について14事業所を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員確保に向けた普及啓発の実施(消防団員350人、消防団協力事業所新規認定1事業所) ・教育訓練、研修会の充実(教育訓練9回、研修会5回 計897人) ・安全装備品等の整備(雨衣兼防寒衣180着、救命胴衣72着) 		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		41,978	47,253	48,607			
			特定財源		5,198	8,253	3,597			
			一般財源		36,780	39,000	45,010			
	指標名		消防団協力事業所累計数			単位		事業所		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
				11	12 13	13 14	14 15	14 15		
評価検証		R4年度の消防団協力事業所累計数は15事業所であり、目標を達成しました。ホームページや広報おびひろでのPRを実施したほか、興味を示す企業の情報収集を図り、説明の機会を設けることで消防団協力事業所表示制度の理解や関心が得られたほか、一般業務における入団促進活動やSNS等の活用、市公式YouTubeチャンネルによる消防団PR動画の配信など情報発信の強化に取り組んだことにより、消防団制度への理解を深められたことが効果的であったと考えます。								

施策 18 取組 2 番号 2 事務事業 消防団詰所管理事業										
目的		消防団詰所の適切な維持管理などにより、消防体制を維持します。				担当課		消防課		
目標		-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団詰所の維持管理 		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		1,617	1,718	1,749			
			特定財源		0	0	0			
			一般財源		1,617	1,718	1,749			
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 18 取組 2 番号 3 事務事業 消防団詰所整備事業										
目的		消防団詰所の整備を進め、災害に強い消防体制を整備します。				担当課		消防課		
目標		-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団詰所の整備 		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		0	0	0			
			特定財源		0	0	0			
			一般財源		0	0	0			
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 18 取組 2 番号 4 事務事業 消防団車両整備事業										
目的	消防団車両を更新し、消防力を充実します。						担当課	消防課		
目標	-									
事業実施状況			単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			0	27,229	0				
	特定財源			0	25,500	0				
	一般財源			0	1,729	0				
	指標名		-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 18 取組 2 番号 5 事務事業 消防機器更新事業										
目的	消防機器を更新し、消防力を充実します。						担当課	消防課		
目標	-									
事業実施状況	・消防団車両用消防ホース(50mm10本)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			1,254	341	328				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			1,254	341	328				
	指標名		-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 18 取組 2 番号 6 事務事業 消防団車両・装備管理事業										
目的	消防団車両や装備を適切に管理し、消防体制を維持します。						担当課	消防課		
目標	-									
事業実施状況	・消防団に係る消防車両・装備の維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			2,409	3,126	2,782				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			2,409	3,126	2,782				
	指標名		-				単位			
	基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-									

施策 19 取組 1 番号 1 事務事業 交通安全教育推進事業									
目的	児童や高齢者等への交通安全教育を進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。				担当課	危機対策課			
目標	交通安全教室の参加者数について38,204人を目指します。								
事業実施状況	・交通安全教室の実施(283回、21,284人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・交通安全誘導の実施(1,279回)		事業費	6,567	15,722	15,912			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	6,567	15,722	15,912			
	指標名	交通安全教室の参加者数				単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	37,013		38,204		38,204		38,204		
			23,207		19,908		21,284		
評価検証	R4年度の交通安全教室の参加者数は21,284人であり、目標を達成しませんでした。小中学校や保育所を中心に開催している交通安全教室の開催回数が、新型コロナウイルス感染症の影響により減少したことが要因と考えます。今後、多くの市民の参加によって交通安全意識の向上を図るため、交通安全教室の周知方法や開催手法の工夫が必要であると考えます。								

施策 19 取組 1 番号 2 事務事業 交通安全運動推進事業										
目的	関係機関・団体と連携し、交通事故防止の啓発活動を進め、市民の交通安全意識の向上を図ります。				担当課	危機対策課				
目標	高齢者向けドライビング体験会の参加者数について270人を目指します。									
事業実施状況	・交通安全街頭啓発の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・交通安全研修会の開催(1回)		事業費	15,821	7,467	7,591				
	・交通安全体験会の開催(3回)		特定財源	0	0	0				
	・交通安全市民会議の開催(2回)		一般財源	15,821	7,467	7,591				
	・交通安全に関する広報活動の実施		指標名	高齢者向け体験会の参加者数				単位	人	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
	249		264		267		270			
					15		58			
評価検証	R4年度の高齢者向けドライビング体験会の参加者数は58人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策のため、少人数で開催したことが要因と考えます。今後、高齢ドライバーの運転技術及び適性のチェックによる交通事故の未然防止を図るため、関係機関と連携し、体験会の参加者を増やすための開催手法を工夫していく必要があると考えます。									

施策 19 取組 1 番号 3 事務事業 防犯意識啓発事業									
目的	防犯に関する情報提供や街頭啓発、自主的な学習活動の促進により、市民の防犯意識の向上を図ります。				担当課	危機対策課			
目標	防犯・不審者にかかる安心安全ニュース1件あたりのリーチ数について3,465件を目指します。								
事業実施状況	・防犯グッズ展の開催(1回)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・防犯パトロールの実施(1,492回)		事業費	7,504	7,053	7,486			
	・防犯関係団体の活動への支援		特定財源	0	0	0			
	・防犯に関する周知・啓発(安心安全ニュース60件発信)		一般財源	7,504	7,053	7,486			
	指標名	防犯・不審者にかかる安心安全ニュース1件当たりリーチ数				単位	件		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	3,051		3,253		3,357		3,465		
			3,365		1,920		1,421		
評価検証	R4年度の防犯・不審者にかかる安心安全ニュース1件当たりリーチ数は1,421件であり、目標を達成しませんでした。一方で市の防犯情報に関する公式LINEの登録者数は、R4年度末で13,433人と増加傾向であり、防犯・不審者情報の入手方法が変化してきていることから、今後も同様の傾向が予想されます。今後はこうした状況を踏まえ、市民の防犯意識の動向を把握しながら、防犯意識の一層の向上につなげていく必要があります。								

施策 19 取組 1 番号 4 事務事業 交通安全施設整備事業(危機対策課)									
目的	学校周辺や危険箇所における、交通安全に関する標識の設置や歩道の整備により、安全な交通環境の整備を進めます。				担当課	危機対策課			
目標	-								
事業実施状況	・信号機設置等の要望活動の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・交通安全注意喚起看板の設置		事業費	869	836	865			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	869	836	865			
	指標名	-				単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 19 取組 1 番号 5 事務事業 交通安全施設整備事業(土木課)									
目的	学校周辺や危険箇所における歩道の整備を進め、安全な交通環境を確保します。				担当課	土木課			
目標	-								
事業実施状況	・幹線道路や生活道路における歩道の整備		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・通学路などの歩道の再整備(南26丁目西線)		事業費	9,559	9,394	4,807			
			特定財源	8,600	8,500	4,300			
			一般財源	959	894	507			
	指標名	-				単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 19 取組 1 番号 6 事務事業 交通安全対策特別交付金対象事業									
目的	視線誘導標や区画線など、交付金を活用した交通安全施設の設置により、安全な交通環境を確保します。				担当課	道路維持課			
目標	-								
事業実施状況	・視線誘導標の設置(26本)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・区画線の設置(延長L=66.2km)		事業費	24,310	24,321	27,907			
			特定財源	6,300	0	0			
			一般財源	18,010	24,321	27,907			
	指標名	-				単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 19 取組 1 番号 7 事務事業 防犯灯整備支援事業									
目的	防犯灯の新設や更新、維持管理を支援し、安全な生活環境の整備を促進します。				担当課	市民活動課			
目標	-								
事業実施状況	・町内会の防犯灯新設、更新の支援(77灯)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・町内会の防犯灯維持費用の支援(16,316灯)		事業費	60,098	58,770	61,168			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	60,098	58,770	61,168			
	指標名		-			単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 19 取組 2 番号 3 事務事業 消費生活相談支援事業									
目的	消費生活相談や消費者講座の実施などにより、消費者被害の未然防止や消費生活の向上を図ります。				担当課	商業労働課			
目標	消費生活に関する相談機能を維持します。								
事業実施状況	・消費生活アドバイスセンターの運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・地域消費者講座の開催		事業費	23,521	23,939	21,369			
	・消費生活相談員の資質向上		特定財源	5,630	5,820	3,871			
	・専門家による相談の実施		一般財源	17,891	18,119	17,498			
	・消費者被害防止啓発資料の作成・配布(委託料21,369千円、相談実績:1,230件)		指標名	-			単位	-	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、相談員の研修派遣や、弁護士相談の実施等の適切な消費生活相談などを通じ、相談機能の維持に繋がっており、目標を達成しました。								

施策 19 取組 2 番号 1 事務事業 消費者活動促進事業									
目的	消費生活に関する講座や講演会の開催などにより、消費者被害の未然防止や合理的な消費生活を促進します。				担当課	商業労働課			
目標	消費生活に関する講座等の参加者数について2,943人を目指します。								
事業実施状況	・消費生活に関する講座、講演会の開催(1,717人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・消費生活展の開催(250人)		事業費	1,435	1,355	1,577			
	・消費生活審議会の開催(書面開催1回)		特定財源	0	0	0			
	・消費者団体の活動支援(332人)		一般財源	1,435	1,355	1,577			
	指標名		消費生活に関する講座等の参加者数			単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	2,575		2,943		2,943		2,943		
			879		1,081		2,299		
評価検証	R4年度の消費生活に関する講座等の参加者数は2,299人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年どおりのイベント開催ができなかったことや、出前講座申込等の自粛に係る参加者の減少が要因であると考えます。消費生活に関する講座の開催手法の見直しやイベントの再開等の検討、周知の強化を図ることが必要と考えます。								

施策 19 取組 2 番号 4 事務事業 計量適正化推進事業									
目的	計量器や商品表示などの検査・指導により、適正な取引を促進します。				担当課	商業労働課			
目標	-								
事業実施状況	・検査、指導の実施(計量器定期検査:139戸293台、量目立入検査:10戸、2,001個)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	4,237	3,989	4,003			
			特定財源	0	1,283	0			
			一般財源	4,237	2,706	4,003			
	指標名		-			単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 19 取組 2 番号 2 事務事業 消費者情報提供活動事業									
目的	消費生活に関する情報の収集・提供などにより、市民の安全で合理的な消費生活を支援します。				担当課	商業労働課			
目標	食料品・雑貨・燃料の小売価格を掲載したホームページの閲覧数について4,252件を目指します。								
事業実施状況	・消費生活に関する情報提供		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・小売価格調査の実施(毎月10日、生活関連商品等32品目、36品の価格を調査)		事業費	5,404	5,458	5,460			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	5,404	5,458	5,460			
	指標名		小売価格調査HP閲覧数			単位	件		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
	3,039		4,252		4,252		4,252		
			3,489		2,485		2,622		
評価検証	R4年度の小売価格調査HP閲覧数は2,622件であり、目標を達成しませんでした。世界情勢や新型コロナウイルス感染症に関する情報など、他分野の大きなトピックスへ消費者の関心が推移したことなどの様-な要因により、小売価格調査HP閲覧数が伸び悩んだと考えます。今後も引き続き一般消費者に対し、消費生活に関する情報の発信や小売価格調査の実施等を通じて安全で合理的な消費生活の支援を行うとともに、新たな情報発信の手段等についても検討していく必要があると考えます。								

施策 20 取組 1 番号 1 事務事業 配水管整備事業										
目的 配水管の計画的な更新による耐震性の向上などを進め、水道水の安定的供給を図ります。			担当課		水道課					
目標 -										
事業実施状況	・配水管整備事業 L=2,065.5m ・管路近代化事業 L=9,791.7m		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			755,304	935,408	1,041,942				
	特定財源			755,304	935,408	1,004,442				
	一般財源			0	0	37,500				
	指標名		-			単位				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 20 取組 1 番号 4 事務事業 災害時体制強化事業										
目的 自然災害等による被害を最小限にとどめ、被害を受けた場合であっても迅速に復旧できる上下水道の体制強化を図ります。			担当課		水道総務課ほか					
目標 -										
事業実施状況	・災害対策備蓄資器材等の購入 ・応急給水体制などの整備 ・稲田浄水場の災害対策事業		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			80,135	113,939	139,921				
	特定財源			80,135	113,939	128,737				
	一般財源			0	0	11,184				
	指標名		-			単位				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 20 取組 1 番号 2 事務事業 浄水場等耐震化事業										
目的 浄水場等の計画的な耐震化により、水道水の安定供給を図ります。			担当課		水道課					
目標 -										
事業実施状況	・中島配水場の耐震化事業 ・大正配水池の耐震化事業		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			26,081	17,499	51,205				
	特定財源			26,081	17,499	51,205				
	一般財源			0	0	0				
	指標名		-			単位				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 20 取組 1 番号 5 事務事業 浄水場等施設整備事業										
目的 浄水場等の計画的かつ効率的な更新などにより、水道機能を保全し、水道水の安定供給を図ります。			担当課		水道課					
目標 -										
事業実施状況	・中島配水場などの設備更新 ・川西地区受水切替事業L=2,087.2m ・岩内浄水場などの設備更新		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			239,333	460,335	207,578				
	特定財源			239,333	460,335	207,578				
	一般財源			0	0	0				
	指標名		-			単位				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 20 取組 1 番号 3 事務事業 浸水対策下水道事業										
目的 雨水管の整備などにより、浸水地域の解消を図り、安全で快適な生活環境づくりを進めます。			担当課		下水道課					
目標 -										
事業実施状況	・公共下水道雨水管整備事業 ・下水道マンホール蓋取替		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			485,670	639,737	512,135				
	特定財源			477,441	629,957	504,372				
	一般財源			8,229	9,780	7,763				
	指標名		-			単位				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 20 取組 1 番号 6 事務事業 未普及解消下水道事業										
目的 污水管の整備により、未整備地区の解消を図り、快適な生活環境づくりを進めます。			担当課		下水道課					
目標 -										
事業実施状況	・公共下水道污水管整備事業		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			68,166	54,096	25,920				
	特定財源			68,166	54,096	25,920				
	一般財源			0	0	0				
	指標名		-			単位				
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証 -										

施策 20 取組 1 番号 7 事務事業 管渠長寿命化更新事業									
目的	下水道管の長寿命化を進め、下水道機能を適切に維持します。				担当課	下水道課			
目標	-								
事業実施状況	・管渠長寿命化更新事業		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			22,605	23,320	60,313			
	特定財源			22,605	23,320	60,230			
	一般財源			0	0	83			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 20 取組 1 番号 10 事務事業 農村下水道施設整備事業									
目的	農村下水道の整備により、農村部における快適な生活環境づくりを進めます。				担当課	下水道課			
目標	-								
事業実施状況	・個別排水処理施設の整備 ・清川下水処理場などの設備更新		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			36,828	47,559	78,375			
	特定財源			36,828	47,559	78,375			
	一般財源			0	0	0			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 20 取組 1 番号 8 事務事業 流域下水道事業									
目的	北海道が所管する十勝川流域下水道浄化センターの改修や耐震化等により、施設の機能維持と災害に強い施設づくりを進めます。				担当課	下水道課			
目標	-								
事業実施状況	・十勝川流域下水道浄化センターの施設整備(実施主体:北海道)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			16,950	69,850	84,799			
	特定財源			15,232	67,532	80,008			
	一般財源			1,718	2,318	4,791			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 20 取組 2 番号 1 事務事業 情報提供事業									
目的	イベントなどを通じたPRや積極的な情報発信により、上下水道に関する理解を促進し、市民との協働により事業を進めます。				担当課	水道総務課、下水道課			
目標	水道水ができるまでの仕組みや水の大切さを伝える水を見る週間の来場者数について861人を目指します。								
事業実施状況	・イベントによるPRや学習機会の提供 ・広報紙やホームページなどによる情報提供 ・ペットボトル水の製造・販売・PR ・マンホールカードの制作		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			4,789	4,866	5,258			
	特定財源			4,152	4,487	4,702			
	一般財源			637	379	556			
	指標名		水を見る週間来場者数			単位		人	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
			687	861	861	861			
評価検証	R4年度の水を見る週間は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場者数の把握を行わない、展示のみによるイベント開催としたほか、ホームページを活用した情報発信、転入者向けの「水道・下水道のしおり」の全戸配布などを行いました。今後も、市民の上下水道に関する理解促進に向け、PRや情報発信に取り組んでいく必要があると考えます。								

施策 20 取組 1 番号 9 事務事業 汚水処理施設統合事業									
目的	汚水の一括処理を進め、適正な施設規模による下水道サービスの安定供給を図ります。				担当課	下水道課			
目標	-								
事業実施状況	・終末処理場などの改修、設備更新		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			60,973	398,577	729,166			
	特定財源			60,872	397,140	729,100			
	一般財源			101	1,437	66			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 20 取組 2 番号 2 事務事業 量水器整備事業									
目的	水道メーターや止水栓の更新などにより、漏水の防止など、利用者サービスの向上を図ります。				担当課	水道課			
目標	-								
事業実施状況	・水道メーターの更新 ・止水栓の更新 ・作業時間の短縮が可能な「掘削しないメーターボックス」への更新		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			374,870	410,255	393,029			
	特定財源			374,870	410,255	393,029			
	一般財源			0	0	0			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 20 取組 2 番号 3 事務事業 利用者サービス推進事業									
目的	上下水道に関する利用者の負担軽減や利便性向上などにより、利用者サービスの向上を図ります。				担当課	水道総務課、水道課、料金課			
目標	水道料金・下水道使用料の納付の利便性を高める手法の導入を目指します。								
事業実施状況	・水道凍結注意チラシの作成・配布 ・キャッシュレス決済の導入		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			2,279	6,364	585			
	特定財源			2,279	2,491	585			
	一般財源			0	3,873	0			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度よりバーコードによるキャッシュレス決済を導入し、水道料金・下水道使用料の納付の利便性が向上したことから、目標達成に向け進捗しています。								

施策 20 取組 2 番号 6 事務事業 財政基盤強化対策事業									
目的	業務の効率化などにより、持続可能な財政基盤を確保し、上下水道事業を健全に経営します。				担当課	水道総務課ほか			
目標	上下水道事業の健全で安定的な経営を維持します。								
事業実施状況	・GISや各種業務システムの活用 ・終末処理場の包括民間委託の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			201,955	197,952	243,086			
	特定財源			201,955	197,952	243,086			
	一般財源			0	0	0			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は電気代等の高騰に伴うコスト増加の影響により、下水道事業の純損益で上下水道ビジョンの収支見通しを下回ったものの、適切な維持管理や業務の効率化を推進する中で、水道事業会計の純損益と両会計の累積資金残高は上下水道ビジョンの収支見通し以上を確保できており、健全で安定的な経営を維持できています。								

施策 20 取組 2 番号 4 事務事業 組織力向上対策事業									
目的	上下水道の知識や技術の継承などを進め、質の高い上下水道サービスの提供を図ります。				担当課	水道総務課ほか			
目標	質の高い上下水道サービスの提供につながる先進地等研修の参加数について8人を目指します。								
事業実施状況	・研修会、講習会などへの参加		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			358	905	1,803			
	特定財源			358	905	1,803			
	一般財源			0	0	0			
	指標名		先進地等研修参加数			単位		人	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
			8	8			8		
			7	10			9		
評価検証	R4年度の先進地域等研修会及び講習会への参加者数は9人であり、目標を達成しました。今後も質の高い上下水道サービスの提供に向けて、職員の専門的な知識や技術の習得を進めます。								

施策 20 取組 2 番号 7 事務事業 水道施設維持管理事業									
目的	適切な水道施設の維持管理などにより、水道事業を安定的に運営します。				担当課	水道課			
目標	-								
事業実施状況	・配水管、水道施設、量水器の維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			345,467	354,549	370,773			
	特定財源			317,536	318,141	370,773			
	一般財源			27,931	36,408	0			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 20 取組 2 番号 5 事務事業 水道料金・下水道使用料収納事業									
目的	料金・使用料の適正な調定・収納や収入の確保に向けた取り組みを進め、上下水道事業を健全に経営します。				担当課	料金課			
目標	-								
事業実施状況	・水道メーターの検針 ・水道料金、下水道使用料の調定、収納事務 ・収納率向上対策の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			296,409	298,035	295,348			
	特定財源			296,409	298,035	291,742			
	一般財源			0	0	3,606			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 20 取組 2 番号 8 事務事業 下水道施設維持管理事業									
目的	適切な下水道施設の維持管理などにより、下水道事業を安定的に運営します。				担当課	下水道課			
目標	-								
事業実施状況	・下水道管の維持管理 ・終末処理場の維持管理 ・個別排水処理施設、農業集落排水施設の維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			369,515	384,134	583,315			
	特定財源			369,515	384,134	583,315			
	一般財源			0	0	0			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 20 取組 2 番号 9 事務事業 水道事業経営管理事業										
目的	水道事業の適切な管理運営により、水道水の安定供給を図ります。						担当課	水道総務課		
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道ビジョンの推進 ・帯広市公営企業経営審議会の開催 ・企業債の償還及び資金運用 ・資産の管理 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	4,216,777	4,124,594	3,998,223					
		特定財源	4,186,205	4,094,159	3,540,970					
		一般財源	30,572	30,435	457,253					
	指標名	-						単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 20 取組 2 番号 12 事務事業 下水道普及促進事業										
目的	下水道の利用を促進し、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図ります。						担当課	下水道課		
目標	下水道未接続家屋の減少を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道への接続の普及啓発 ・排水設備改造資金の貸付 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	8,580	6,211	7,309					
		特定財源	8,580	6,211	7,309					
		一般財源	0	0	0					
	指標名	-						単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、戸別訪問や文書指導、排水設備改造資金貸付制度の周知などにより、目標どおり下水道未接続家屋は減少しており、目標達成に向け進捗しています。									

施策 20 取組 2 番号 10 事務事業 下水道事業経営管理事業										
目的	下水道事業の適切な管理運営により、生活環境の保全や公衆衛生の向上を図ります。						担当課	水道総務課		
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道ビジョンの推進 ・帯広市公営企業経営審議会の開催 ・企業債の償還及び資金運用 ・資産の管理 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	5,553,677	5,384,445	5,329,241					
		特定財源	4,304,973	4,067,278	3,968,127					
		一般財源	1,248,704	1,317,167	1,361,114					
	指標名	-						単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 20 取組 2 番号 13 事務事業 水道水源水質保全事業										
目的	札内川の水質調査などにより、水源の水質を保全し、安全な水道水の供給を図ります。						担当課	水道課		
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・札内川上流域等の河川表流水調査 ・札内川上流域等の水源水質調査 ・水道法に基づく水質基準検査 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	55,260	51,676	39,974					
		特定財源	55,260	51,676	39,974					
		一般財源	0	0	0					
	指標名	-						単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 20 取組 2 番号 11 事務事業 上下水道資源有効利用事業										
目的	浄水・下水処理の過程で発生する資源の有効利用により、環境負荷の軽減を図ります。						担当課	下水道課		
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・十勝川流域下水道浄化センターとの共同乾燥処理 ・下水汚泥の耕地への還元 ・発生ガスの有効活用 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	30,332	29,699	29,261					
		特定財源	30,332	29,699	29,261					
		一般財源	0	0	0					
	指標名	-						単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 21 取組 1 番号 1 事務事業 にぎわいづくり支援事業										
目的	歩行者天国などの取り組みを支援し、中心市街地のにぎわいを創出します。				担当課	商業労働課				
目標	中心市街地におけるイベント実施時の歩行者通行量（6地点）について14,504人を目指します。									
事業実施状況	・歩行者天国、イルミネーションなどの取り組みへの支援（歩行者通行量(6地点)4,667人)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			1,070	1,154	2,467				
	特定財源			500	500	500				
	一般財源			570	654	1,967				
	指標名	イベント実施時の歩行者通行量(6地点)				単位	人			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		14,121	14,105 3,608	14,239 3,464	14,504 4,667					
評価検証	R4年度のイベント実施時の歩行者通行量（6地点）は4,667人であり、目標を達成しませんでした。R3年度比較では回復傾向にあり、今後、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類へ引き下げられたことにより、更に人の移動が活発になることが予測されるため、中心市街地の歩行者通行量増加のため、事業を継続していく必要があると考えます。									

施策 21 取組 1 番号 2 事務事業 市民活動交流センター管理運営事業										
目的	市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通じた中心市街地のにぎわいの創出を図ります。				担当課	商業労働課				
目標	-									
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営 ・市民活動交流センターの一時移転		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			31,506	31,720	32,034				
	特定財源			79	85	163				
	一般財源			31,427	31,635	31,871				
	指標名	-				単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 21 取組 1 番号 3 事務事業 駅北多目的広場管理事業										
目的	駅北多目的広場の管理により、イベントなどへの活用の促進を通じた中心市街地のにぎわいの創出を図ります。				担当課	商業労働課				
目標	-									
事業実施状況	・駅北多目的広場の管理、整備		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			1,302	1,267	1,281				
	特定財源			194	239	401				
	一般財源			1,108	1,028	880				
	指標名	-				単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 21 取組 1 番号 4 事務事業 市営駐車場管理運営事業										
目的	市営駐車場の管理運営により、中心市街地を訪れる人の利便性の確保を図ります。				担当課	商業労働課				
目標	-									
事業実施状況	・市営駐車場の管理運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			84,531	37,921	18,351				
	特定財源			0	9,640	18,351				
	一般財源			84,531	28,281	0				
	指標名	-				単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 21 取組 1 番号 5 事務事業 中心市街地整備事業										
目的	市街地再開発事業などにより、街なか居住の促進や交流人口の拡大を図ります。				担当課	商業労働課				
目標	-									
事業実施状況	-		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			846,877	707,914	0				
	特定財源			846,877	707,914	0				
	一般財源			0	0	0				
	指標名	-				単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 21 取組 1 番号 6 事務事業 中心市街地活性化基本計画推進事業										
目的	関係機関と連携しながら中心市街地活性化基本計画を推進し、にぎわいのある中心市街地の形成を図ります。				担当課	商業労働課				
目標	-									
事業実施状況	・中心市街地活性化基本計画の進捗管理 ・中心市街地活性化協議会への運営支援 ・中心市街地活性化事業の推進 ・まちなか居住及び開業の相談対応、情報提供 ・中心市街地活性化に向けた人材の発掘、育成		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			7,437	16,091	12,232				
	特定財源			0	6,600	0				
	一般財源			7,437	9,491	12,232				
	指標名	-				単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 21 取組 2 番号 1 事務事業 帯広の森づくり活動促進事業										
目的	帯広の森における市民の自主的な森づくり活動を促進するとともに、その活動を支援します。				担当課	みどりの課				
目標	帯広の森の育成に関わる活動者数の増加を目指します。									
事業実施状況	・帯広の森づくり協議会の運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・帯広の森づくり活動団体の承認		事業費	816	806	810				
	・帯広の森利活用事業の実施(活動者数2,597人)		特定財源	809	798	804				
	・植生、小動物等調査の実施		一般財源	7	8	6				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら、体験機会の提供や森づくり活動など、森の利活用に取り組みました。帯広の森の育成に関わる活動者数は増加しており、目標の達成に向けて進捗しています。									

施策 21 取組 2 番号 4 事務事業 公園整備事業										
目的	公園緑地の整備により、市民のレクリエーションや憩いの場等を提供します。				担当課	みどりの課				
目標	-									
事業実施状況	・緑地の整備(中島緑地)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・公園の整備(南町中央公園)		事業費	150,711	97,853	113,286				
	・河川管理者などの関係機関と協議、連携		特定財源	136,536	85,439	100,224				
			一般財源	14,175	12,414	13,062				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 21 取組 2 番号 2 事務事業 花いっぱい推進事業										
目的	市民協働による花とみどりの環境づくりなどにより、市民の緑化意識の向上を図ります。				担当課	みどりの課				
目標	市民協働による花とみどりの環境づくりの機会の提供等により、市民の緑化意識の醸成を図ります。									
事業実施状況	・花壇コンクール事業の実施(73団体)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・フラワー通り整備事業の実施(32団体)		事業費	3,796	4,324	5,820				
	・花による緑化活動団体への支援(花コミュニケーションとから、とからオープンガーデンなど)		特定財源	3,746	3,874	5,359				
	・市民協働のモデルガーデン事業などによる庭づくりなどの推進		一般財源	50	450	461				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら、花壇コンクールの花壇造成場所を拡大したほか、花壇コンクールやフラワー通り整備事業等の新たな参加団体の掘り起こしに取り組んでおり、目標の達成に向けて進捗しています。									

施策 21 取組 2 番号 5 事務事業 公園管理運営事業										
目的	草刈や樹木の剪定・遊具の安全点検など公園を適切に維持管理し、安全で快適な利用環境の確保や多様な利活用を促進します。				担当課	みどりの課				
目標	-									
事業実施状況	・公園・緑地の維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・みどりと花のセンターの管理運営		事業費	235,833	257,775	268,808				
	・公園の多様な利活用の促進		特定財源	2,141	2,193	2,939				
			一般財源	233,692	255,582	265,869				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 21 取組 2 番号 3 事務事業 緑化推進事業										
目的	緑の基本計画に基づく緑地の保全や緑化の推進に総合的に取り組みます。				担当課	みどりの課				
目標	市民の緑化に対する意識を高めながら、適切な緑地の保全や緑化の推進に取り組めます。									
事業実施状況	・緑化審議会の開催		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・みどりの基本計画の推進		事業費	13,871	30,267	32,254				
	・緑の募金活動の実施		特定財源	13,619	29,143	30,920				
	・おびひろマナーフェスト事業による苗木の配布(45本)		一般財源	252	1,124	1,334				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら緑化協議や慶事記念樹の贈呈、緑化活動団体との連携・支援等に取り組んでおり、適切な緑地の保全や緑化の推進に向けて進捗しています。									

施策 21 取組 2 番号 6 事務事業 帯広の森管理運営事業										
目的	帯広の森を適切に管理し、帯広の森の育成や利活用の促進を図ります。				担当課	みどりの課				
目標	-									
事業実施状況	・帯広の森維持管理、育成管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・帯広の森はぐくむの管理運営		事業費	55,733	56,476	56,578				
	・十勝飛行場周辺伐採跡地の維持管理・育成管理		特定財源	3,552	4,563	3,593				
			一般財源	52,181	51,913	52,985				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 21 取組 2 番号 7 事務事業 既存公園整備事業									
目的	公園施設の改修・更新などにより、安全で快適な利用環境を維持します。				担当課	みどりの課			
目標	-								
事業実施状況	・公園施設長寿命化計画に基づく公園施設(木製遊具等)の更新				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					71,137	60,346	61,556	
	特定財源					64,870	55,942	58,641	
	一般財源					6,267	4,404	2,915	
	指標名				-	単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 21 取組 2 番号 8 事務事業 帯広の森整備事業									
目的	運動施設等と連絡する園路などの整備を進め、散歩や森林浴など市民の多様な利活用を促進します。				担当課	みどりの課			
目標	-								
事業実施状況	・休養施設の整備(築山周辺) ・園路、駐車場等の整備(十勝飛行場周辺)				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					22,297	15,356	82,917	
	特定財源					21,148	14,928	81,862	
	一般財源					1,149	428	1,055	
	指標名				-	単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 21 取組 3 番号 1 事務事業 住宅サポートシステム事業									
目的	住まいに関する情報の提供や相談業務、住宅建設費への支援などにより、良質な住宅取得を促進します。				担当課	建築開発課			
目標	相続や売却をはじめ住宅に関する様々な相談に応じる住まいのワンストップ相談窓口の利用件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・市HP、リーフレットなどによる住情報の提供 ・住まいの総合相談窓口対応 ・住まいのワンストップ相談窓口の実施(実施回数15回、相談者数27名、相談員数延40名) ・良質な住宅の新築への支援				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					10,213	3,785	2,442	
	特定財源					4,689	2,043	1,054	
	一般財源					5,524	1,742	1,388	
	指標名				-	単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、ホームページや広報紙、ラジオ、関連イベント等を通じて取り組みの周知を行ったことで、住まいのワンストップ相談窓口の利用件数は横ばいに推移しており、目標達成に向け進捗しています。今後も、住まいに関する情報の提供や、良質な住宅取得の促進にむけ、市民のニーズに合わせた相談対応に努めていく必要があると考えます。								

施策 21 取組 3 番号 2 事務事業 住まいの改修助成事業									
目的	住宅改修を促進し、住宅環境の向上を図ります。				担当課	建築開発課			
目標	市の支援による住宅の長寿命化や省エネ化の実施件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・住宅改修への助成の実施(申請件数448件、交付決定404件、助成件数399件(5件取りやめ))				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					21,112	21,175	21,675	
	特定財源					9,000	8,842	8,977	
	一般財源					12,112	12,333	12,698	
	指標名				-	単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、引き続き随時申請として、助成金の周知啓発を行い、前年より申込・助成件数ともに増加し、目標達成に向け進捗しています。今後も、住宅改修の促進による住宅環境の向上に向け、制度の周知啓発を進めていく必要があると考えます。								

施策 21 取組 3 番号 3 事務事業 ユニバーサルデザイン住宅普及促進事業									
目的	ユニバーサルデザイン住宅に関する相談や支援により、住宅環境の向上を図ります。				担当課	建築開発課			
目標	誰もが暮らしやすい住宅についてのアドバイスを行うユニバーサルアドバイザーへの相談件数の増加を目指します。								
事業実施状況	・福祉、保健医療及び建築の専門知識を有するアドバイザーによるユニバーサルデザイン住宅相談会の実施 ・ユニバーサルデザイン住宅補助金の実施(相談会13回実施、相談件数21件、補助件数改造16件)				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					7,929	7,515	6,556	
	特定財源					4,002	2,448	2,939	
	一般財源					3,927	5,067	3,617	
	指標名				-	単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、相談会への参加希望が無かった日もあり、相談件数が減少したことから、目標達成に向けあまり進捗していません。今後も、ユニバーサルデザイン住宅の普及に向け、より参加しやすい相談体制の構築と、身体状況や居住環境等に考慮した個別の相談対応などに努めていく必要があると考えます。								

施策 21 取組 3 番号 4 事務事業 空家等対策事業									
目的	空家等の発生の抑制や、危険な空家等(特定空家等)の解消の促進を図ります。				担当課	建築開発課			
目標	放置すると倒壊等のおそれがある特定空家等の減少を目指します。								
事業実施状況	・水道データに基づく実態調査の実施 ・特定空家等の調査、認定及び措置 ・リーフレットなどによる情報発信 ・ワンストップ相談窓口などによる相談対応 ・改修補助、特定空家解体補助金などの実施(相談件数82件、補助件数 改修2件、解体4件)				単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					3,561	1,687	2,840	
	特定財源					2,500	912	1,000	
	一般財源					1,061	775	1,840	
	指標名				-	単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、空き家所有者等へのリーフレット送付や、空き家に関する相談対応などにより、空き家の除却、利活用が進んでおり、目標達成に向け進捗しています。								

施策 21 取組 4 番号 1 事務事業 地域優良賃貸住宅整備事業											
目的	民間事業者等による公的賃貸住宅の供給により、子育て世帯等への良好な居住環境の提供を図ります。							担当課	住宅営繕課		
目標	-										
事業実施状況	・地域優良賃貸住宅の供給(子育て世帯向け住宅 15戸整備)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費			25,467	15,370	19,450					
	特定財源			25,433	15,353	19,433					
	一般財源			34	17	17					
	指標名		-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 4 事務事業 公営住宅維持修繕事業											
目的	公営住宅等の維持修繕を行い、住宅の機能維持を図ります。							担当課	住宅営繕課		
目標	-										
事業実施状況	・公営住宅の設備、駐車場等の維持修繕		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費			147,086	158,282	187,962					
	特定財源			639,483	629,463	635,619					
	一般財源			△492,397	△471,181	△447,657					
	指標名		-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 2 事務事業 ストック総合改善事業											
目的	公営住宅の個別改善を進め、良好な居住環境を提供します。							担当課	住宅営繕課		
目標	-										
事業実施状況	・福祉対応や長寿命化等の個別改善(北郊団地、柏林台団地西町、大正第二団地、清川団地)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費			73,143	83,822	92,293					
	特定財源			70,986	81,404	89,882					
	一般財源			2,157	2,418	2,411					
	指標名		-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 5 事務事業 公営住宅管理運営事業											
目的	公営住宅を適切に管理し、良好な居住環境を提供します。							担当課	住宅営繕課		
目標	-										
事業実施状況	・公営住宅の管理 ・借上公営住宅の管理 ・入居事務 ・公営住宅審議会の開催 ・公営住宅使用料の賦課、徴収事務 ・公営住宅使用料の収納率向上対策の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費			191,609	172,286	168,642					
	特定財源			91,159	89,720	97,062					
	一般財源			100,450	82,566	71,580					
	指標名		-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 3 事務事業 公営住宅整備事業											
目的	老朽化した公営住宅を建替し、良好な居住環境を提供します。							担当課	住宅営繕課		
目標	-										
事業実施状況	・公営住宅の建替(大空団地4街区)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費			426,216	297,011	249,790					
	特定財源			413,207	296,856	249,625					
	一般財源			13,009	155	165					
	指標名		-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 21 取組 4 番号 6 事務事業 高齢者向け等優良賃貸住宅供給促進事業											
目的	地域優良賃貸住宅等への家賃補助を行い、高齢者、子育て世帯への居住の安定確保を進めます。							担当課	住宅営繕課		
目標	-										
事業実施状況	・高齢者向け等優良賃貸住宅の家賃支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	事業費			47,236	52,888	57,723					
	特定財源			21,372	26,562	28,524					
	一般財源			25,864	26,326	29,199					
	指標名		-			単位					
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値				
評価検証	-										

施策 21 取組 5 番号 1 事務事業 市道除雪事業									
目的	除雪作業の実施による安全な道路通行の確保や除雪方法等の情報発信を進めます。				担当課	道路維持課			
目標	除雪に関する問い合わせ件数について1,200件以下を目指します。								
事業実施状況	・道路除雪業務 ・砂散布などの凍結路面対策の実施 ・雪捨場の管理 ・町内会が主体となり除排雪を行う「パートナーシップ除排雪」の促進 ・除雪方法等の情報発信		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	1,000,756	879,867	1,044,755			
			特定財源	5,008	5,576	22,669			
			一般財源	995,748	874,291	1,022,086			
			指標名	除雪に関する問い合わせ件数			単位	件	
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		1,941	1,200 876	1,200 1,862	1,200 1,556				
評価検証	R4年度の除雪に関する問い合わせ件数は1,556件であり、目標を達成しませんでした。迅速な除排雪や情報発信を行ったものの、降雪状況が出勤要件を満たさず、出勤開始の判断を見送ったことなどが、問い合わせ件数の増加した主な要因と考えます。今後も、適時の情報発信を行うとともに、降雪時間や気温などを踏まえ、効率的な除雪に努めていく必要があると考えます。								

施策 21 取組 5 番号 2 事務事業 自転車駐車対策事業									
目的	巡回・指導などにより、自転車の放置や迷惑駐車を防止します。				担当課	管理課			
目標	放置自転車および長期間駐車自転車等の減少を目指します。								
事業実施状況	・放置禁止区域、駐輪場の巡回、点検 ・放置自転車および長期間駐車自転車等に対する指導、警告、撤去		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	1,903	1,947	1,960			
			特定財源	13	11	8			
			一般財源	1,890	1,936	1,952			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、対象区域の放置自転車等の確認に伴う指導・警告および撤去により、放置自転車および長期間駐車自転車等が0台となり、目標を達成しました。								

施策 21 取組 5 番号 3 事務事業 自転車・歩行者利用環境整備事業									
目的	自転車道等の利用環境の整備を進め、自転車の利用を促進します。				担当課	都市政策課			
目標	-								
事業実施状況	・自転車及び歩行者の通行空間の整備		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	1,216	0	0			
			特定財源	606	0	0			
			一般財源	610	0	0			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 21 取組 5 番号 4 事務事業 都市計画道路整備事業									
目的	都市計画道路の整備を進め、道路交通の円滑化を図ります。				担当課	土木課			
目標	-								
事業実施状況	・都市計画道路の整備(青柳通、学園通、18条通、大和通線、川西・稲田西2線線)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	396,963	460,201	1,032,508			
			特定財源	375,096	431,879	997,562			
			一般財源	21,867	28,322	34,946			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 21 取組 5 番号 5 事務事業 生活道路整備事業									
目的	市民に身近な生活道路の整備を進め、生活基盤の充実を図ります。				担当課	土木課			
目標	-								
事業実施状況	・生活道路の整備(西17北2・2号線、大空町・9号線、西25南3・9号線、競馬場南・西郊線、富士・21号・22号間西4線線、別府・南17線線、川西・西4線線、昭和・20号西線、昭和・21号西線、泉8号・以平西10線線、幸福・24号線、西21南2・4号線、豊西・16号東線、(仮)八千代・30号線、上帯広18号・美栄31号線、幸福・東4線線、大正・10号西線、(仮)大正・11号線)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	282,962	447,368	493,664			
			特定財源	260,721	142,961	305,174			
			一般財源	22,241	304,407	188,490			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 21 取組 5 番号 6 事務事業 橋梁長寿命化事業									
目的	橋梁の点検や修繕などにより、道路網の安全性向上を図ります。				担当課	土木課			
目標	-								
事業実施状況	・橋梁の定期点検、補修詳細設計(空港橋、広陽橋、紅葉橋、新太平橋、桜木橋、豊洋橋)、修繕(西11条橋、森の六線橋、北2線橋、ポロソリ大橋、以平8号橋、大正橋) ・橋梁長寿命化計画の策定		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	345,026	251,392	236,151			
			特定財源	329,781	240,566	216,840			
			一般財源	15,245	10,826	19,311			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 21 取組 5 番号 7 事務事業 道路ストック修繕事業										
目的		道路施設の点検や修繕により、道路網の安全性向上を図ります。				担当課		土木課、道路維持課		
目標		-								
事業実施状況	・道路舗装、道路施設の計画的な点検及び修繕(稲田町・2号甲線)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	44,017	213,191	21,978				
			特定財源	43,309	213,060	21,060				
			一般財源	708	131	918				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 21 取組 5 番号 10 事務事業 道路台帳整備事業										
目的		道路法に基づき道路台帳を整備し、適切に市道を管理します。				担当課		管理課		
目標		-								
事業実施状況	・道路台帳の補正 ・道路台帳図の作成		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	4,338	4,184	4,327				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	4,338	4,184	4,327				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 21 取組 5 番号 8 事務事業 道路案内標識整備事業										
目的		道路案内標識の設置等により、運転者の円滑な通行と交通の安全の確保を図ります。				担当課		管理課		
目標		-								
事業実施状況	・道路案内標識の修正 ・信号機地点名標示板の設置(2枚取替)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	116	116	220				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	116	116	220				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 21 取組 5 番号 11 事務事業 特殊舗装整備事業										
目的		特殊舗装により整備された道路を改良し、道路機能の維持・向上を図ります。				担当課		道路維持課		
目標		-								
事業実施状況	・特殊舗装道路の改良(柏・南10丁目線外17路線)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	198,913	201,124	196,823				
			特定財源	179,000	180,900	177,100				
			一般財源	19,913	20,224	19,723				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 21 取組 5 番号 9 事務事業 市道管理事業										
目的		市道を適切に管理し、安全で快適な道路環境を確保します。				担当課		管理課		
目標		-								
事業実施状況	・不法占用物件の撤去、道路美化 ・市道認定 ・法定外公共物等管理システムの運用 ・駅南北広場等の管理 ・長期放置自転車の処理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	6,953	6,819	6,180				
			特定財源	45,645	55,062	55,853				
			一般財源	△38,692	△48,243	△49,673				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 21 取組 5 番号 12 事務事業 街路樹維持管理事業										
目的		街路樹の剪定や更新などにより、道路の安全な利用環境や良好なみどりの環境を維持します。				担当課		道路維持課		
目標		-								
事業実施状況	・街路樹の維持管理 ・植樹帯の草刈		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	120,951	120,463	120,985				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	120,951	120,463	120,985				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証		-								

施策 21 取組 5 番号 13 事務事業 道路照明管理事業										
目的		道路照明を適切に管理し、夜間における安全な通行の確保を図ります。				担当課		道路維持課		
目標										
事業実施状況	・道路照明灯の維持管理(照明灯交換42ランプ、安定器交換42箇所)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・道路照明灯の省エネルギー化(42灯)		事業費		94,923	103,411	114,992			
			特定財源		0	0	0			
			一般財源		94,923	103,411	114,992			
	指標名		-				単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 5 番号 16 事務事業 オーバーレイ事業										
目的		高級舗装道路のひび割れやわだちの補修を行い、道路機能の改善を図ります。				担当課		道路維持課		
目標										
事業実施状況	・オーバーレイの実施(旧広尾道路甲線外1路線)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		25,289	86,427	25,058			
			特定財源		22,700	68,600	22,500			
			一般財源		2,589	17,827	2,558			
	指標名		-				単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 5 番号 14 事務事業 橋梁維持補修事業										
目的		橋梁の維持補修により、安全な通行の確保を図ります。				担当課		道路維持課		
目標										
事業実施状況	・橋梁の高欄などの簡易的修繕		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		400	385	385			
			特定財源		0	0	0			
			一般財源		400	385	385			
	指標名		-				単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 5 番号 17 事務事業 道路側溝整備事業										
目的		道路冠水を防止するため、雨水管や雨水桝を設置し、排水施設の整備を進めます。				担当課		道路維持課		
目標										
事業実施状況	・道路側溝の整備(緑ヶ丘公園南・24号線外1路線)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		32,483	28,138	32,274			
			特定財源		29,200	25,300	32,200			
			一般財源		3,283	2,838	74			
	指標名		-				単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 5 番号 15 事務事業 道路車両センター管理運営事業										
目的		道路車両センターを適切に管理運営し、道路管理体制を保持します。				担当課		道路維持課		
目標										
事業実施状況	・道路車両センターの管理運営		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		4,376	4,116	4,096			
			特定財源		0	263	273			
			一般財源		4,376	3,853	3,823			
	指標名		-				単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 5 番号 18 事務事業 道路維持車両整備事業										
目的		除雪機械などの道路維持車両を計画的に配備し、道路の維持補修や除雪の体制強化を図ります。				担当課		道路維持課		
目標										
事業実施状況	・道路維持車両の整備(道路維持作業車1台)		単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費		0	0	14,008			
			特定財源		0	0	14,000			
			一般財源		0	0	8			
	指標名		-				単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 5 番号 19 事務事業 市道維持補修事業										
目的		バトロールによる道路の補修、路面清掃や草刈りを行い、安全で快適な道路環境を保ちます。				担当課		道路維持課		
目標										
事業実施状況	・道路バトロールの実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・道路の維持補修		事業費	204,720	204,752	207,714				
	・道路維持車両の管理		特定財源	2,750	2,488	0				
	・ロードヒーティング、凍結防止設備の管理		一般財源	201,970	202,264	207,714				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 6 番号 1 事務事業 あいのりタクシー・バス運行事業										
目的		農村地区において乗合方式のタクシー・バスを運行し、地域住民の交通手段を確保します。				担当課		都市政策課		
目標										
あいのりタクシー及びあいのりバスの利用者数の増加を目指します。										
事業実施状況	・大正地区乗合タクシーの運行		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・川西地区乗合バスの運行		事業費	27,072	28,478	29,142				
			特定財源	5,014	5,379	5,425				
			一般財源	22,058	23,099	23,717				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										
R4年度は、感染症による外出自粛の影響が低減したほか、地域の老人会の催しで利用促進を図ったことにより、利用者は増加し、目標を達成しました。今後も利用者の多くを占める高齢者を中心に意見交換等を行うなど、交通事業者等と連携しながら、利便性向上に向けた取り組みを進めていく必要があります。										

施策 21 取組 6 番号 2 事務事業 地域公共交通活性化事業										
目的		地域公共交通網形成計画に基づき、事業者等との連携による公共交通の利便性の向上や活性化を図ります。				担当課		都市政策課		
目標										
市内完結路線における路線バス年間利用者数の増加を目指します。										
事業実施状況	・公共交通の利用促進(小学生等への交通環境学習の実施、バス停留所除雪対策の実施、関係機関と連携した公共交通実態調査など)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・バス運行維持に対する支援		事業費	159,963	168,036	146,828				
	・地域公共交通計画策定に向けた調査		特定財源	2,056	2,106	16,963				
	・地域公共交通担い手確保支援金		一般財源	157,907	165,930	129,865				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										
R4年度は、バス事業者と連携しながら、交通環境学習やバス利用啓発小冊子の配布などの利用促進策を継続して実施したことにより、路線バス利用者が増加し、目標を達成しました。今後も持続可能な公共交通サービスの確保に向けて、事業者等と連携しながら、利便性向上や利用促進などの取り組みを進めていく必要があります。										

施策 21 取組 6 番号 再 事務事業 高齢者おでかけサポートバス事業<再掲4-2-1>										
目的		バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進を図ります。				担当課		介護高齢福祉課		
目標										
事業実施状況	・高齢者バス無料乗車証の交付(交付率59.6%)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・高齢者の社会参加などを促進する「いきいき元気事業」の実施		事業費	-	-	-				
	・「まちなか」利用者数13,376人		特定財源	-	-	-				
			一般財源	-	-	-				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 0 番号 1 事務事業 中島霊園管理運営事業										
目的		中島霊園を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。				担当課		戸籍住民課		
目標										
事業実施状況	・中島霊園の維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・墓地区画貸出業務		事業費	11,288	53,900	47,515				
	・中島霊園基金の管理		特定財源	2,870	4,272	5,913				
			一般財源	8,418	49,628	41,602				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 0 番号 2 事務事業 既存墓地管理運営事業										
目的		既存墓地を適切に管理運営し、快適な利用環境を提供します。				担当課		戸籍住民課		
目標										
事業実施状況	・既存墓地の維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・墓地区画貸出業務		事業費	14,580	13,664	13,926				
			特定財源	506	1,087	1,421				
			一般財源	14,074	12,577	12,505				
	指標名		-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 0 番号 3 事務事業 火葬場管理運営事業										
目的			火葬場を適切に管理運営します。				担当課		戸籍住民課	
目標										
事業実施状況	・火葬場の維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・火葬業務		事業費	129,179	133,928	66,252				
	・施設の長寿命化		特定財源	83,442	85,106	29,313				
			一般財源	45,737	48,822	36,939				
			指標名	-			単位			
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 0 番号 4 事務事業 鉄道高架レリーフ維持管理事業										
目的			鉄道により分断された市街地南北の一体的・効率的な土地利用を促進し、魅力ある都市空間を形成します。				担当課		商業労働課	
目標										
事業実施状況	・鉄道高架レリーフの点検		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	0	0	0				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	0	0	0				
			指標名	-			単位			
		基準値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	R5	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 0 番号 5 事務事業 都市景観形成促進事業										
目的			地区計画制度の推進や景観形成に資する建築物の表彰などを通じ、良好な居住環境や景観の形成を促進します。				担当課		都市政策課	
目標										
まちづくりに貢献している建築物を表彰する帯広市まちづくりデザイン賞の応募件数について6件を目指します。										
事業実施状況	・まちづくりデザイン賞の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・帯広市都市環境デザイン委員会の開催		事業費	225	289	260				
			特定財源	225	289	260				
			一般財源	0	0	0				
			指標名	帯広市まちづくりデザイン賞の応募申込数			単位	件		
		基準値	R4	目標値 実績値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値		
			5	6 0	6 3	6 7				
評価検証										
R4年度の帯広市まちづくりデザイン賞の応募件数は7件となり、目標を達成しました。賞の周知を図るため、関係業界への案内の送付や過去受賞建築物のパネル展、ラジオ・広報紙・SNS等によるPRのほか、今年度は新たな取り組みとして、市公式YouTubeチャンネルによる紹介を行ったことが効果的であったと考えます。										

施策 21 取組 0 番号 6 事務事業 都市計画制度推進事業										
目的			都市計画に関する調査等に基づき、都市計画制度を適切に運用します。				担当課		都市政策課	
目標										
事業実施状況	・都市計画に関する調査、情報収集等		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・帯広圏広域都市計画協議会の運営		事業費	6,807	10,767	10,822				
	・帯広市都市計画審議会の開催		特定財源	1,189	9,323	8,955				
	・第2次帯広市都市計画マスタープランの推進		一般財源	5,618	1,444	1,867				
	・都市開発基金の管理		指標名	-			単位			
・帯広圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の推進		基準値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 0 番号 7 事務事業 開発行為等審査・指導事業										
目的			民間事業者による開発行為等を審査・指導し、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。				担当課		建築開発課	
目標										
事業実施状況	・開発行為等許可申請審査、指導		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	102	120	122				
			特定財源	1,105	1,807	745				
			一般財源	△1,003	△1,687	△623				
			指標名	-			単位			
		基準値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	R5	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 0 番号 8 事務事業 民間土地区画整理指導事業										
目的			民間の土地区画整理事業に対する指導により、秩序ある市街地の形成、良質な宅地の供給を促進します。				担当課		建築開発課	
目標										
事業実施状況	・民間土地区画整理事業への指導		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	1,076	4,730	144				
			特定財源	424	2,255	0				
			一般財源	652	2,475	144				
			指標名	-			単位			
		基準値	R4	目標値 実績値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値		
評価検証										

施策 21 取組 0 番号 9 事務事業 土地取引届出事業											
目的	国土利用計画法等に基づき、土地取引に関する事務を進めます。						担当課	建築開発課			
目標	-										
事業実施状況	・土地取引届出に対する審査等	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費		106	104	102					
		特定財源		101	100	61					
		一般財源		5	4	41					
	指標名		-					単位			
	基準値		R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 21 取組 0 番号 10 事務事業 建築物確認事業											
目的	建築基準法に基づき、建築物の確認事務などを進めます。						担当課	建築開発課			
目標	-										
事業実施状況	・建築物の確認、検査、許可等 ・既存建築物の適正な維持、保全に係る指導等 ・建築相談の実施 ・建築行政に関する事務	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費		8,575	8,642	8,778					
		特定財源		21,571	22,420	17,654					
		一般財源		△12,996	△13,778	△8,876					
	指標名		-					単位			
	基準値		R6	目標値 実績値	R7	目標値 実績値	R8	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 21 取組 0 番号 11 事務事業 住宅改修等貸付金事業											
目的	過去に貸し付けた住宅建設資金・UD住宅新築等貸付金を管理します。						担当課	建築開発課			
目標	-										
事業実施状況	・貸付金の管理	単位:千円		R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費		260,448	221,589	187,911					
		特定財源		257,310	218,952	185,725					
		一般財源		3,138	2,637	2,186					
	指標名		-					単位			
	基準値		R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	R5	目標値 実績値			
評価検証	-										

施策 22 取組 1 番号 1 事務事業 市民提案型協働のまちづくり支援事業									
目的	市民グループやNPO、ボランティア団体等が提案するまちづくり活動を支援し、市民の主体的なまちづくり活動を促進します。				担当課	市民活動課			
目標	市民提案型協働のまちづくり支援事業の応募団体数について13団体を目指します。								
事業実施状況	・市民からの提案事業への支援(応募14件、採択14件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		1,454	2,039	1,791				
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		1,454	2,039	1,791				
	指標名	支援事業の応募団体数			単位	団体			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		12	13	13	13				
			10	10	10				
評価検証	R4年度の応募団体数は14団体となり、目標を達成しました。R3年度の応募から、補助対象部門の見直しなどを行い、応募のしやすさの改善を図ったことなどにより、R4年度の相談件数は、R3年度の11団体から16団体に増加し、14団体が応募に至りました。今後も市民協働のまちづくりを進めるため、若い世代をはじめとした事業の周知と相談の段階からのサポートに取り組む必要があります。								

施策 22 取組 1 番号 2 事務事業 町内会活動等支援事業									
目的	町内会等の活動を支援し、地域コミュニティの形成を促進します。				担当課	市民活動課			
目標	身近な地域における絆づくりや課題解決などに向けた町内会の自主的な活動の継続を目指します。								
事業実施状況	・町内会活動の周知、加入促進 ・帯広市町内会連合会への支援 ・町内会自治活動への支援(単位町内会760件、地区連合町内会47件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		34,838	34,804	34,880				
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		34,838	34,804	34,880				
	指標名				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き、様々な町内会行事が自粛・中止となりましたが、町内会長を対象とした町内会におけるICTの活用可能性などに関する研修会を実施するなど、町内会活動を支えるための様々な取り組みを進め、目標達成に向け進捗しています。ライフスタイルや人の価値観の多様化などを背景に、町内会加入率は減少傾向にあり、役員の負担感や活動の継続性など、様々な面で課題が生じているため、引き続き、支援を進めていくことが必要です。								

施策 22 取組 1 番号 3 事務事業 市民協働推進事業									
目的	活動相談や情報提供などにより、NPO、ボランティア団体等の活動を支援し、市民参加の取り組みを促進します。				担当課	市民活動課			
目標	若者、女性、企業など、多様な主体がまちづくりに参加しやすい環境づくりを目指します。								
事業実施状況	・市民活動ポータルサイトの運用 ・市民活動交流センター市民活動情報室の運営(利用者数306人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		4,350	4,457	4,361				
	特定財源		0	0	0				
	一般財源		4,350	4,457	4,361				
	指標名				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動の実施が難しい中、オンラインでの講演会開催、SNSを活用した会合の実施や活動情報の発信など、感染症対策と両立した取り組みが見られています。市民活動交流センターの移転により、市民活動情報室も移転しましたが、市民交流や情報発信の場として運営を継続し、目標達成に向け進捗しています。								

施策 22 取組 1 番号 4 事務事業 コミュニティ施設維持管理事業									
目的	市民相互が交流・連携する場を提供します。				担当課	市民活動課			
目標	-								
事業実施状況	・コミュニティ施設の整備、維持管理(利用者数424,329人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		162,802	178,411	178,027				
	特定財源		8,049	8,175	7,637				
	一般財源		154,753	170,236	170,390				
	指標名				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 健康教育事業<再掲1-2-2>									
目的	健康教育の実施により、生活習慣病の予防やこころの健康づくりの普及・啓発を図ります。				担当課	健康推進課			
目標	-								
事業実施状況	・集団健康教育の実施	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		-	-	-				
	特定財源		-	-	-				
	一般財源		-	-	-				
	指標名				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 地域福祉推進事業<再掲3-1-2>									
目的	市民や関係団体等との連携により、高齢者や障害者等とともに支え合う地域福祉の環境づくりを進めます。				担当課	地域福祉課			
目標	-								
事業実施状況	・地域交流サロン等の活動促進 ・職労者追悼式の実施 ・福祉基金の管理 ・社会福祉法人の指導監査(6件) ・グリーンプラザの管理運営 ・帯広市社会福祉協議会への支援 ・ボランティア養成講座(1回10人) ・地域密着型サービス運営委員会の運営(3回) ・介護・障害サービス事業所等の指定・指導監査(運営指導 介護:61件 障害:27件) ・無料低額診療の対象者に対する院外保険薬局の調剤処方費用を支援(273件) ・社会福祉施設等への抗原検査キットの支給(100件) ・社会福祉施設新規入所者のPCR検査受検費用の支援(94件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		-	-	-				
	特定財源		-	-	-				
	一般財源		-	-	-				
	指標名				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学校・家庭・地域連携事業 (学校地域支援本部) <再掲12-4-1>										
目的	地域全体で子どもを応援する仕組みにより、各学校単位の取り組みの充実やボランティア等の支援、各取り組みのつながり強化を図ります。				担当課	学校地域連携課				
目標	-									
事業実施状況	・学校支援地域本部の活動支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・学校支援ボランティアの育成	事業費	-	-	-					
	・帯広市学校・家庭・地域協議会の運営	特定財源	-	-	-					
	・子ども学校応援地域基金プロジェクトの運営	一般財源	-	-	-					
評価検証	・登下校時の交通事故や不審者から児童を守る安全対策の実施	指標名	-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学習を通じたまちづくり支援事業<再掲13-2-1>										
目的	社会教育関係団体等による学習活動を支援し、学習を通じたまちづくりを促進します。				担当課	生涯学習文化課				
目標	-									
事業実施状況	・生涯学習推進委員会への支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・社会教育関係団体等への支援	事業費	-	-	-					
	・学生の社会参加(16名)	特定財源	-	-	-					
	・指導者登録(登録者数181名)	一般財源	-	-	-					
評価検証	・20歳の集いの開催	指標名	-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学校・家庭・地域連携事業 (子どもの居場所づくり) <再掲12-4-2>										
目的	放課後等に児童が安心して安全に過ごせる場を設け、地域の人との交流を通して、豊かな人間性や社会性を養います。				担当課	学校地域連携課				
目標	-									
事業実施状況	・放課後子ども広場の開催(参加ボランティア数延べ2,078名、実施回数422回)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・居場所づくりに関わるボランティアの養成(参加者5名)	事業費	-	-	-					
	・放課後子ども広場運営委員会の開催	特定財源	-	-	-					
	・放課後子ども広場PR活動	一般財源	-	-	-					
評価検証		指標名	-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 市民文化活動促進事業<再掲14-1-2>										
目的	市民主体の文化芸術活動を推進します。				担当課	生涯学習文化課				
目標	-									
事業実施状況	・市民主体の文化活動への支援(文化事業の後援件数101件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・市民芸術祭の開催(ステージ出演者数467人、展示出品者数289人)	事業費	-	-	-					
	・文化芸術活動発表会の開催(3事業)	特定財源	-	-	-					
	・活動成果発表機会の提供(5事業)	一般財源	-	-	-					
評価検証		指標名	-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 学習機会提供事業 (生涯学習文化課) <再掲13-1-1>										
目的	学習情報のほか、生涯にわたって学ぶ様々な機会を提供します。				担当課	生涯学習文化課				
目標	-									
事業実施状況	・市民大学講座の実施(36講座1,817人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
	・生涯学習情報誌「まなびや」の発行(年4回)	事業費	-	-	-					
	・高齢者学級の実施(1年生31人、2年生41人)	特定財源	-	-	-					
	・プラザエンジョイス쿨の実施(第I期535人、第II期522人、第III期501人、第IV期438人)	一般財源	-	-	-					
評価検証	・放送大学北海道センター帯広学習室における学習機会の提供(学習室9人利用)	指標名	-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 文化芸術鑑賞事業<再掲14-2-1>										
目的	市民に良質な文化芸術にふれる機会を提供し、文化芸術への関心を高めます。				担当課	生涯学習文化課、百年記念館				
目標	-									
事業実施状況	・優れた文化芸術鑑賞機会の提供(6事業、4,015人)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	-	-	-					
		特定財源	-	-	-					
		一般財源	-	-	-					
評価検証		指標名	-			単位				
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		

施策 22 取組 1 番号 再 事務事業 市民活動交流センター管理運営事業<再掲21-1-2>									
目的	市民活動交流センターの管理運営により、市民の活動・交流などを通じた中心市街地のにぎわいの創出を図ります。			担当課	商業労働課				
目標	-								
事業実施状況	・市民活動交流センターの管理運営 ・市民活動交流センターの一時移転		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			-	-	-			
	特定財源			-	-	-			
	一般財源			-	-	-			
	指標名		-			単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 22 取組 2 番号 1 事務事業 移住推進事業									
目的	移住に関する相談活動や情報提供などにより、移住等を促進します。			担当課	観光交流課				
目標	移住に関するホームページアクセス数について12,544件を目指します。								
事業実施状況	・移住に関する情報収集、提供 ・移住に関する相談の実施(延べ140人) ・ちよっと暮らしサポート事業の実施(5件106日間)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			380	386	387			
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			380	386	387			
	指標名		移住に関するホームページアクセス数			単位	件		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
			10,955	12,544	12,544	12,544	12,544		
				13,324	21,673		20,074		
評価検証	R4年の移住に関するホームページアクセス数は20,074件であり、目標を達成しました。コロナ禍で地方への関心が高まったことや、市公式サイトに移住特設ページを掲載したことにより、移住に興味を持つ方がアクセスしやすくなったことが要因であると考えます。								

施策 22 取組 2 番号 2 事務事業 国内地域間交流促進事業									
目的	東京帯広会や関西帯広会等との交流や支援を通して、多様な地域間交流を進めます。			担当課	観光交流課				
目標	東京帯広会・関西帯広会への支援を通じ、帯広を応援する人材を確保するための運営体制を維持します。								
事業実施状況	・東京帯広会の活動への支援 ・関西帯広会の活動への支援 ・開拓140年記念式典に伴う両帯広会役員の来帯と歓迎会の開催 ・県人会、ふるさと会等の活動への対応		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			1,013	1,027	1,177			
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			1,013	1,027	1,177			
	指標名		-			単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、東京帯広会の郷土訪問ツアーが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、各帯広会による新規会員の勧誘などにより、運営体制が維持できており、目標を達成しました。								

施策 22 取組 2 番号 3 事務事業 国際姉妹・友好都市交流事業									
目的	国際姉妹・友好都市との交流に関する業務を進め、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。			担当課	観光交流課				
目標	国際姉妹・友好都市間における市民主体の交流活動を維持します。								
事業実施状況	・国際姉妹・友好都市交流業務 ・高校生派遣、受入の中止(スワード市、朝陽市) ・スワード市高校生とのオンライン交流実施(帯広2人、スワード8人) ・市民主体の交流活動への支援 ・姉妹都市情報発信(姉妹都市展示コーナー(常設)、図書館、空港、おびひろ水まつり) ・マディソン市との訪問団派遣交流の中止		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			142	205	184			
	特定財源			142	205	184			
	一般財源			0	0	0			
	指標名		-			単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、新型コロナウイルス感染症対策による、アメリカ、中国及び本国の出入国管理の厳格化のため、高校生相互派遣事業及び周年事業が中止や延期となったことにより、代替事業として当地とスワード市の高校生とのインターネットを活用した交流を実施し、市民主体の継続した交流活動につながっており、目標を達成しました。感染症対策による移動制限も緩和されてきたことから、姉妹都市、友好都市とのつながりを保持するため、対面での交流の再開に向けた取り組みと、引き続きオンラインでのコミュニケーション等を併用した交流を進めていきます。								

施策 22 取組 2 番号 4 事務事業 国内姉妹都市交流事業									
目的	国内姉妹都市への派遣等により、幅広い分野での市民主体による交流を促進します。			担当課	観光交流課				
目標	国内姉妹都市間における市民主体の交流活動を維持します。								
事業実施状況	・国内姉妹都市交流業務(物産交流7回) ・市民主体の交流活動促進 ・子ども親善訪問団派遣、受入の中止、オンライン交流実施(帯広計8校13クラス、姉妹都市計7校14クラス) ・姉妹都市情報発信(姉妹都市展示コーナー(常設)、図書館、空港、おびひろ水まつり) ・徳島市への訪問団派遣延期 ・開拓140年記念式典に伴う姉妹都市市長等の来帯と歓迎会の開催		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			7	1,595	1,444			
	特定財源			7	845	547			
	一般財源			0	750	897			
	指標名		-			単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、子ども親善訪問団の派遣、受入及び徳島市への訪問団派遣が中止となりましたが、代替事業として姉妹都市との小学生のオンライン交流を実施したことにより、派遣事業よりも多くの児童が交流できたこと、帯広市開拓140年記念事業として姉妹都市の市長等が来帯し、歓迎会を実施したことにより、市民が姉妹都市に親しみを深めたことから、目標を達成しました。								

施策 22 取組 2 番号 5 事務事業 国際交流活動促進事業									
目的	市民主体の国際交流活動を支援し、市民レベルの交流拡大を図ります。			担当課	観光交流課				
目標	国際交流ボランティアの増加を目指します。								
事業実施状況	・市民主体の国際交流活動への支援 ・国際親善交流基金の管理 ・留学生による地域活動への支援 ・国際交流ボランティアの育成(21名増加) ・国際交流団体のネットワークづくり ・国際交流団体への支援		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	事業費			7,819	802	919			
	特定財源			7,438	453	540			
	一般財源			381	349	379			
	指標名		-			単位	-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	R4年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、市民団体の活動は縮小したものの、感染対策を行ったうえで実施したイベントなどでの周知に取り組んだことにより、国際交流ボランティア登録者数は増加しており、目標を達成しました。								

施策 22 取組 2 番号 6 事務事業 国際理解推進事業										
目的	国際理解教育や在住外国人への日本文化紹介など、異なる文化・習慣等の相互理解を促進します。				担当課	観光交流課				
目標	外国人講師の派遣回数や日本文化紹介機会の増加を目指します。									
事業実施状況	・外国人講師派遣(紹介)事業の実施(派遣2回、紹介1回)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・国際交流員による小中学校訪問(59時間)		事業費	16,505	10,054	30,614				
	・諸外国の生活文化紹介		特定財源	420	603	606				
	・日本文化紹介事業の実施(5回)		一般財源	16,085	9,451	30,008				
評価検証	・国際交流員による事業の企画、実施		指標名	-			単位	-		
	・通訳・翻訳業務(翻訳14回、通訳45回)		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	・在住外国人への情報提供・相談の実施									
	・多文化共生社会の推進									
評価検証	R4年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、外国人講師派遣の機会が減少したほか、JICA研修員などの外国人がわずしか来日できなかったことに伴い、日本文化を紹介する場がほとんど持てなかったことから、目標達成に向けあまり進捗していません。各種事業を継続実施することで、多様な文化への理解促進を図っていくことが必要です。									

施策 22 取組 2 番号 7 事務事業 国際協力事業										
目的	地域の技術や特性を活かした人材の育成など、JICA北海道センター(帯広)を核に関係機関と連携し、国際協力を進めます。				担当課	観光交流課				
目標	JICA北海道センター(帯広)等との連携による研修事業などを通じ、国際協力が可能な体制を維持します。									
事業実施状況	・国際研修指導員による青年研修事業等の実施(10コース受託)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・国際協力関係機関との連絡調整		事業費	3,237	2,705	5,839				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	3,237	2,705	5,839				
評価検証			指標名	-			単位	-		
			基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度は、JICA北海道帯広センター実施による研修事業が、新型コロナウイルス感染症対策により中止となったものの、遠隔研修事業等に切り替えて取り組むなど、国際協力が可能な体制が維持できており、目標達成に向け進捗しています。									

施策 22 取組 2 番号 8 事務事業 森の交流館・十勝管理運営事業										
目的	国際交流の拠点施設である森の交流館・十勝の管理運営を通して、地域の国際化を総合的に進めます。				担当課	観光交流課				
目標	-									
事業実施状況	・森の交流館・十勝の管理運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	21,406	21,604	23,470				
			特定財源	1,647	905	913				
			一般財源	19,759	20,699	22,557				
評価検証			指標名	-			単位	-		
			基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	

施策 22 取組 3 番号 1 事務事業 女性活躍推進事業										
目的	ライフステージに応じたワーク・ライフ・バランスの普及、浸透や、女性の政策過程への参画などにより、男女がともに暮らしやすい環境づくりを進めます。				担当課	市民活動課				
目標	男女共同参画講座のうちワーク・ライフ・バランス、女性活躍に関する講座の参加者数について103人を目指します。									
事業実施状況	・各種審議会等への女性の登用促進(34.5%)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・女性活躍に関する講座の開催(3回86人)		事業費	2,717	2,840	2,710				
	・ワークライフバランス啓発資料等の作成・配布(2,068枚)		特定財源	0	0	0				
	・男女共同参画専門員の配置		一般財源	2,717	2,840	2,710				
評価検証			指標名	女性活躍等に関する講座の参加者数			単位	人		
			基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証	R4年度の女性活躍に関する講座の参加者数は86人であり、目標を達成しませんでした。実施会場の定員制限や外出自粛の傾向などが影響したものと考えますが、新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインと併用で講座を開催したことで参加者数は増加しています。引き続き、対象者のニーズに応じた講座づくりを進めていく必要があります。また、各種審議会等への女性の登用促進や「帯広市ワーク・ライフ・バランス宣言」の周知などを通じ、男女がともに活躍できるよう取り組む必要があります。									

施策 22 取組 3 番号 2 事務事業 女性に対する暴力根絶推進事業										
目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。				担当課	市民活動課				
目標	男女共同参画講座のうちDVに関する講座の参加人数について45人を目指します。									
事業実施状況	・デートDV防止啓発パンフレットの作成・配布		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	・DVに関する講座の開催(1回24人)		事業費	3,643	3,635	3,679				
	・デートDV予防講座の開催(2校402人)		特定財源	1,687	1,445	1,965				
	・女性相談員の配置		一般財源	1,956	2,190	1,714				
評価検証	・女性のための人権なんでも相談所の開催(4回)		指標名	DVに関する講座の参加者数			単位	人		
	・民間シェルターへの支援		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
	・DVDの貸出									
評価検証	R4年度のDVに関する講座の参加者数は24人であり、目標を達成しませんでした。実施会場の定員制限や外出自粛の傾向などが影響したものと考えますが、新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインと併用で講座を開催したことで参加者数は増加しています。また、デートDV予防講座の実施に加えて、「デートDV」の予防啓発DVDを貸出を実施しましたが、利用実績がありませんでした。若年層への予防教育の重要性について啓発するとともに、授業での活用のほか、教員や関係者の研修教材としての利用を周知します。引き続き、DV防止啓発パンフレットの作成・配布や、民間シェルターへの補助などを通じて、DVの根絶と被害者の自立支援に向けて取り組みを進める必要があります。									

施策 22 取組 3 番号 3 事務事業 男女共同参画推進事業									
目的	男女平等参画に関する講演会の開催などにより、男女平等意識の向上を図ります。			担当課	市民活動課				
目標	男女共同参画セミナー、男女共同参画講座の参加者数について346人を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・女と男の一行詩の実施(応募者数335人、作品数723作品) ・男女共同参画セミナーの開催(67人) ・男女共同参画講座の開催(6回187人) ・男女共同参画情報誌「カスターネット」の発行(2回、各3,000部) ・とちぎプラザ女性情報コーナーでの情報提供 ・男女共同参画関係団体への支援活動 ・男女共同参画市民懇話会の開催(1回) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	946	1,014	797				
		特定財源	48	0	0				
		一般財源	898	1,014	797				
	指標名	男女共同参画講座参加者数			単位	人			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		283	346 249	346 240	346 254				
評価検証	R4年度の男女共同参画セミナー及び男女共同参画講座の参加者数は254人であり、目標を達成しませんでした。実施会場の定員制限や外出自粛の傾向などが影響したものと考えますが、新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインと併用で講座を開催したことで参加者数は増加しています。引き続き、市民が関心を持ち、気軽に参加できるセミナーや講座づくりを進める必要があります。また、帯広市パートナーシップ制度の導入を契機とし、講座や研修を実施し、多様な性への理解促進に取り組んだほか、多様な性に関する職員ガイドラインを改定し理解促進に努めました。今後も、女と男の一行詩の実施や、男女共同参画情報誌の発行などの取り組みのほか、多様な性に関する理解促進を進める必要があります。								

施策 22 取組 3 番号 再 事務事業 子育て支援事業<再掲2-1-3>									
目的	子育て世代包括支援センターにおいて、子育て相談など多様な子育て支援事業を実施します。			担当課	子育て支援課				
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかネット事業の実施(登録者17人、アクセス数103,013件) ・絵本との出会い事業の実施(配布対象1,014人) ・ファミリーサポートセンター事業の実施(789人、1,674件) ・子育て応援事業所登録事業の実施(登録事業所数292事業所) ・利用者支援事業(基本型)の実施(セルフプラン作成数8件、転入者対応14件) ・衛生用品等の購入支援(子育て支援総合支援センター、帯広ファミリーサポートセンター) ・出産子育て応援給付金の支給(2,285人) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	-	-	-				
		特定財源	-	-	-				
		一般財源	-	-	-				
	指標名	-			単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 22 取組 3 番号 再 事務事業 労働環境整備促進事業<再掲9-4-2>									
目的	労働相談の実施や子どもを生み育てやすい職場環境づくりなど、勤労者が安心して働くことができる環境整備を促進します。			担当課	商業労働課				
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・労働相談の実施(14件) ・子育て応援事業所促進事業の実施(42件) ・とちぎ勤労者共済センターへの運営支援(8,752名) ・事業所雇用実態調査の実施 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	-	-	-				
		特定財源	-	-	-				
		一般財源	-	-	-				
	指標名	-			単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 22 取組 4 番号 1 事務事業 アイヌ民族理解促進事業									
目的	アイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進など、アイヌの人たちの施策を総合的に推進します。			担当課	地域福祉課				
目標	アイヌ協会主催イベント等への参加のべ人数について1,269人を目指します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ生活文化展の開催(154人) ・講習会等の開催 ・アイヌ対策連絡会議の開催 ・帯広アイヌ協会への支援 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	600	600	600				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	600	600	600				
	指標名	生活文化展や講習会等の参加者数			単位	人			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		1,190	1,269 965	1,269 798	1,269 1,016				
評価検証	R4年度の生活文化展や文化交流会等の参加者数は1,016人であり、目標を達成しませんでした。R4年度は、今後はアイヌ民族の歴史・文化に関する理解促進を図るため、様々な手法を検討し、アイヌ民族の理解促進につなげていくことが必要と考えています。								

施策 22 取組 4 番号 2 事務事業 アイヌの人たちの生活相談事業									
目的	生活館の管理運営や、生活相談・指導により、アイヌの人たちの生活の向上を図ります。			担当課	地域福祉課				
目標	アイヌ生活相談員による生活相談体制を維持します。								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・生活相談員の配置(相談件数863件) ・住宅新築資金等の貸付 ・生活館の管理運営 ・生活館改修の実施設計 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	9,502	9,775	18,171				
		特定財源	3,240	3,182	10,380				
		一般財源	6,262	6,593	7,791				
	指標名	生活相談件数			単位	件			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
		516	516 930	516 989	516 863				
評価検証	R4年度における生活相談件数は863件となり、昨年よりは減少したものの、目標を達成しました。相談窓口の周知に取り組みながら、アイヌの人たちへの生活相談に応じたことで、アイヌの人たちの生活向上につながってきているものと考えます。								

施策 22 取組 4 番号 3 事務事業 アイヌ子弟教育支援事業									
目的	遠隔地で就学するアイヌ子弟の教育費助成や教育相談・指導により、アイヌ子弟の教育環境の充実を図ります。			担当課	学校教育課、学校教育指導課				
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ子弟高等教育に係る教育扶助の支給 ・教育相談員の配置 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	2,239	2,240	2,442				
		特定財源	0	0	0				
		一般財源	2,239	2,240	2,442				
	指標名	-			単位	-			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 22	取組 4	番号 4	事務事業 アイヌ民族文化調査・普及事業				
目的	アイヌ民族文化情報センター「リウカ」において学ぶ機会を提供し、アイヌ民族の歴史・文化への理解を促進します。		担当課 百年記念館				
目標	リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について22,326人を目指します。						
事業実施状況	・アイヌ民族文化に関する情報提供、普及活動 ・アイヌ民族文化に関する情報収集、調査	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	1,072	13,760	1,523		
		特定財源	65	10,178	366		
		一般財源	1,007	3,582	1,157		
	指標名	リウカの利用者数		単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
		21,233	22,326 12,287	22,326 10,840	22,326 13,323		
評価検証	R4年度の「リウカ」利用者数は13,323人で目標を達成できませんでした。新型コロナウイルス感染症の流行による市民の外出自粛の影響が要因であると考えます。アイヌ文化とのふれあいゾーンの紹介などを目的として作成したリーフレットの配布や、アイヌ文化資料を解説しているモバイルガイドなどの活用により、利用促進に取り組むことが必要と考えます。						

施策 22	取組 4	番号 5	事務事業 アイヌ伝統文化保存・伝承事業				
目的	アイヌ古式舞踊保護団体や、アイヌの伝統文化の保存・伝承活動を支援し、十勝に伝わるアイヌ文化の保存・発展を図ります。		担当課 生涯学習文化課、百年記念館				
目標	リウカ（アイヌ文化情報センター）の利用者数について22,326人を目指します。						
事業実施状況	・帯広カムイウトボ保存会への支援 ・アイヌ文化の保存・伝承、普及啓発	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	4,762	4,221	4,602		
		特定財源	1,624	1,624	1,623		
		一般財源	3,138	2,597	2,979		
	指標名	リウカの利用者数		単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
		21,233	22,326 12,287	22,326 10,840	22,326 13,323		
評価検証	R4年度の「リウカ」利用者数は13,323人で目標を達成できませんでした。新型コロナウイルス感染症の流行による市民の外出自粛の影響が要因であると考えます。アイヌ文化とのふれあいゾーンの紹介などを目的として作成したリーフレットの配布や、アイヌ文化資料を解説しているモバイルガイドなどの活用により、利用促進に取り組むことが必要と考えます。						

施策 22	取組 5	番号 1	事務事業 核兵器廃絶平和都市推進事業				
目的	核兵器廃絶平和都市宣言の理念に基づき、核兵器廃絶などの平和に関する意識の向上を図ります。		担当課 市民活動課				
目標	各種平和事業の参加者数について4,084人を目指します。						
事業実施状況	・市所有資料の貸出し(100人) ・企画展、語り継ぐ核兵器廃絶・平和展の開催(538人) ・平和コンサートの実施(100人) ・語り部の会の実施(23人) ・平和の絵・詩の募集(135人、絵:46点、詩:89点) ・平和カレンダーの作成・配布(3,300部) ・冬休み平和展の開催(800人) ・平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会への参画 ・黙祷の実施 ・千羽鶴を送る運動	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	439	968	445		
		特定財源	0	0	0		
		一般財源	439	968	445		
	指標名	平和啓発事業参加者数		単位	人		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
		3,399	4,084 1,783	4,084 2,198	4,084 1,696		
評価検証	R4年度の平和事業の参加者数は1,696人であり、目標を達成しませんでした。新型コロナウイルス感染症対策として会場の定員制限や人への外出控えがあったことが影響したものと考えます。今後も、平和の絵・詩の募集、平和カレンダーの作成・配布など平和に対する意識啓発を進めていくことが重要と考えます。						

施策 22	取組 5	番号 2	事務事業 人権擁護推進事業				
目的	一人ひとりの人権が尊重される社会や平和の実現をめざします。		担当課 市民活動課				
目標	-						
事業実施状況	・人権啓発活動への支援	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	120	120	120		
		特定財源	0	0	0		
		一般財源	120	120	120		
	指標名	-		単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 22	取組 5	番号 再	事務事業 児童虐待予防・防止対策推進事業<再掲2-1-10>				
目的	虐待や育児に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携を進め、児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。		担当課 子育て支援課				
目標	-						
事業実施状況	・家庭児童相談室の運営(相談件数179件) ・帯広市要保護児童対策地域協議会の開催 ・代表者会議1回 ・ケース会議29回	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	-	-	-		
		特定財源	-	-	-		
		一般財源	-	-	-		
	指標名	-		単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 22	取組 5	番号 再	事務事業 高齢者虐待防止事業<再掲4-1-5>				
目的	地域包括支援センターや関係機関との連携により、高齢者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。		担当課 介護高齢福祉課				
目標	-						
事業実施状況	・高齢者虐待防止ネットワーク会議の開催(1回) ・高齢者虐待防止研修会の開催(1回) ・被虐待高齢者の保護、支援(通報件数28件、認定件数5件)	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額		
		事業費	-	-	-		
		特定財源	-	-	-		
		一般財源	-	-	-		
	指標名	-		単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値
評価検証	-						

施策 22 取組 5 番号 再 事務事業 障害者虐待防止事業<再掲5-1-2>									
目的	虐待に関する相談活動を行うとともに、関係機関との連携により、障害者虐待の未然防止、早期発見、早期対応を図ります。				担当課	障害福祉課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者虐待防止センターの運営(通報件数44件) ・虐待防止に関する啓発活動の実施 ・帯広市虐待防止ネットワーク会議の開催 ・帯広市地域自立支援協議会地域生活支援会議における虐待防止研修の実施(2回138人) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	-	-	-				
		特定財源	-	-	-				
		一般財源	-	-	-				
		指標名	-				単位		
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-								

施策 22 取組 5 番号 再 事務事業 女性に対する暴力根絶推進事業<再掲22-3-2>									
目的	女性への暴力に対する認識を促す啓発活動により、女性への暴力根絶意識の向上を図ります。				担当課	市民活動課			
目標	-								
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・デートDV防止啓発パンフレットの作成・配布 ・DVに関する講座の開催(1回24人) ・デートDV予防講座の開催(2校402人) ・女性相談員の配置 ・女性のための人権なんでも相談所の開催(4回) ・民間シェルターへの支援 ・DVDの貸出 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
		事業費	-	-	-				
		特定財源	-	-	-				
		一般財源	-	-	-				
		指標名	-				単位		
基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-								

施策	23	取組	1	番号	1	事務事業	広報活動事業			
目的	広報紙等の発行や、ホームページ、テレビ、ラジオ等のメディアを活用し、市民に行政情報を分かりやすく提供します。					担当課	広報広聴課			
目標	情報発信の満足度について55.0%を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の発行、配布(月1回発行・924,000部/年・168頁/年) ・点字・声の広報の発行、配布(対象25人) ・ホームページ、テレビ、ラジオ等による情報発信(HPアクセス数9,249,594回) ・報道機関との連絡調整 ・市長記者会見(12回) ・情報発信機材の整備 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					40,676	52,649	55,328		
	特定財源					3,932	3,500	4,517		
	一般財源					36,744	49,149	50,811		
	指標名					情報発信の満足度		単位	%	
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
52.0			53.0 49.6		54.0 61.0		55.0 62.4			
評価検証	R4年度の情報発信の満足度(情報発信の満足度を計る指標の市民まちづくりアンケートにおける「行政情報を分かりやすく知ることができる」と回答した割合)は62.4%で、R3年度から1.4ポイント上昇し目標を達成しました。広報紙の配布やSNS、市長記者会見など、様々な手法を用いて情報発信を行ってきました。今後も各ツールの特徴を活かし、より分かりやすく伝えるための工夫や改善を図りながら、効果的な情報発信に努めていく必要があります。									

施策	23	取組	1	番号	2	事務事業	広聴活動事業			
目的	様々な機会を通じた市民との対話や、市長への手紙やパブリックコメント制度の実施などにより、施策に関する市民意見を把握します。					担当課	広報広聴課			
目標	市民対話推進事業参加者の満足度について83.6%を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民との対話事業の実施(6回50人参加) ・市政講座の実施(32件2,158人参加、※申込み時点) ・市長への手紙の実施(435件) ・要望書等の受理(655件) ・パブリックコメントの実施(4計画23件の意見) 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					1,173	4,830	4,872		
	特定財源					0	0	0		
	一般財源					1,173	4,830	4,872		
	指標名					市民対話推進事業参加者の満足度		単位	%	
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
79.4			83.6 95.7		83.6 100.0		83.6 100.0			
評価検証	R4年度の市民対話推進事業の参加者満足度(実施後のアンケートにて「参加して良かった」と回答した割合)は100%であり、目標を達成しました。R4年度においても、感染症対策を講じながら、計6回開催しました。今後も、市民の関心の高いテーマを取り上げ、対話しやすい形式や場所などの環境を整えながら、事業を進めていく必要があると考えます。									

施策	23	取組	1	番号	3	事務事業	まちづくり基本条例推進事業			
目的	まちづくり基本条例の普及・啓発や条例に基づく取り組みを進め、市民協働による自主・自立のまちづくりを進めます。					担当課	企画課			
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民への普及・啓発 ・条例に基づく取り組みの推進 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					0	0	0		
	特定財源					0	0	0		
	一般財源					0	0	0		
	指標名					-		単位	-	
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	23	取組	1	番号	4	事務事業	情報公開・提供推進事業			
目的	帯広市情報公開条例に基づき、適切に情報公開を進めるとともに、情報室などにおいて、市民に行政情報を幅広く提供します。					担当課	総務部総務課			
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・情報室における情報提供 ・公文書開示請求への対応 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					34	78	120		
	特定財源					5	31	30		
	一般財源					29	47	90		
	指標名					-		単位	-	
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策	23	取組	2	番号	1	事務事業	おびひろ応援寄附金推進事業			
目的	おびひろ応援寄附金に関し、返礼品の充実や地域の魅力発信を行うとともに、寄附金の受納に関する事務の適正な執行に努めます。					担当課	観光交流課、総務部総務課			
目標	おびひろ応援寄附金額について322,428千円を目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・おびひろ応援寄附金に関する返礼品の充実、情報発信 ・おびひろ応援寄附金の受納に関する事務 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					264,609	754,463	796,825		
	特定財源					244,843	747,211	782,218		
	一般財源					19,766	7,252	14,607		
	指標名					寄附金額		単位	千円	
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
57,382			164,504 591,150		230,306 1,373,726		322,428 1,416,306			
評価検証	R4年度のおびひろ応援寄附金は1,416,306千円であり、目標を達成しました。返礼品の充実やふるさと納税サイトの拡充、地域PRを兼ねたお礼状の送付等に取り組んだことが効果的であったと考えます。									

施策	23	取組	2	番号	2	事務事業	自主財源確保対策事業			
目的	新たな自主財源を検討するとともに、自主財源の確保・拡大を図ります。					担当課	財政課			
目標	自主財源の確保に向けた広告媒体の拡大などを目指します。									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな自主財源の検討及び実施 ・自主財源の確保、拡大 					単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額	
	事業費					0	0	0		
	特定財源					0	0	0		
	一般財源					0	0	0		
	指標名					-		単位	-	
基準値		R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、「新たな自主財源確保対策検討会議」を開催し、新たな取組について各部と検討しており、目標達成に向けて進捗しています。									

施策 23 取組 2 番号 3 事務事業 公有財産管理・運用事業										
目的	公有財産の取得・処分や土地・建物の管理など、公有財産の適切な管理・運用を進めます。				担当課	契約管財課				
目標	未利用・低利用地の有効活用件数について4件を目指します。									
事業実施状況	・公有財産の取得、処分、貸付 ・普通財産の管理、運用(土地等売払い:3件 2,888千円、貸付け:38件 11,161千円)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	14,145	8,539	8,010				
			特定財源	3,372	3,230	3,423				
			一般財源	10,773	5,309	4,587				
	指標名		未利用・低利用地の有効活用件数		単位	件				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
		4	4 8	4	4 2	4	4 2			
評価検証	R4年度の未利用地・低利用地の有効活用件数は2件であり、目標を達成しませんでした。当初は4件を予定していましたが、相手方事情等により2件の売払いに留まったことが要因です。今後も、有効活用推進要領に基づいた取り組みを継続的に進め、未利用地・低利用地の利活用を図っていく必要があります。									

施策 23 取組 2 番号 4 事務事業 ICT利活用推進事業										
目的	ICT等の活用により事務の改善を図り、行政サービスの向上や事務の効率化を進めます。				担当課	ICT推進課				
目標	RPAなどのICTの業務活用範囲の拡大を目指します。									
事業実施状況	・情報システム関連業務のアウトソーシングの推進 ・業務システムの運用管理 ・情報セキュリティ対策の強化 ・ICT等を活用した事務改善の推進(RPA活用により削減された作業時間2,509時間) ・社会保障、税番号制度の運用・周知 ・公共施設予約システムの運用 ・電子申請システムの運用(27,305件利用) ・転出入手続きのワンストップ化に向けたシステム改修 ・デジタル活用策等の検討		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	759,157	654,443	635,846				
			特定財源	247,082	181,485	225,873				
			一般財源	512,075	472,958	409,973				
	指標名		-		単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、転出入手続きのワンストップ化に向けたシステム改修、RPAやAI-OCRの業務活用範囲の拡大を進めており、目標を達成しました。									

施策 23 取組 2 番号 5 事務事業 総合計画推進事業										
目的	地域の意志と責任に基づく自主・自立のまちづくりを進めるため、総合計画を計画的に推進します。				担当課	企画課				
目標	-									
事業実施状況	・総合計画の推進 ・総合計画策定審議会の開催 ・推進計画の策定 ・市民まちづくりアンケートの実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	158	1,089	1,144				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	158	1,089	1,144				
	指標名		-		単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 2 番号 6 事務事業 総合戦略推進事業										
目的	PDCAサイクルの考え方にに基づき、総合戦略の施策立案、評価・検証、取り組みの見直しを行い、効果的に人口対策を推進します。				担当課	企画課				
目標	-									
事業実施状況	・帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取り組みの進捗管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	0	0	0				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	0	0	0				
	指標名		-		単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 2 番号 7 事務事業 財政運営事業										
目的	事業の選択と集中を進め、持続可能で健全な財政運営を図ります。				担当課	財政課				
目標	-									
事業実施状況	・効果的な予算編成手法の検討 ・財政健全化判断比率の適正維持		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	0	0	0				
			特定財源	0	0	0				
			一般財源	0	0	0				
	指標名		-		単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 2 番号 8 事務事業 財務管理事業										
目的	予算編成・決算調整などを通して、適正な事務執行の徹底を図ります。				担当課	財政課				
目標	-									
事業実施状況	・財務管理業務の実施 ・一部事務組合への負担金支出 ・財政調整基金の管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
			事業費	504,296	1,202,862	2,150,587				
			特定財源	369	643	457				
			一般財源	503,927	1,202,219	2,150,130				
	指標名		-		単位	-				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 2 番号 9 事務事業 市債等管理事業									
目的	市債の発行・償還や資金運用を適切に進め、計画的な財政運営を図ります。				担当課	財政課			
目標	-								
事業実施状況	・市債の発行、償還(普通会計)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・減債基金の管理		事業費	8,490,995	8,741,520	8,166,687			
	・資金運用		特定財源	159,441	236,566	246,486			
			一般財源	8,331,554	8,504,954	7,920,201			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 10 事務事業 一般行政事業									
目的	総合案内や儀式、表彰など、一般行政事務を推進します。				担当課	総務部総務課			
目標	-								
事業実施状況	・総合案内、電話交換業務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・新年交礼会、褒章・表彰業務		事業費	38,212	37,174	54,934			
	・開拓140年・市制施行90年記念式典等の実施		特定財源	3,506	3,473	3,863			
			一般財源	34,706	33,701	51,071			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 11 事務事業 戸籍・住民基本台帳関連事業									
目的	戸籍・住民基本台帳関連事務を適切に管理するとともに、各種証明書等の発行や申請の受付を迅速かつ正確に行います。				担当課	戸籍住民課			
目標	-								
事業実施状況	・戸籍・住民基本台帳に関する事務(227,988件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・パスポートの申請交付に関する事務(1,057件)		事業費	155,072	160,401	162,870			
	・社会保障・税番号制度に係る個人番号カードの交付事務(43,812件)		特定財源	164,515	166,982	223,216			
	・諸証明のコンビニ交付サービスの実施(18,113件)		一般財源	△9,443	△6,581	△60,346			
	・キャッシュレス決済の実施(5,251件)		指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 12 事務事業 川西支所管理運営事業									
目的	川西支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。				担当課	川西支所			
目標	-								
事業実施状況	・各種窓口業務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・各種団体の運営に関する支援事務		事業費	1,793	1,786	1,773			
	・川西支所の維持管理		特定財源	0	0	0			
			一般財源	1,793	1,786	1,773			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 13 事務事業 大正支所管理運営事業									
目的	大正支所を管理運営し、地域における利便性と質の高い行政サービスを提供します。				担当課	大正支所			
目標	-								
事業実施状況	・各種窓口業務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・各種団体の運営に関する支援事務		事業費	430	428	604			
	・大正支所の維持管理		特定財源	0	0	0			
			一般財源	430	428	604			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 14 事務事業 効率的行政運営推進事業									
目的	継続的な行財政改革への取り組みや行政サービス改善など、市民満足度の高い効率的な行政運営を進めます。				担当課	人事課、契約管財課			
目標	-								
事業実施状況	・民間委託等幅広い手法の検討・推進(他自治体の事例収集や民間企業からの情報収集等)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・指定管理者制度の運用(302施設)		事業費	85	191	77			
	・事務権限の移譲への対応(関連情報の収集・庁内共有)		特定財源	0	0	0			
	・行財政改革の推進(保育所の民間移管先への引継、RPAの導入・活用拡大、公用バスの廃止等)		一般財源	85	191	77			
			指標名	-			単位		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 2 番号 15 事務事業 行政情報基盤運営事業									
目的			行政情報ネットワークを管理運営し、効率的で安全性の高い行政サービスを提供します。				担当課		ICT推進課
目標									
事業実施状況	・行政情報ネットワークの維持管理		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・情報セキュリティ対策の推進		事業費	78,603	634,191	87,312			
			特定財源	1,291	467,983	1,430			
			一般財源	77,312	166,208	85,882			
	指標名		-				単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証									

施策 23 取組 3 番号 1 事務事業 物品購入・工事契約事業									
目的			地域の経済や雇用環境などに配慮しながら、品質の優れた調達を行います。				担当課		契約管財課
目標									
事業実施状況	・工事の契約事務(116件うち入札115件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	303	289	277			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	303	289	277			
	指標名		-				単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証									
R4年度は、スライド条項の取扱いの拡大のほか、R3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴う雇用への影響に配慮しながら契約事務を進めており、目標を達成しました。									

施策 23 取組 3 番号 2 事務事業 税収入払戻事業									
目的			市税の過誤納付金の還付を行い、公正かつ公平な収納事務を行います。				担当課		収納課
目標									
事業実施状況	・市税過誤納付金の還付		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	64,690	61,292	68,009			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	64,690	61,292	68,009			
	指標名		-				単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証									

施策 23 取組 3 番号 3 事務事業 収納率向上対策事業									
目的			市税等の収納率向上対策を進め、自主財源の確保を図ります。				担当課		収納課
目標									
事業実施状況	・収納率向上対策の推進		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・広域連携による市税等の滞納整理(実施主体:十勝圏複合事務組合)		事業費	63,972	54,702	53,717			
	・納税啓発の推進		特定財源	305,437	305,784	293,819			
	・納付環境の整備(地方税共通納税システムの運用)		一般財源	△241,465	△251,082	△240,102			
	指標名		-				単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証									
・納税相談の実施(夜間窓口の開設、納税推進強調月間の実施) ・収納管理業務 ・滞納処分の実施 ・キャッシュレス決済の導入									

施策 23 取組 3 番号 4 事務事業 諸税賦課事業									
目的			市たばこ税など、諸税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。				担当課		市民税課
目標									
事業実施状況	・諸税の賦課		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	7,158	7,594	7,128			
			特定財源	12	11	11			
			一般財源	7,146	7,583	7,117			
	指標名		-				単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証									

施策 23 取組 3 番号 5 事務事業 市民税賦課事業									
目的			市民税の課税事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。				担当課		市民税課
目標									
事業実施状況	・市民税の賦課		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
	・電子申告システムの運用		事業費	41,111	38,383	38,719			
			特定財源	11	11	11			
			一般財源	41,100	38,372	38,708			
	指標名		-				単位		
		基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	
評価検証									

施策 23 取組 3 番号 6 事務事業 固定資産税・都市計画税賦課事業										
目的	固定資産税・都市計画税の賦課事務を適正に執行し、自主財源の確保を図ります。				担当課	資産税課				
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産税の賦課 都市計画税の賦課 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	50,768	35,993	66,991					
		特定財源	11	11	11					
		一般財源	50,757	35,982	66,980					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 7 事務事業 固定資産評価審査委員会運営事業										
目的	固定資産評価審査委員会を運営し、固定資産評価に対する不服について審査します。				担当課	総務部総務課				
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産評価審査委員会の運営 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	20	24	192					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	20	24	192					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 8 事務事業 公平委員会運営事業										
目的	地方公務員法に基づき公平委員会を運営し、適正な人事管理を進めます。				担当課	総務部総務課				
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 公平委員会の運営 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	89	89	141					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	89	89	141					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 9 事務事業 法制事業										
目的	法令遵守の徹底など法制事務を実施し、行政事務を適正に執行します。				担当課	総務部総務課				
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 法制事務 行政不服審査会の運営 個人情報保護制度の推進 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	5,862	5,767	5,828					
		特定財源	254	259	254					
		一般財源	5,608	5,508	5,574					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 10 事務事業 文書管理事業										
目的	公文書の適正管理や印刷業務を効率的に行うなど、文書管理事務を進めます。				担当課	総務部総務課				
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 公文書等の管理 印刷業務 郵便業務 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	9,282	9,793	9,466					
		特定財源	10	10	10					
		一般財源	9,272	9,783	9,456					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 11 事務事業 統計調査事業										
目的	統計調査の実施や統計データの提供などの統計調査業務を進めます。				担当課	総務部総務課				
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 各種統計調査の実施 統計冊子の発行 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	64,746	10,532	3,111					
		特定財源	55,999	10,347	2,772					
		一般財源	8,747	185	339					
	指標名	-				単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 3 番号 12 事務事業 会計事業									
目的	安全で有利な現金管理や正確な現金出納など、会計事務を適正に執行します。				担当課	会計課			
目標	-								
事業実施状況	・公金保護対策の基本方針に基づく現金管理 ・公金収納状況検査の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	15,173	14,966	21,493			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	15,173	14,966	21,493			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 13 事務事業 議会議員活動事業									
目的	調査研究など議員活動の円滑な推進を支えます。				担当課	議会事務局			
目標	-								
事業実施状況	・調査研究活動の推進に関する業務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	5,251	7,358	14,146			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	5,251	7,358	14,146			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 14 事務事業 本会議・委員会運営事業									
目的	議会活動に関する情報発信などを進め、市民にわかりやすい開かれた議会運営を支えます。				担当課	議会事務局			
目標	-								
事業実施状況	・議会活動等の情報提供に関する業務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	17,177	17,246	17,253			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	17,177	17,246	17,253			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 15 事務事業 議会運営事業									
目的	議会がその役割を十分に発揮できるよう、円滑な議会運営を支えます。				担当課	議会事務局			
目標	-								
事業実施状況	・議会運営に関する業務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	5,937	6,107	7,470			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	5,937	6,107	7,470			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 16 事務事業 監査事業									
目的	公正で合理的かつ効果的な行政運営の確保に資するため、監査等を実施します。				担当課	監査委員事務局			
目標	-								
事業実施状況	・定期監査の実施 ・決算審査の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	3,058	3,142	3,062			
			特定財源	0	0	0			
			一般財源	3,058	3,142	3,062			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 17 事務事業 選挙管理委員会運営事業									
目的	有権者への情報提供など、選挙管理委員会に関する業務を進め、有権者の意識啓発を図ります。				担当課	選挙管理委員会事務局			
目標	-								
事業実施状況	・有権者への情報提供 ・選挙管理委員会の運営に関する業務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額			
			事業費	2,781	2,776	2,957			
			特定財源	6	2	13			
			一般財源	2,775	2,774	2,944			
	指標名		-			単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値		
評価検証	-								

施策 23 取組 3 番号 18 事務事業 各選挙執行事業										
目的	各選挙を公正に執行し、まちづくりの参加意識の向上を図ります。				担当課	選挙管理委員会事務局				
目標	-									
事業実施状況	・各選挙の執行 ・有権者への選挙の周知及び啓発 ・投票所の利便性向上(土足入場の実施)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		0	62,979	113,437					
	特定財源		0	59,576	71,670					
	一般財源		0	3,403	41,767					
	指標名		-			単位		-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 4 番号 1 事務事業 公共施設マネジメント推進事業										
目的	公共施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを進めます。				担当課	企画課				
目標	施設等の長寿命化や施設総量の適正化などを図る個別施設計画の策定を進めます。									
事業実施状況	・公共施設マネジメントの推進 ・公共施設マネジメントに関する情報発信 ・個別施設計画の策定		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		0	0	0					
	特定財源		0	0	0					
	一般財源		0	0	0					
	指標名		-			単位		-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	R4年度は、消防施設、農業関連施設の個別施設計画を策定したほか、引き続きコミュニティ施設などにおいても検討を進めてきており、目標達成に向け進捗しています。今後も、施設の利用実態や、老朽化の状況等を把握した上で、施設のあり方について検討し、個別施設計画策定に向けた取り組みを進めます。									

施策 23 取組 4 番号 2 事務事業 公共施設営繕事業										
目的	公共施設の整備に関する事務や既存施設の改築、長寿命化等の適正な工事監理を進めます。				担当課	住宅営繕課				
目標	-									
事業実施状況	・公共施設の整備に関する事務 ・既存施設の改修等に関する事務 ・市有施設建築保全システムの運用		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		3,283	2,113	3,151					
	特定財源		0	0	30					
	一般財源		3,283	2,113	3,121					
	指標名		-			単位		-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 5 番号 1 事務事業 人材育成・評価事業										
目的	職員の働く意欲と能力を高める視点から人事評価等を進め、自ら成長し能力を発揮できる職員を育成します。				担当課	人事課				
目標	-									
事業実施状況	・職員研修の実施(43項目、参加者延2,694人) ・国等への職員の派遣・受入(派遣20人、受入4人) ・人材育成基本方針に基づく取り組みの推進(職員研修・職場環境整備・人事管理) ・人材そだち評価制度の実施(一般職への評価結果の処遇反映を開始)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		17,509	14,051	14,340					
	特定財源		5,141	4,693	4,818					
	一般財源		12,368	9,358	9,522					
	指標名		-			単位		-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 5 番号 2 事務事業 職場環境整備事業										
目的	職員の健康管理や公務災害の未然防止など、職員が安心して働き、能力を発揮することができる職場環境づくりを進めます。				担当課	人事課				
目標	-									
事業実施状況	・職員の健康管理(定期健康診断等受診者数:1,584人、ストレスチェック:1,172人) ・職員と職場の安全衛生管理(公務災害補償、施設職場における救急薬品の整備) ・福利厚生の実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		116,944	122,102	98,444					
	特定財源		17,965	17,312	21,793					
	一般財源		98,979	104,790	76,651					
	指標名		-			単位		-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 6 番号 1 事務事業 十勝圏連携推進事業										
目的	管内自治体や関係機関と連携し、十勝圏の発展に向けた取り組みを進めます。				担当課	企画課				
目標	-									
事業実施状況	・十勝圏複合事務組合の活動を通じた広域事業の推進 ・十勝圏活性化推進期会を通じた要請活動の実施 ・帯広圏地方拠点都市地域協議会及びとかち航空宇宙産業基地誘致期会会の運営 ・国、道、管内自治体等との連携による十勝圏の振興		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費		5,315	5,197	5,581					
	特定財源		0	0	0					
	一般財源		5,315	5,197	5,581					
	指標名		-			単位		-		
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 6 番号 2 事務事業 都市間連携推進事業										
目的	北海道内の広域的な行政課題の解決に向け、各都市と連携した取り組みを進めます。				担当課	企画課				
目標	-									
事業実施状況	・北海道市長会等を通じた情報収集や要請活動などの実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			4,108	4,074	4,078				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			4,108	4,074	4,078				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 6 番号 3 事務事業 定住自立圏構想推進事業										
目的	帯広市と十勝管内18町村が連携・協力し、必要な生活機能を確保するとともに、圏域全体の魅力の向上や活性化を図ります。				担当課	企画課				
目標	-									
事業実施状況	・十勝定住自立圏共生ビジョン等に基づく各種取り組みの実施		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			204	85	94				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			204	85	94				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 6 番号 4 事務事業 東京事務所運営事業										
目的	東京事務所を管理運営し、産業・経済、行政、観光・移住などの情報収集・提供などを進めます。				担当課	東京事務所				
目標	-									
事業実施状況	・東京事務所の運営		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			9,551	9,933	9,702				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			9,551	9,933	9,702				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 0 番号 1 事務事業 市民相談室運営事業										
目的	市民の日常生活に関する一般相談や法律相談を実施し、問題解決に向けた支援を行います。				担当課	地域福祉課				
目標	市民の日常生活における様々な問題に対応する市民相談員による相談体制を維持します。									
事業実施状況	・市民相談の実施(相談件数1,429件)		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			5,784	5,948	6,014				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			5,784	5,948	6,014				
	指標名		相談件数			単位	件			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
			1,906	1,906	1,906	1,906				
			1,266	1,371	1,429					
評価検証	R4年度における市民相談件数は1,429件となりました。市民相談員による相談体制を維持し、弁護士無料法律相談に取り組むなど、市民の日常生活への相談に応じることができたものと考えます。									

施策 23 取組 0 番号 2 事務事業 政策推進事業										
目的	幅広く情報収集などを進めるとともに、重要施策の総合的な企画調整を行います。				担当課	企画課				
目標	-									
事業実施状況	・政策推進に関する情報収集等		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			5,833	5,579	5,828				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			5,833	5,579	5,828				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 0 番号 3 事務事業 秘書事業										
目的	市長・副市長の公務に関する秘書業務を行います。				担当課	秘書課				
目標	-									
事業実施状況	・秘書業務		単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額				
	事業費			7,405	7,929	10,927				
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			7,405	7,929	10,927				
	指標名		-			単位				
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 0 番号 4 事務事業 市役所庁舎管理事業										
目的	計画的な管理や有効活用を進めるなど、市役所庁舎を適切に維持管理します。					担当課	総務部総務課			
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所庁舎の設備等の維持管理 ・光熱水費削減の取り組み(経済的な電力確保の継続等) ・広告事業の推進 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	165,052	163,973	195,945					
		特定財源	23,546	22,624	23,247					
		一般財源	141,506	141,349	172,698					
	指標名	-					単位			
	基準値	R2	目標値 実績値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 0 番号 5 事務事業 公用車管理事業										
目的	公用車を効率的に管理・運行します。					担当課	総務部総務課			
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車の管理(共用車稼働率89.4%) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	24,744	23,816	19,434					
		特定財源	53	0	0					
		一般財源	24,691	23,816	19,434					
	指標名	-					単位			
	基準値	R3	目標値 実績値	R4	目標値 実績値	R5	目標値 実績値			
評価検証	-									

施策 23 取組 0 番号 6 事務事業 職員任用管理事業										
目的	人材の確保と職員の適正配置により、施策を効果的に推進する組織体制づくりを進めます。					担当課	人事課			
目標	-									
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・職員定数の管理(R4.4.1時点職員数1,327人) ・職員採用に関する事務(〔正職員〕試験回数2回、受験者数520人、合格者数67人〔任期付〕試験回数9回、受験者数27人、合格者数17人) 	単位:千円	R2年度決算額	R3年度決算額	R4年度決算額					
		事業費	3,519	2,788	3,013					
		特定財源	0	0	0					
		一般財源	3,519	2,788	3,013					
	指標名	-					単位			
	基準値	R4	目標値 実績値	R5	目標値 実績値	R6	目標値 実績値			
評価検証	-									

令和5年度

施策・事務事業評価表

編集 帯広市政策推進部企画室企画課

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

TEL : 0155-65-4105 FAX : 0155-23-0151

E-mail : plan@city.obihiro.hokkaido.jp